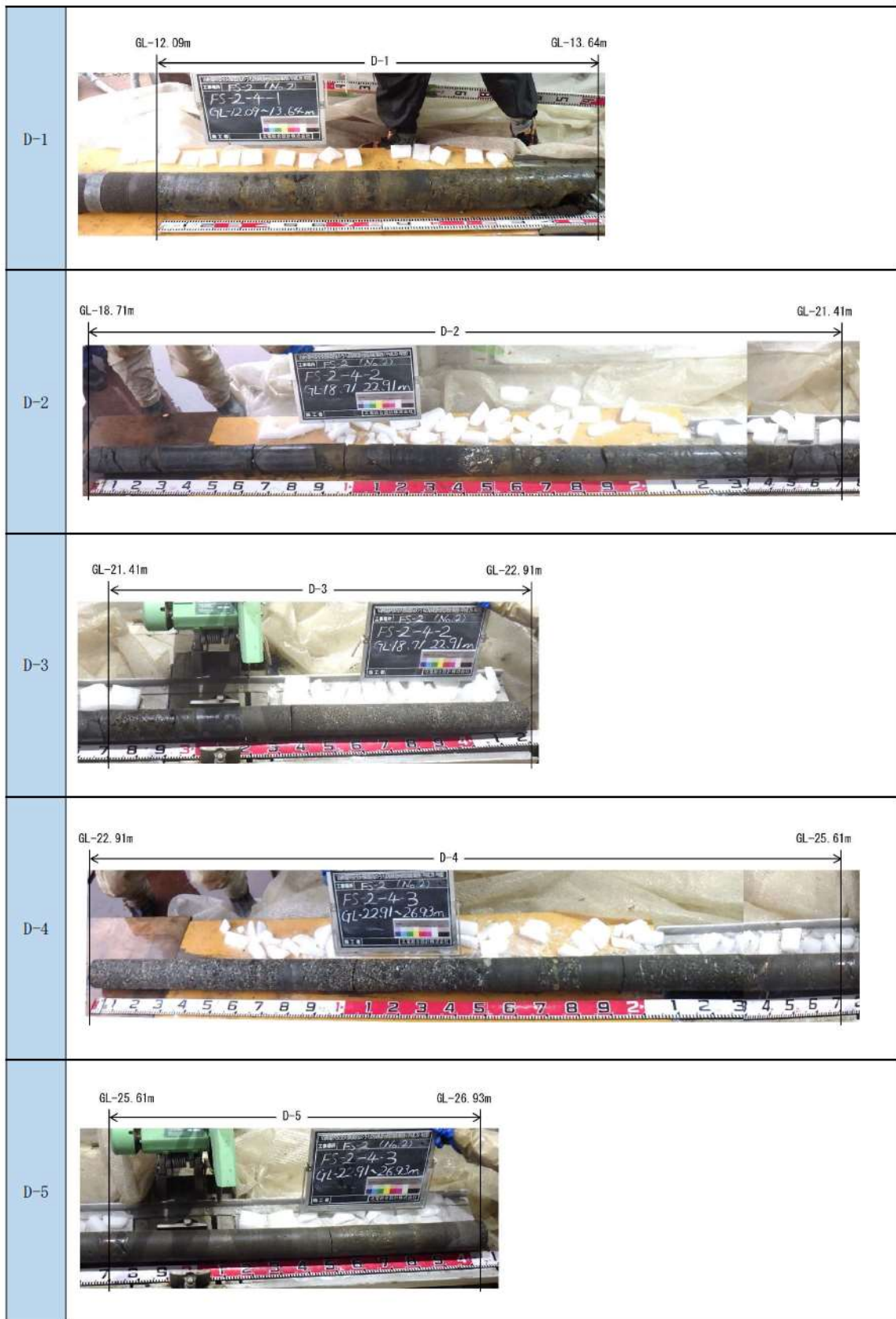


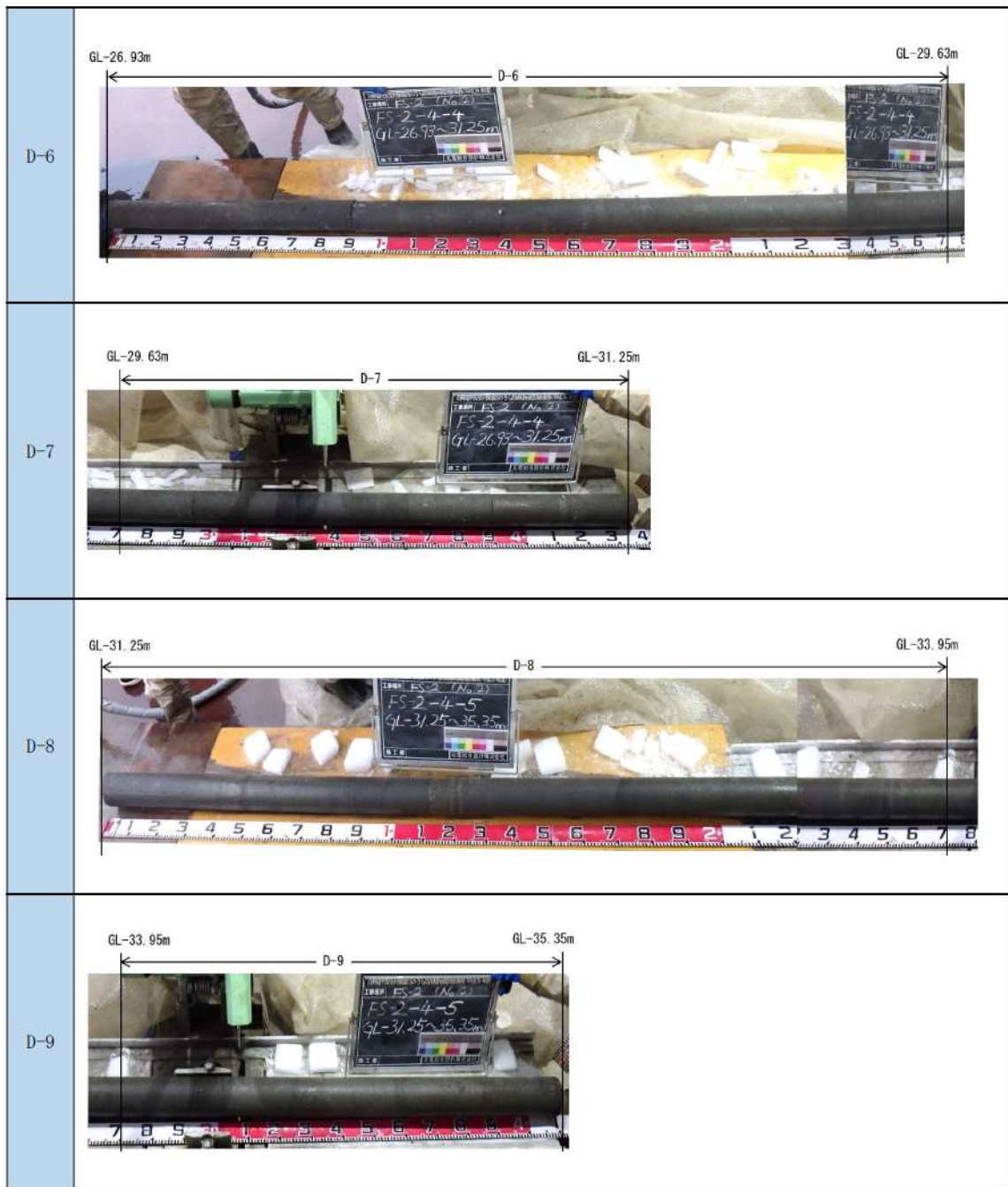
添付 1-40 図(7/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



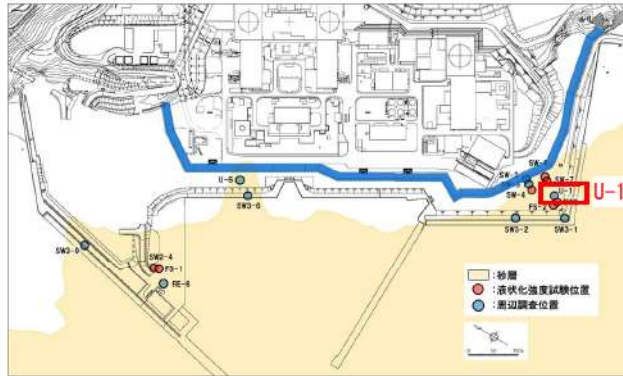
添付 1-40 図(8/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



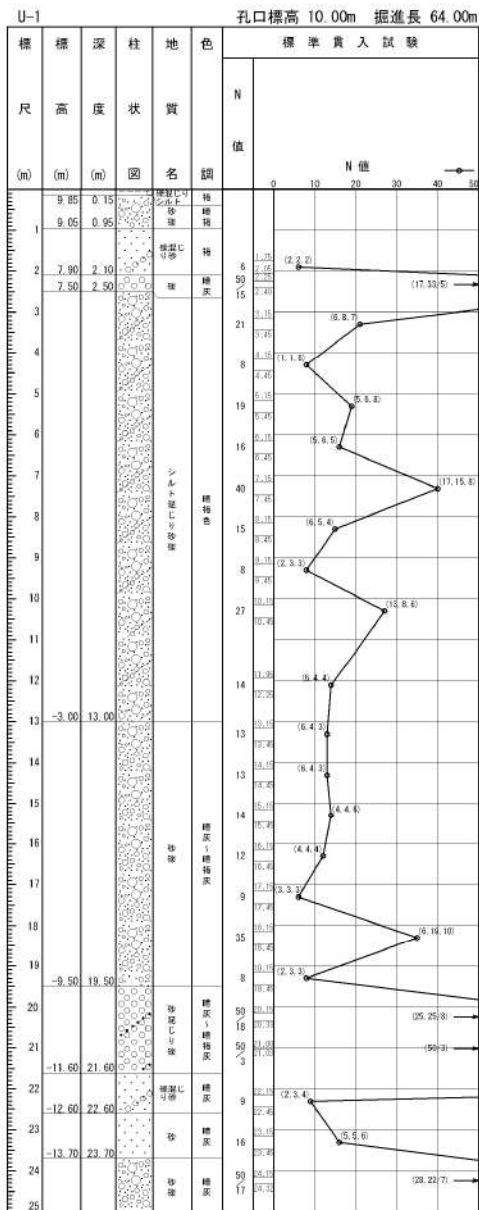
添付 1-40 図(9/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



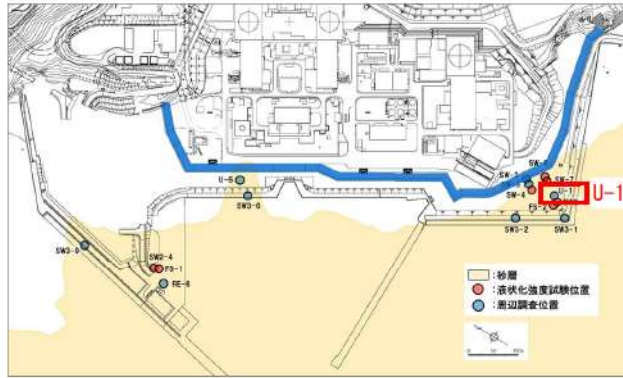
添付 1-40 図(10/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



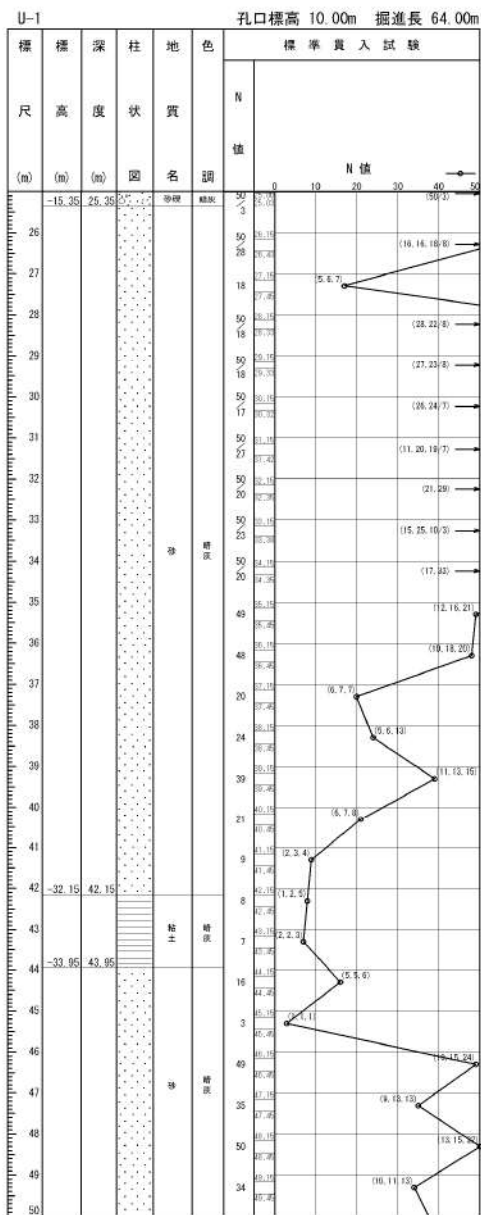
ボーリング平面位置図



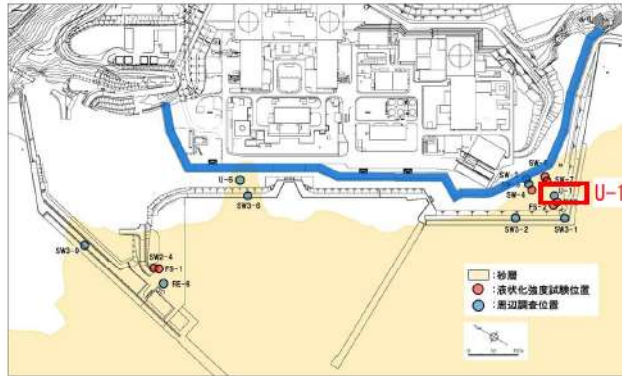
添付 1-41 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (U-1)



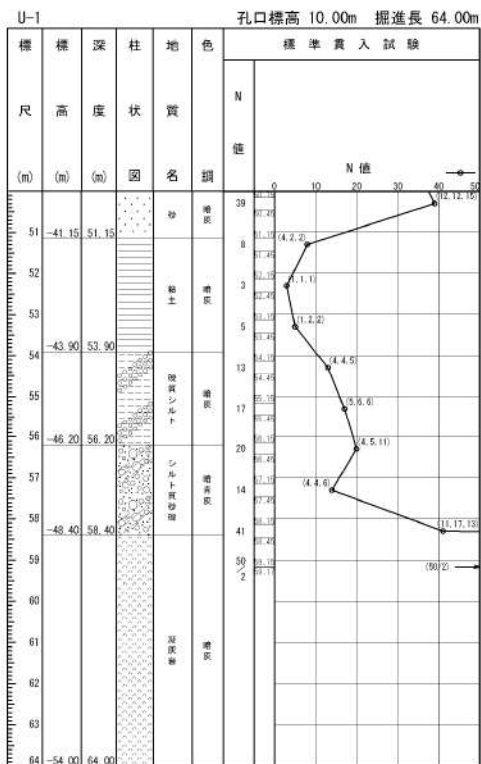
ボーリング平面位置図



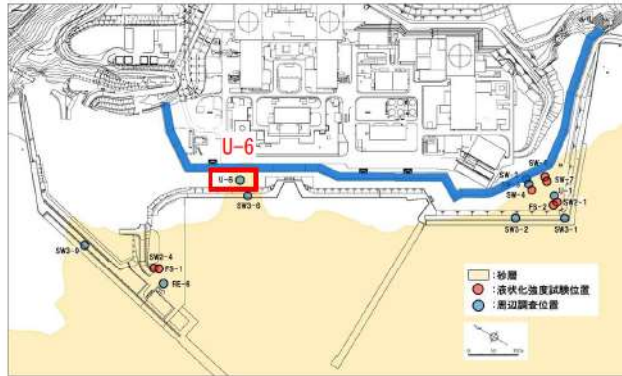
添付 1-41 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (U-1)



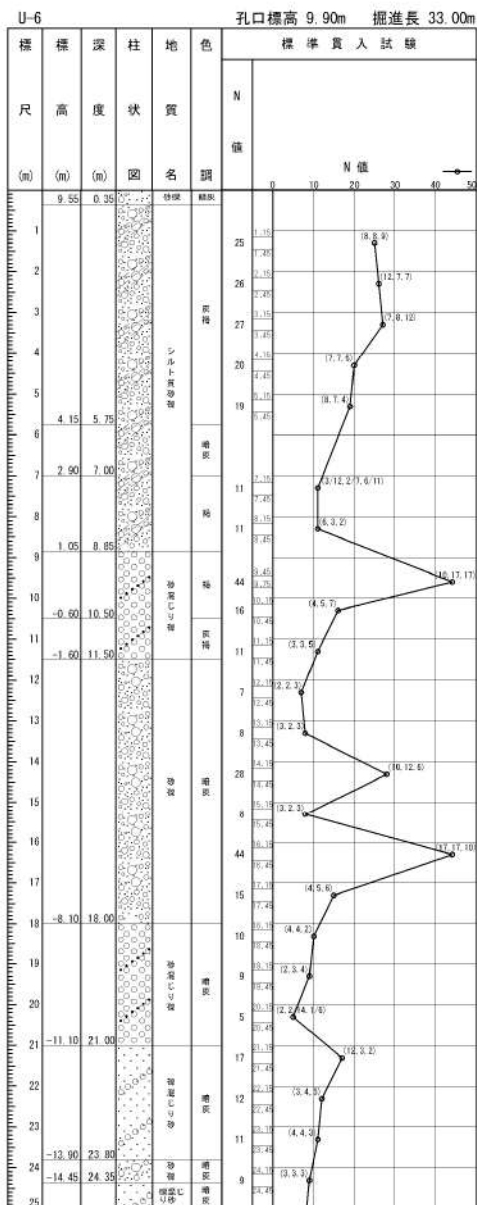
ボーリング平面位置図



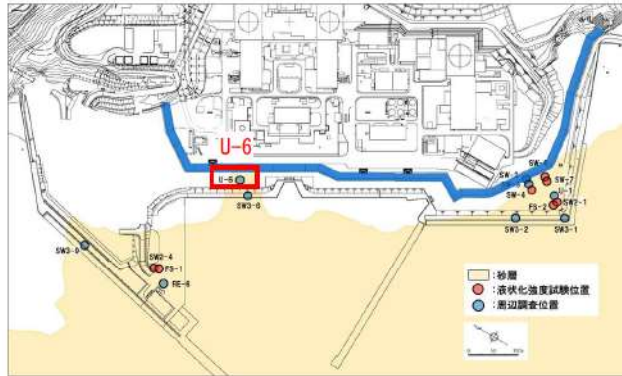
添付 1-41 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (U-1)



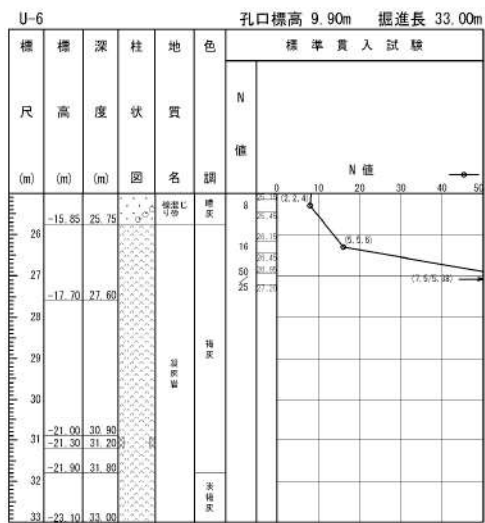
ボーリング平面位置図



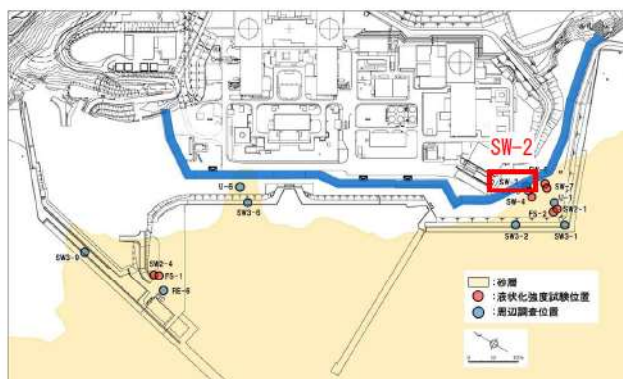
添付 1-42 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (U-6)



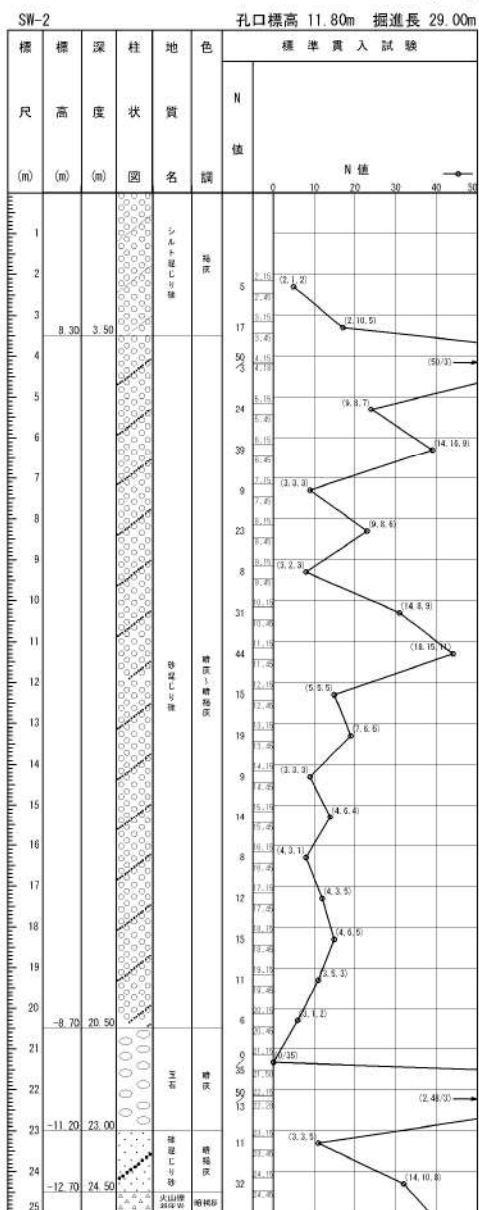
ボーリング平面位置図



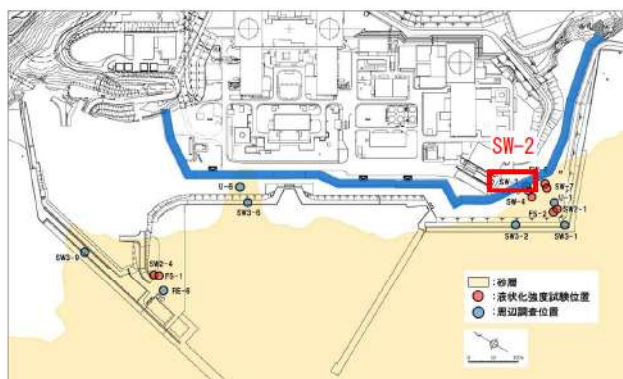
添付 1-42 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (U-6)



ボーリング平面位置図



添付 1-43 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-2)



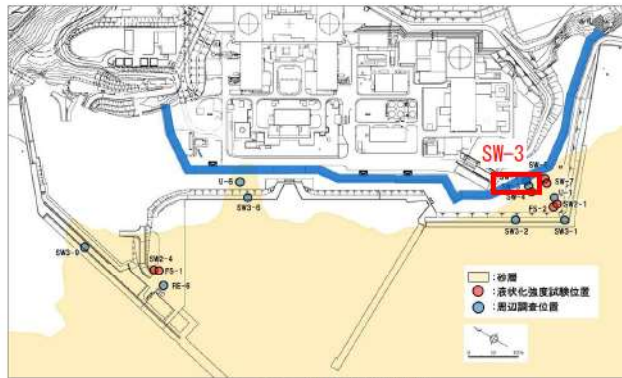
ボーリング平面位置図

SW-2 孔口標高 11.80m 掘進長 29.00m

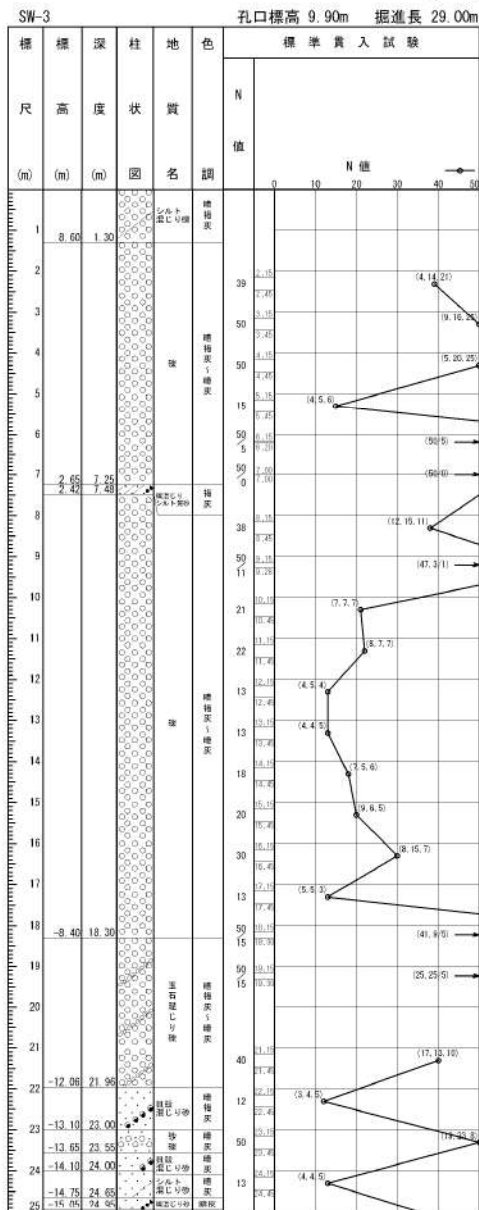
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	標準貫入試験	
						N 値	N 値
	-13.70	25.50		相模砂	41	0	0
26				火山灰凝灰質	50	10	10
27				灰土	50	20	20
28					50	30	30
29	-17.20	29.00			50	40	40



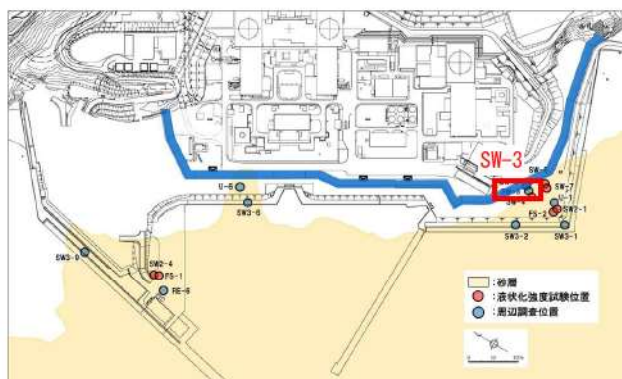
添付 1-43 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-2)



ボーリング平面位置図



添付 1-44 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-3)



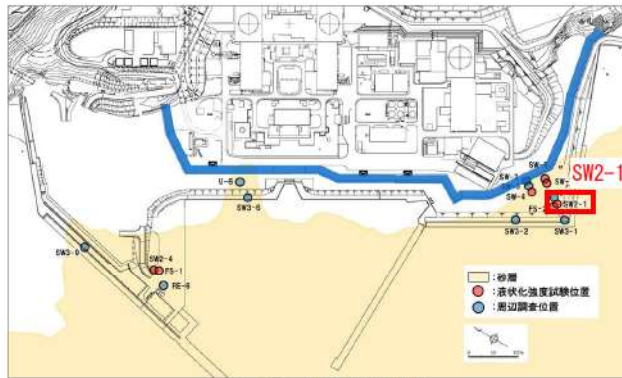
ボーリング平面位置図

SW-3 孔口標高 9.90m 掘進長 29.00m

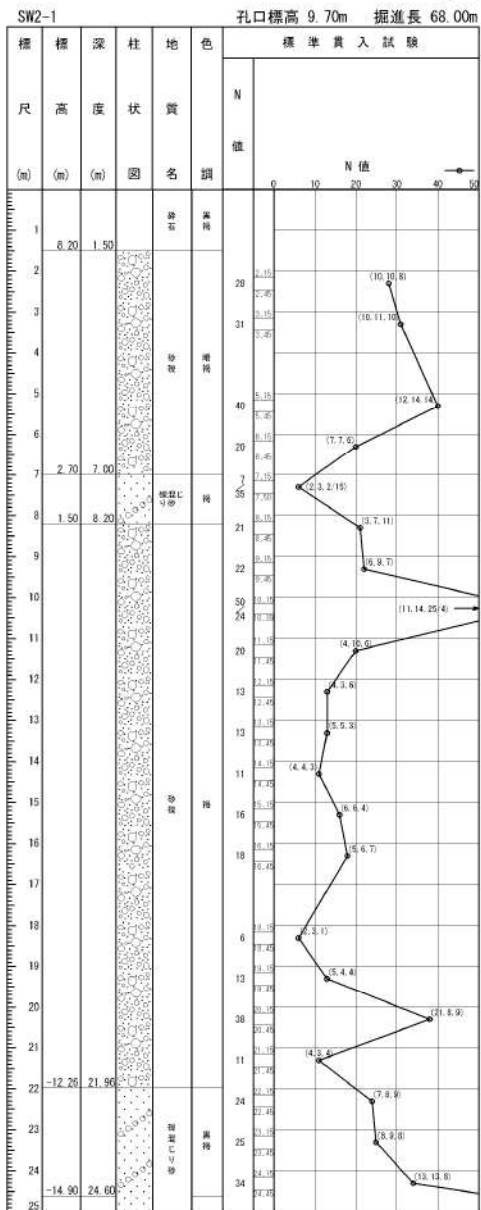
標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状	地質	色調	標準貫入試験		
						N 値	N 値	
						45	37.4	
26	-16.65	26.55	青灰色硬火山灰凝灰層	噴灰				
27								
28	-18.19	28.00						
29	-19.10	29.00						



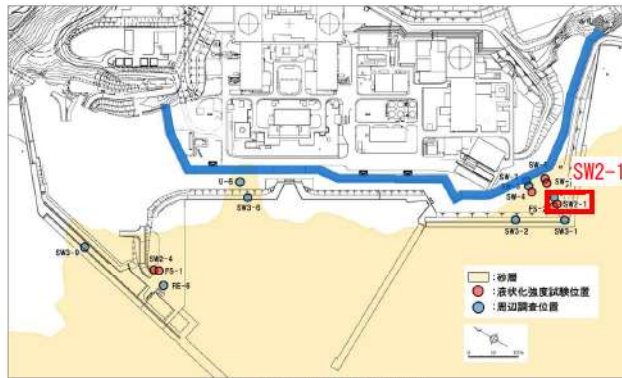
添付 1-44 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-3)



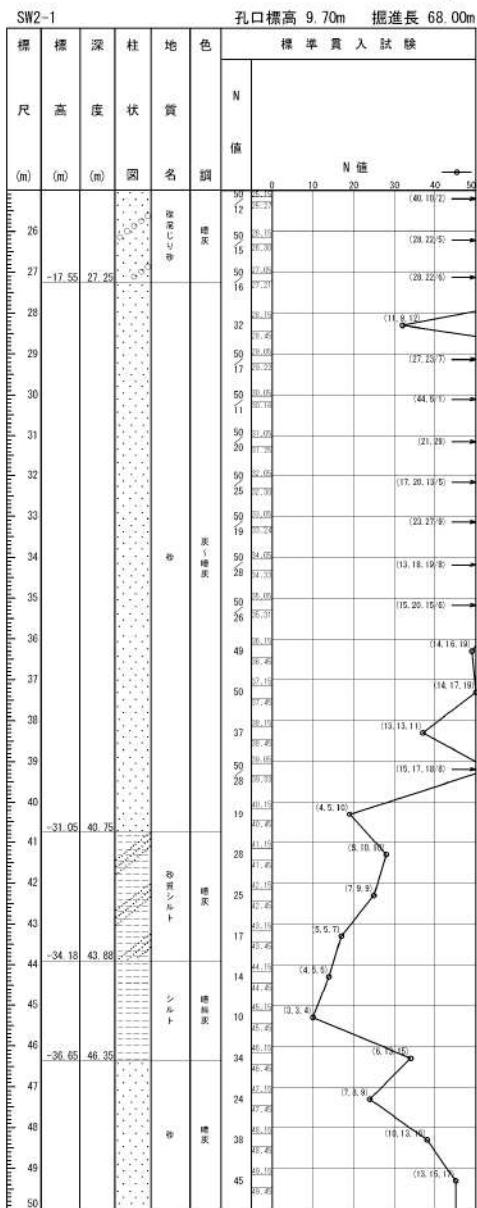
ボーリング平面位置図



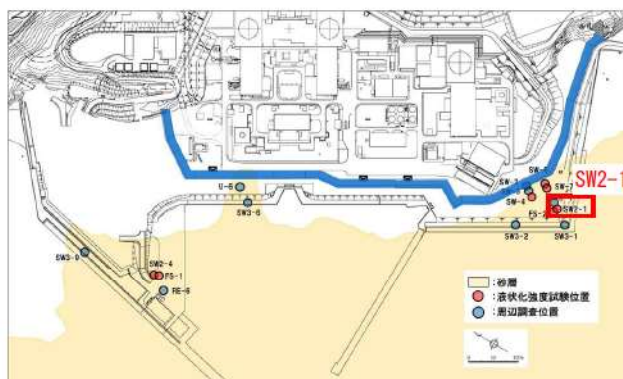
添付 1-45 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-1)



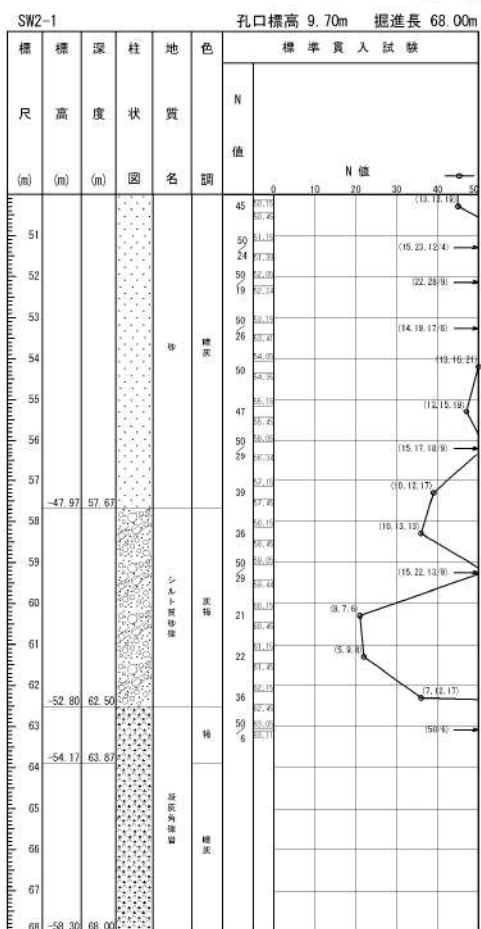
ボーリング平面位置図



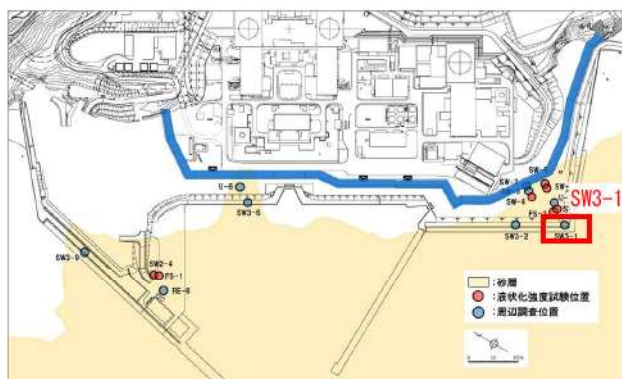
添付 1-45 図 (2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-1)



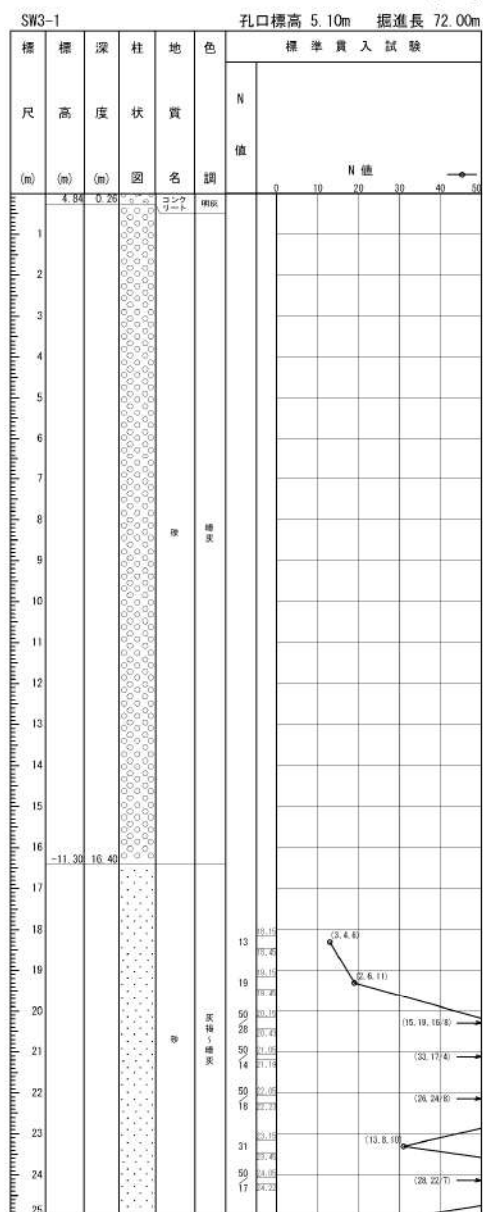
ボーリング平面位置図



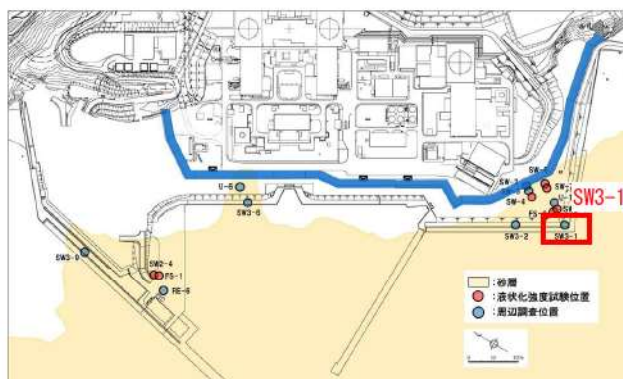
添付 1-45 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-1)



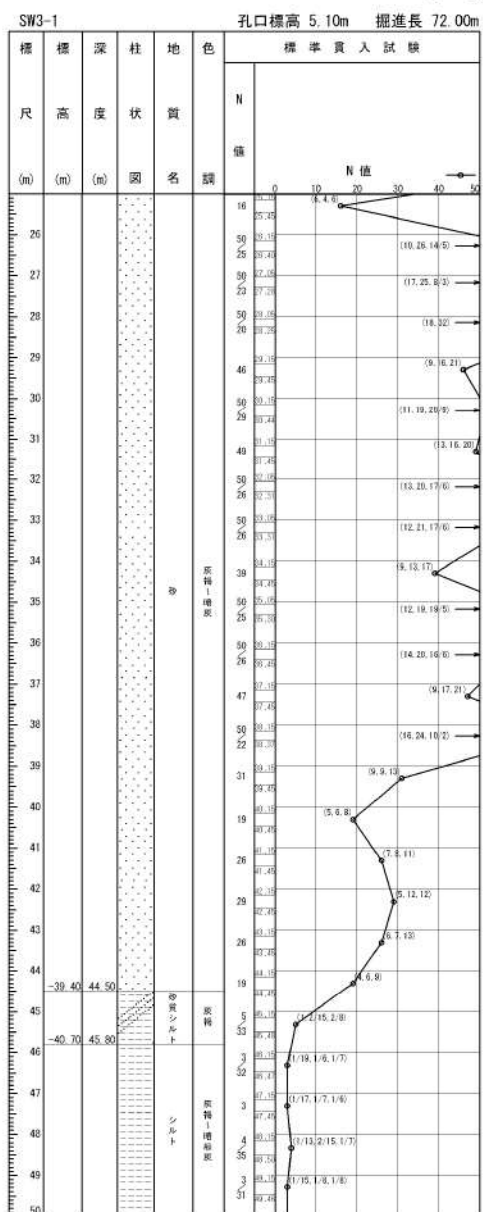
ボーリング平面位置図



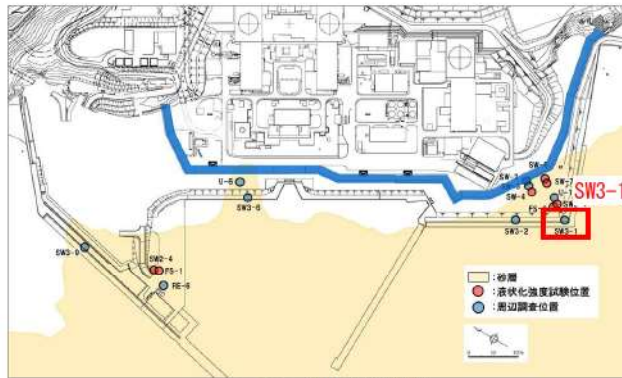
添付 1-46 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-1)



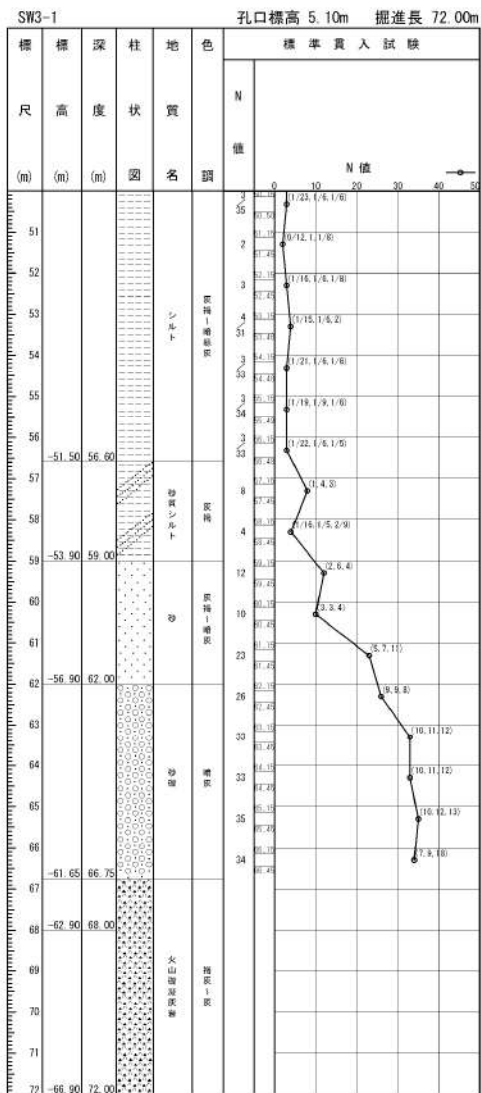
ボーリング平面位置図



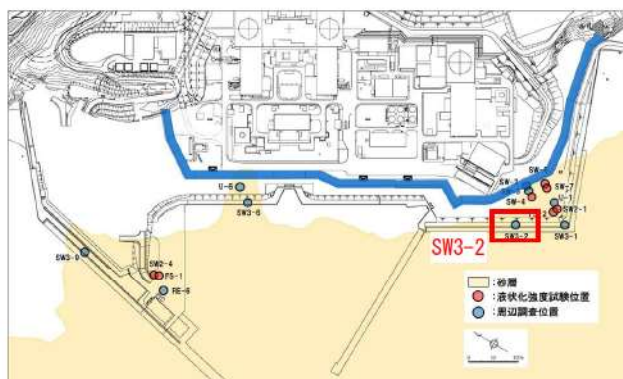
添付 1-46 図 (2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-1)



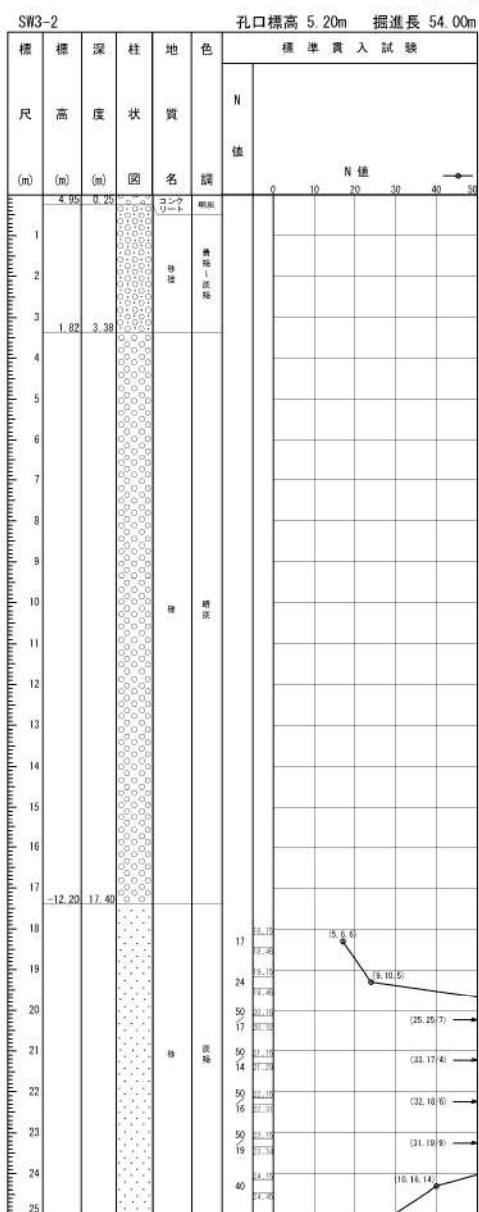
ボーリング平面位置図



添付 1-46 図 (3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-1)



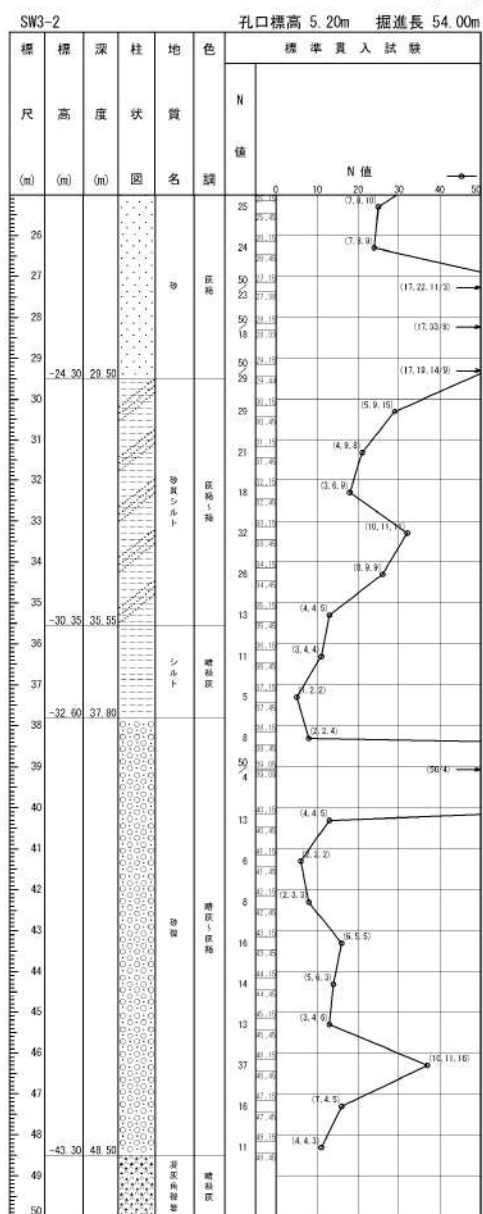
ボーリング平面位置図



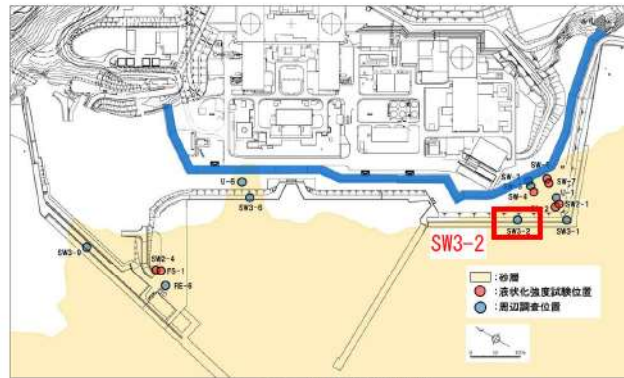
添付 1-47 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-2)



ボーリング平面位置図



添付 1-47 図 (2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-2)



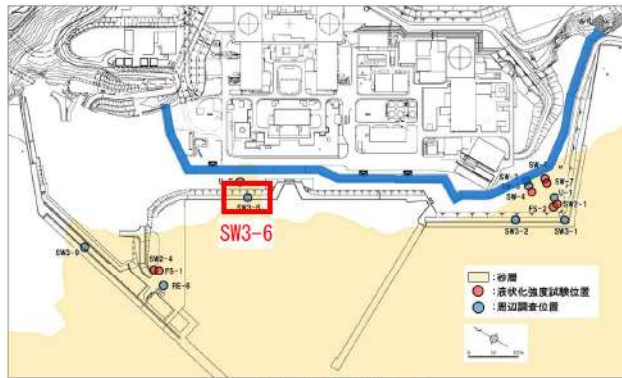
ボーリング平面位置図

SW3-2 孔口標高 5.20m 掘進長 54.00m

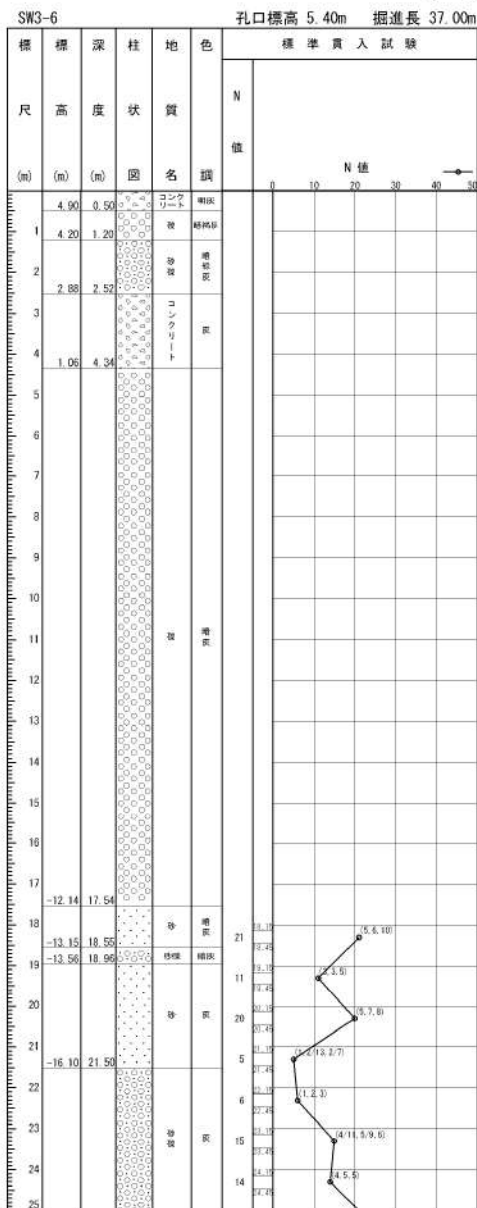
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	地色調	標準貫入試験	
						N 値	備
51			[Pattern: Sand]	堆積灰土 埋戻り層	灰緑		
52	-46.80	52.00					
53							
54	-48.80	54.00					



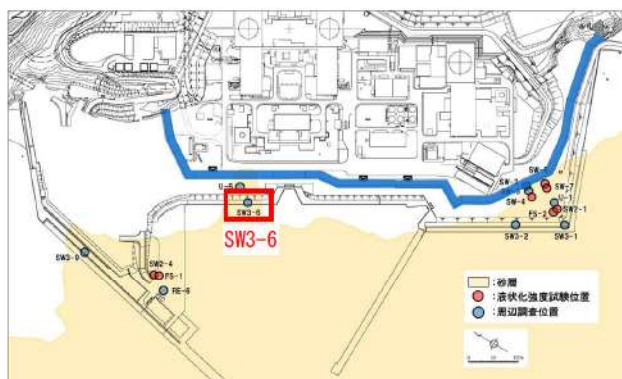
添付 1-47 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-2)



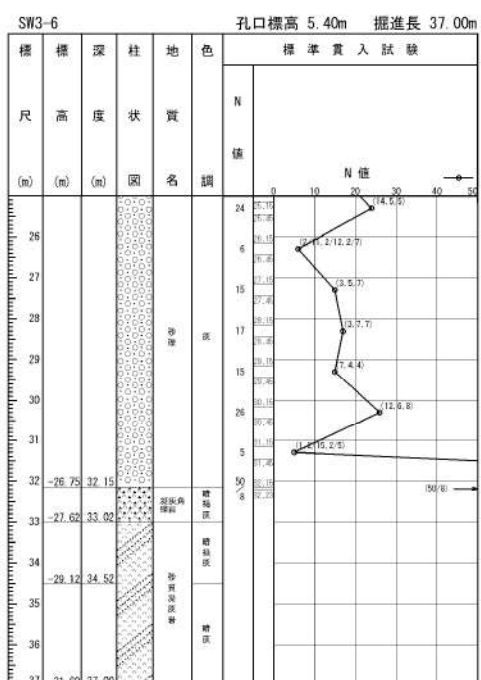
ボーリング平面位置図



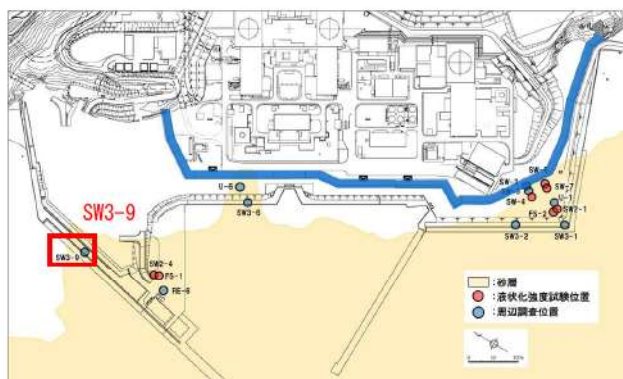
添付 1-48 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-6)



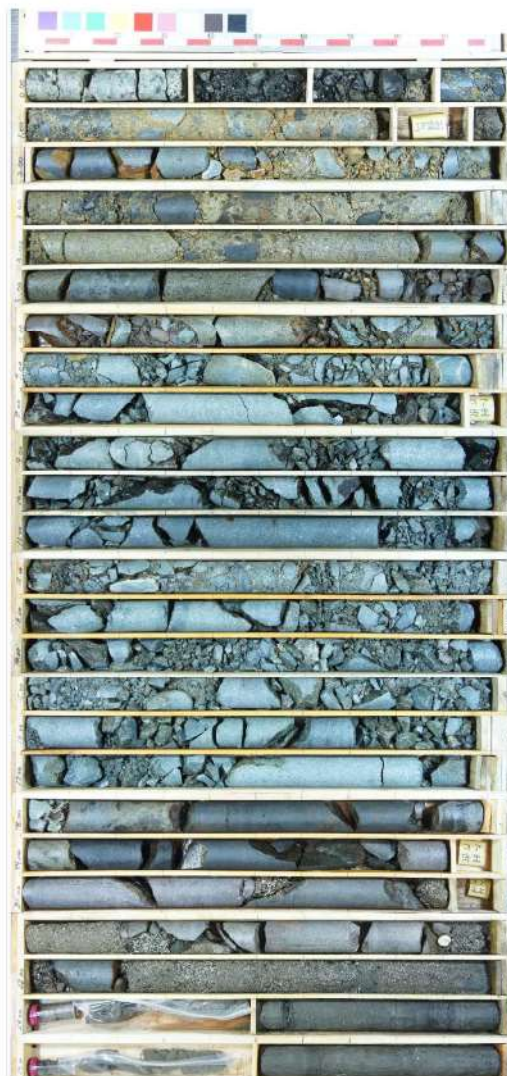
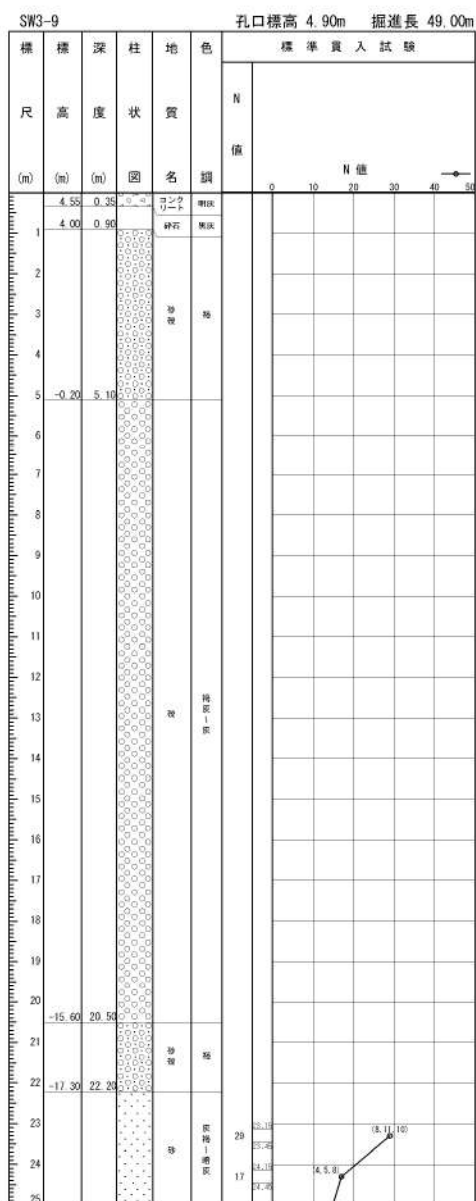
ボーリング平面位置図



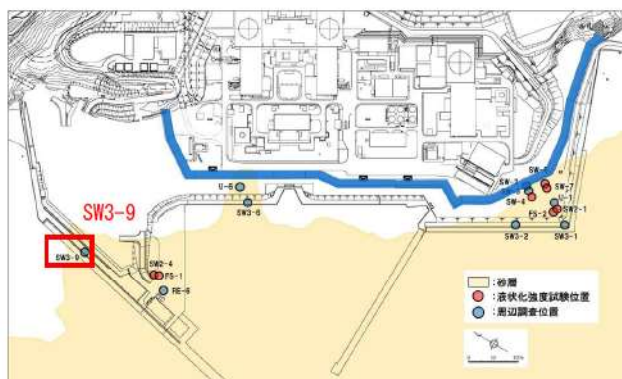
添付 1-48 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-6)



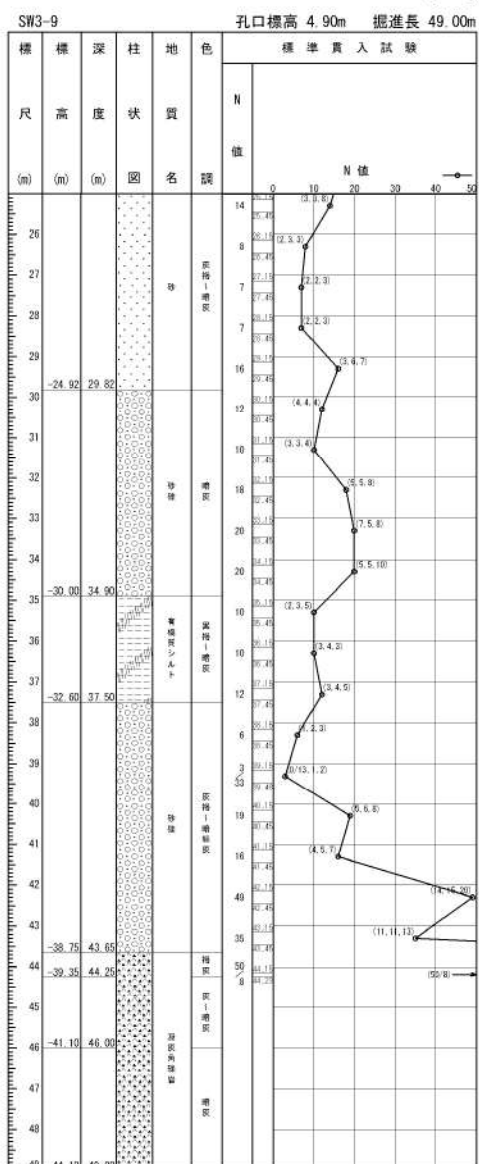
ボーリング平面位置図



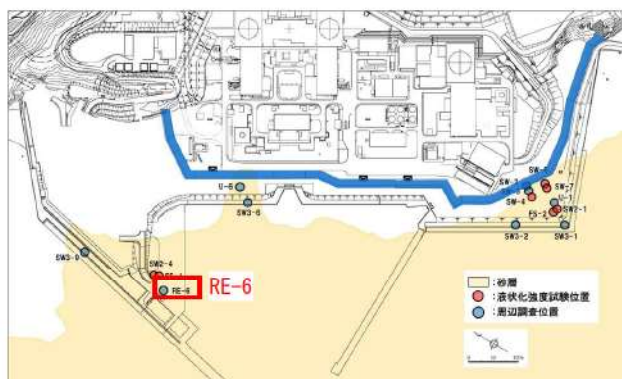
添付 1-49 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-9)



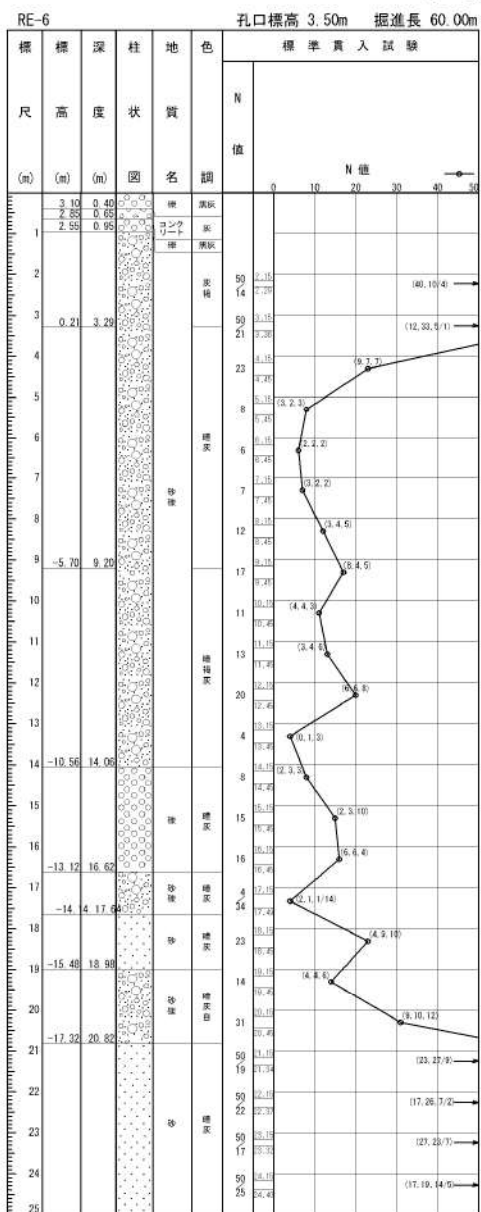
ボーリング平面位置図



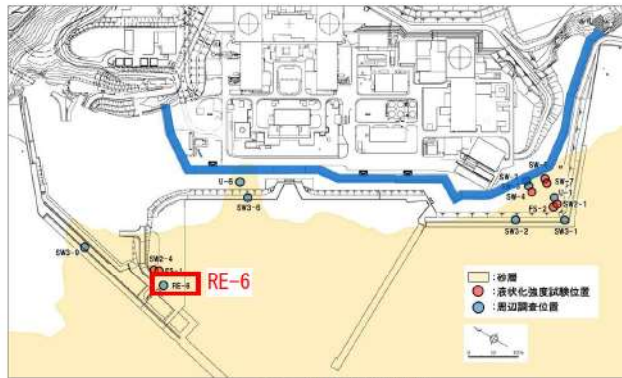
添付 1-49 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-9)



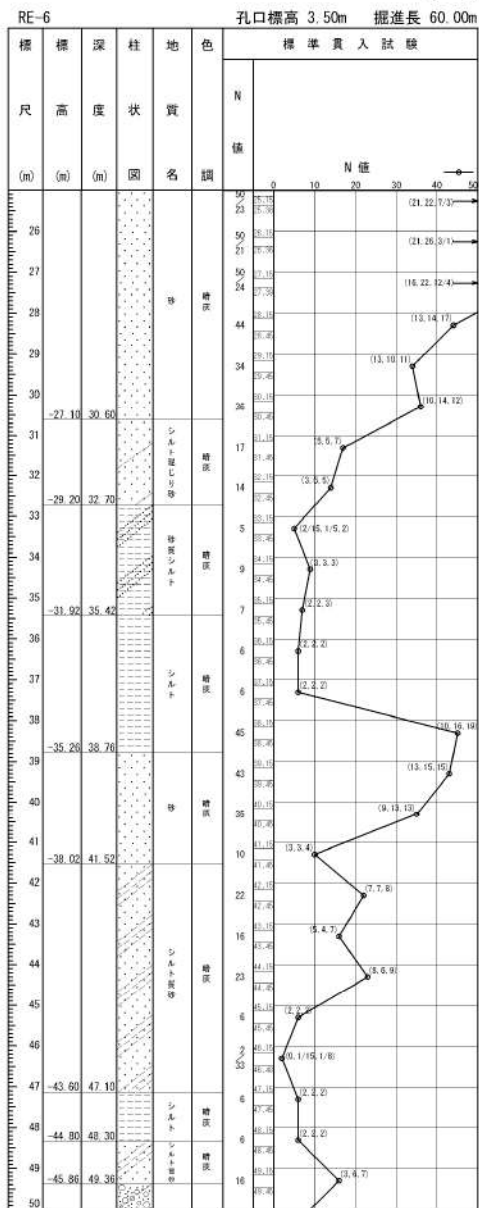
ボーリング平面位置図



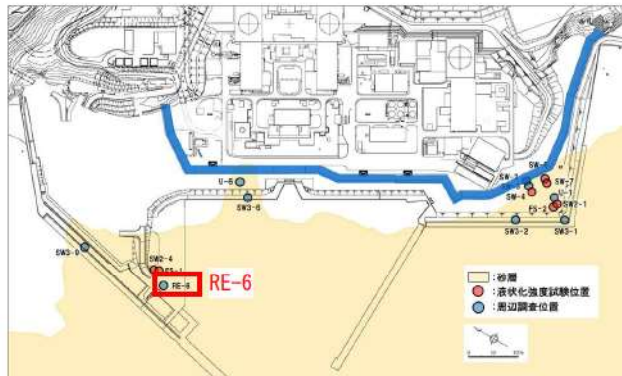
添付 1-50 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (RE-6)



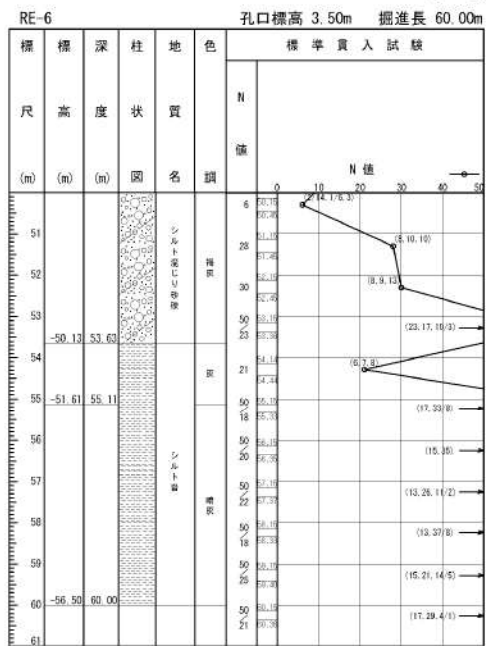
ボーリング平面位置図



添付 1-50 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (RE-6)



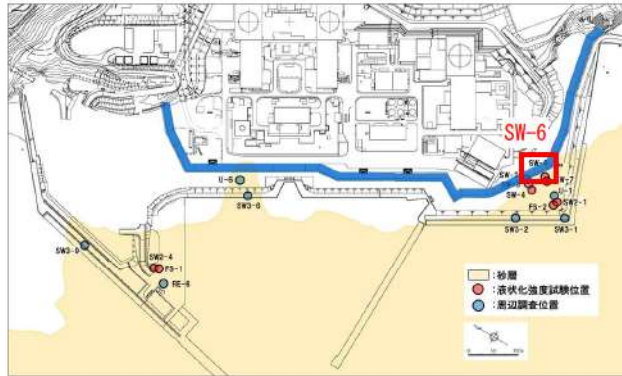
ボーリング平面位置図



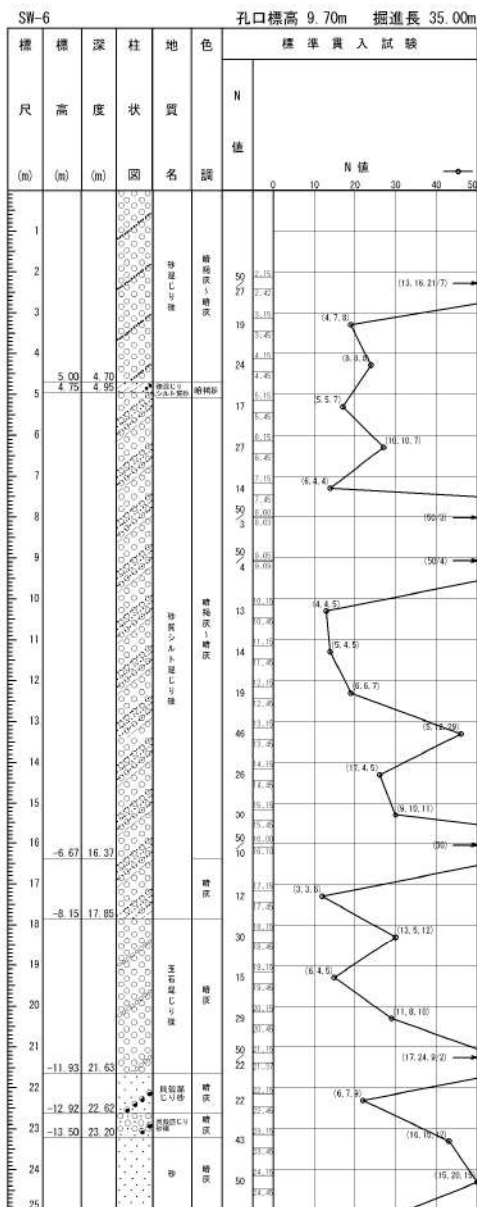
添付 1-50 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (RE-6)

1. 埋戻土・砂層のボーリング柱状図・コア写真

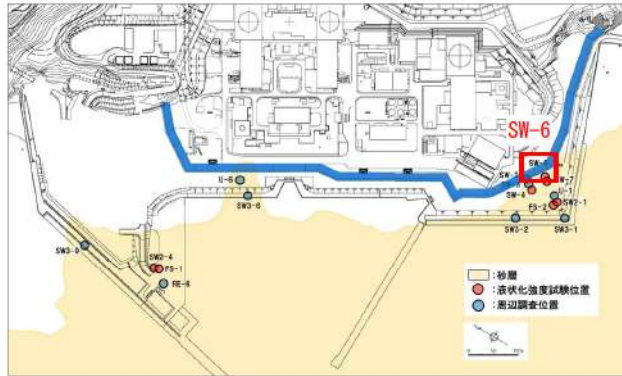
(4) As2 層のボーリング柱状図・コア写真



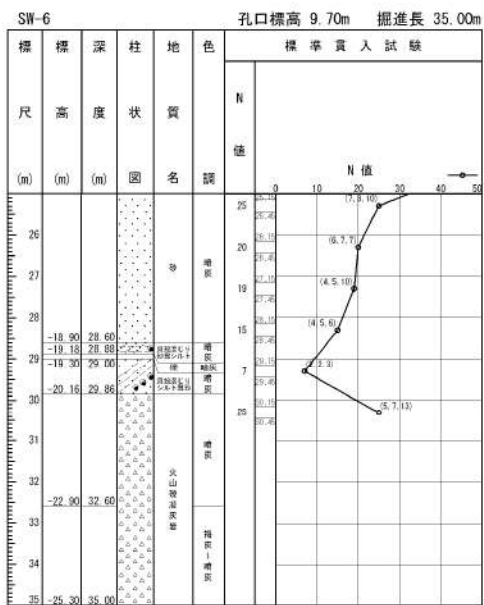
ボーリング平面位置図



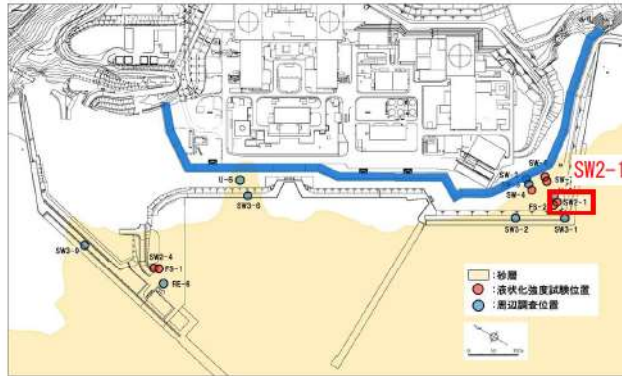
添付 1-51 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-6)



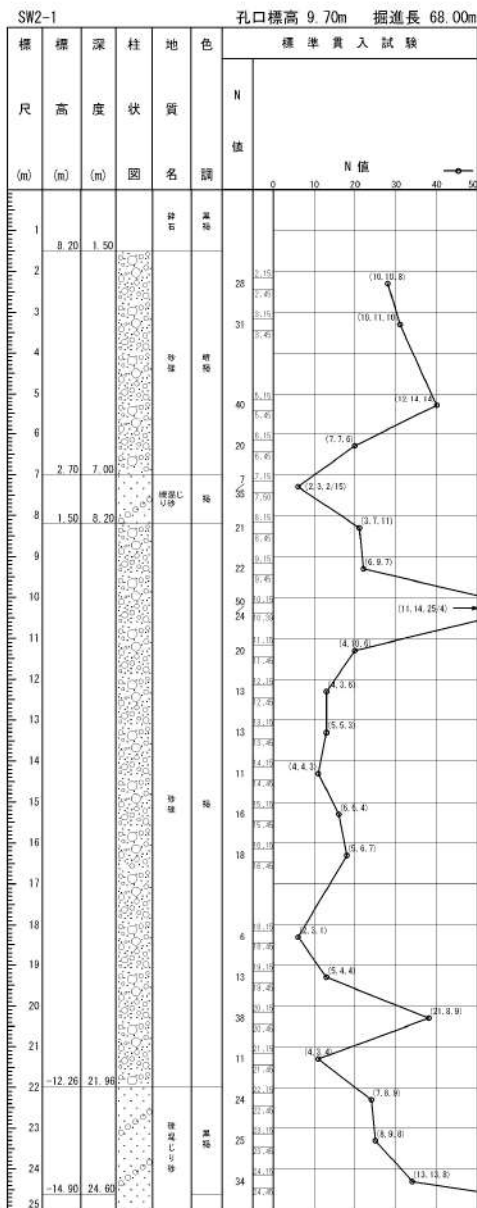
ボーリング平面位置図



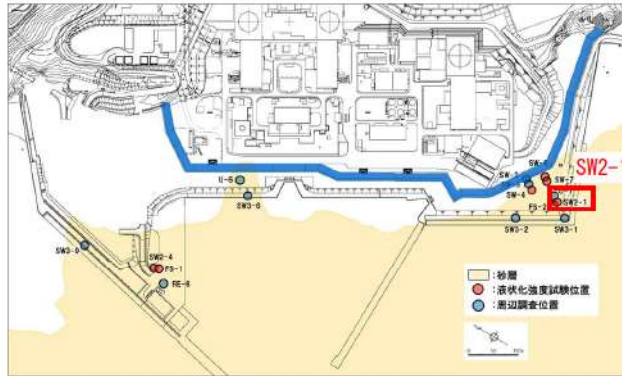
添付 1-51 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-6)



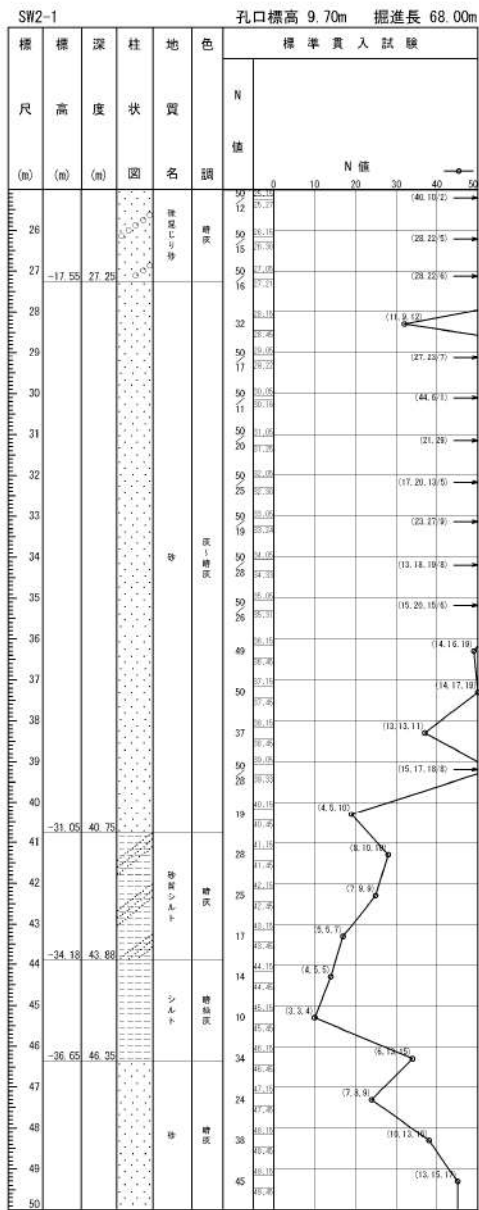
ボーリング平面位置図



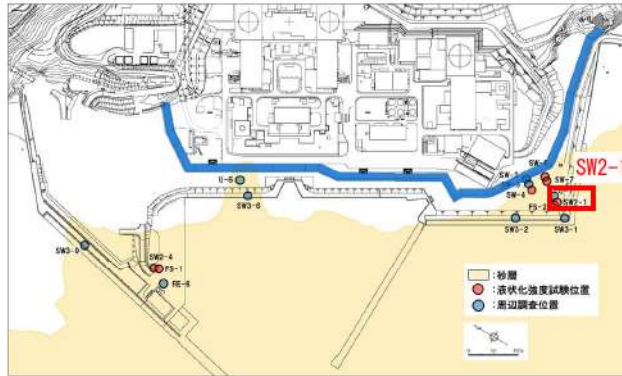
添付 1-52 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-1)



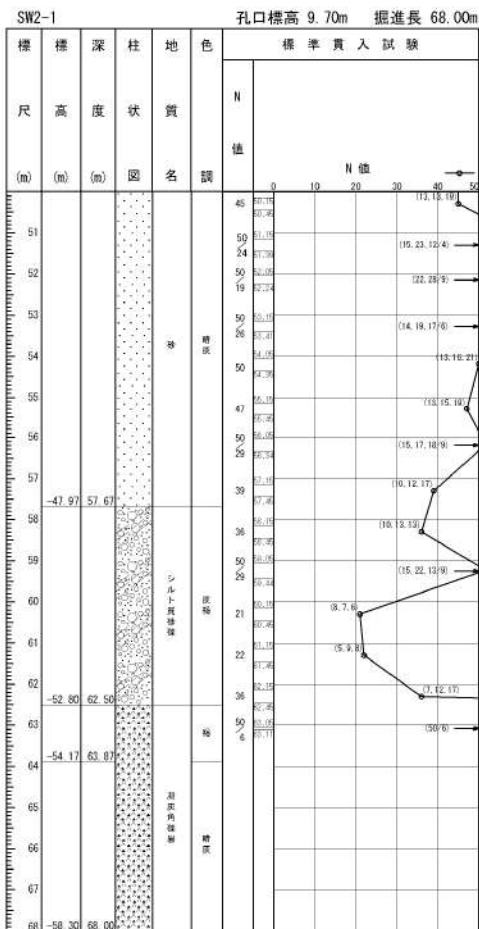
ボーリング平面位置図



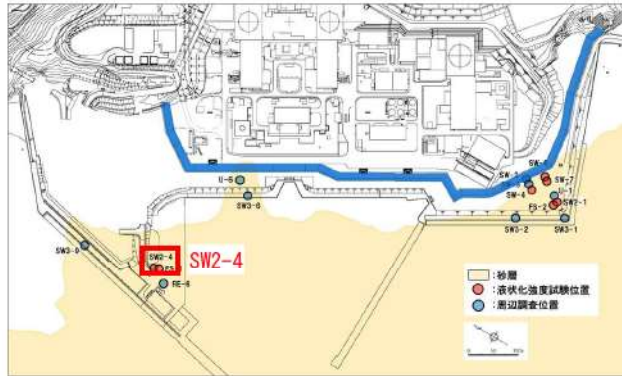
添付 1-52 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-1)



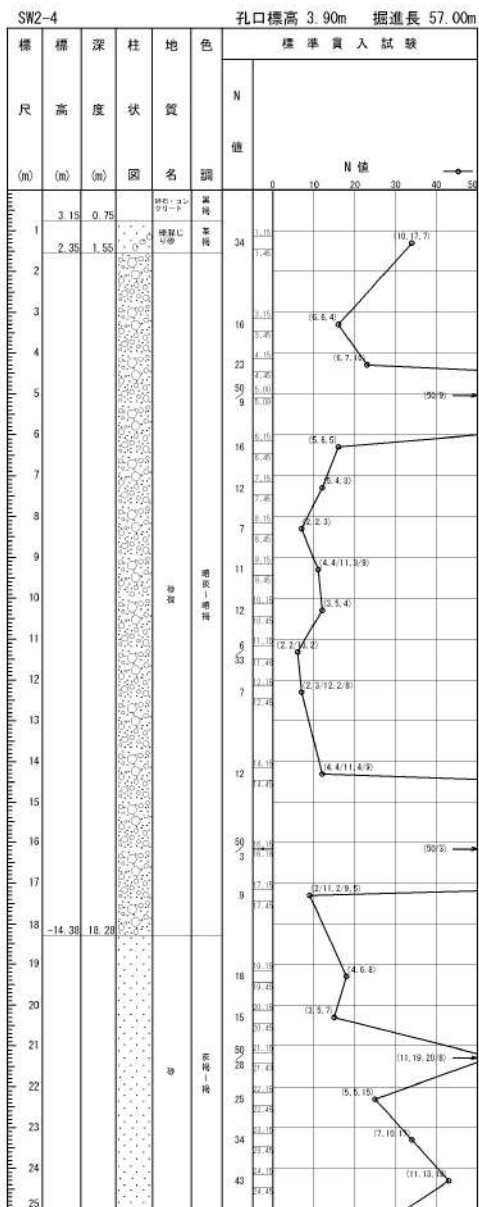
ボーリング平面位置図



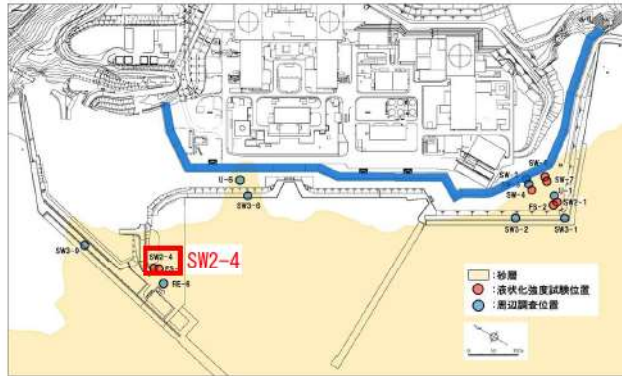
添付 1-52 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-1)



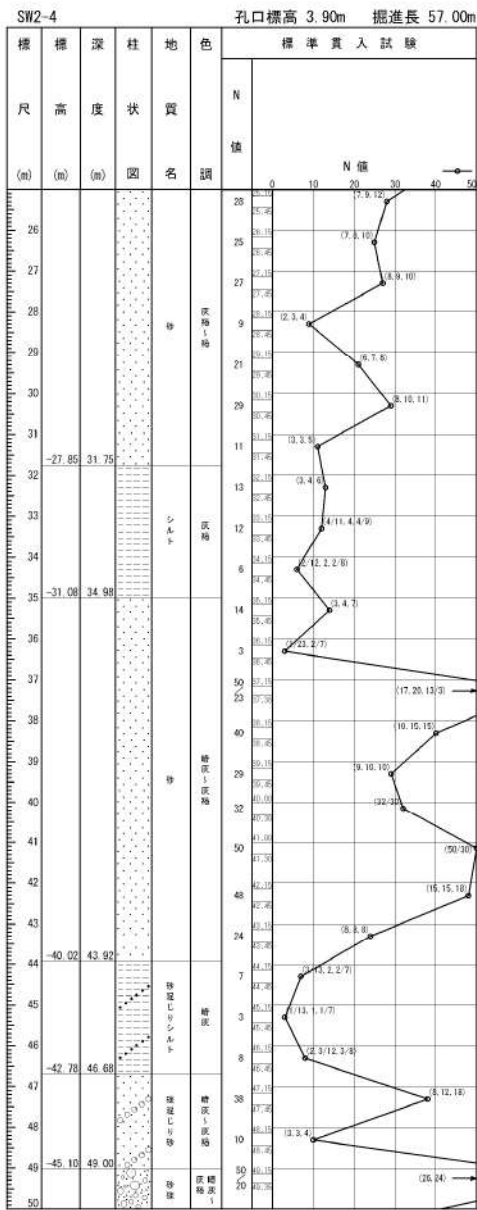
ボーリング平面位置図



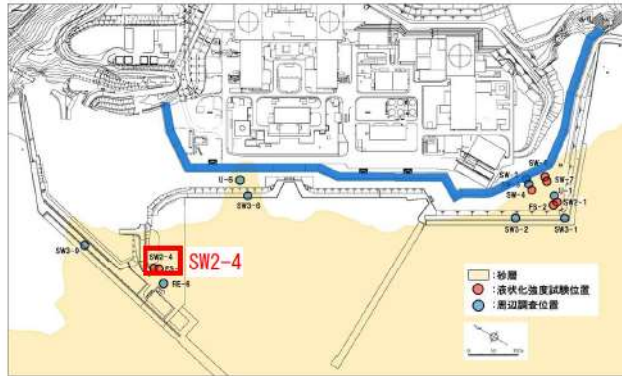
添付 1-53 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-4)



ボーリング平面位置図



添付 1-53 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-4)



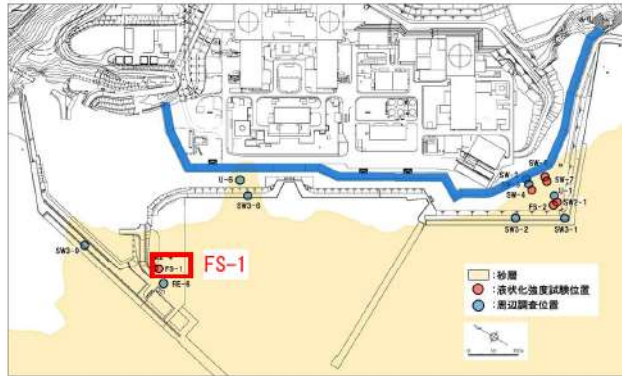
ボーリング平面位置図

SW2-4 孔口標高 3.90m 掘進長 57.00m

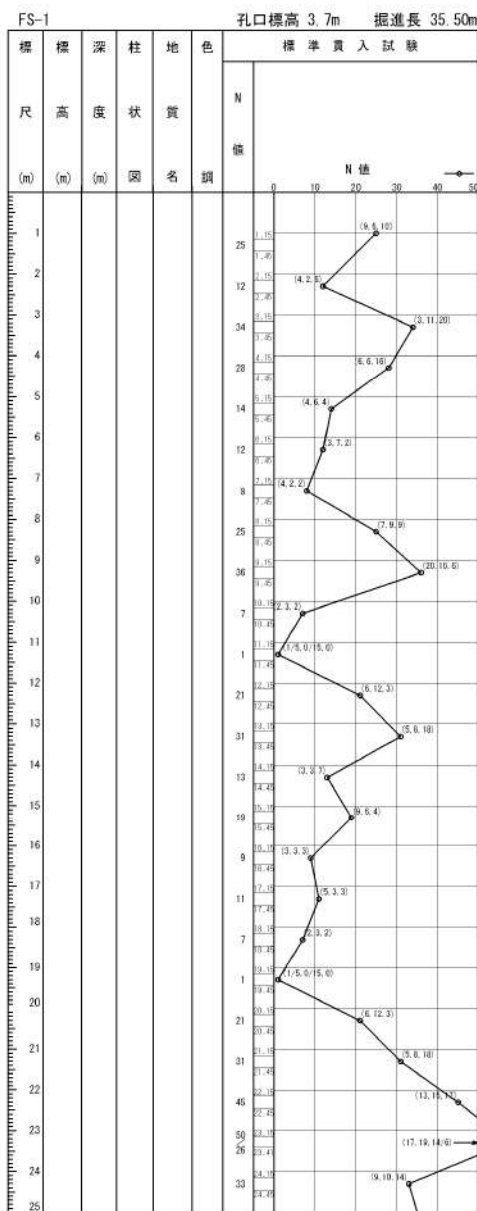
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状 (m)	地質 (m)	色調	標準貫入試験	
						N 値	N 値
51				砂	黄	28	9.4/12
52	-48.31	52.21		砂	黄	13	(35.15/2)
53	-49.10	53.00		砂	黄	12	(42.8/2)
54				砂	黄		
55	-50.85	54.75		砂	黄		
56				砂	黄		
57	-53.10	57.00		砂	黄		



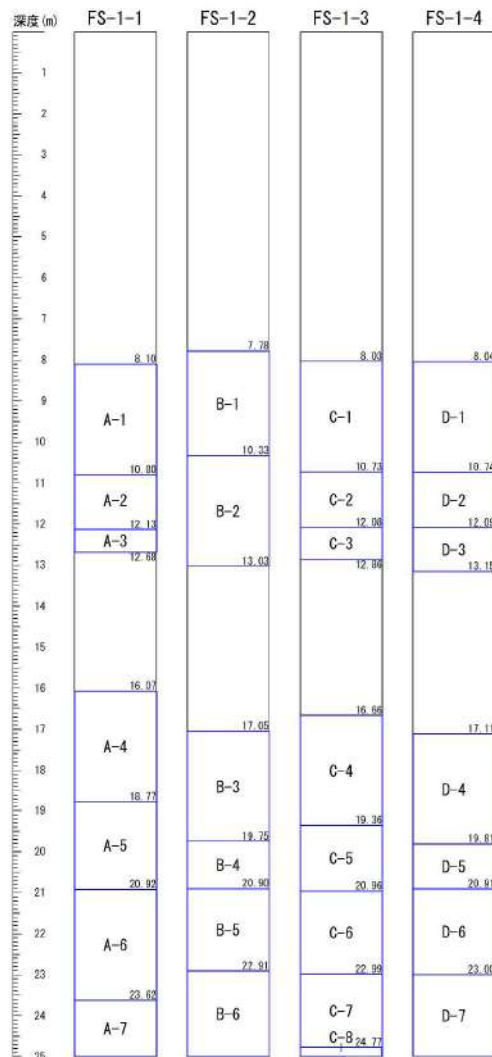
添付 1-53 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW2-4)



ボーリング平面位置図

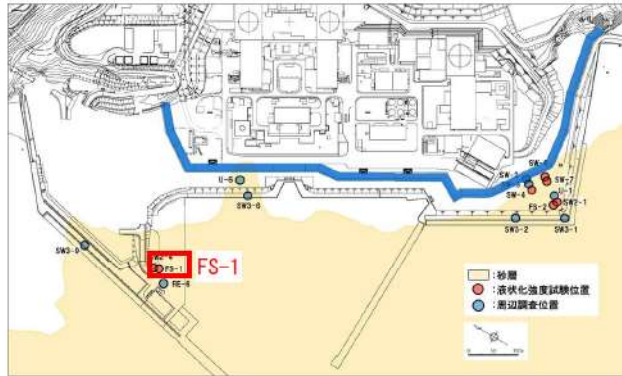


※FS-1 は標準貫入試験のみ実施

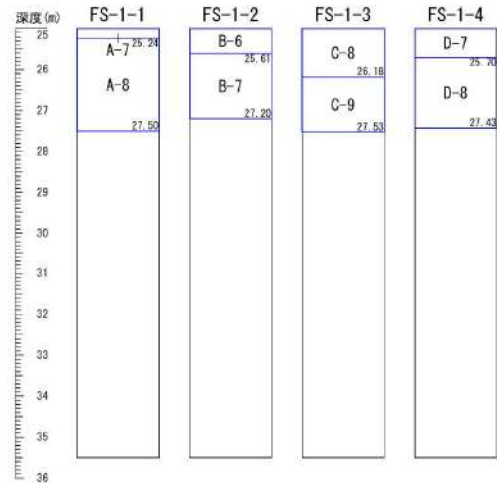
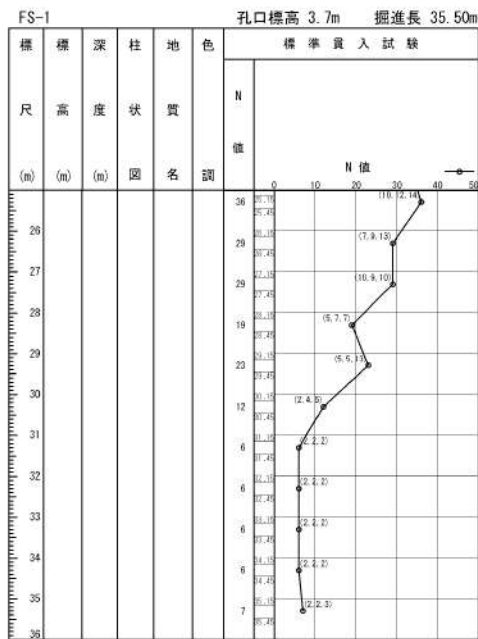


□ : サンプル位置

添付 1-54 図(1/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



ボーリング平面位置図



※FS-1 は標準貫入試験のみ実施

□ : サンプル位置

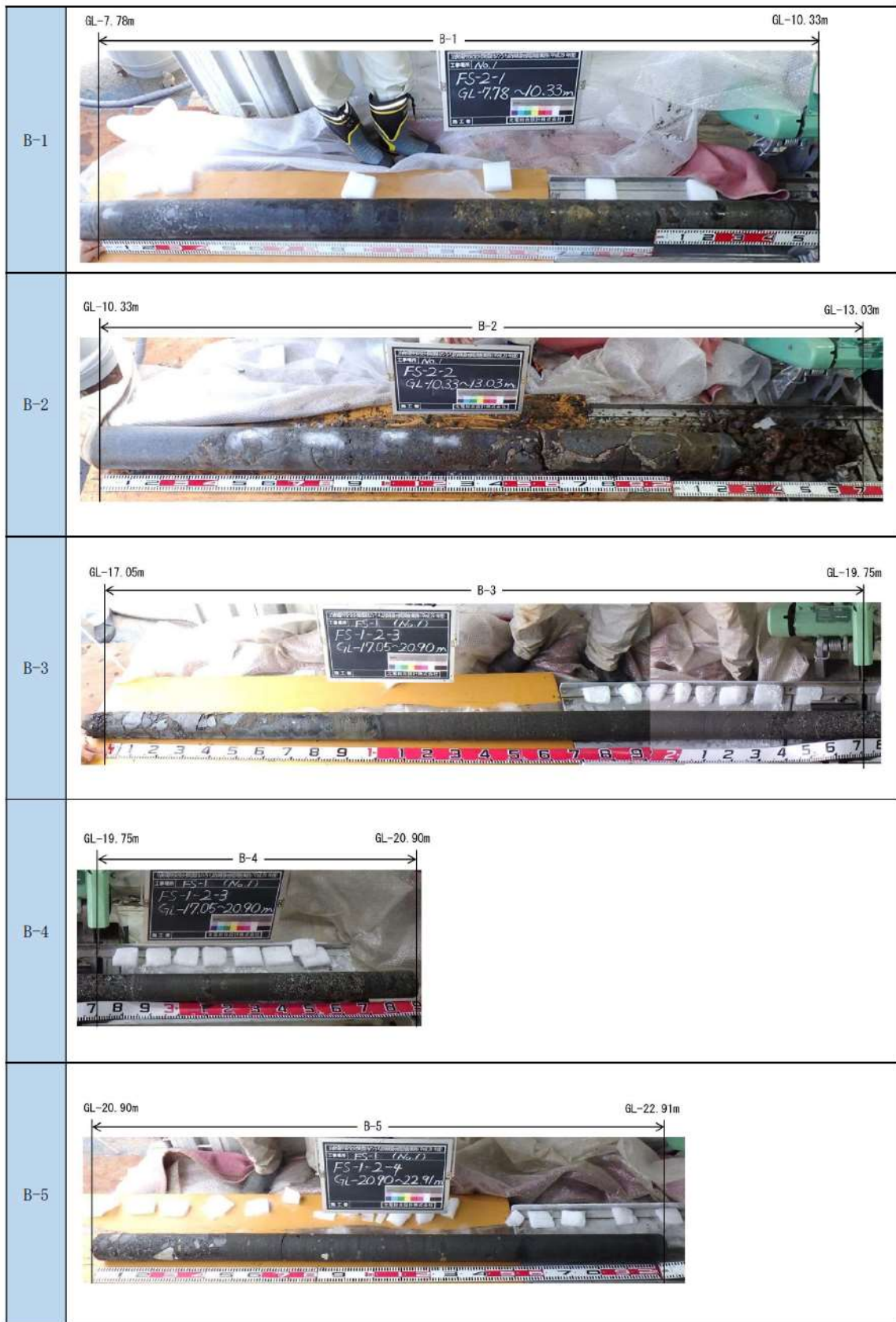
添付 1-54 図(2/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



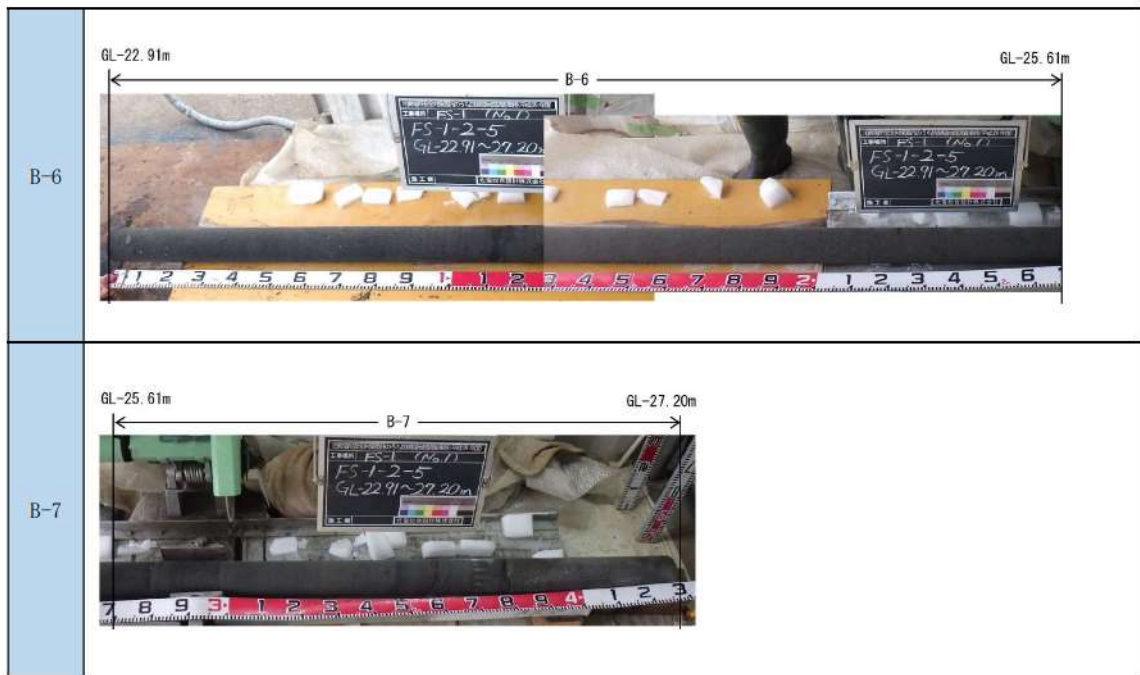
添付 1-54 図(3/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



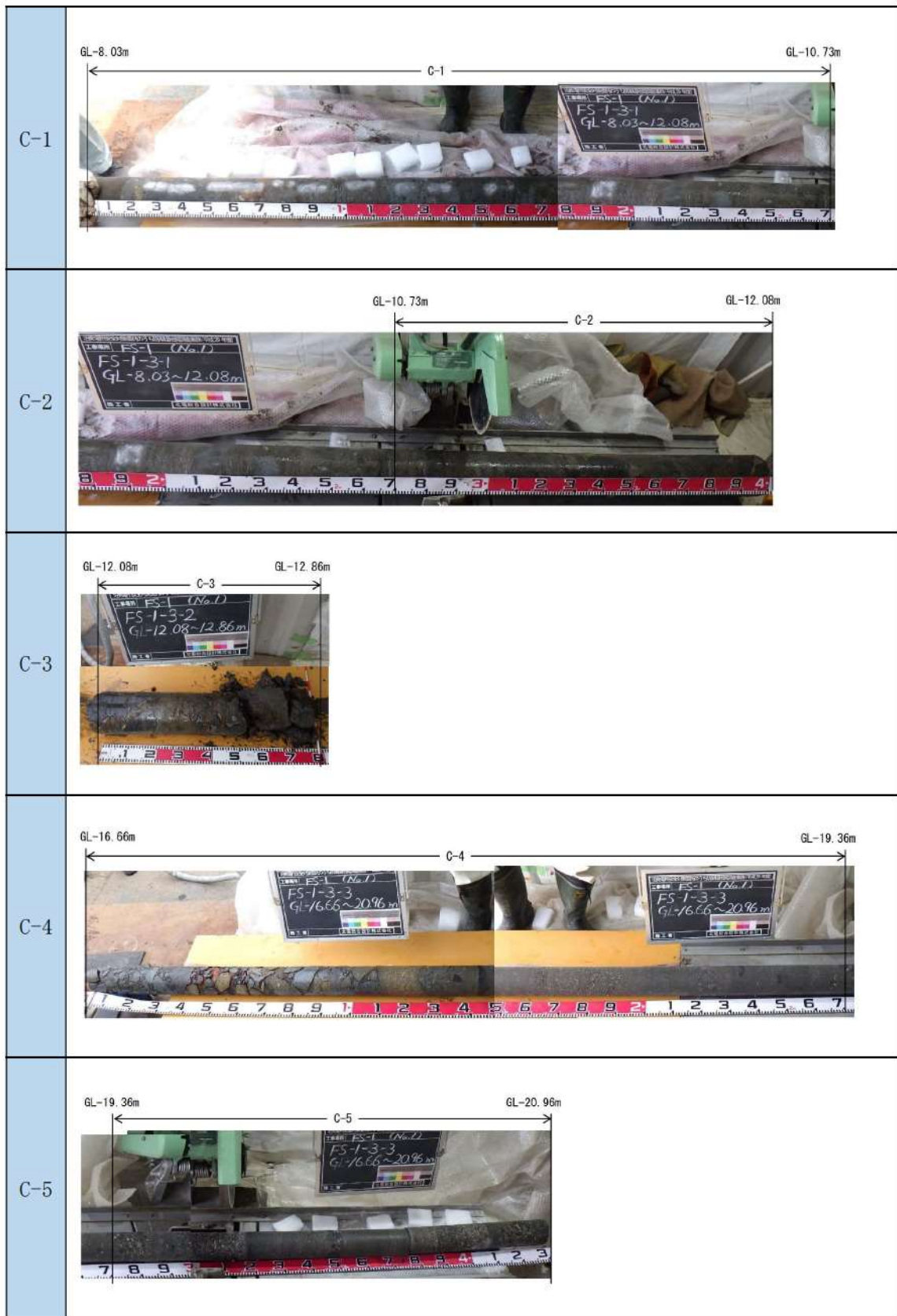
添付 1-54 図(4/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



添付 1-54 図(5/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



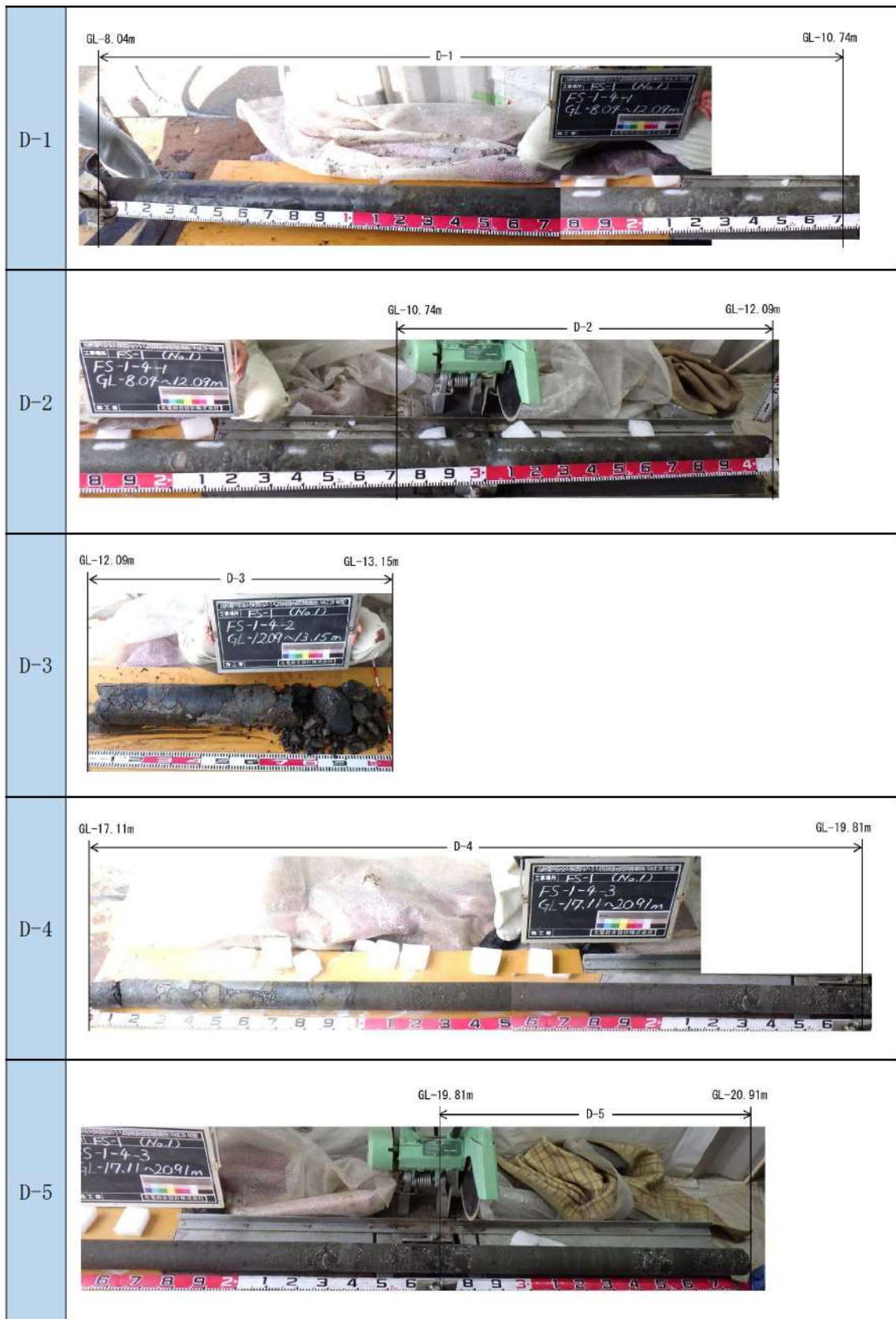
添付 1-54 図(6/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



添付 1-54 図(7/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)

C-6	
C-7	
C-8	
C-9	

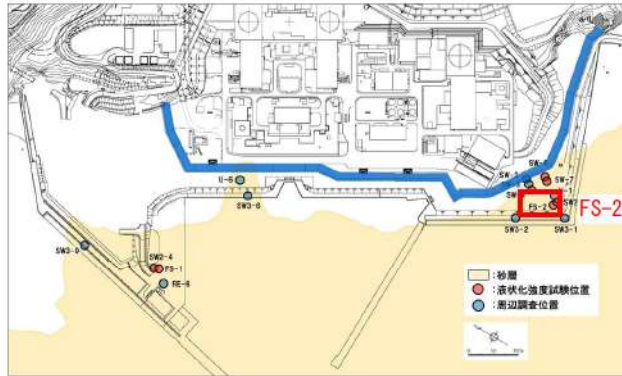
添付 1-54 図(8/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



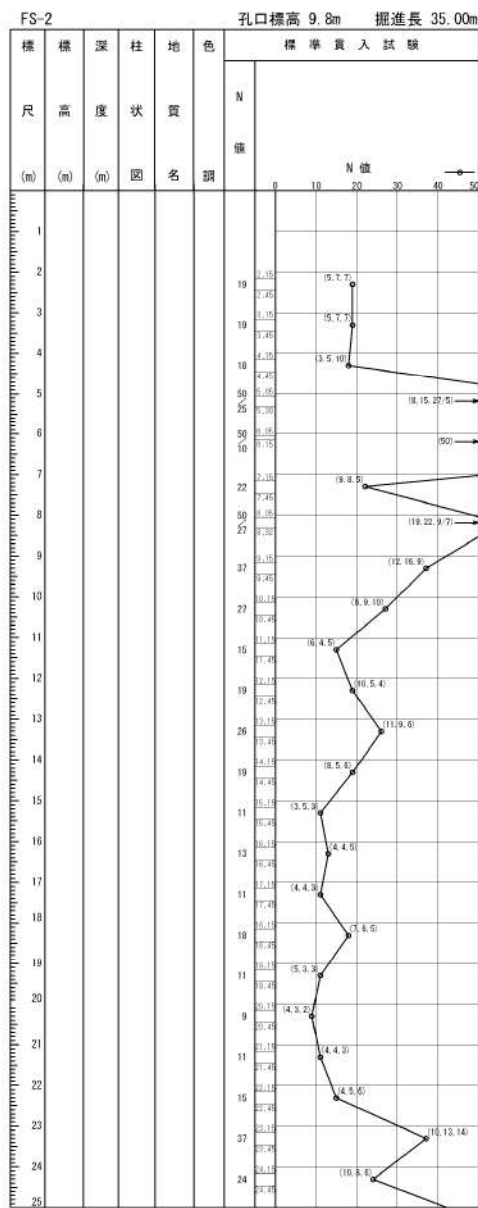
添付 1-54 図(9/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



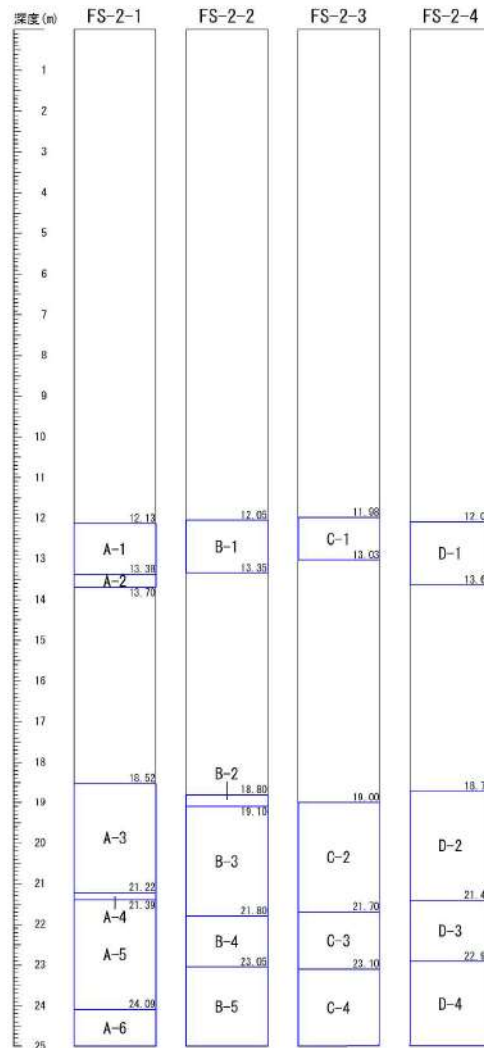
添付 1-54 図(10/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-1)



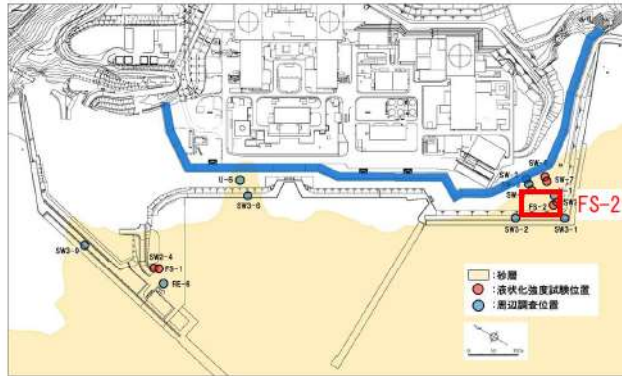
ボーリング平面位置図



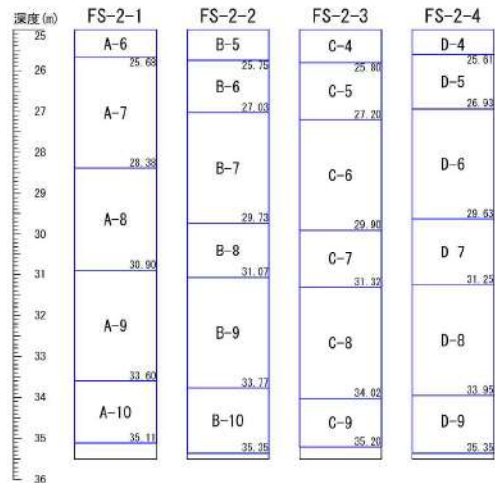
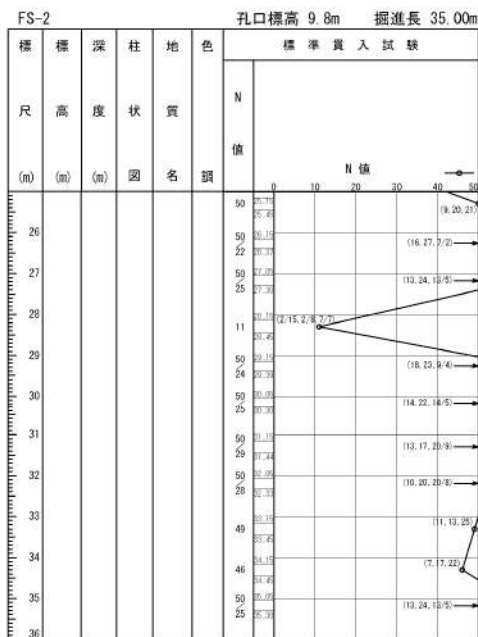
※FS-2 は標準貫入試験のみ実施



添付 1-55 図(1/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



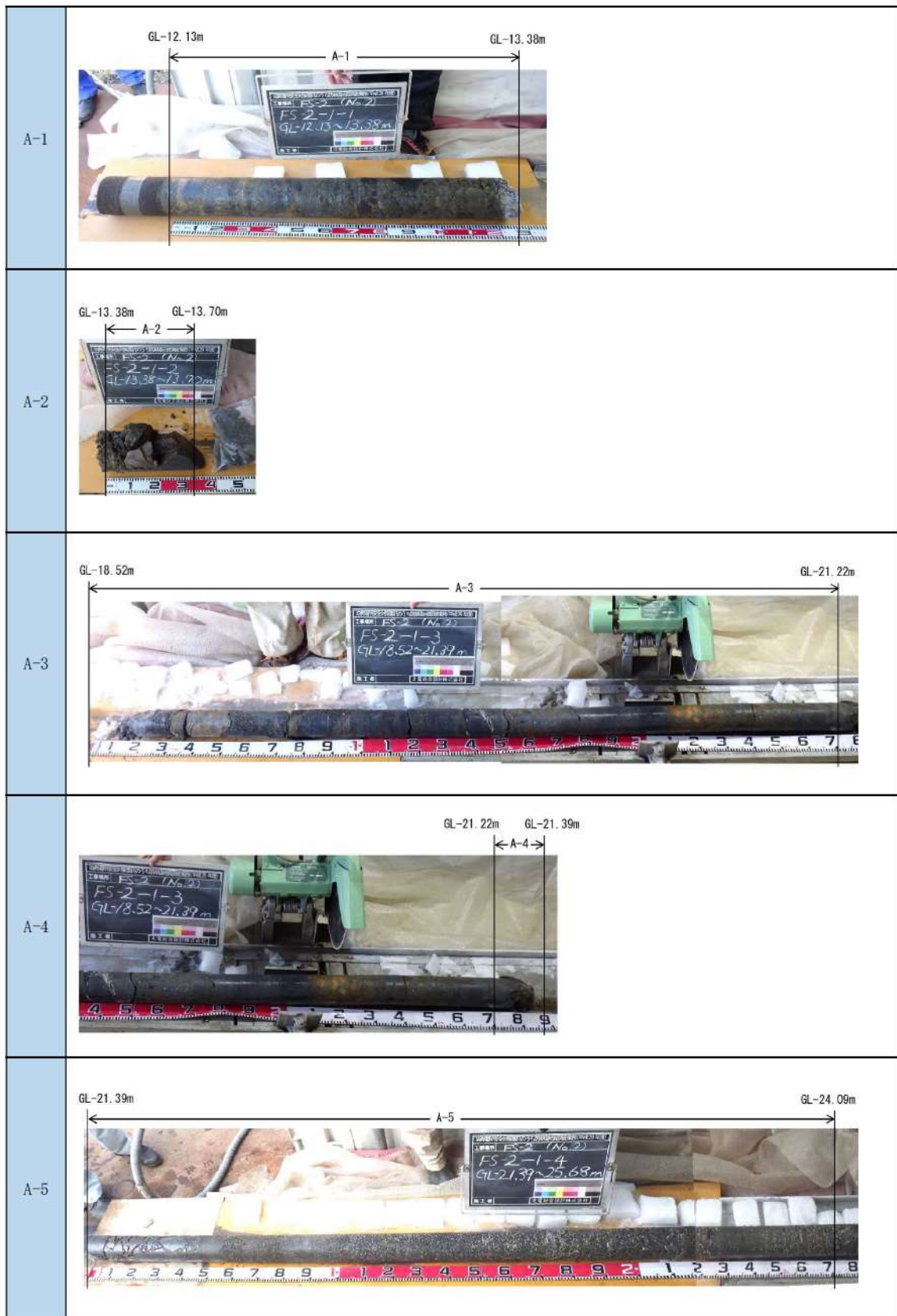
ボーリング平面位置図



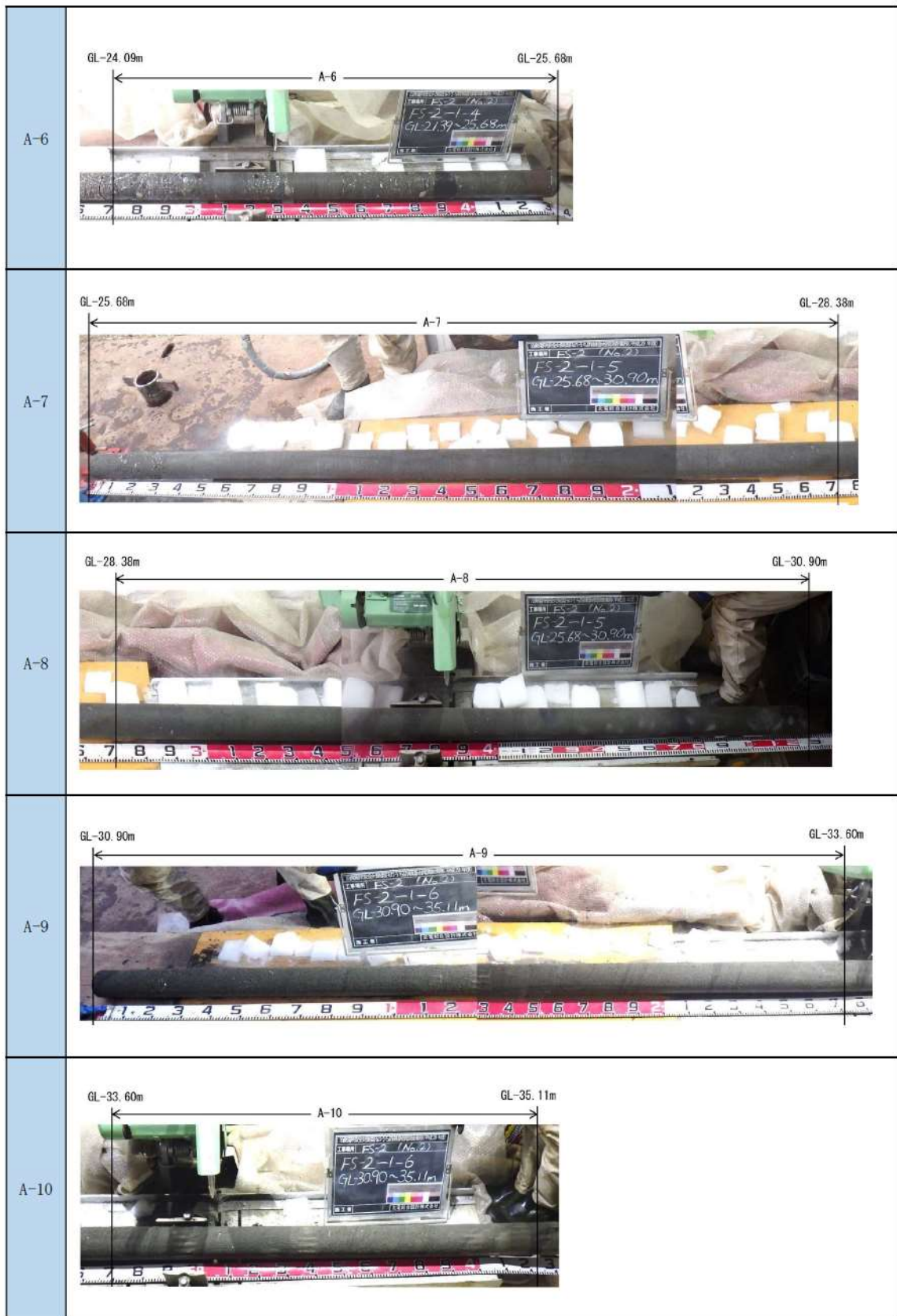
※FS-2 は標準貫入試験のみ実施

□ : サンプル位置

添付 1-55 図(2/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



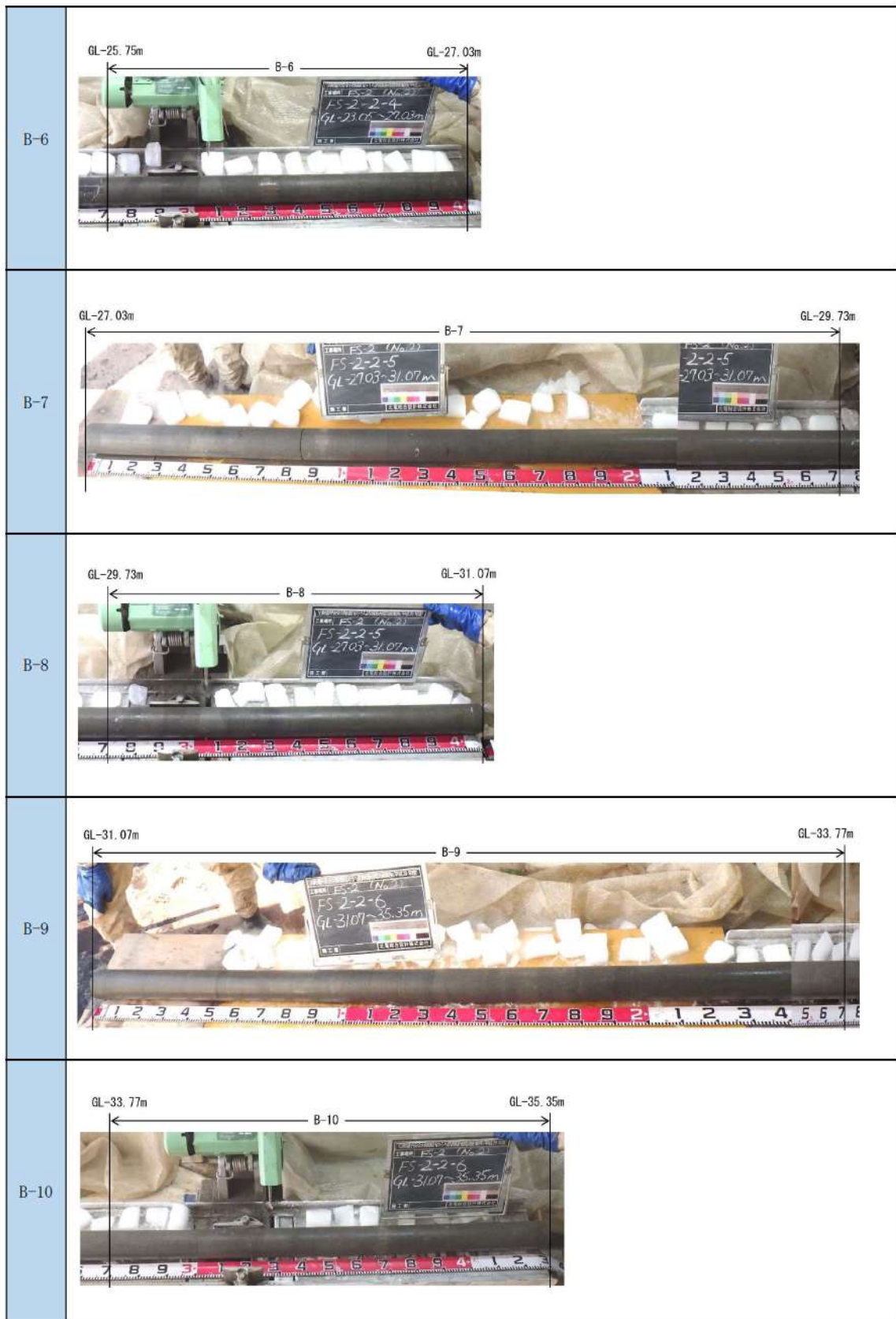
添付 1-55 図(3/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



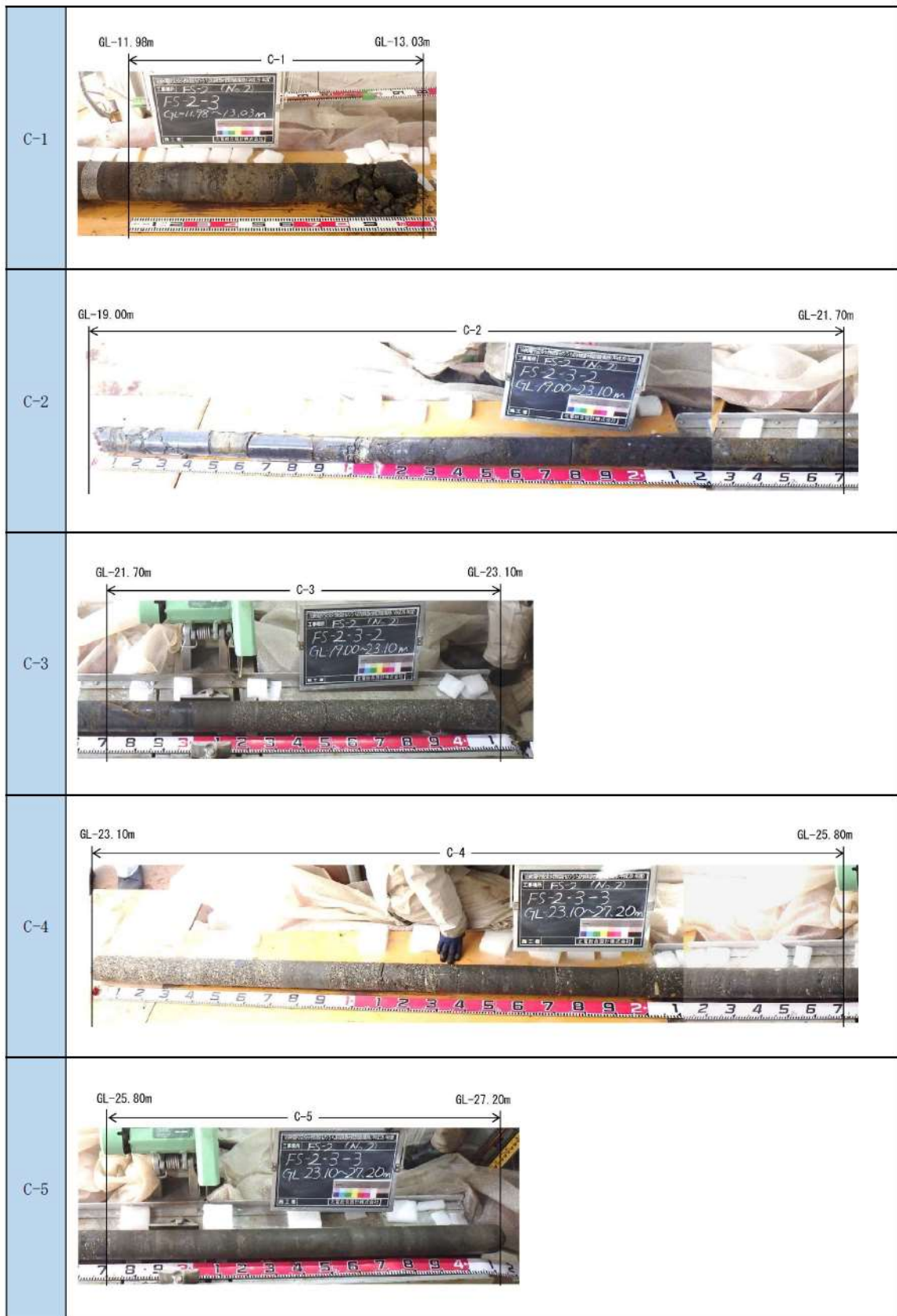
添付 1-55 図(4/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



添付 1-55 図(5/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



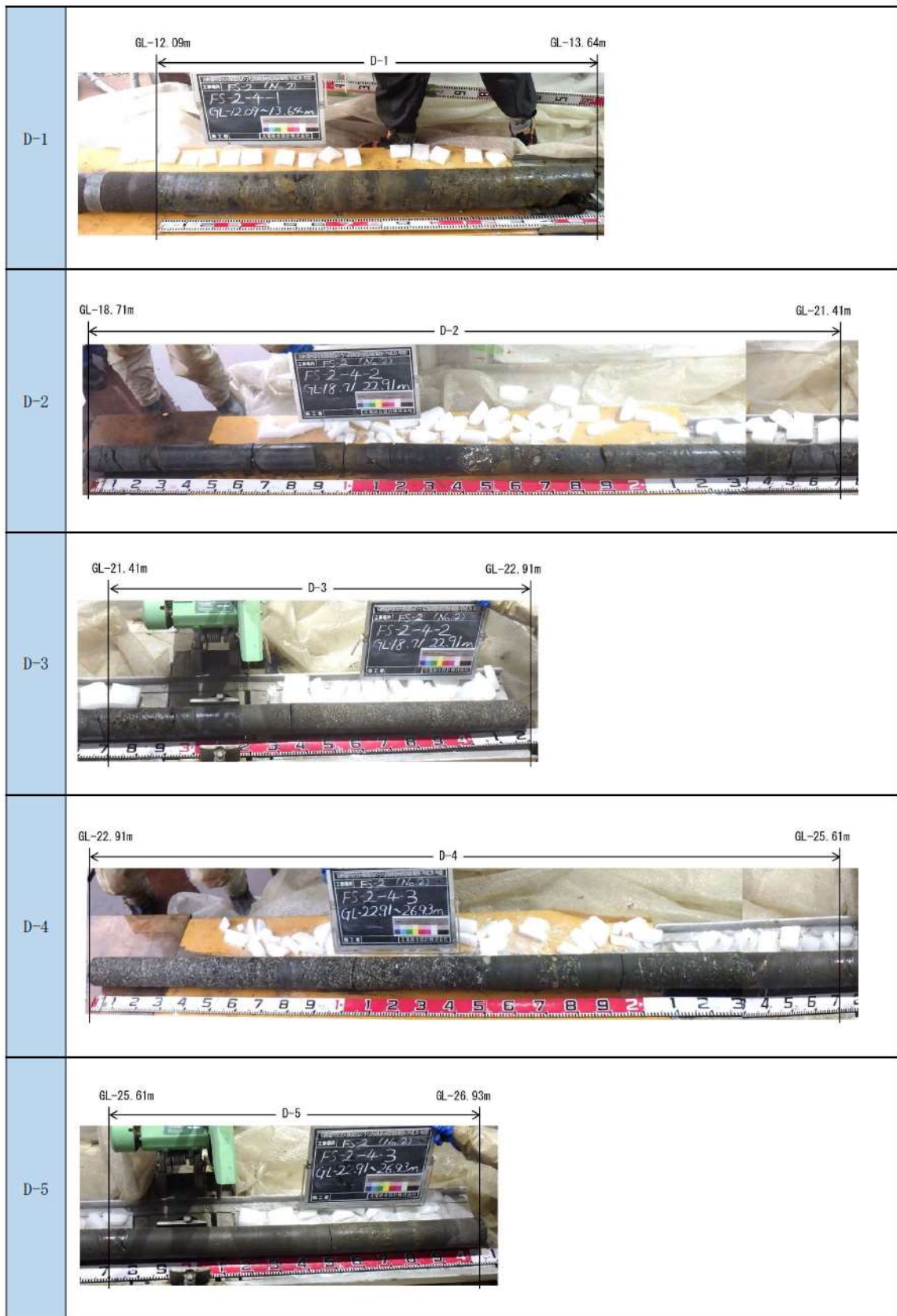
添付 1-55 図(6/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



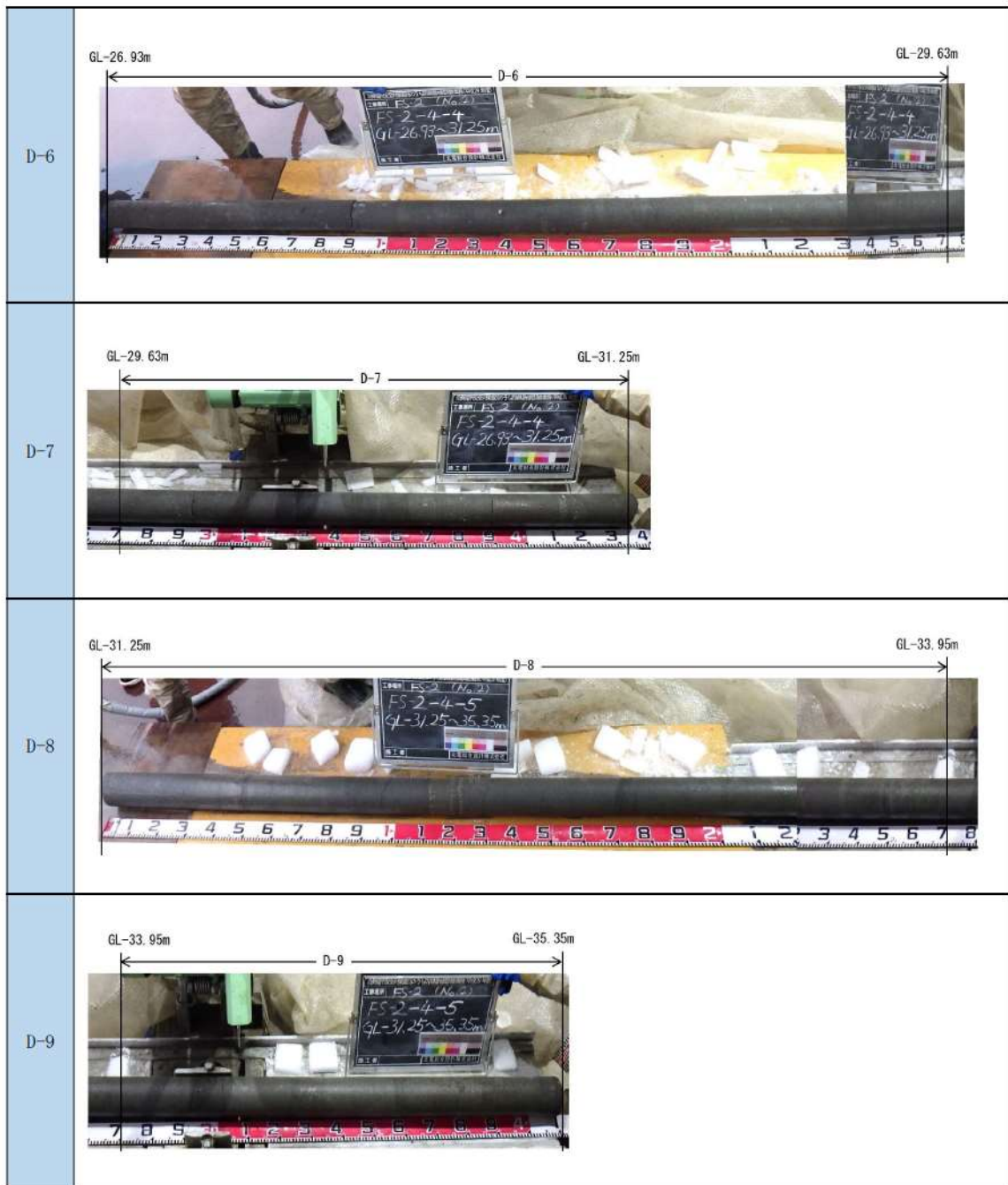
添付 1-55 図(7/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



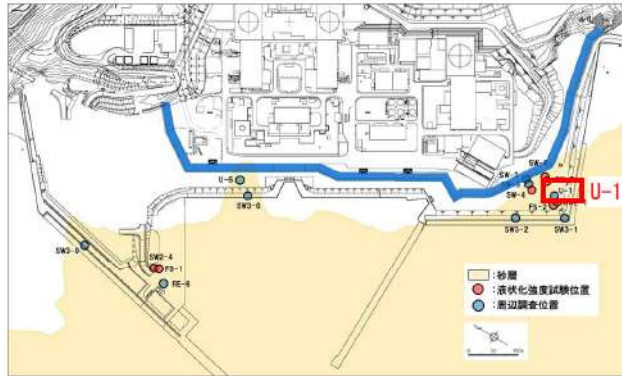
添付 1-55 図(8/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



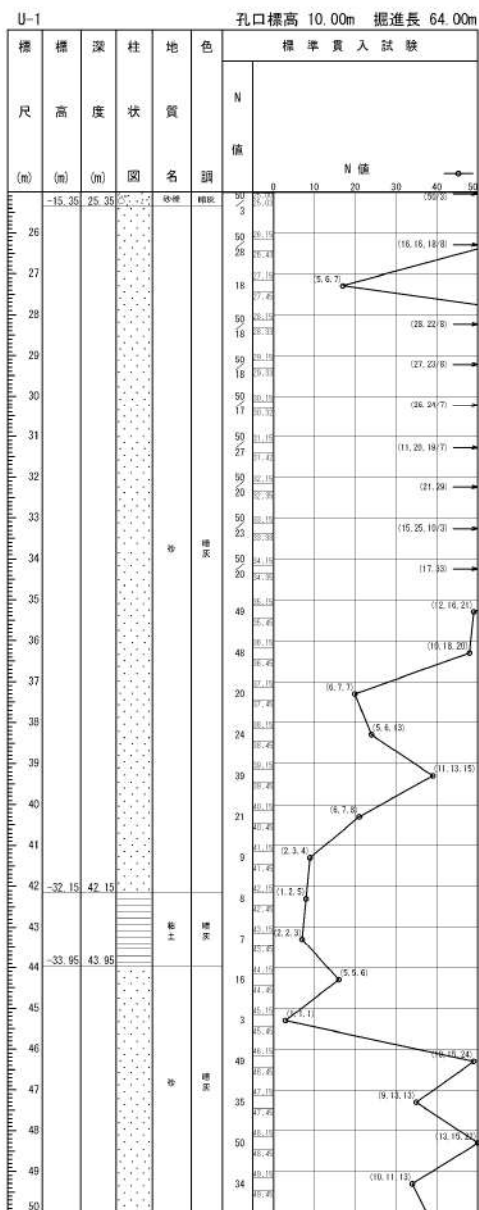
添付 1-55 図(9/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



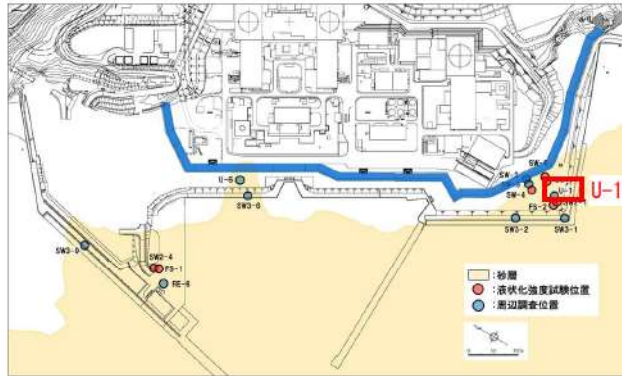
添付 1-55 図(10/10) ボーリング柱状図・コア写真 (FS-2)



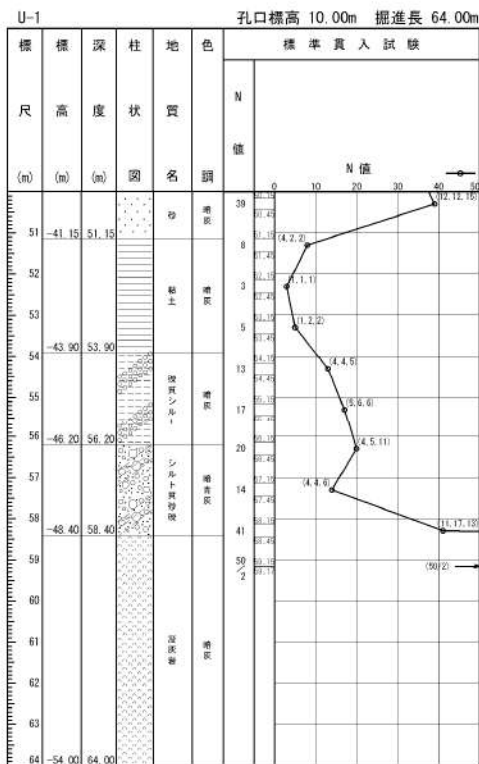
ボーリング平面位置図



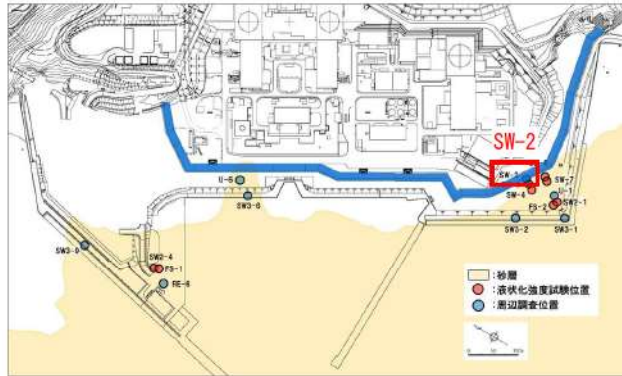
添付 1-56 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (U-1)



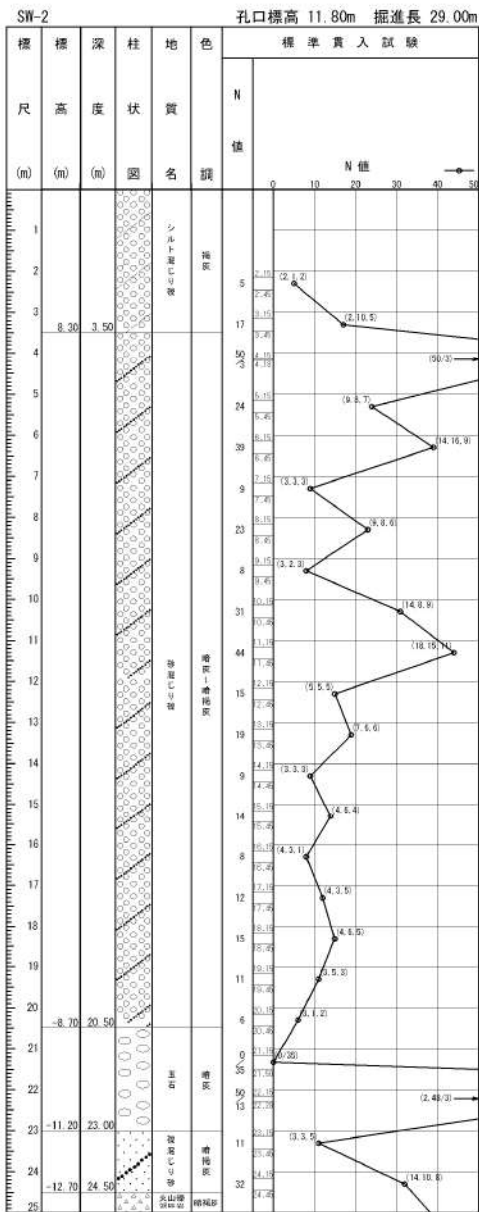
ボーリング平面位置図



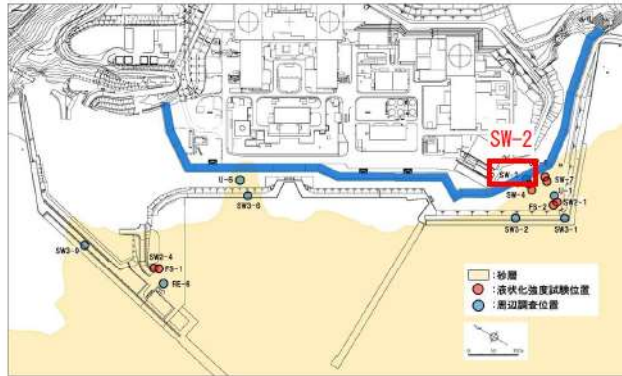
添付 1-56 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (U-1)



ボーリング平面位置図



添付 1-57 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-2)



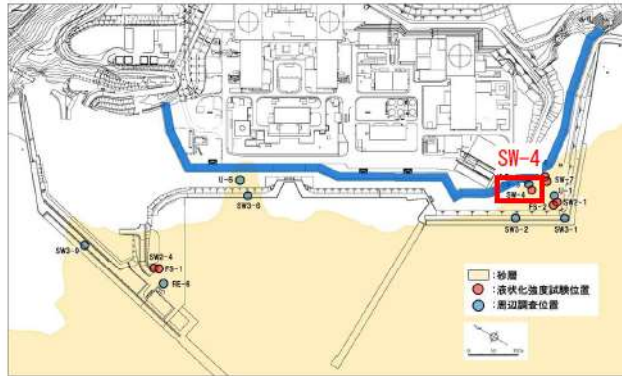
ボーリング平面位置図

SW-2 孔口標高 11.80m 掘進長 29.00m

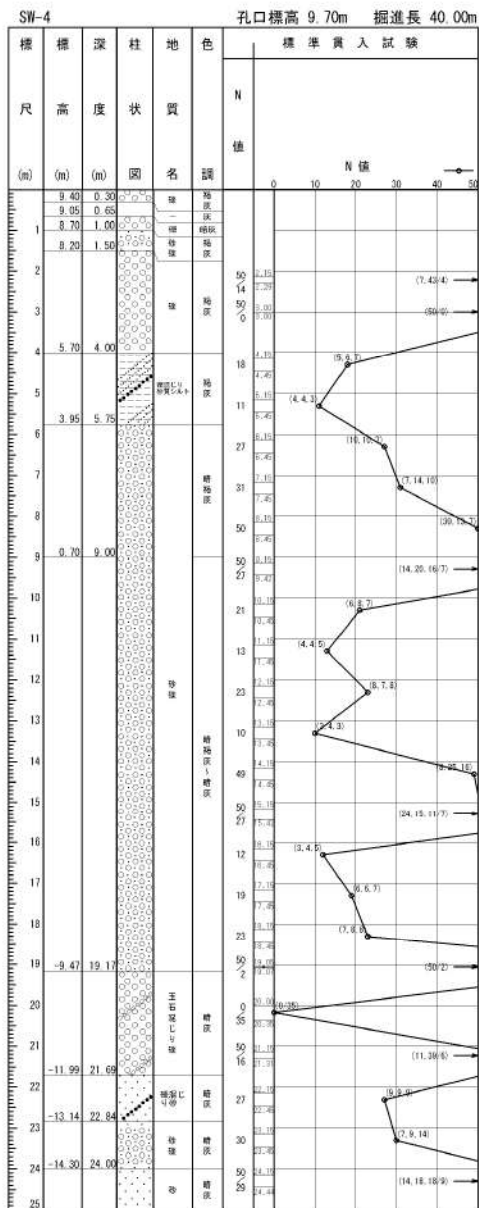
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	地質名	色調	標準貫入試験	
						N 値	N 値
26	-13.70	25.50	火山噴出物 礫土	火山噴出物 礫土	褐色	41	18.11
27		59				20.00	
28							
29	-17.20	29.00					



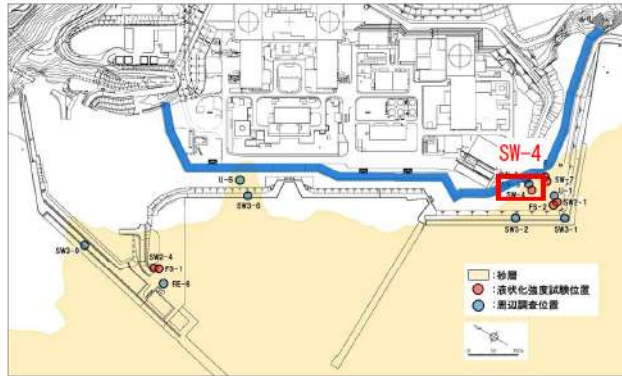
添付 1-57 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-2)



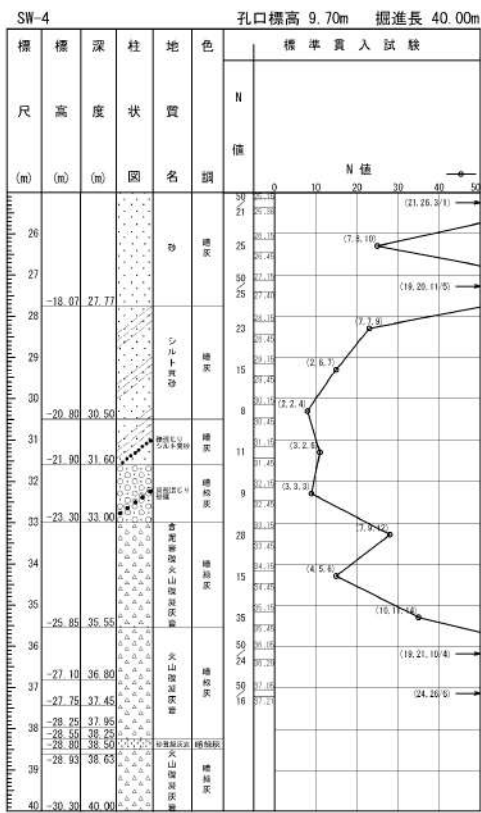
ボーリング平面位置図



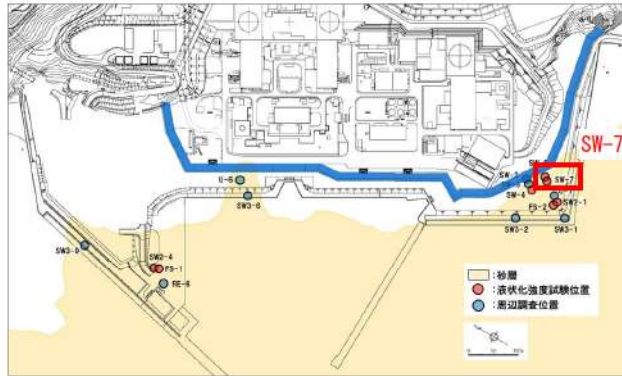
添付 1-58 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-4)



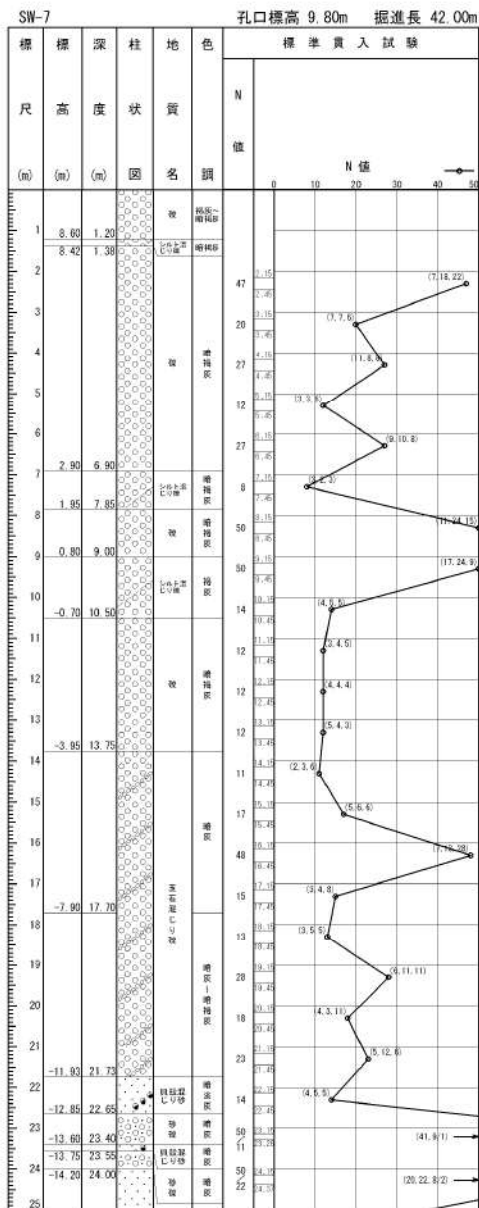
ボーリング平面位置図



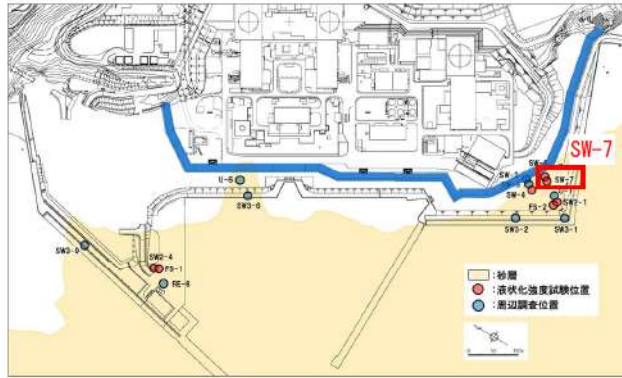
添付 1-58 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-4)



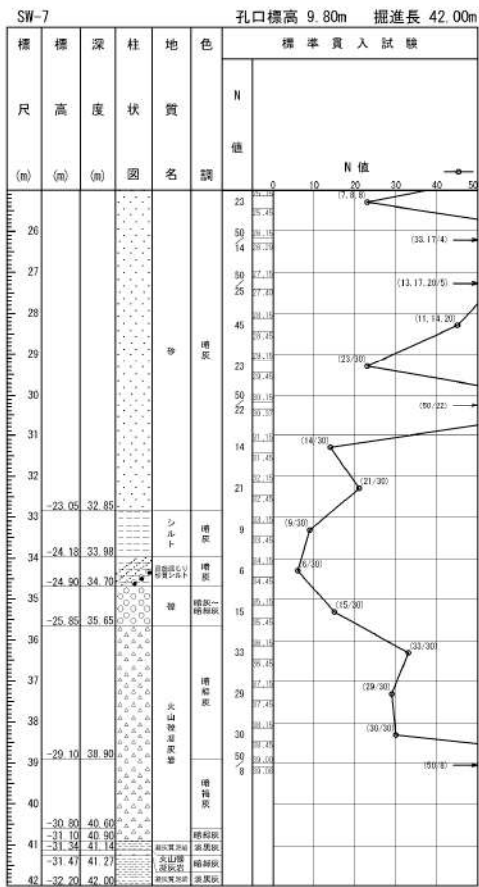
ボーリング平面位置図



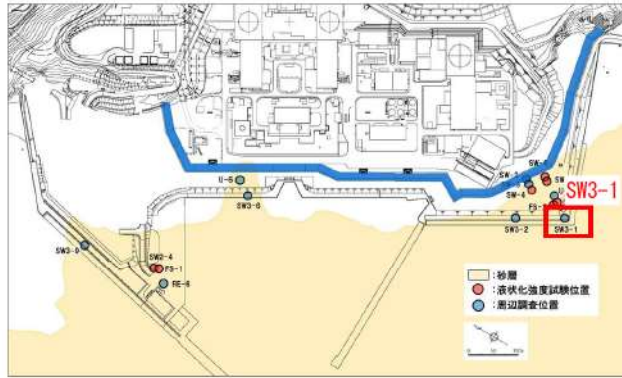
添付 1-59 図(1/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-7)



ボーリング平面位置図



添付 1-59 図(2/2) ボーリング柱状図・コア写真 (SW-7)



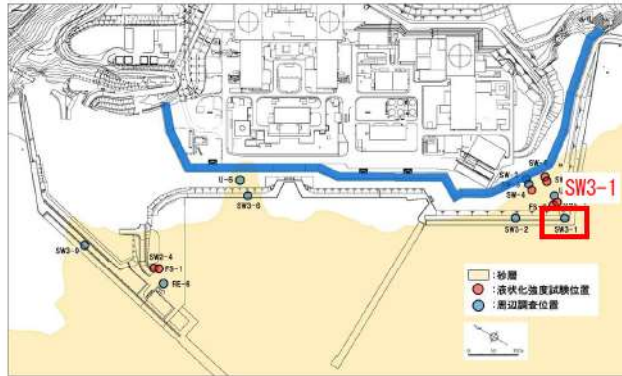
ボーリング平面位置図

SW3-1 孔口標高 5.10m 掘進長 72.00m

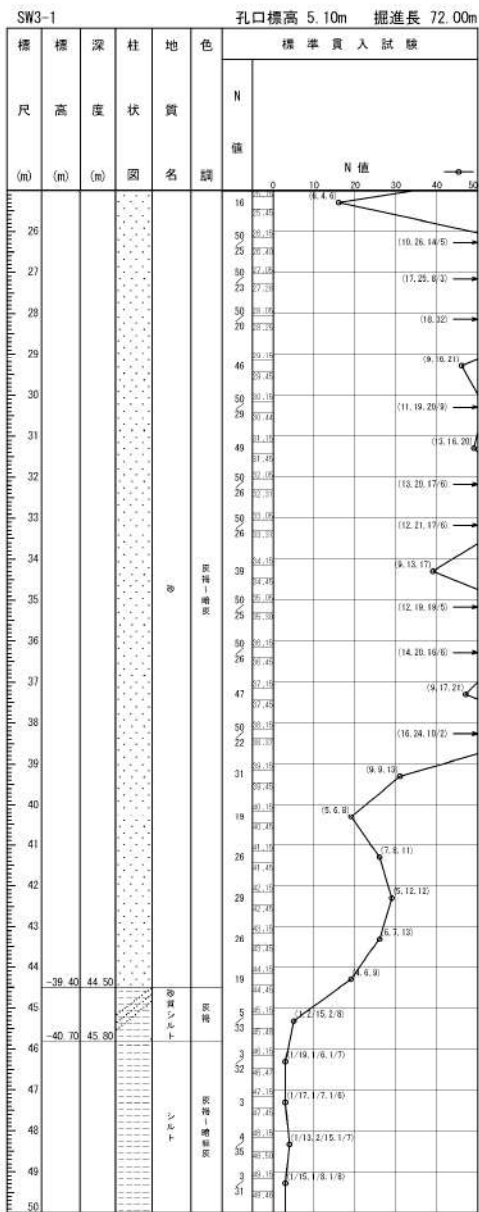
標尺 (m)	標準高度 (m)	柱状図 (m)	地質名	色調	標準貫入試験			
					N 値	N 値		
0	4.34	0.20	コンクリート	灰色				
1			砂	標準				
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16	-11.30	16.40						
17			実測値	標準				
18							13.17	(3.4, 6)
19							19.15	(2.4, 11)
20							50.17	(15.10, 16.8)
21							50.14	(33.17, 4)
22							50.18	(26.24, 8)
23							23.17	(13.8, 10)
24							54.19	(28.22, 7)
25							57.17	



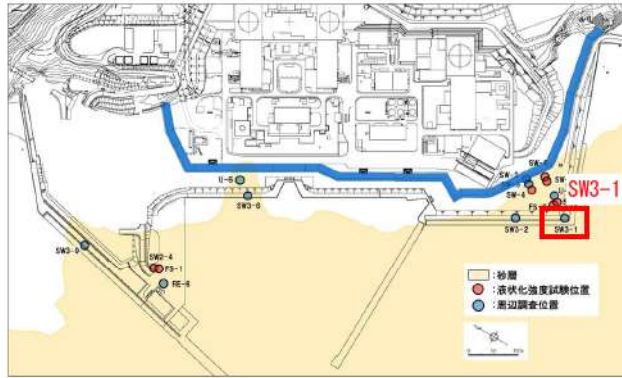
添付 1-60 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-1)



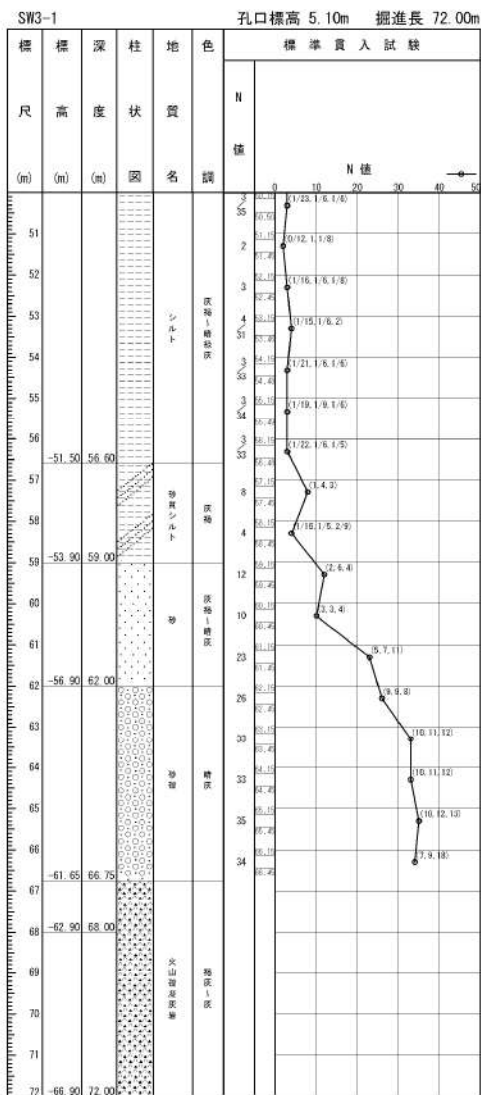
ボーリング平面位置図



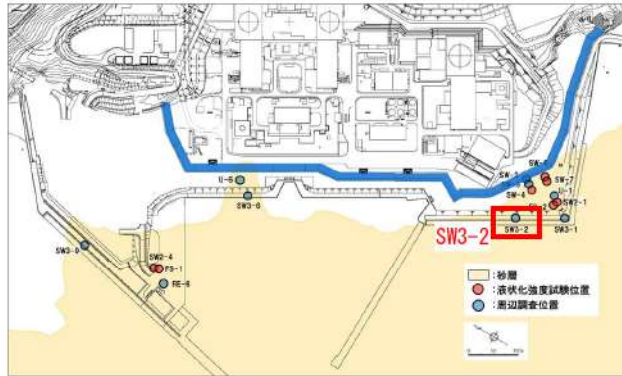
添付 1-60 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-1)



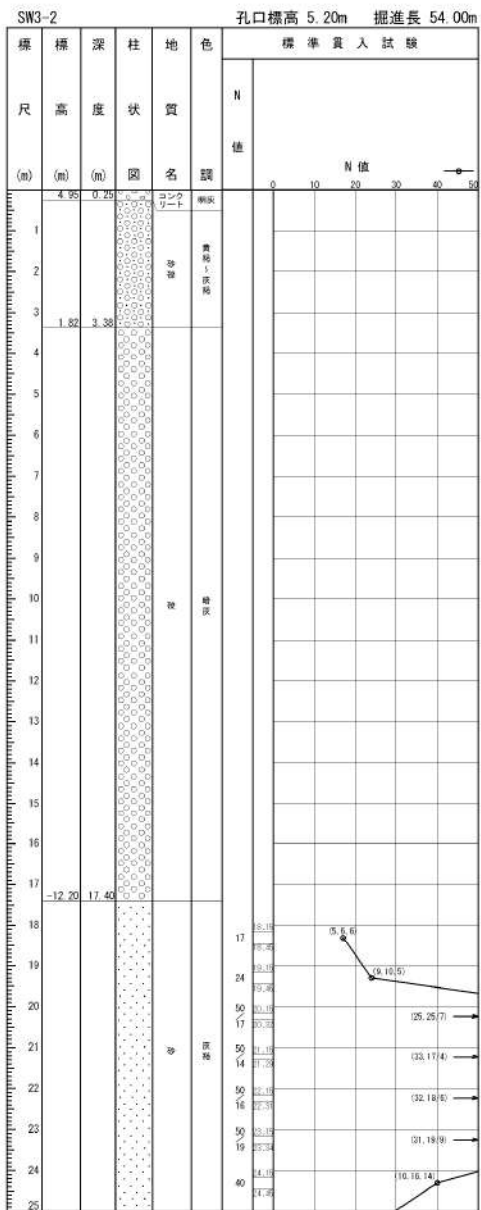
ボーリング平面位置図



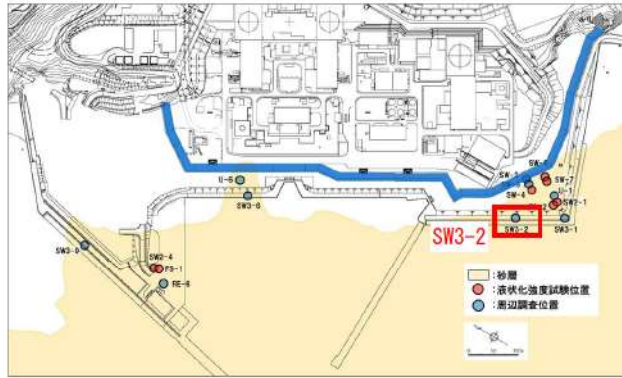
添付 1-60 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-1)



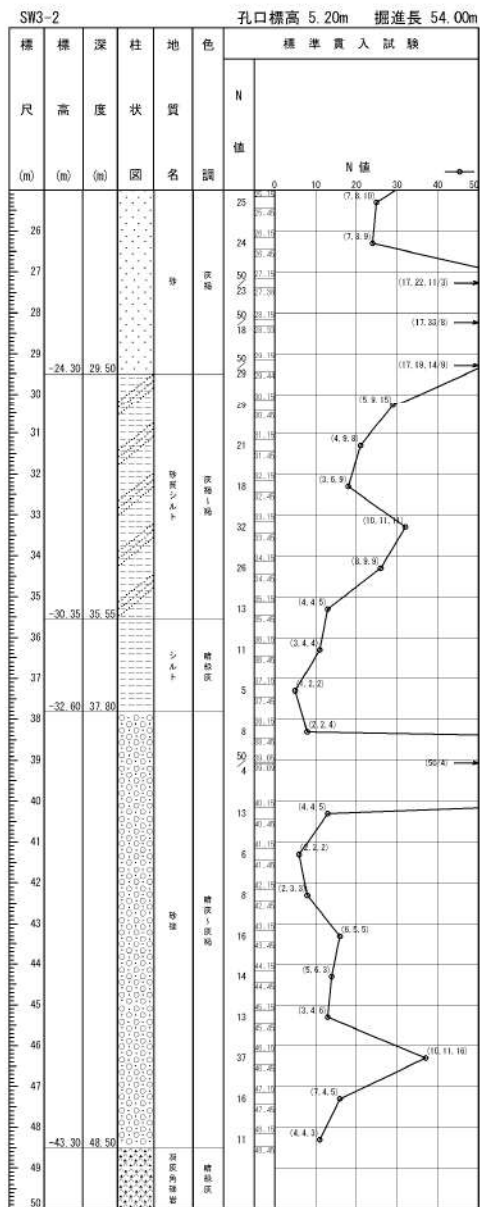
ボーリング平面位置図



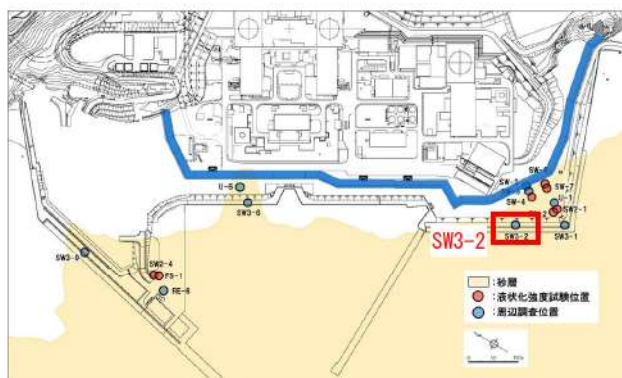
添付 1-61 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-2)



ボーリング平面位置図



添付 1-61 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-2)



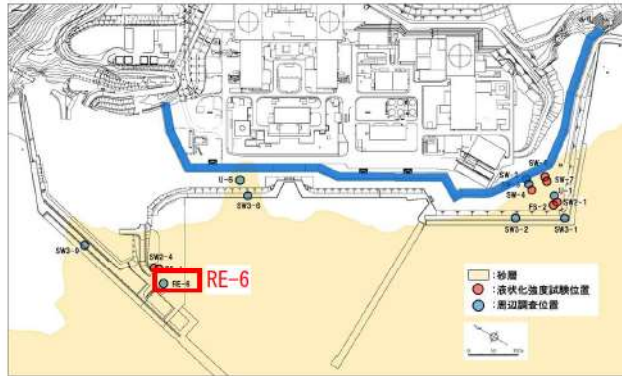
ボーリング平面位置図

SW3-2 孔口標高 5.20m 掘進長 54.00m

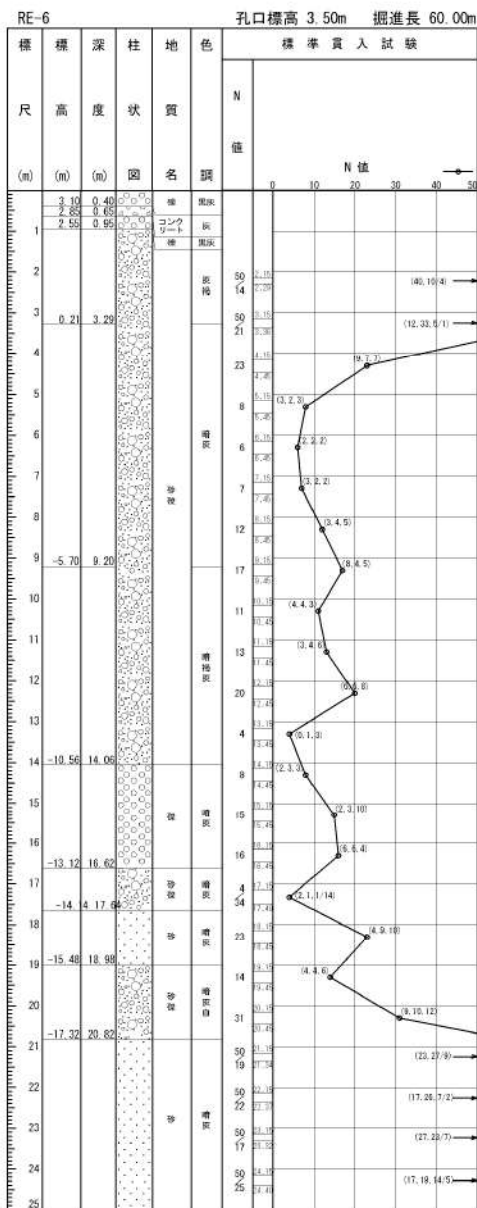
標尺	標高 (m)	深 度 (m)	柱 状 形 式	地 質 名 称	色 調	標準貫入試験					
						N 値					
						0	10	20	30	40	50
51				標準貫入							
52	-46.80	52.00		標準貫入							
53				標準貫入							
54	-48.80	54.00		標準貫入							



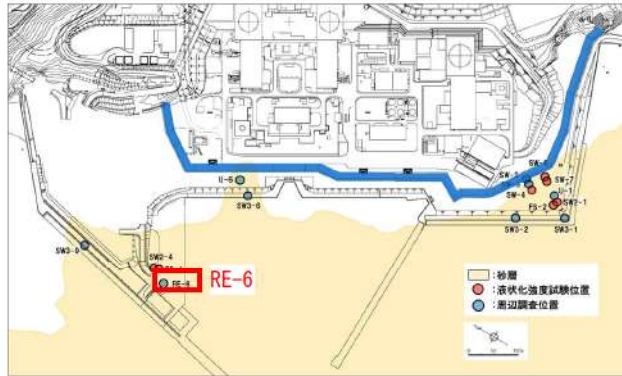
添付 1-61 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (SW3-2)



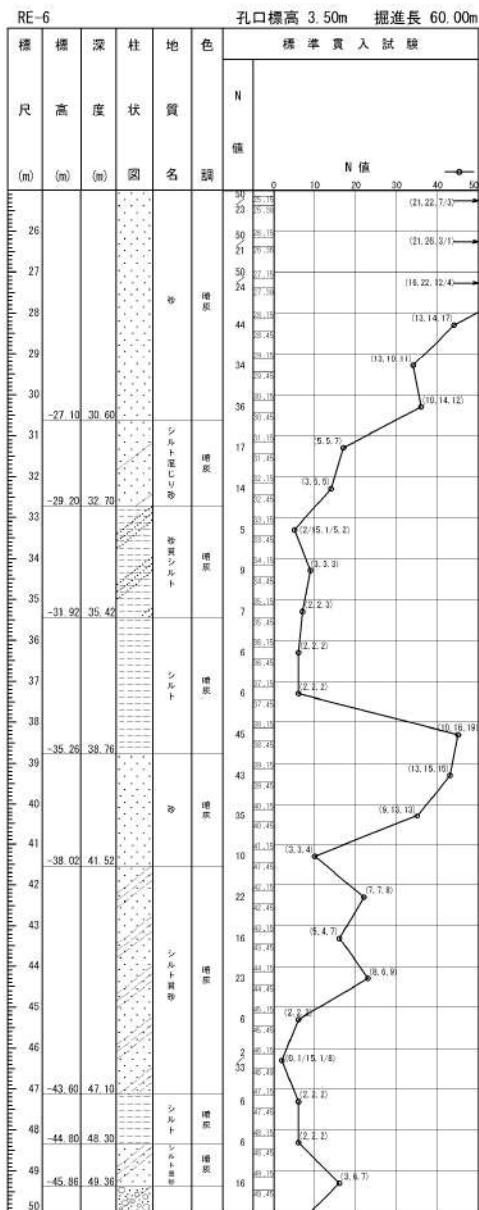
ボーリング平面位置図



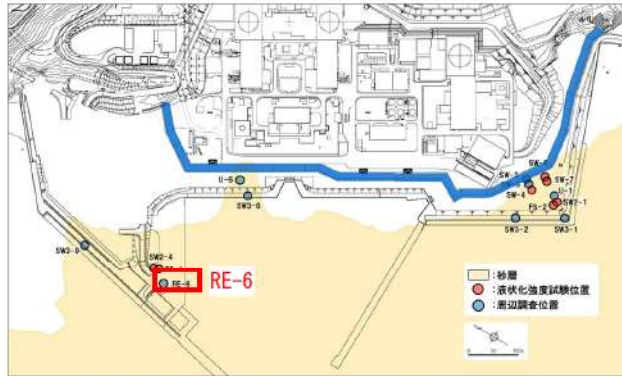
添付 1-62 図(1/3) ボーリング柱状図・コア写真 (RE-6)



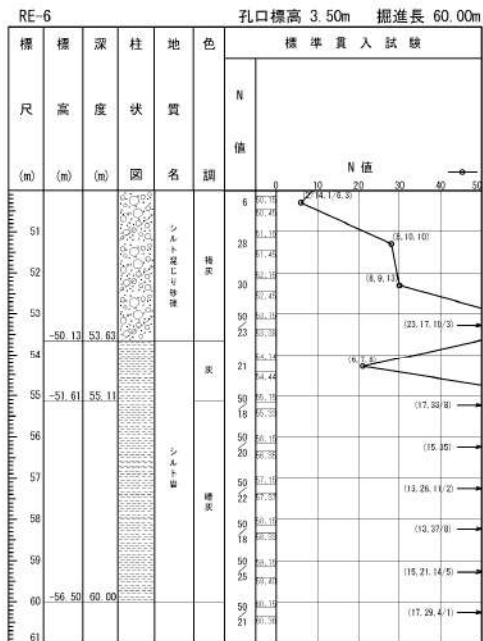
ボーリング平面位置図



添付 1-62 図(2/3) ボーリング柱状図・コア写真 (RE-6)



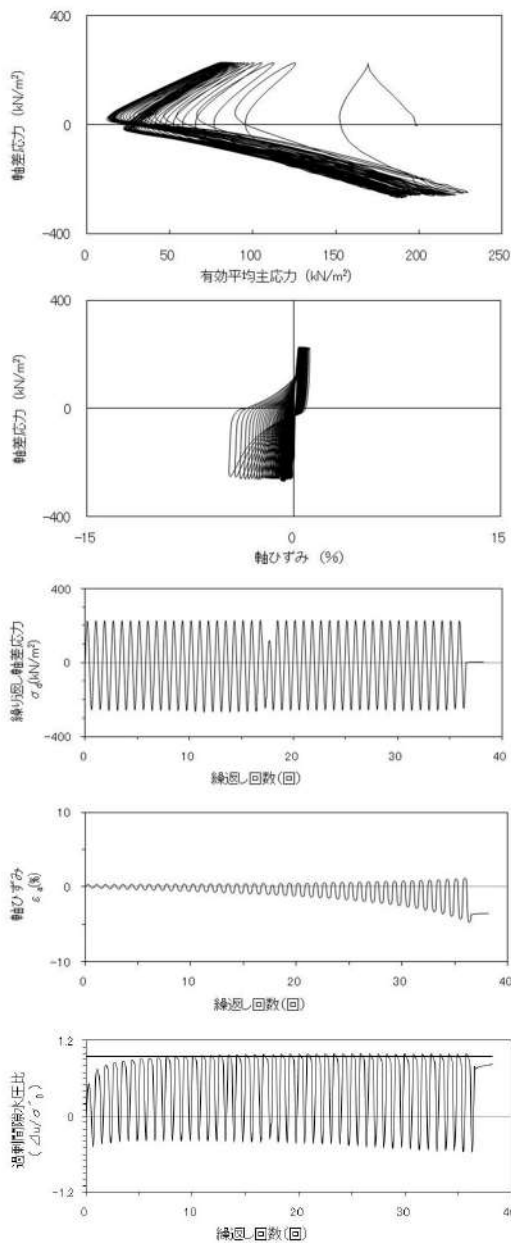
ボーリング平面位置図



添付 1-62 図(3/3) ボーリング柱状図・コア写真 (RE-6)

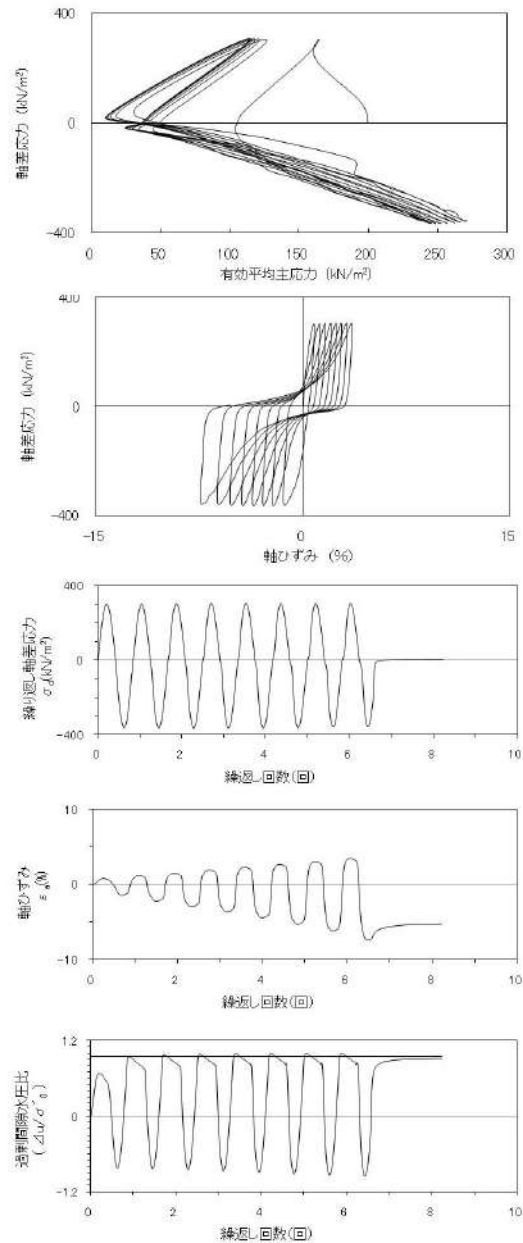
2. 液状化強度試験結果

(1) 1, 2号埋戻土の試験データ



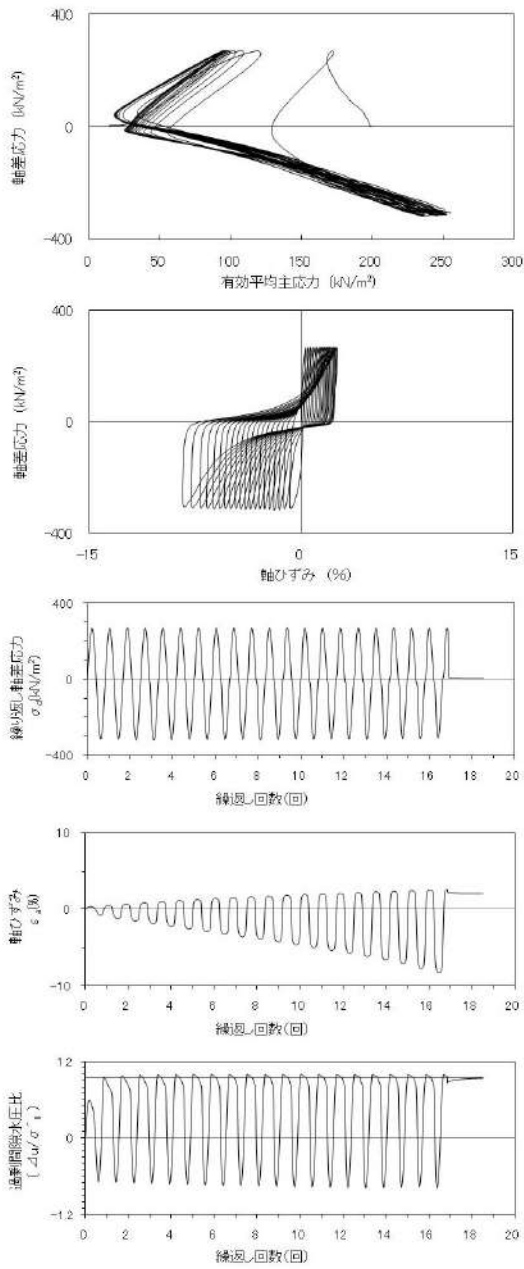
試験条件		
供試体		No.16
地表からの深度 (m)		9.90~11.15
有効上載圧 (kN/m ²)		207
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$		0.608
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンシー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-63 図 液状化強度試験結果
(SW2-3 試料(供試体 No. 16))



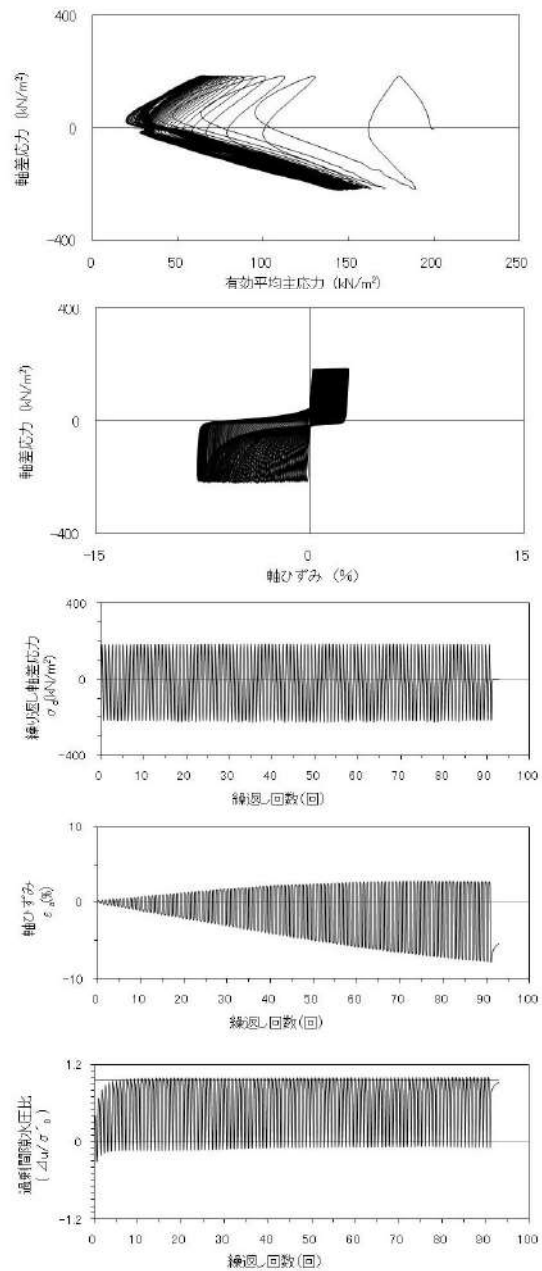
試験条件		
供試体		No.17
地表からの深度 (m)		9.90~11.15
有効上載圧 (kN/m ²)		207
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$		0.836
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンシー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-64 図 液状化強度試験結果
(SW2-3 試料(供試体 No. 17))



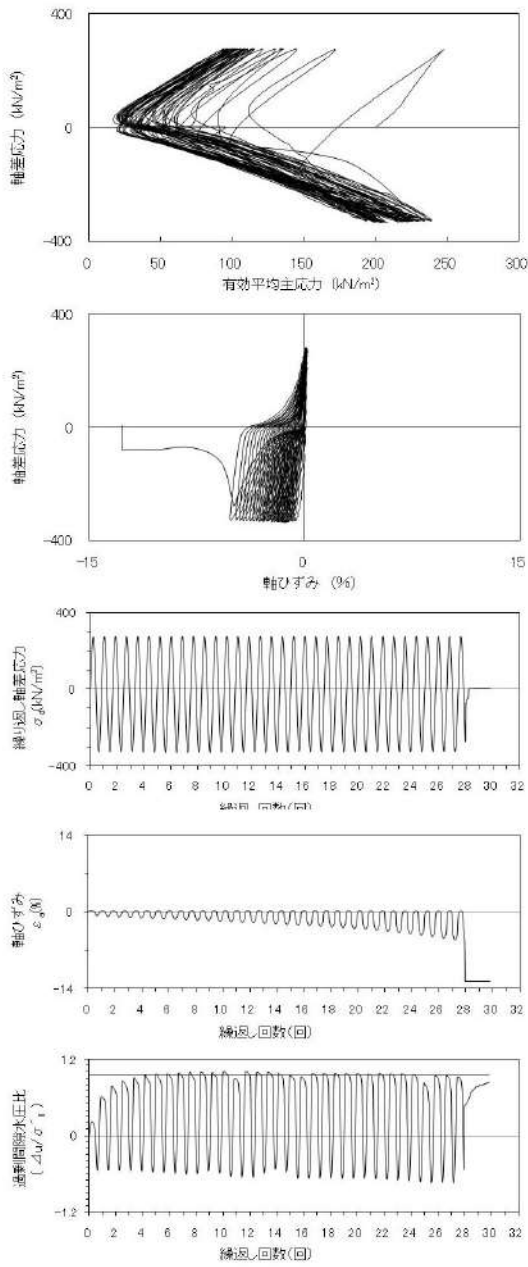
試験条件	
供試体	No.18
地表からの深度 (m)	9.90~11.15
有効上載圧 (kN/m ²)	207
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.727
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
液状化の判断	
繰返し軟化	

添付 1-65 図 液状化強度試験結果
(SW2-3 試料(供試体 No. 18))



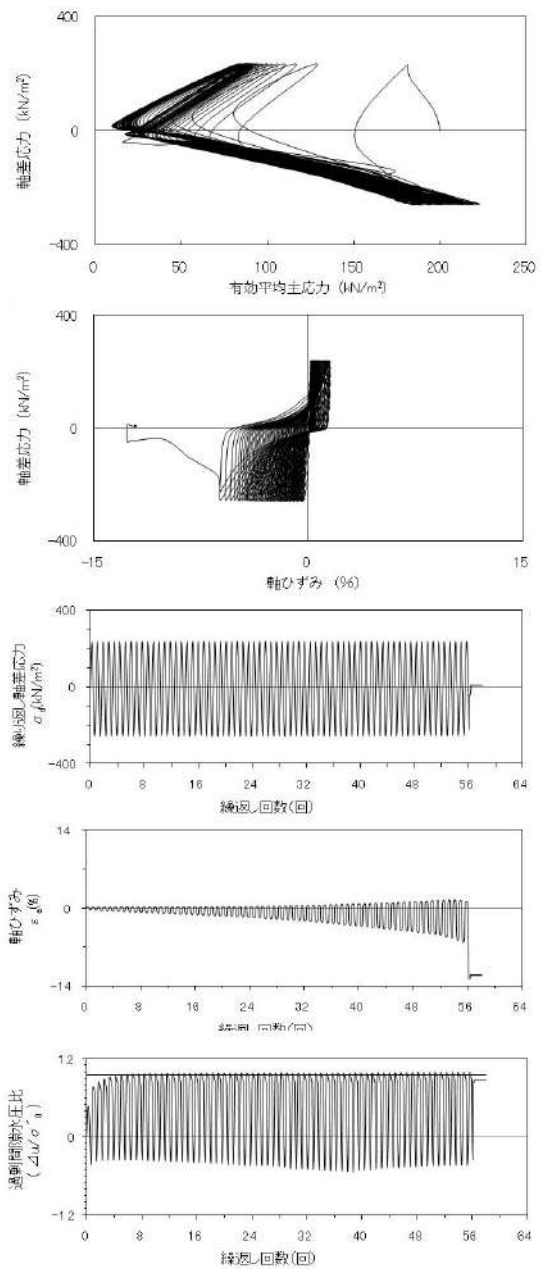
試験条件	
供試体	No.19
地表からの深度 (m)	9.90~11.15
有効上載圧 (kN/m ²)	207
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.501
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
液状化の判断	
繰返し軟化	

添付 1-66 図 液状化強度試験結果
(SW2-3 試料(供試体 No. 19))



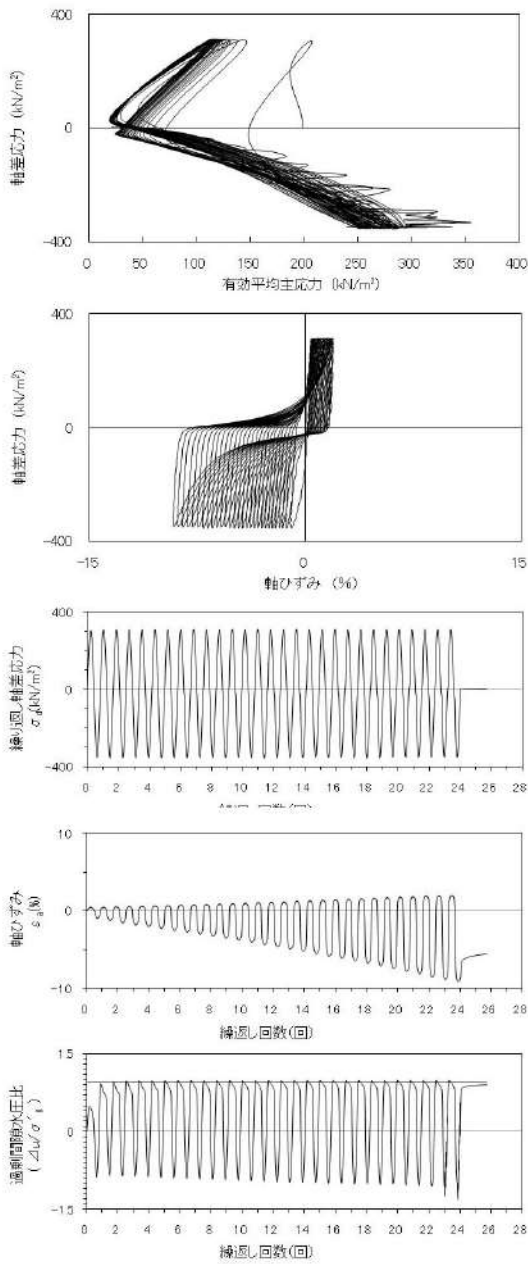
試験条件	
供試体	No.5
地表からの深度 (m)	3.03~4.45
有効上載圧 (kN/m ²)	74
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.759
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-67 図 液状化強度試験結果
(SW2-4 試料(供試体 No. 5))



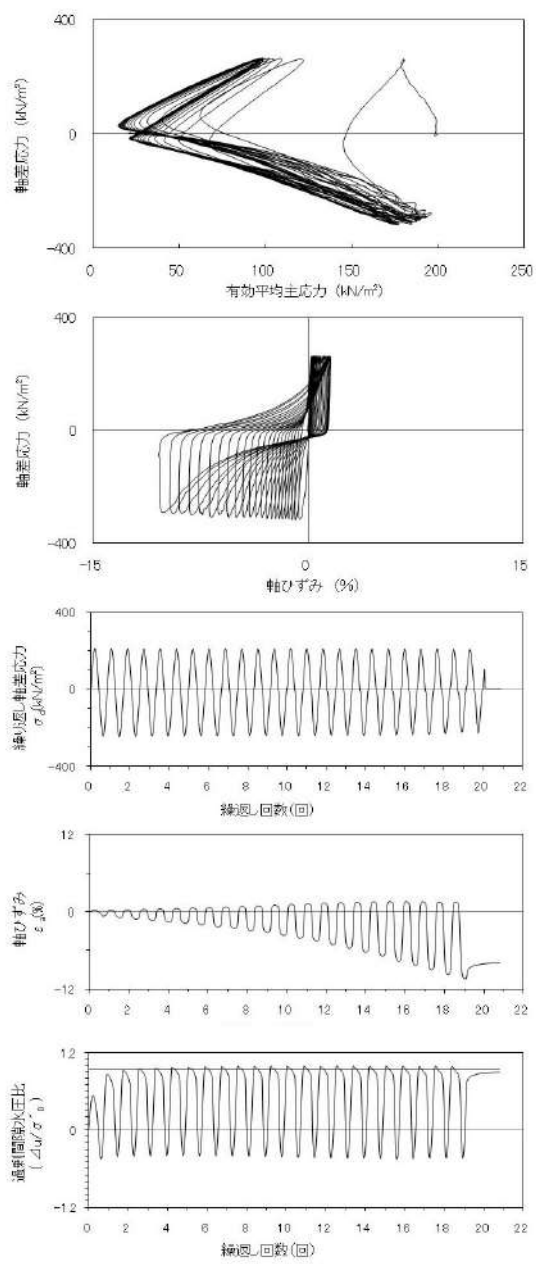
試験条件	
供試体	No.7
地表からの深度 (m)	3.03~4.45
有効上載圧 (kN/m ²)	74
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.615
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-68 図 液状化強度試験結果
(SW2-4 試料(供試体 No. 7))



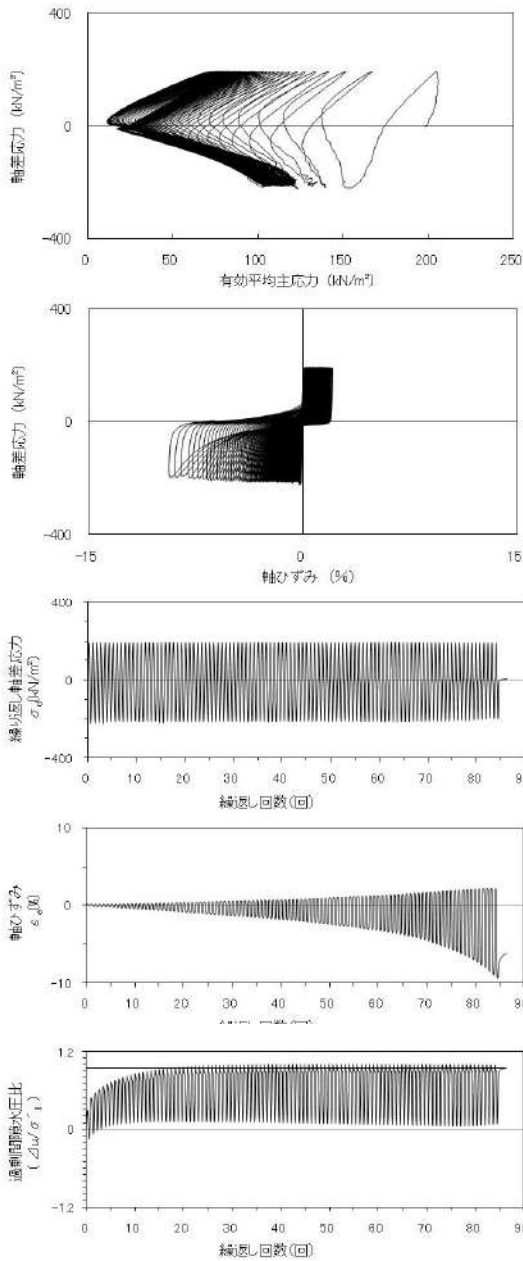
試験条件		
供試体		No.8
地表からの深度 (m)		3.03~4.45
有効上載圧 (kN/m ²)		74
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.823
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-69 図 液状化強度試験結果
(SW2-4 試料(供試体 No. 8))



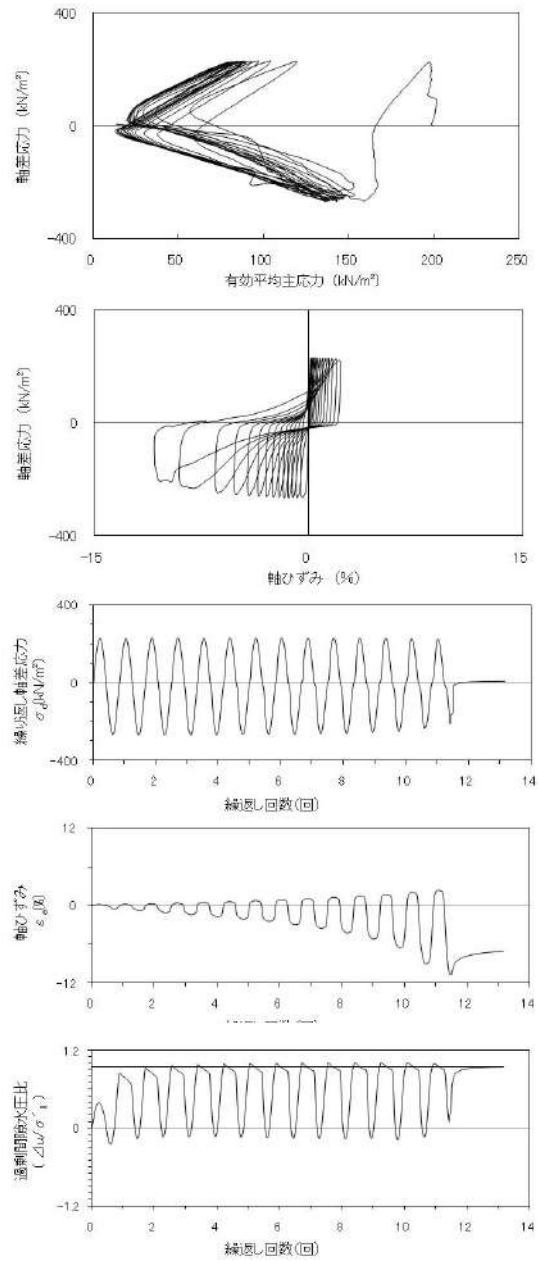
試験条件		
供試体		No.25
地表からの深度 (m)		10.45~11.25
有効上載圧 (kN/m ²)		210
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.726
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-70 図 液状化強度試験結果
(BF1-2 試料(供試体 No. 25))



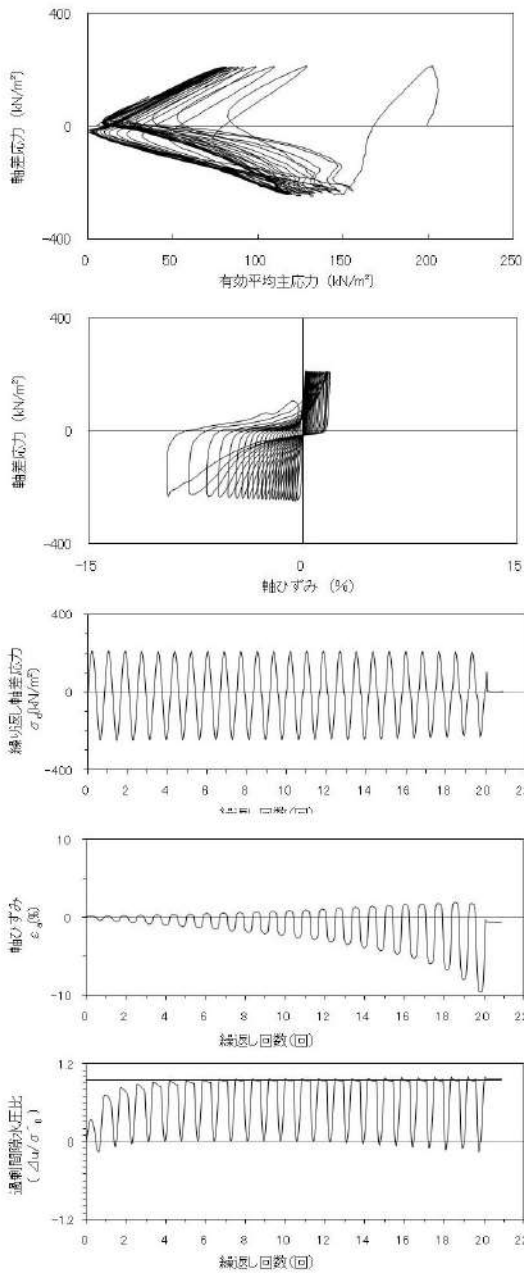
試験条件		
供試体	No.26	
地表からの深度 (m)	10.45~11.25	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.508	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-71 図 液状化強度試験結果
(BF1-2 試料(供試体 No. 26))



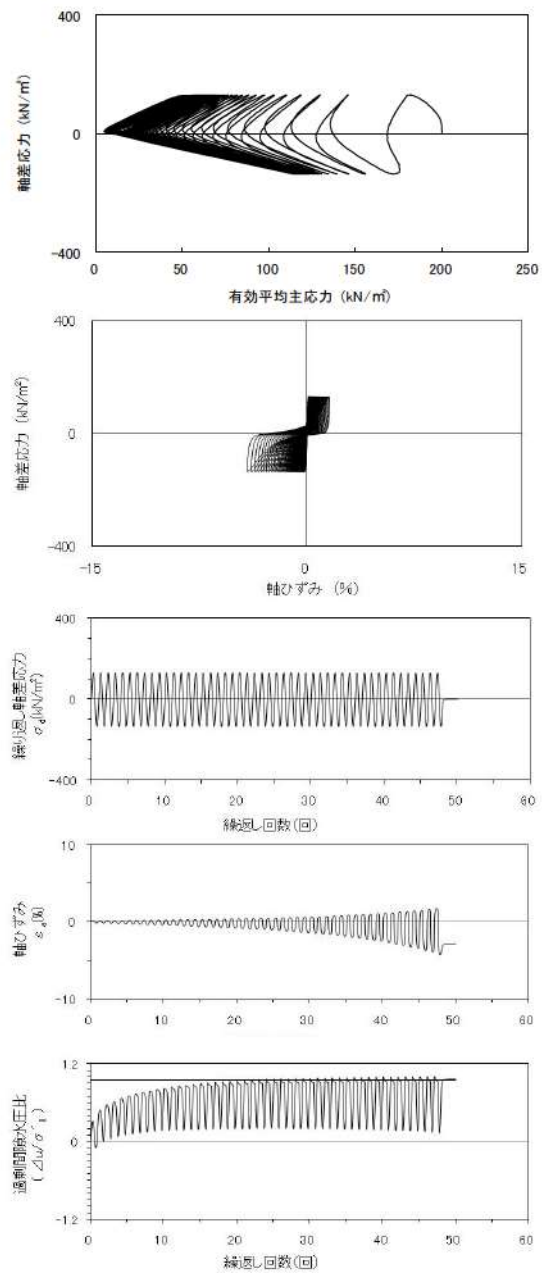
試験条件		
供試体	No.27	
地表からの深度 (m)	10.45~11.25	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.618	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-72 図 液状化強度試験結果
(BF1-2 試料(供試体 No. 27))



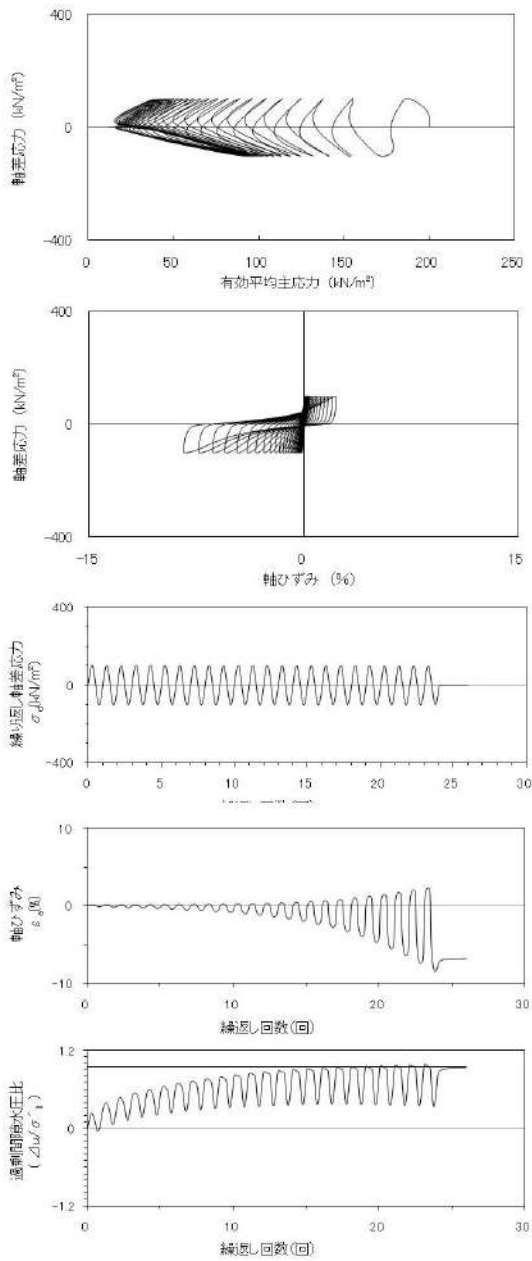
試験条件		
供試体	No.28	
地表からの深度 (m)	10.45~11.25	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.574	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)
有効応力がゼロまで低下する。 液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-73 図 液状化強度試験結果
(BF1-2 試料(供試体 No. 28))



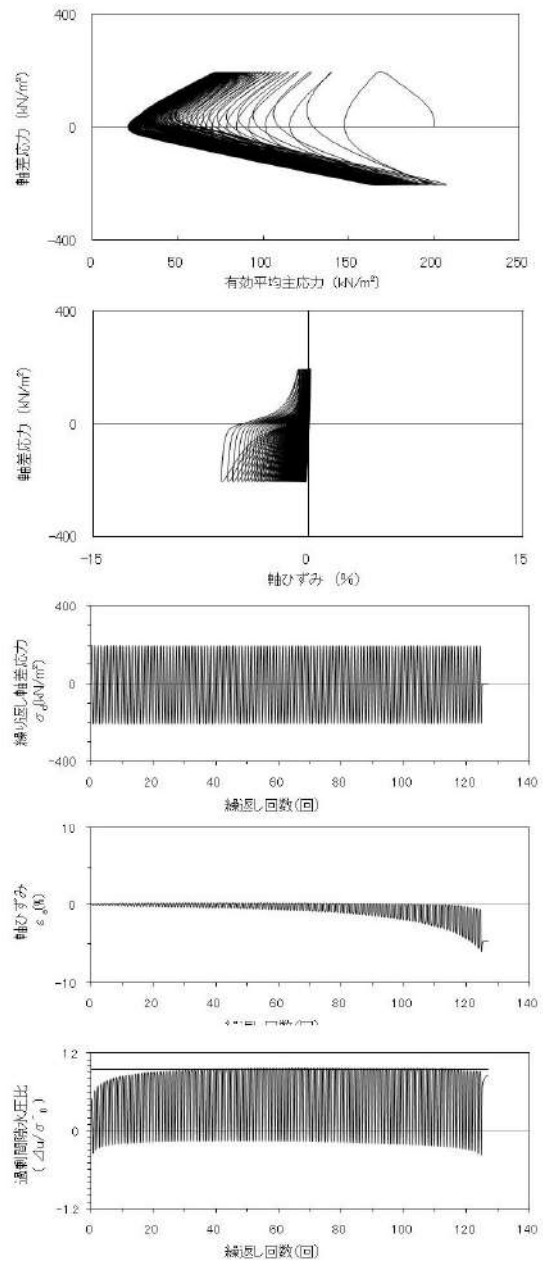
試験条件		
供試体	No.25	
地表からの深度 (m)	17.35~17.55	
有効上載圧 (kN/m ²)	353	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.333	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。 液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-74 図 液状化強度試験結果
(RE-1 試料(供試体 No. 25))



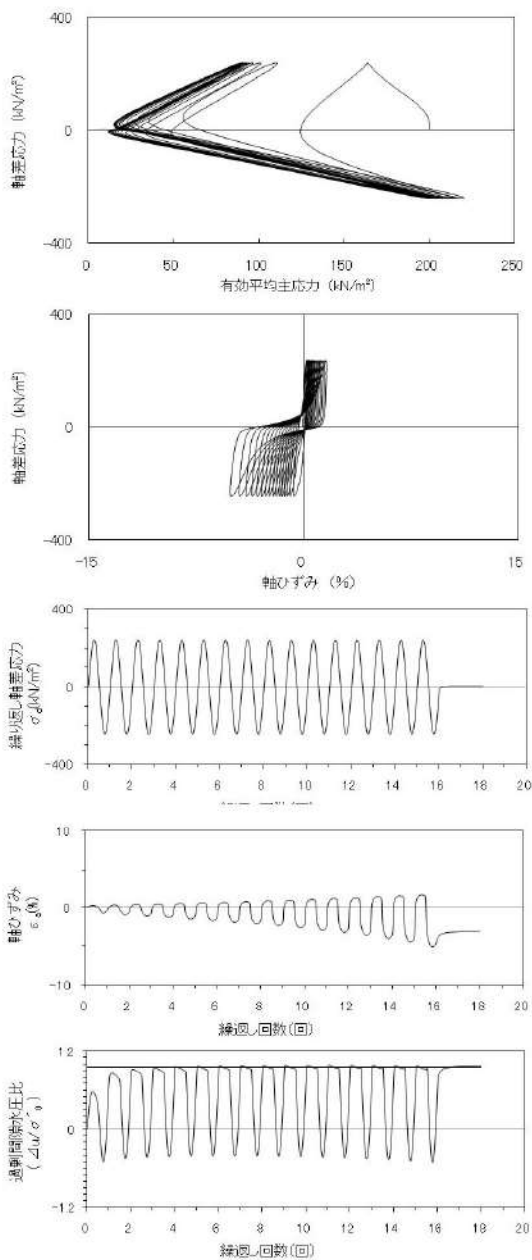
試験条件		
供試体		No.6
地表からの深度 (m)		4.80~5.00
有効上載圧 (kN/m ²)		98
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.252
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-75 図 液状化強度試験結果
(RE-2(1) 試料(供試体 No. 6))



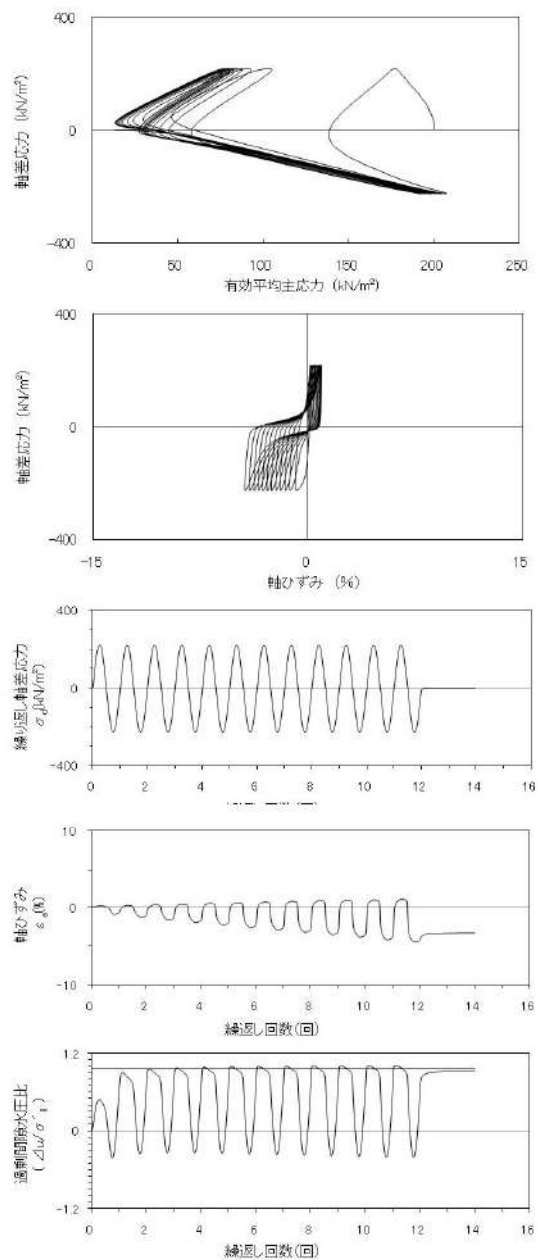
試験条件		
供試体		No.9
地表からの深度 (m)		8.73~10.73
有効上載圧 (kN/m ²)		195
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.501
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-76 図 液状化強度試験結果
(RE-2(2) 試料(供試体 No. 9))



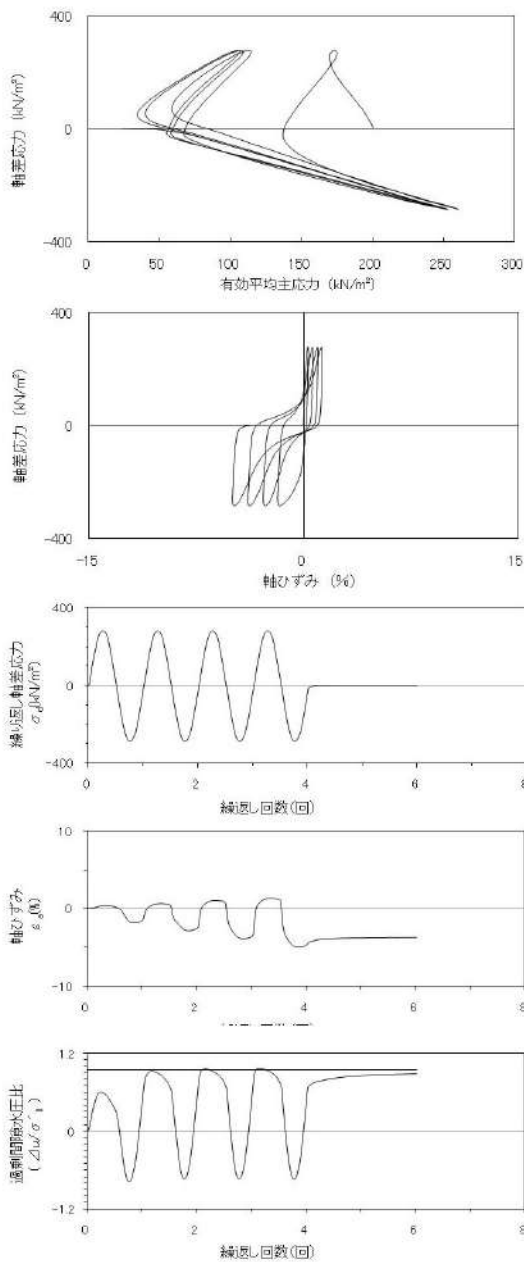
試験条件		
供試体	No.13	
地表からの深度 (m)	8.73~10.73	
有効上載圧 (kN/m ²)	195	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.602	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-77 図 液状化強度試験結果
(RE-2(2) 試料(供試体 No. 13))



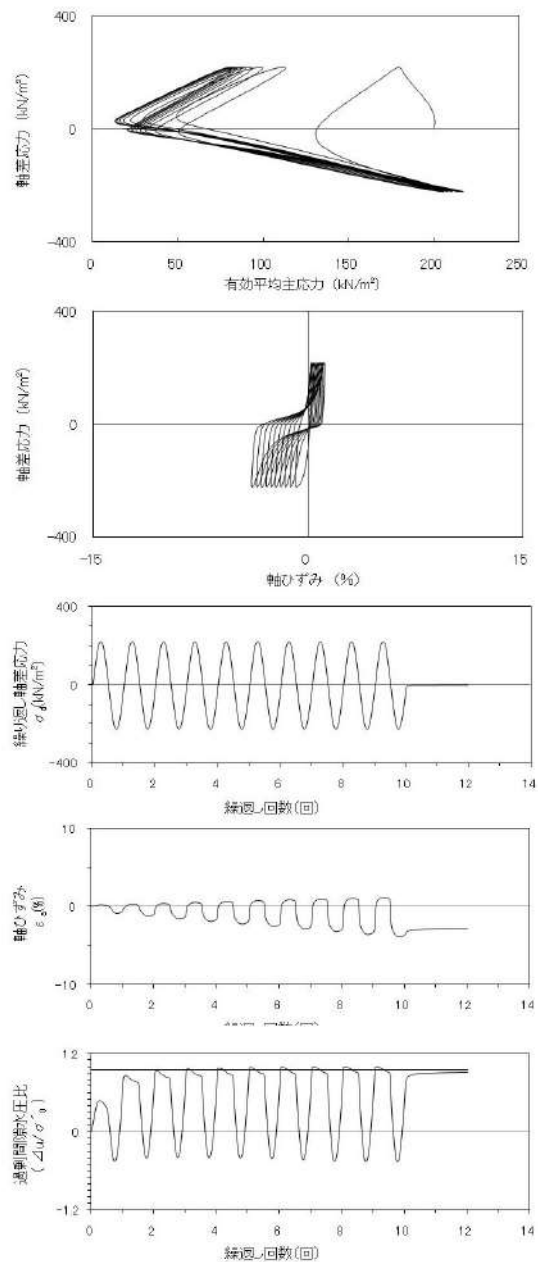
試験条件		
供試体	No.14	
地表からの深度 (m)	8.73~10.73	
有効上載圧 (kN/m ²)	195	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.554	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-78 図 液状化強度試験結果
(RE-2(2) 試料(供試体 No. 14))



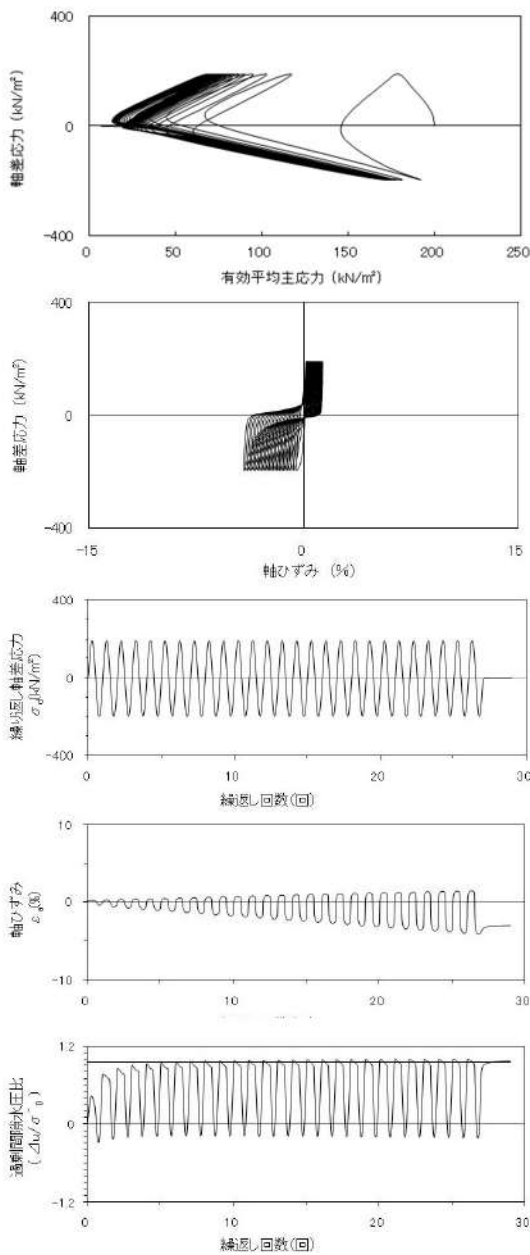
試験条件		
供試体	No.15	
地表からの深度 (m)	10.73~11.73	
有効上載圧 (kN/m ²)	211	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.704	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-79 図 液状化強度試験結果
(RE-2(3) 試料(供試体 No. 15))



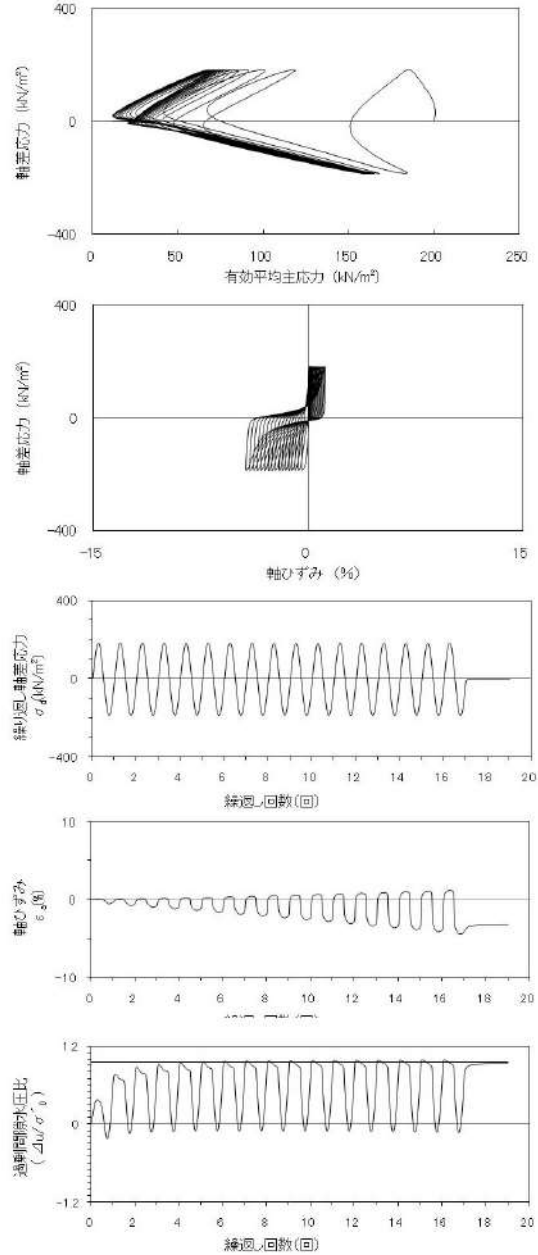
試験条件		
供試体	No.16	
地表からの深度 (m)	10.73~11.73	
有効上載圧 (kN/m ²)	211	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.555	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-80 図 液状化強度試験結果
(RE-2(3) 試料(供試体 No. 16))



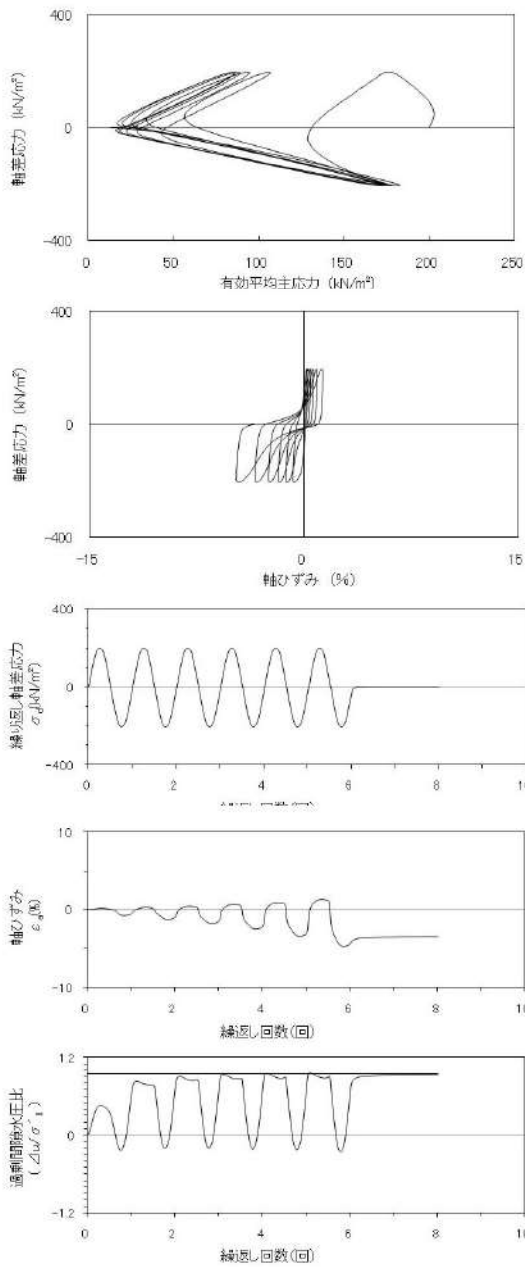
試験条件		
供試体	No.17	
地表からの深度 (m)	10.73~11.73	
有効上載圧 (kN/m^2)	211	
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$	0.481	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-81 図 液状化強度試験結果
(RE-2(3) 試料(供試体 No. 17))



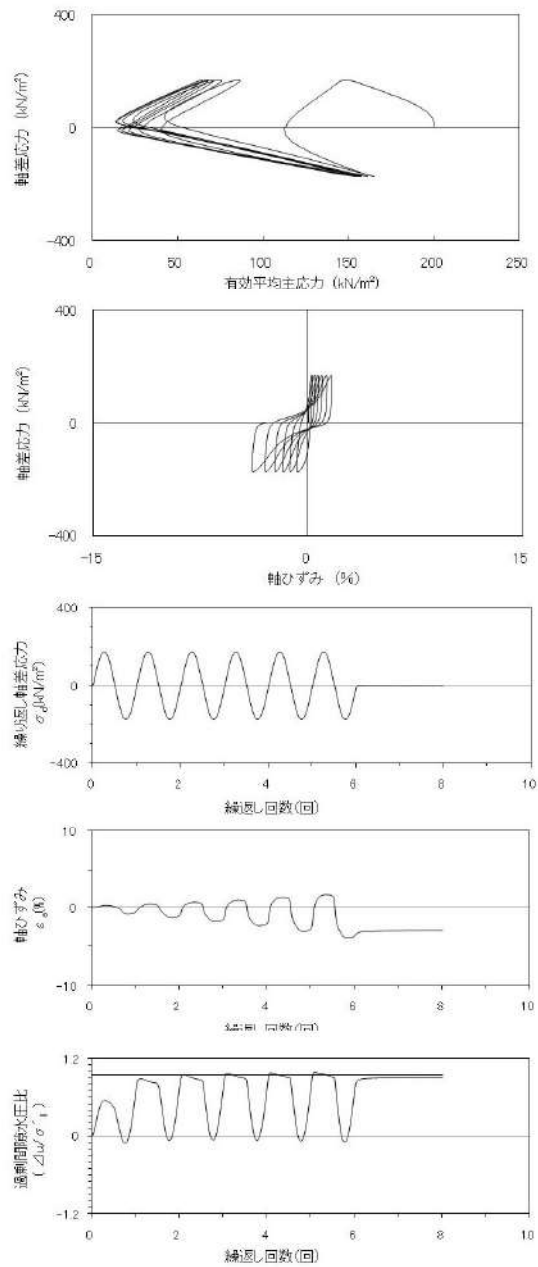
試験条件		
供試体	No.18	
地表からの深度 (m)	10.73~11.73	
有効上載圧 (kN/m^2)	211	
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$	0.459	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-82 図 液状化強度試験結果
(RE-2(3) 試料(供試体 No. 18))



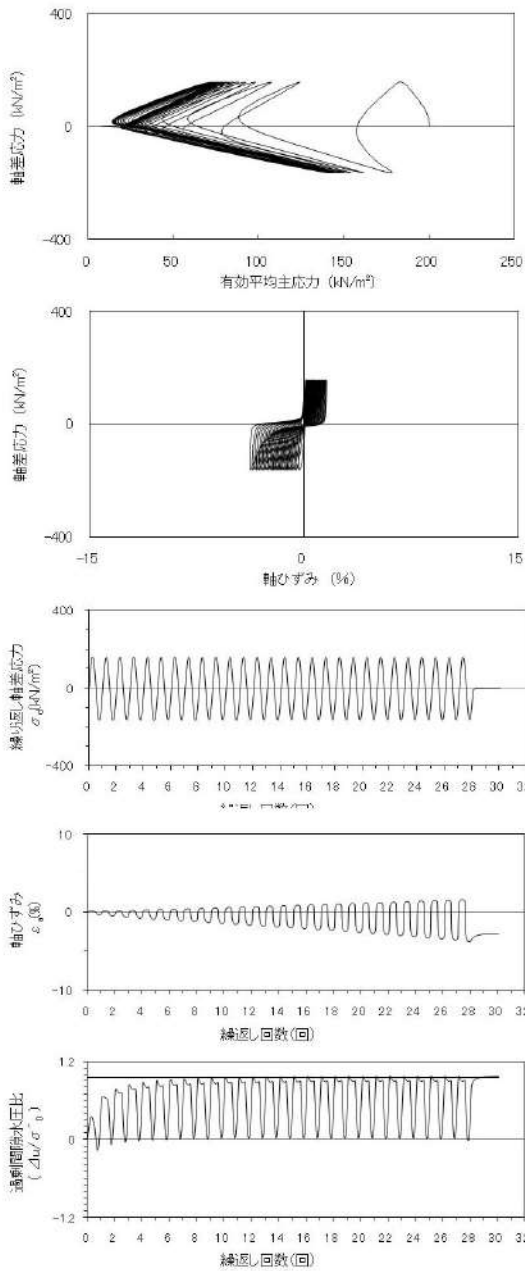
試験条件	
供試体	No.3
地表からの深度 (m)	2.80~4.23
有効上載圧 (kN/m ²)	71
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.503
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-83 図 液状化強度試験結果
(RE-3(1) 試料(供試体 No. 3))



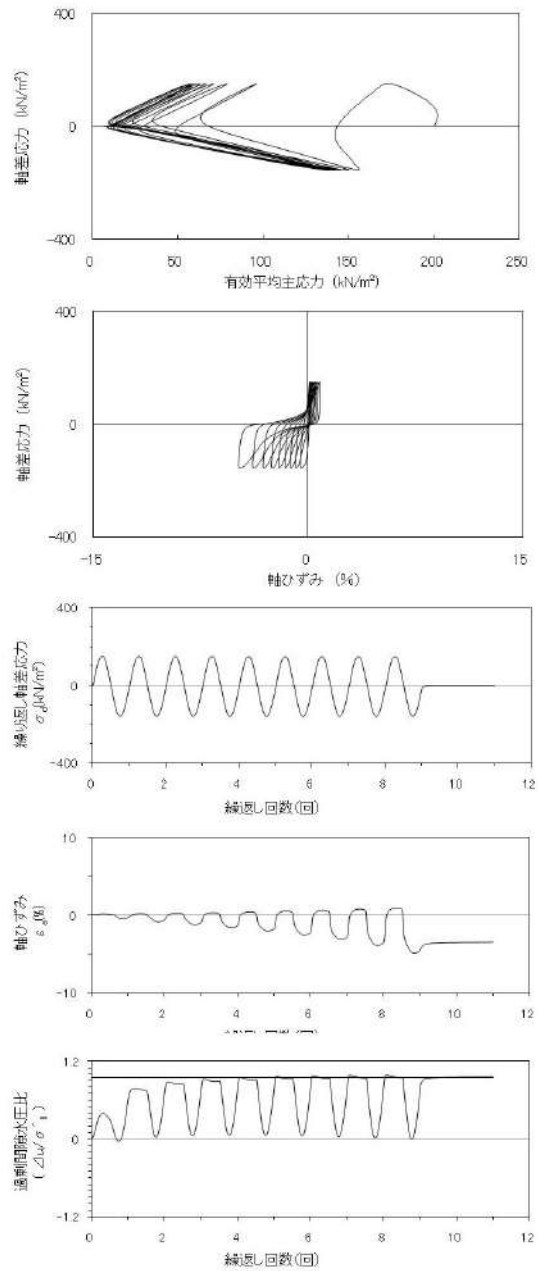
試験条件	
供試体	No.5
地表からの深度 (m)	2.80~4.23
有効上載圧 (kN/m ²)	71
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.428
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-84 図 液状化強度試験結果
(RE-3(1) 試料(供試体 No. 5))



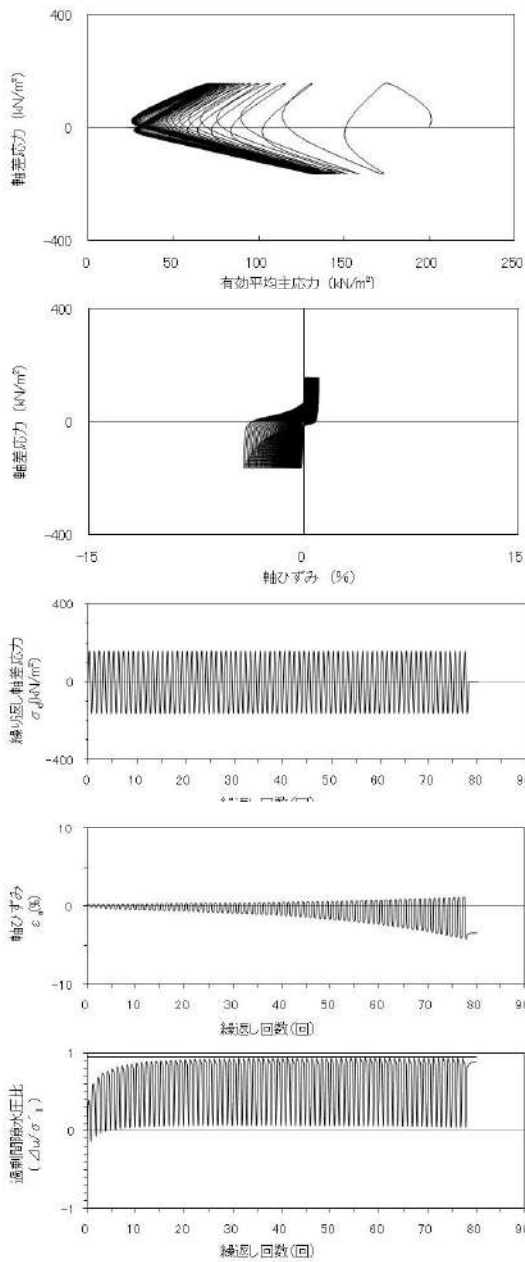
試験条件		
供試体		No. 1'
地表からの深度 (m)		2.80~4.23
有効上載圧 (kN/m^2)		71
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$		0.401
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-85 図 液状化強度試験結果
(RE-3(1) 試料(供試体 No. 1'))



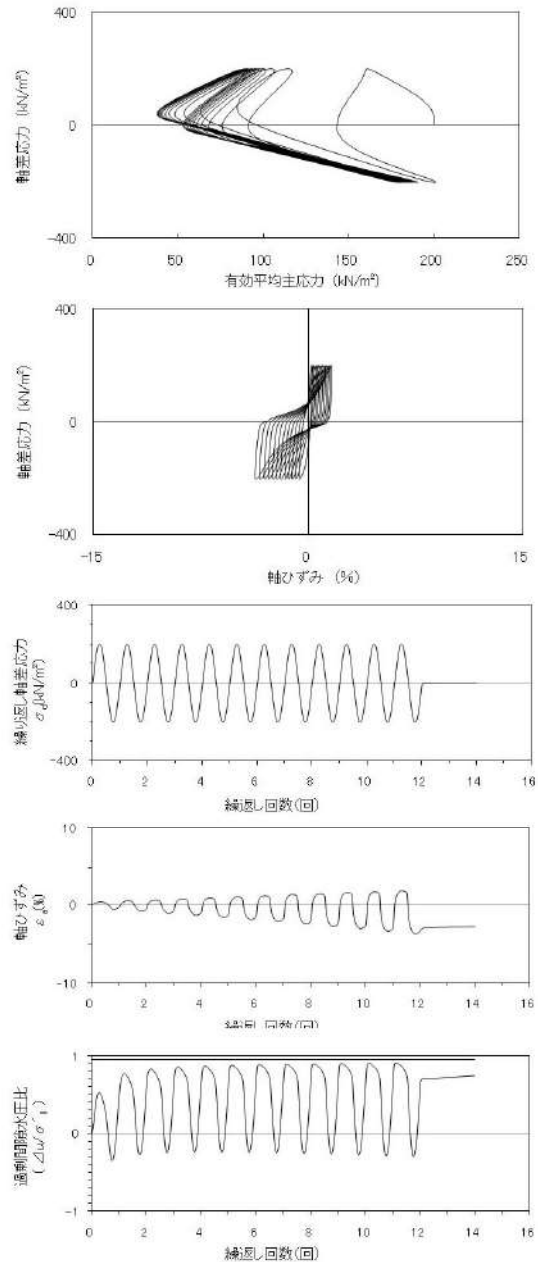
試験条件		
供試体		No. 2'
地表からの深度 (m)		2.80~4.23
有効上載圧 (kN/m^2)		71
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$		0.383
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-86 図 液状化強度試験結果
(RE-3(1) 試料(供試体 No. 2'))



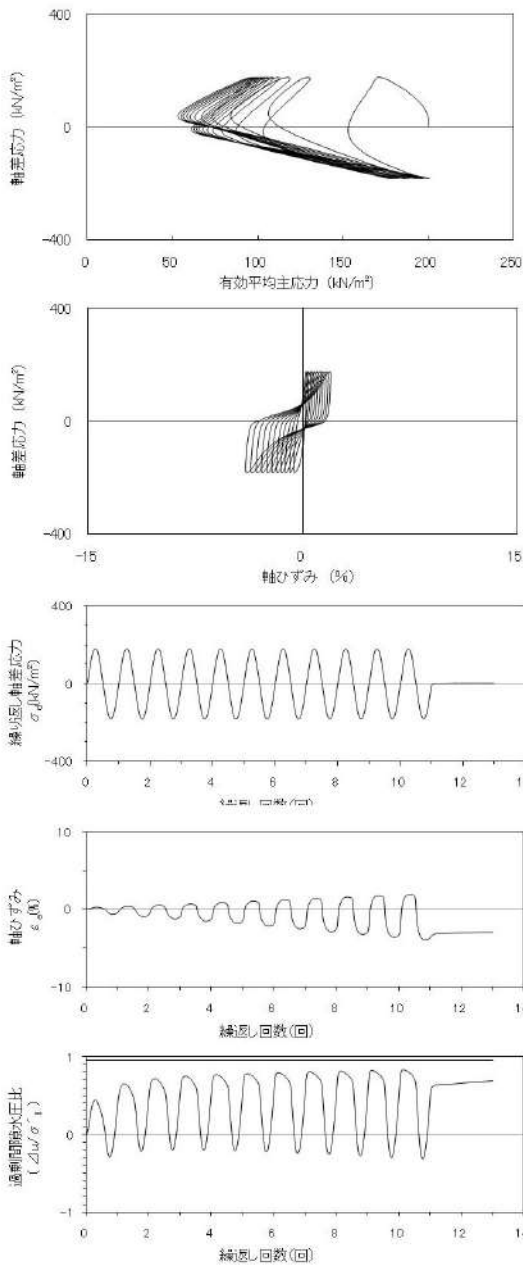
試験条件		
供試体		No.6
地表からの深度 (m)		4.40~5.70
有効上載圧 (kN/m ²)		101
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.401
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-87 図 液状化強度試験結果
(RE-3(2) 試料(供試体 No. 6))



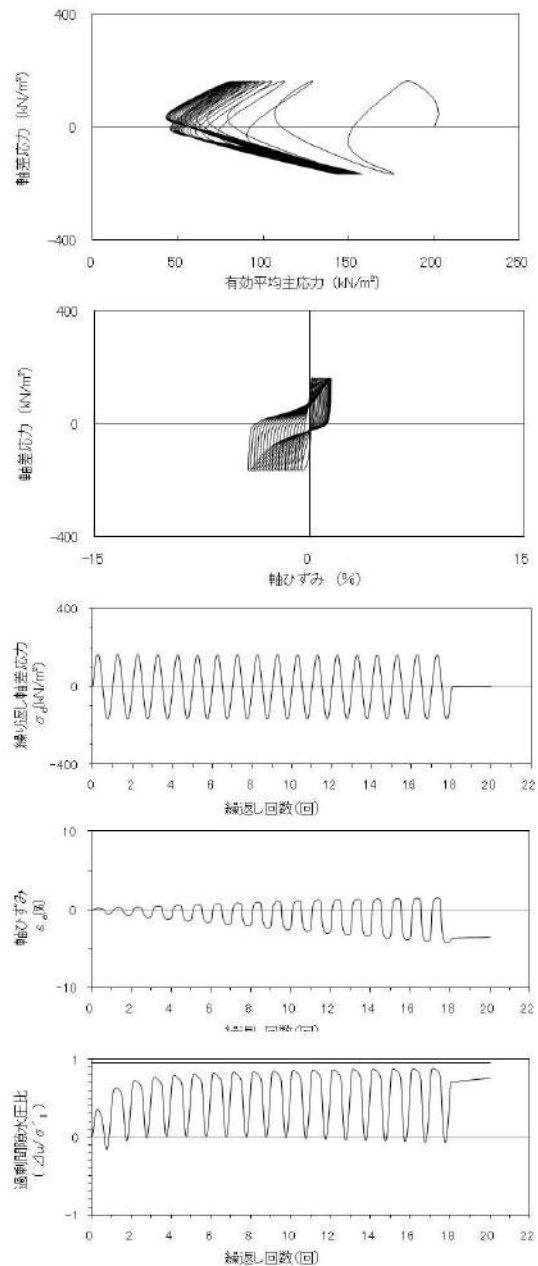
試験条件		
供試体		No.7
地表からの深度 (m)		4.40~5.70
有効上載圧 (kN/m ²)		101
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.502
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-88 図 液状化強度試験結果
(RE-3(2) 試料(供試体 No. 7))



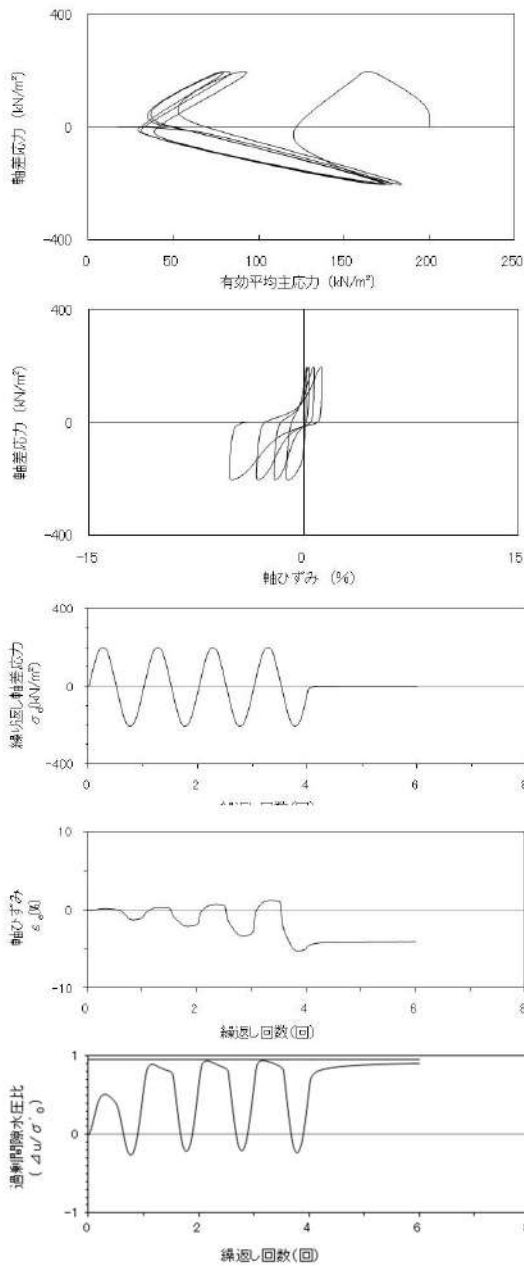
試験条件		
供試体		No.8
地表からの深度 (m)		4.40~5.70
有効上載圧 (kN/m ²)		101
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.451
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-89 図 液状化強度試験結果
(RE-3(2) 試料(供試体 No. 8))



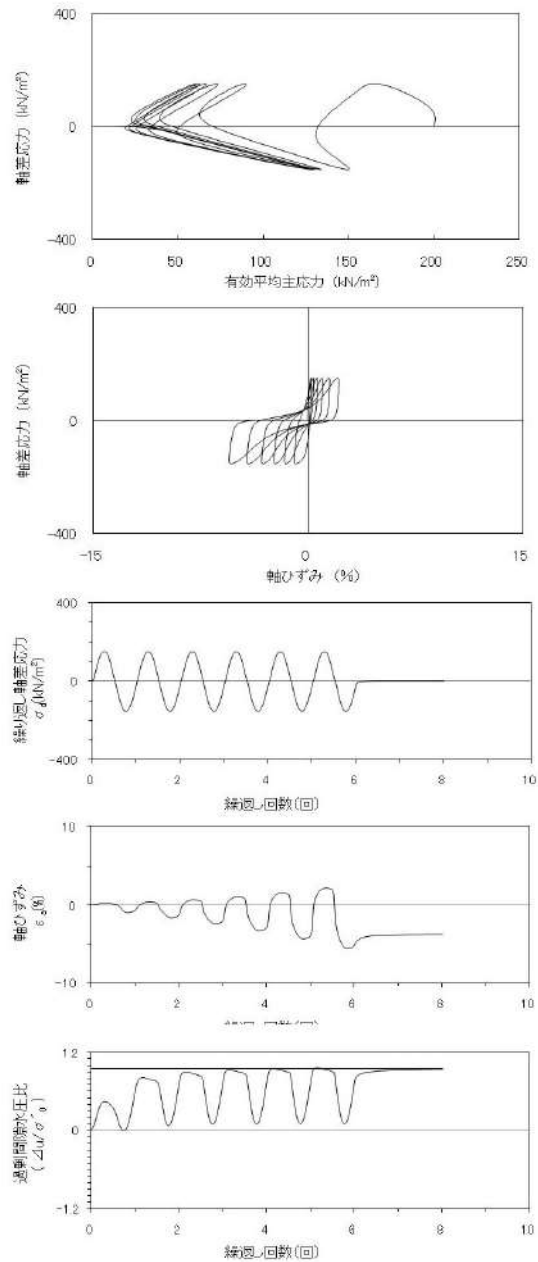
試験条件		
供試体		No.9
地表からの深度 (m)		4.40~5.70
有効上載圧 (kN/m ²)		101
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.413
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-90 図 液状化強度試験結果
(RE-3(2) 試料(供試体 No. 9))



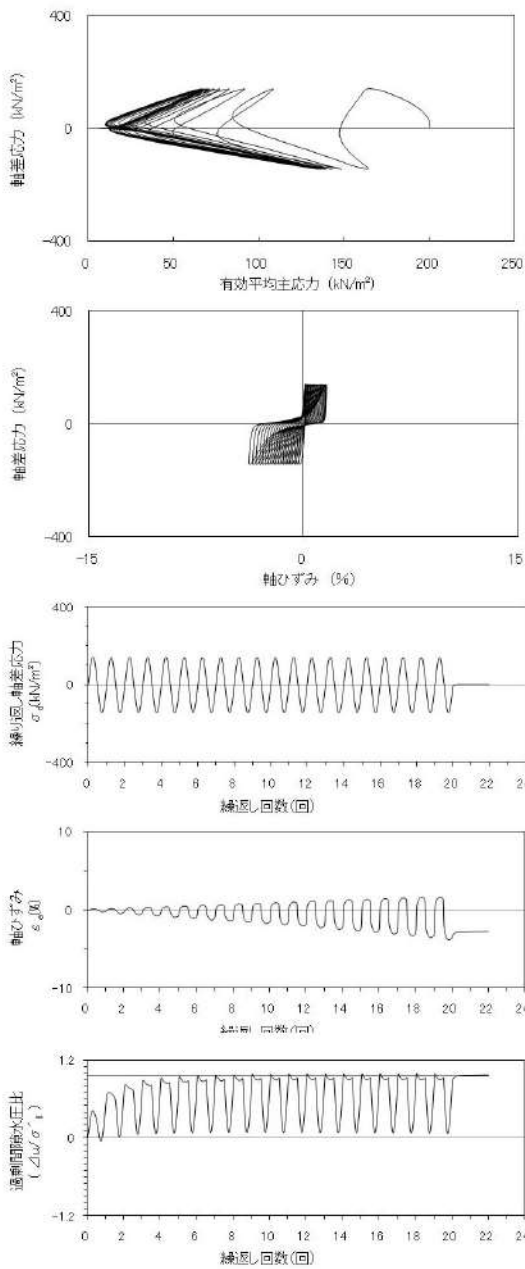
試験条件		
供試体	No.11	
地表からの深度 (m)	7.45~15.56	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.502	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-91 図 液状化強度試験結果
(RE-3(3) 試料(供試体 No. 11))



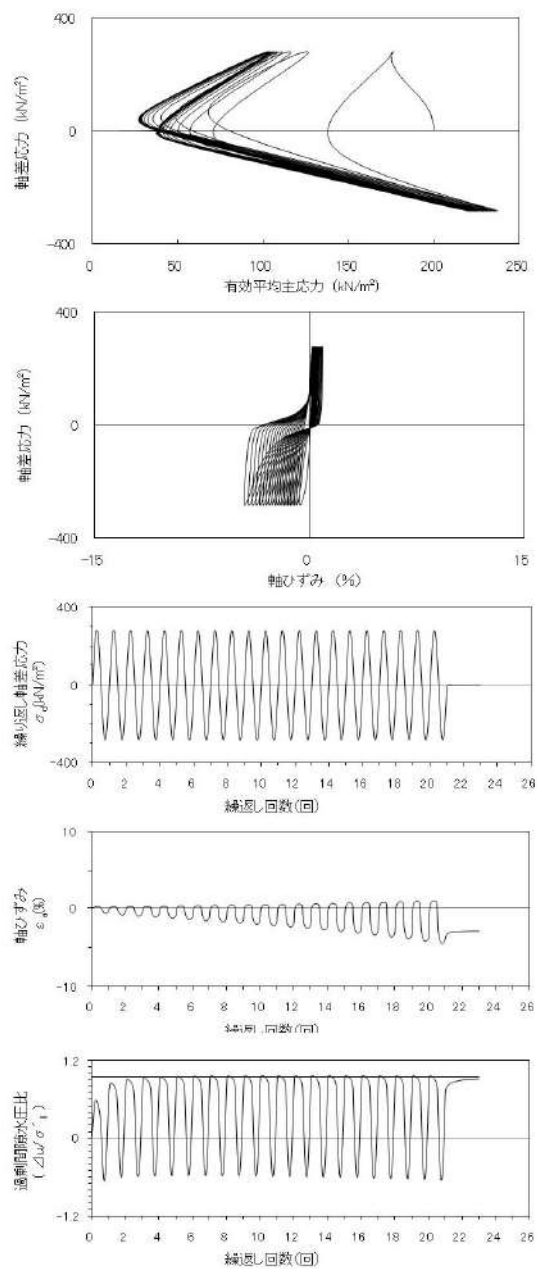
試験条件		
供試体	No.14	
地表からの深度 (m)	7.45~15.56	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.381	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-92 図 液状化強度試験結果
(RE-3(3) 試料(供試体 No. 14))



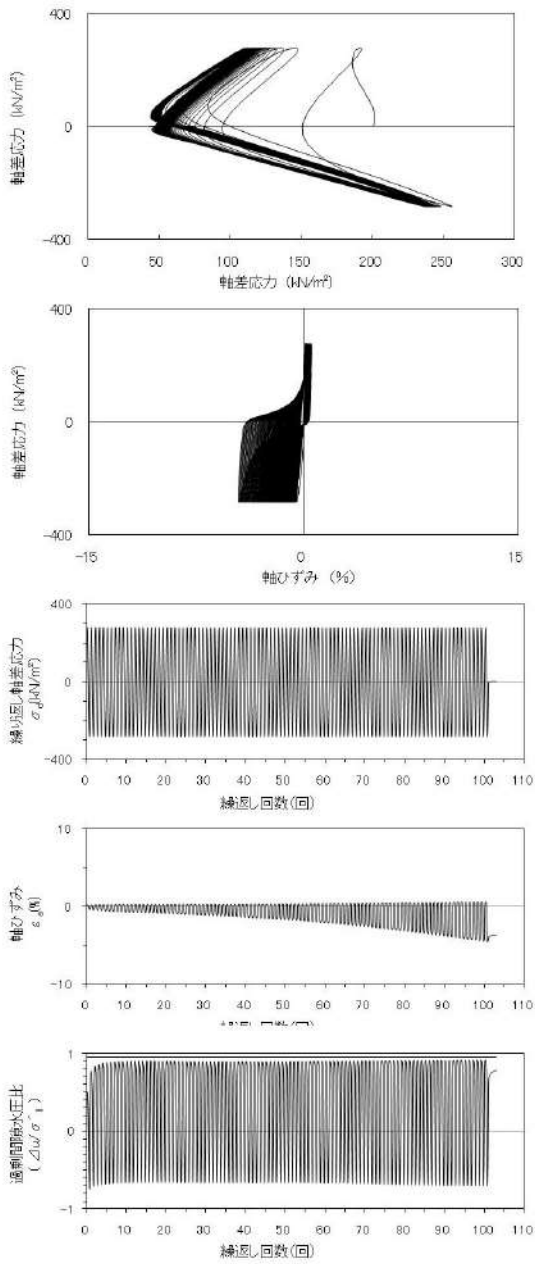
試験条件		
供試体		No.18
地表からの深度 (m)		7.45~15.56
有効上載圧 (kN/m ²)		210
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.352
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-93 図 液状化強度試験結果
(RE-3(3) 試料(供試体 No. 18))



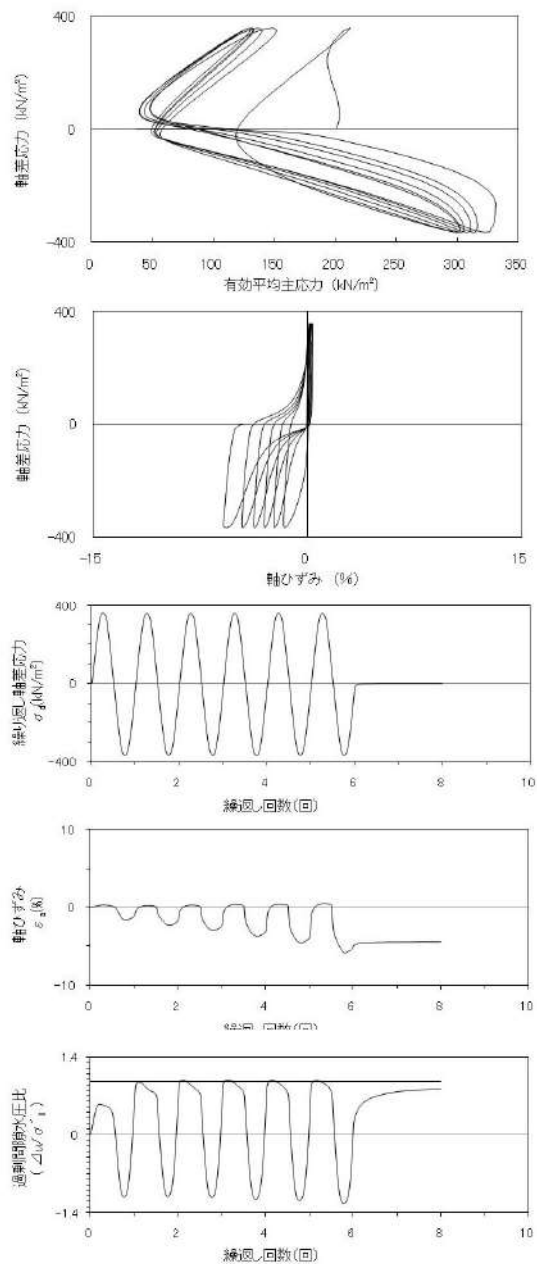
試験条件		
供試体		No.17
地表からの深度 (m)		9.75~9.95
有効上載圧 (kN/m ²)		197
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.705
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-94 図 液状化強度試験結果
(RE-4 試料(供試体 No. 17))



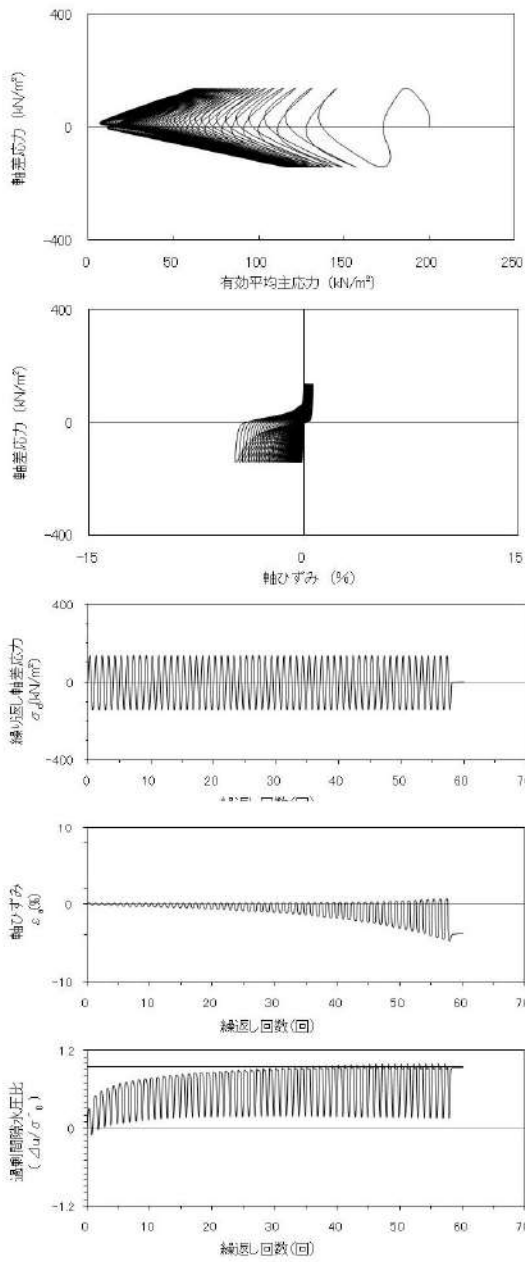
試験条件		
供試体	No.6	
地表からの深度 (m)	3.03~3.43	
有効上載圧 (kN/m ²)	65	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$	0.702	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-95 図 液状化強度試験結果
(RE-5(1) 試料(供試体 No. 6))



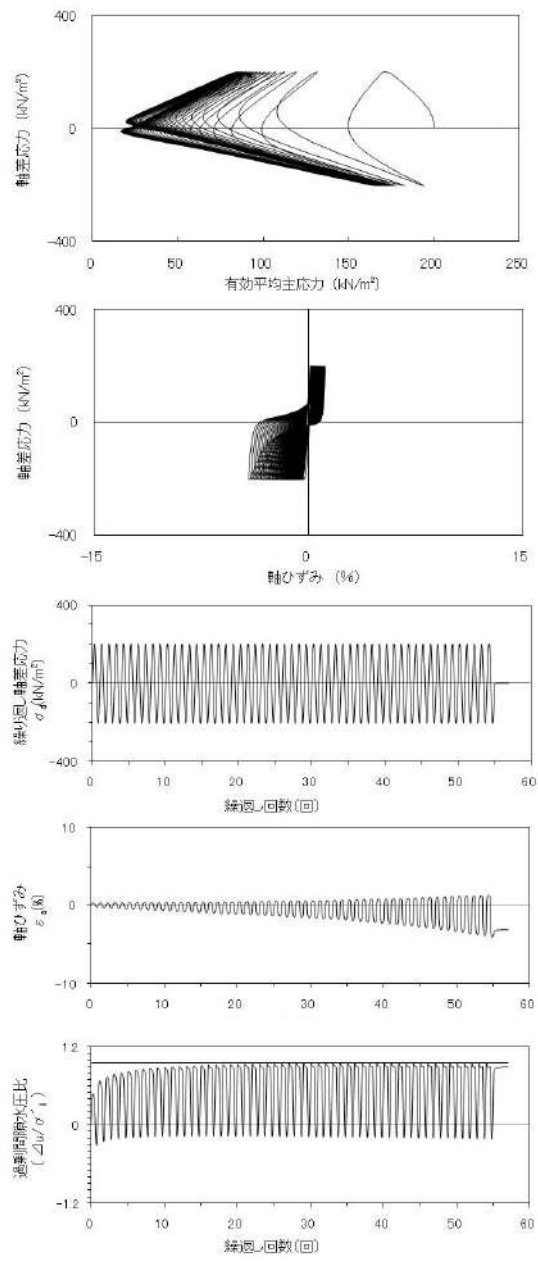
試験条件		
供試体	No.7	
地表からの深度 (m)	3.03~3.43	
有効上載圧 (kN/m ²)	65	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$	0.908	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-96 図 液状化強度試験結果
(RE-5(1) 試料(供試体 No. 7))



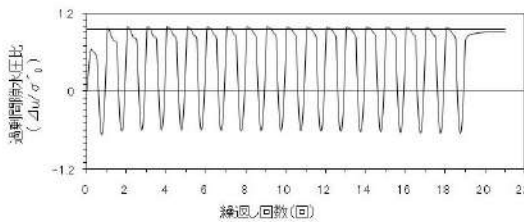
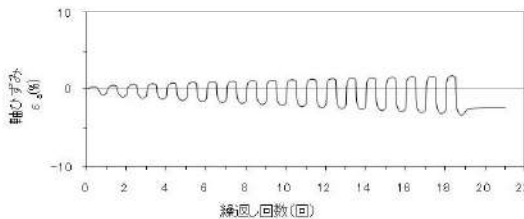
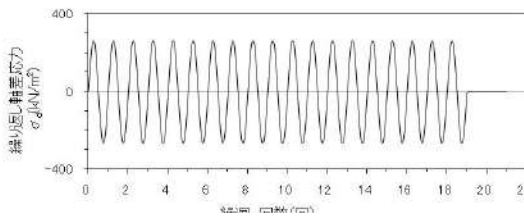
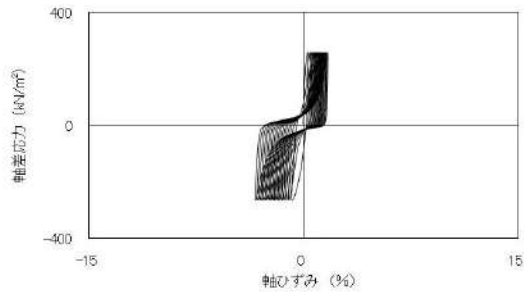
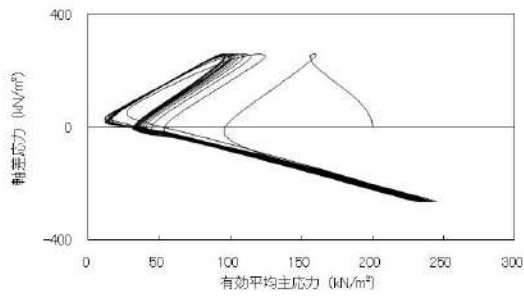
試験条件	
供試体	No.8
地表からの深度 (m)	3.43~10.05
有効上載圧 (kN/m ²)	100
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.349
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-97 図 液状化強度試験結果
(RE-5 (2) 試料(供試体 No. 8))



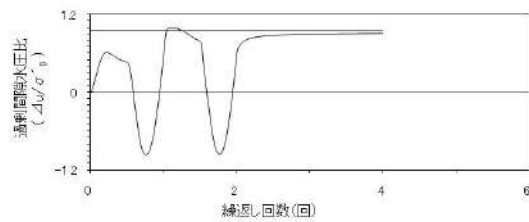
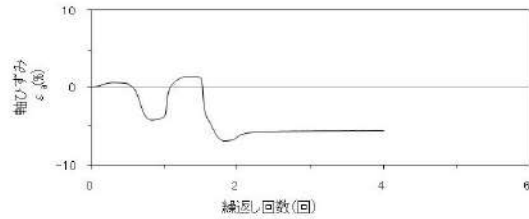
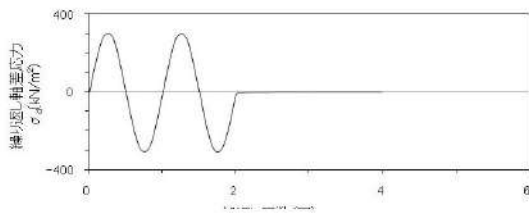
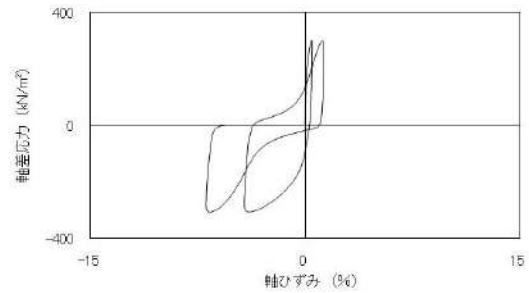
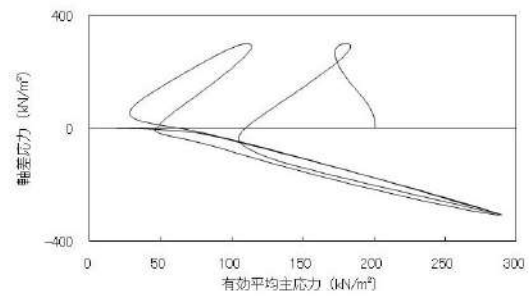
試験条件	
供試体	No.9
地表からの深度 (m)	3.43~10.05
有効上載圧 (kN/m ²)	100
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.503
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-98 図 液状化強度試験結果
(RE-5 (2) 試料(供試体 No. 9))



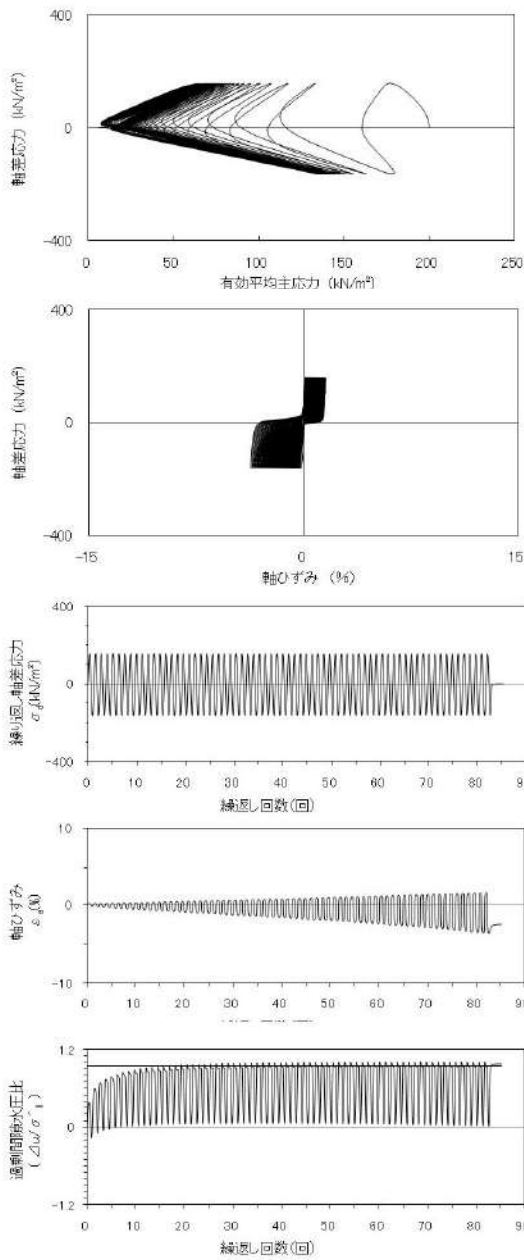
試験条件		
供試体	No.9	
地表からの深度 (m)	3.43~10.05	
有効上載圧 (kN/m ²)	100	
圧密応力 σ' _c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' _o	0.503	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-99 図 液状化強度試験結果
(RE-5(2) 試料(供試体 No. 18))



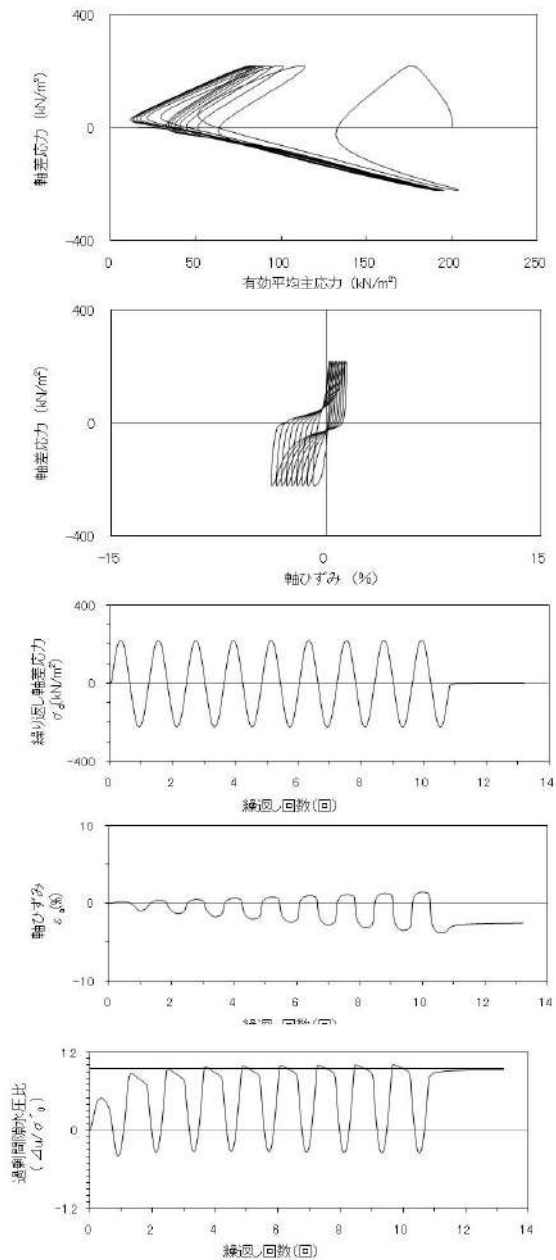
試験条件		
供試体	No.20	
地表からの深度 (m)	3.43~10.05	
有効上載圧 (kN/m ²)	100	
圧密応力 σ' _c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' _o	0.756	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-100 図 液状化強度試験結果
(RE-5(2) 試料(供試体 No. 20))



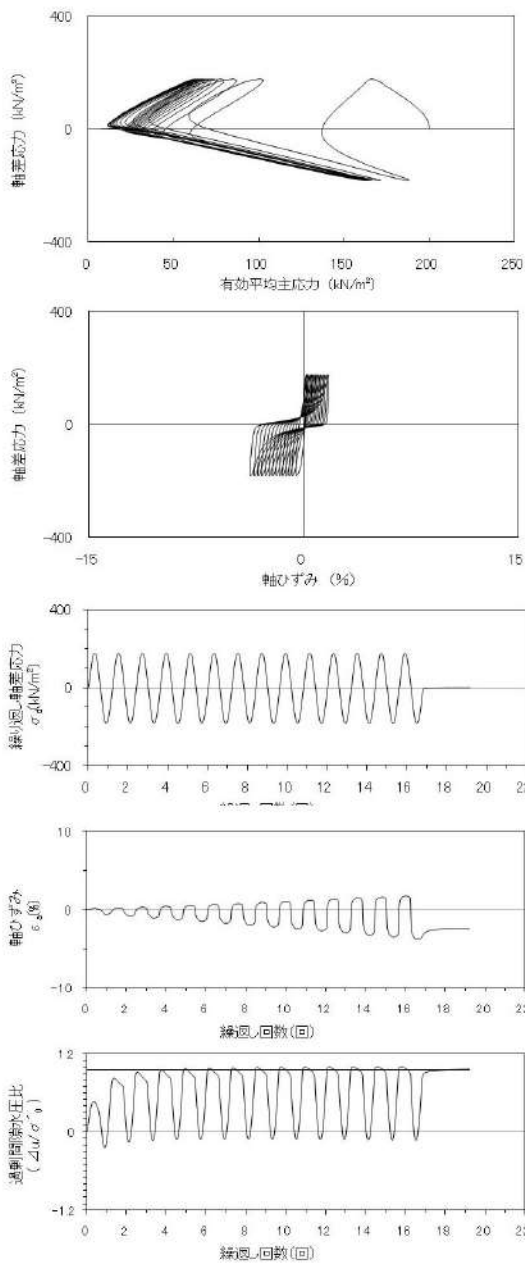
試験条件		
供試体		No.10
地表からの深度 (m)		4.15~6.60
有効上載圧 (kN/m ²)		86
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.402
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-101 図 液状化強度試験結果
(RE-5(3) 試料(供試体 No. 10))



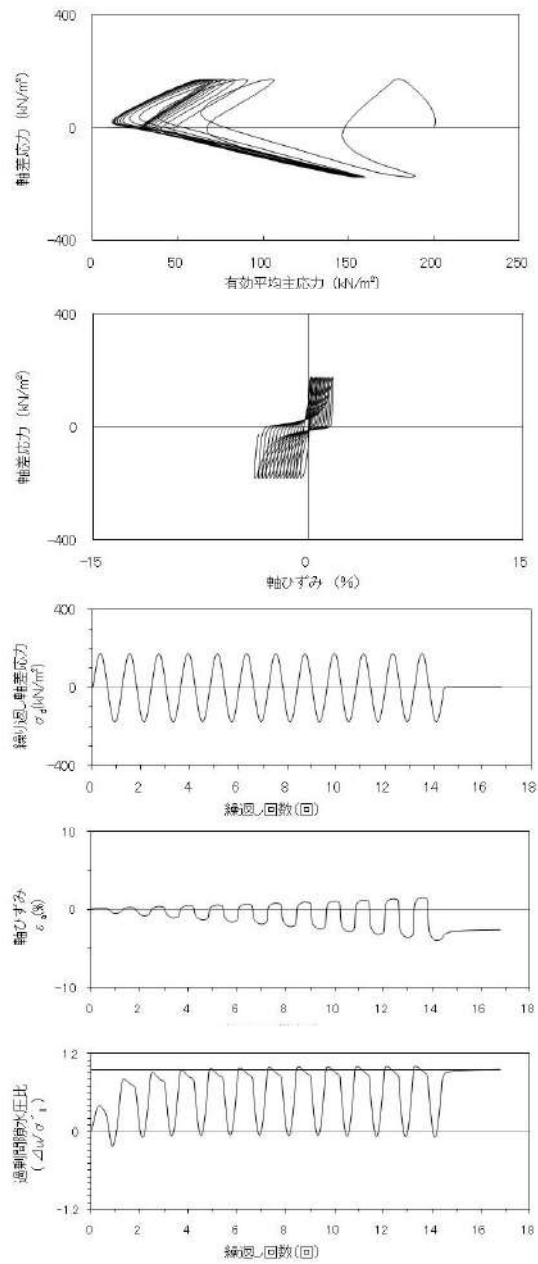
試験条件		
供試体		No.13
地表からの深度 (m)		4.15~6.60
有効上載圧 (kN/m ²)		86
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.553
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-102 図 液状化強度試験結果
(RE-5(3) 試料(供試体 No. 13))



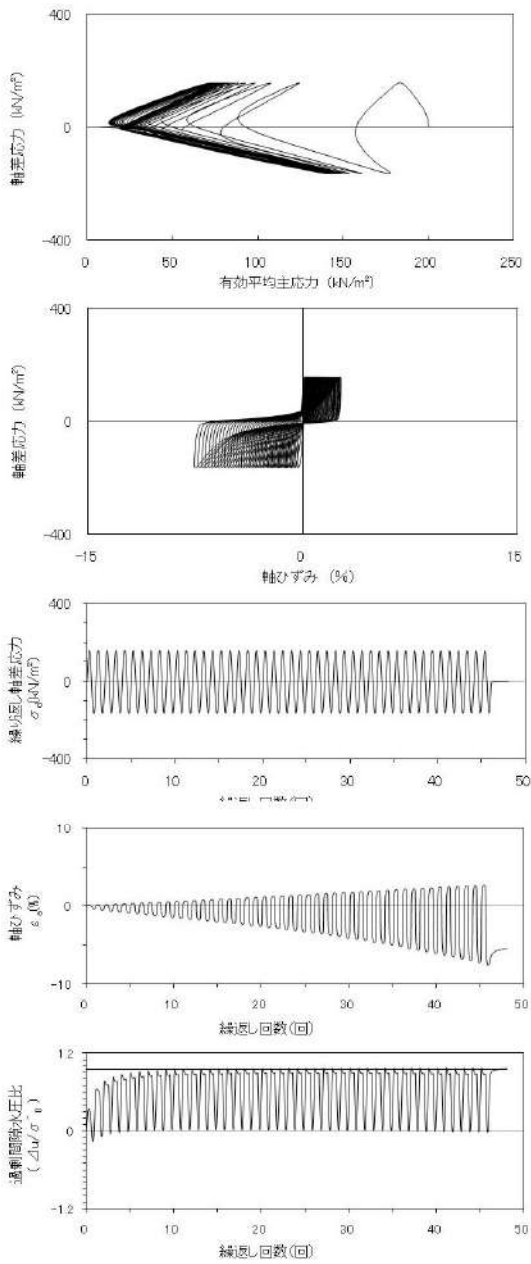
試験条件		
供試体		No.16
地表からの深度 (m)		4.15~6.60
有効上載圧 (kN/m ²)		86
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.450
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-103 図 液状化強度試験結果
(RE-5(3) 試料(供試体 No. 16))



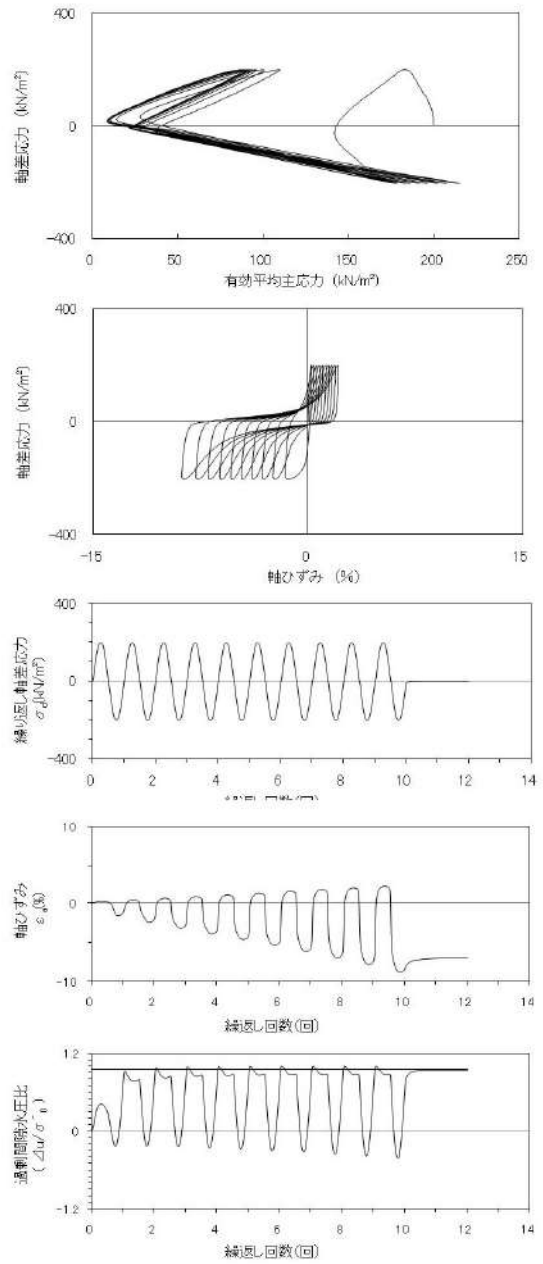
試験条件		
供試体		No.17
地表からの深度 (m)		4.15~6.60
有効上載圧 (kN/m ²)		86
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.433
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-104 図 液状化強度試験結果
(RE-5(3) 試料(供試体 No. 17))



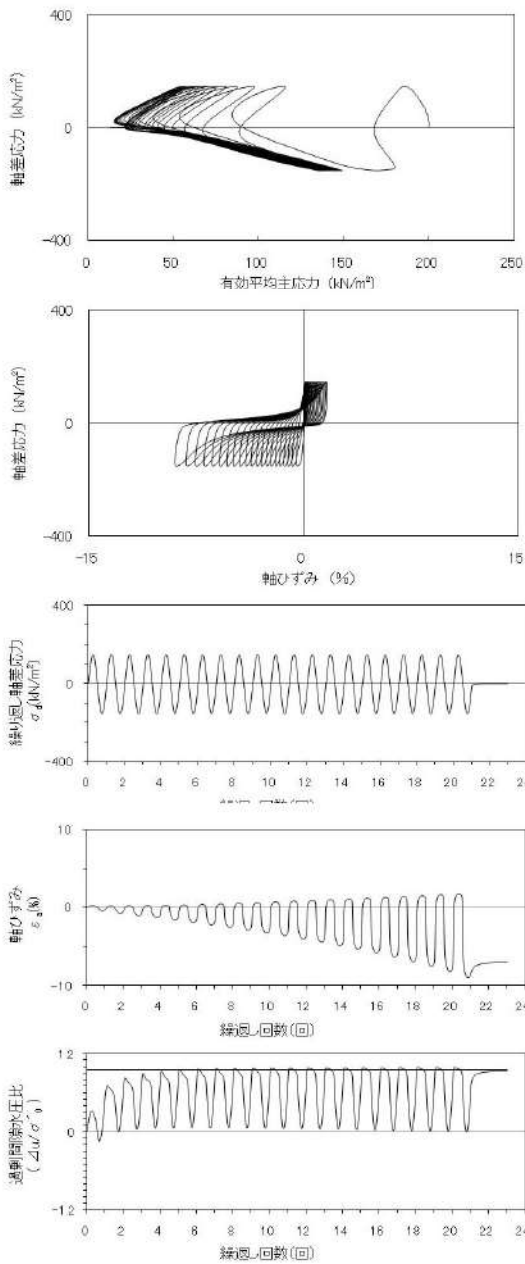
試験条件		
供試体		No.16
地表からの深度 (m)		7.50~14.15
有効上載圧 (kN/m ²)		141
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.404
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-105 図 液状化強度試験結果
(RE-6 試料(供試体 No. 16))



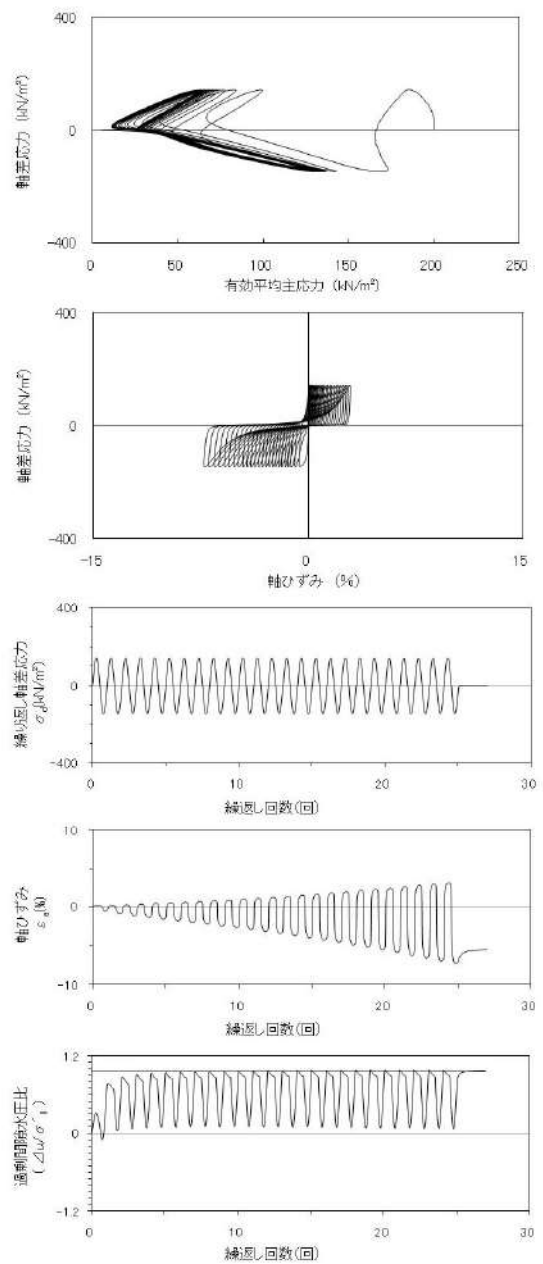
試験条件		
供試体		No.17
地表からの深度 (m)		7.50~14.15
有効上載圧 (kN/m ²)		141
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.503
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-106 図 液状化強度試験結果
(RE-6 試料(供試体 No. 17))



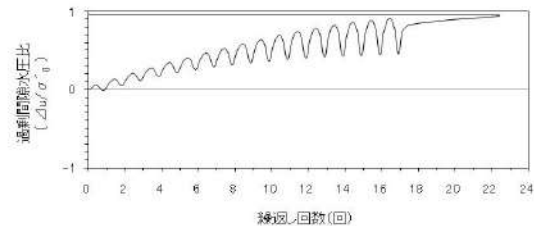
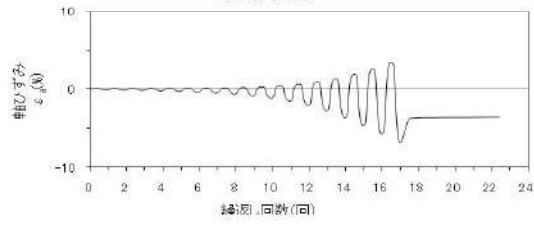
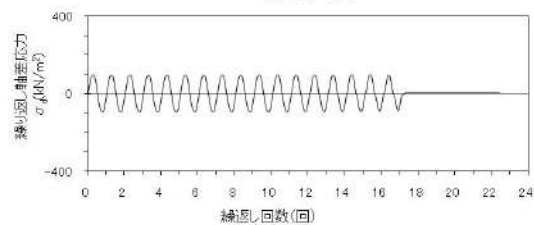
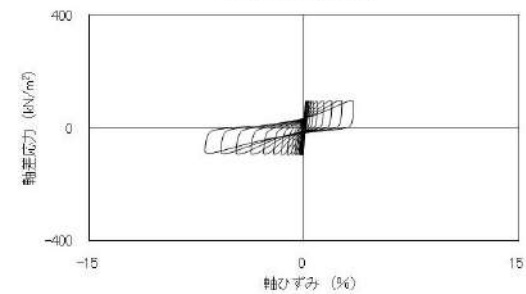
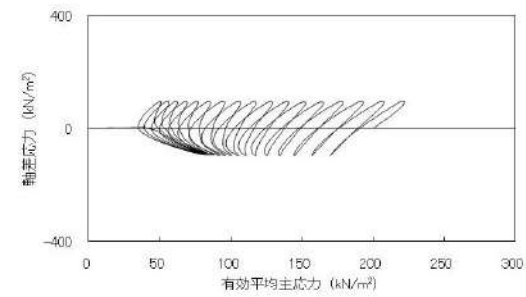
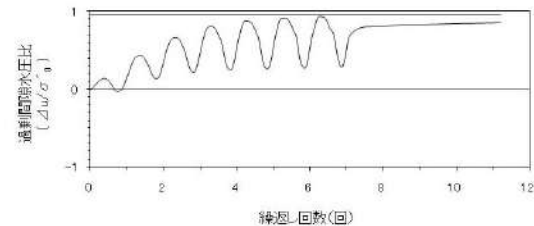
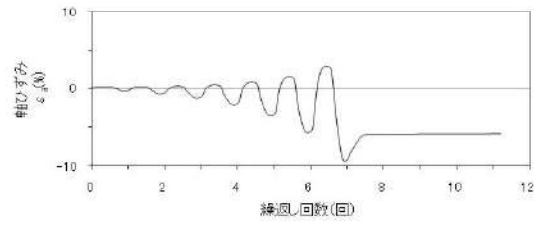
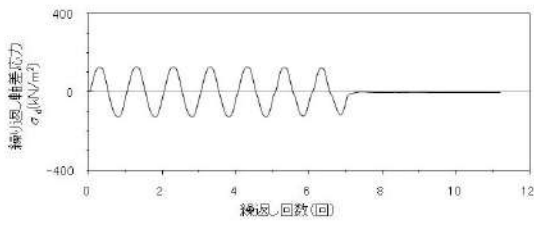
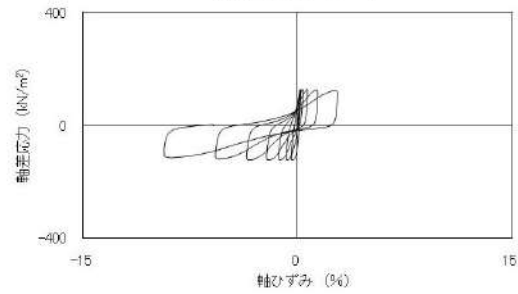
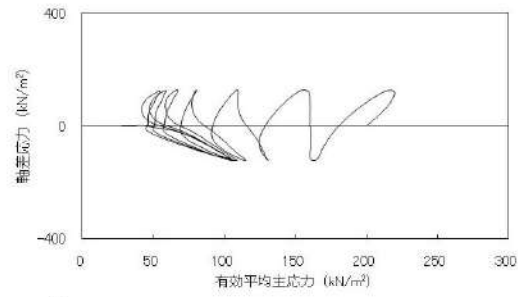
試験条件		
供試体		No.18
地表からの深度 (m)		7.50~14.15
有効上載圧 (kN/m ²)		141
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.374
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-107 図 液状化強度試験結果
(RE-6 試料(供試体 No. 18))



試験条件		
供試体		No.20
地表からの深度 (m)		7.50~14.15
有効上載圧 (kN/m ²)		141
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.361
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-108 図 液状化強度試験結果
(RE-6 試料(供試体 No. 20))

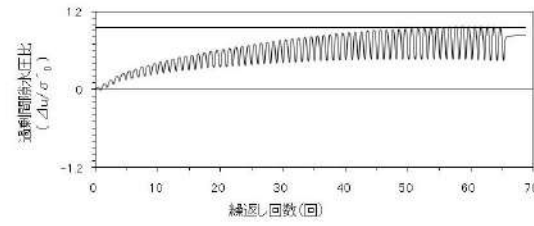
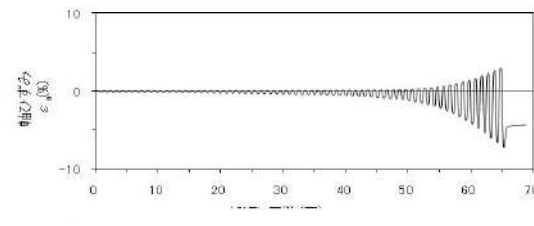
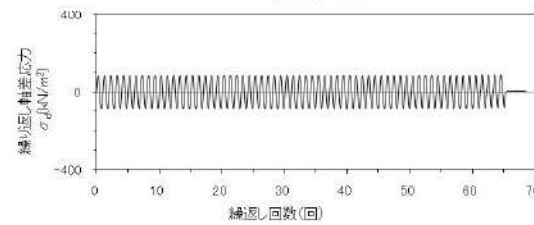
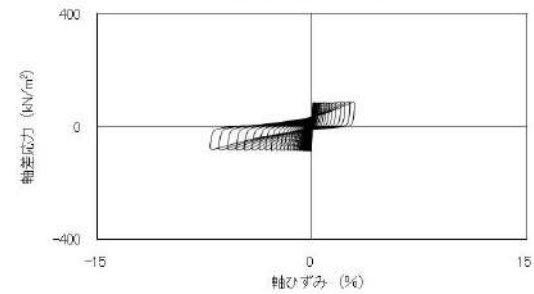
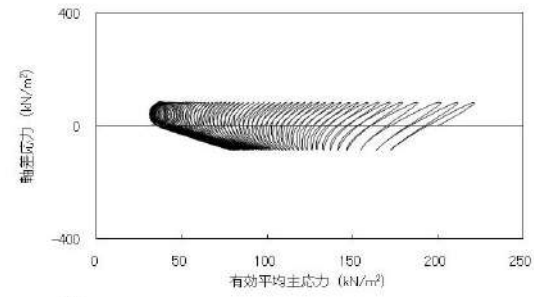
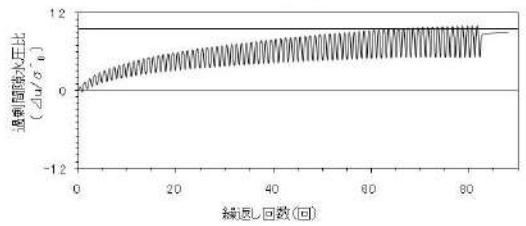
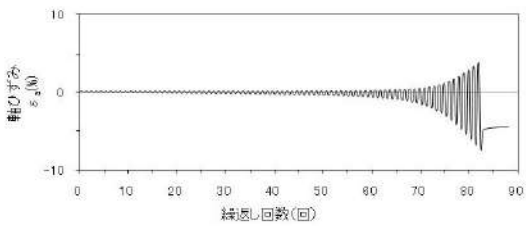
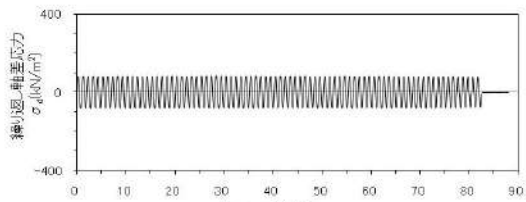
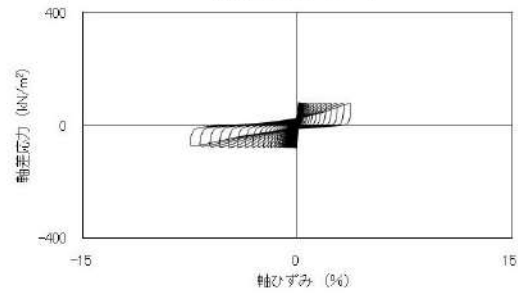
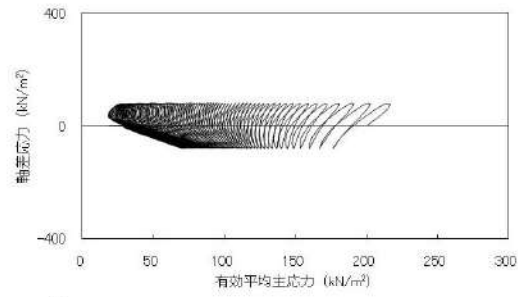


試験条件		
供試体		No.1-1
地表からの深度 (m)		1.55~2.15
有効上載圧 (kN/m ²)		37
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.311
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-109 図 液状化強度試験結果
(SH-1(1) 試料(供試体 No. 1-1))

試験条件		
供試体		No.1-4
地表からの深度 (m)		1.55~2.15
有効上載圧 (kN/m ²)		37
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.235
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-110 図 液状化強度試験結果
(SH-1(1) 試料(供試体 No. 1-4))

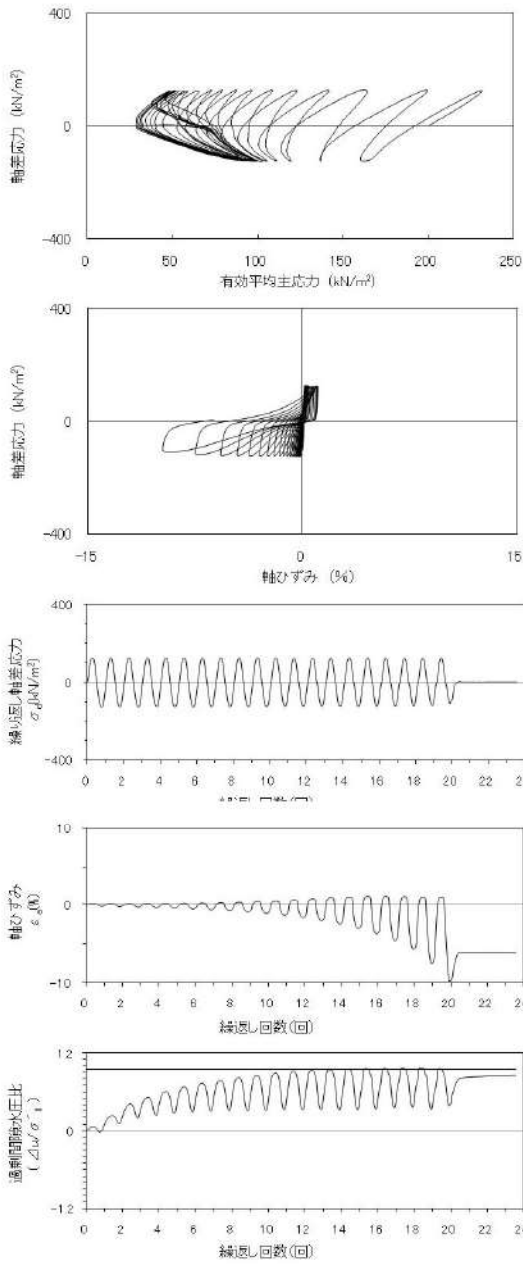


試験条件	
供試体	No.1-5
地表からの深度 (m)	1.55~2.15
有効上載圧 (kN/m ²)	37
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.200
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○

試験条件	
供試体	No.1-6
地表からの深度 (m)	1.55~2.15
有効上載圧 (kN/m ²)	37
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.212
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○

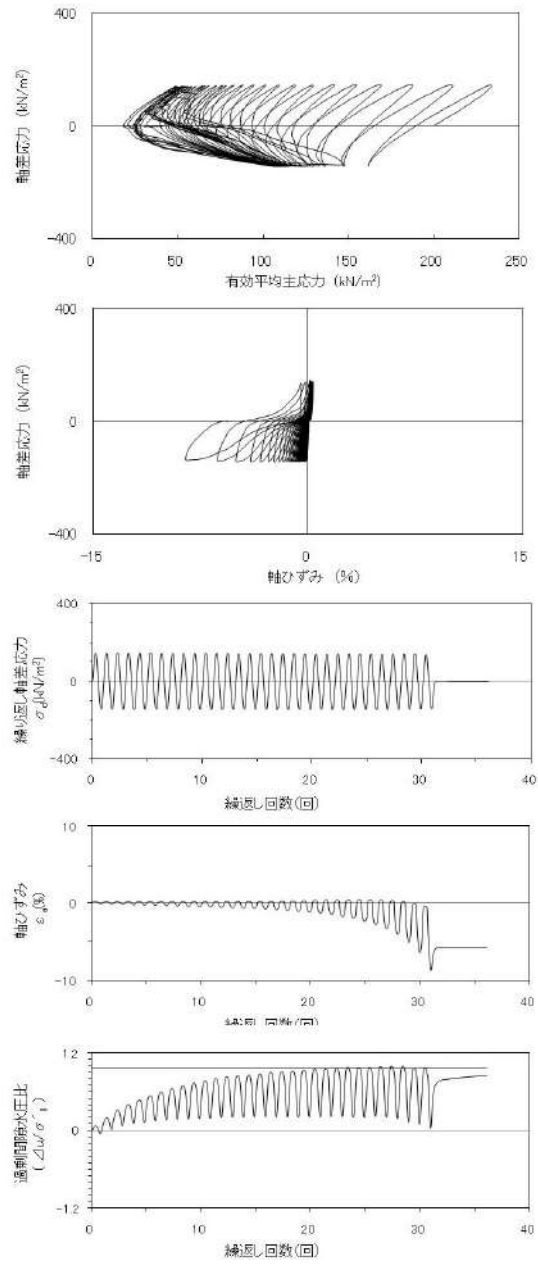
添付 1-111 図 液状化強度試験結果
(SH-1(1) 試料(供試体 No. 1-5))

添付 1-112 図 液状化強度試験結果
(SH-1(1) 試料(供試体 No. 1-6))



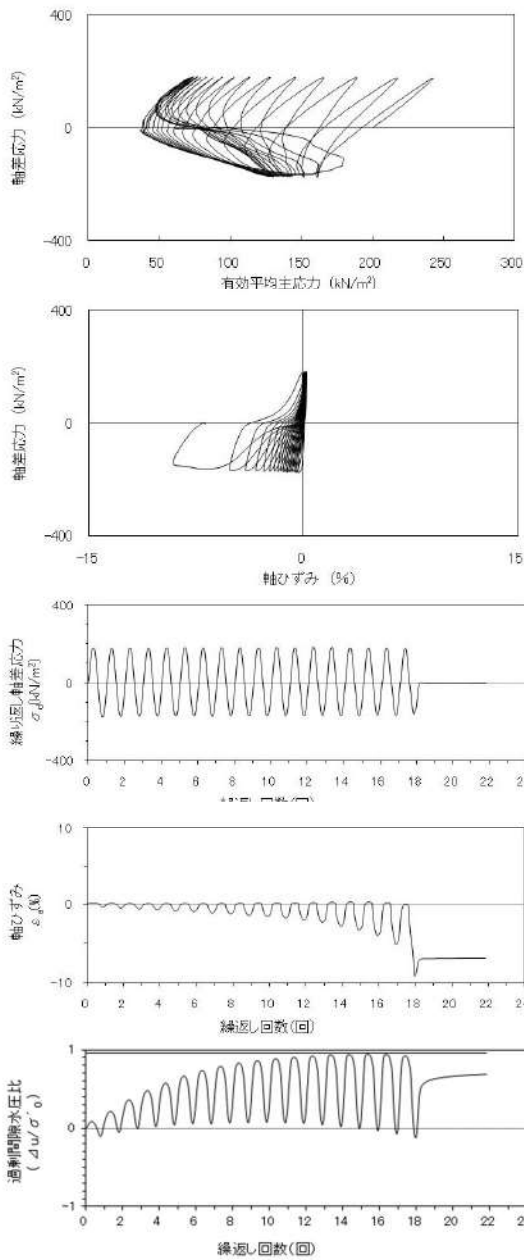
試験条件	
供試体	No.2-2
地表からの深度 (m)	2.95~3.55
有効上載圧 (kN/m ²)	65
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.311
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-113 図 液状化強度試験結果
(SH-1(2) 試料(供試体 No. 2-2))



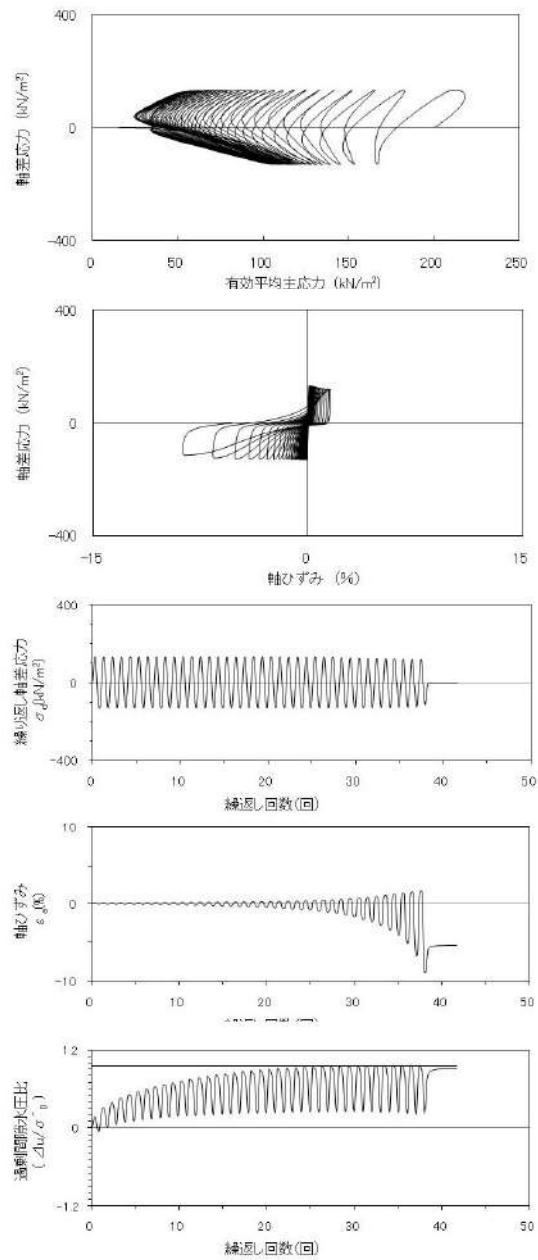
試験条件	
供試体	No.2-3
地表からの深度 (m)	2.95~3.55
有効上載圧 (kN/m ²)	65
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.359
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-114 図 液状化強度試験結果
(SH-1(2) 試料(供試体 No. 2-3))



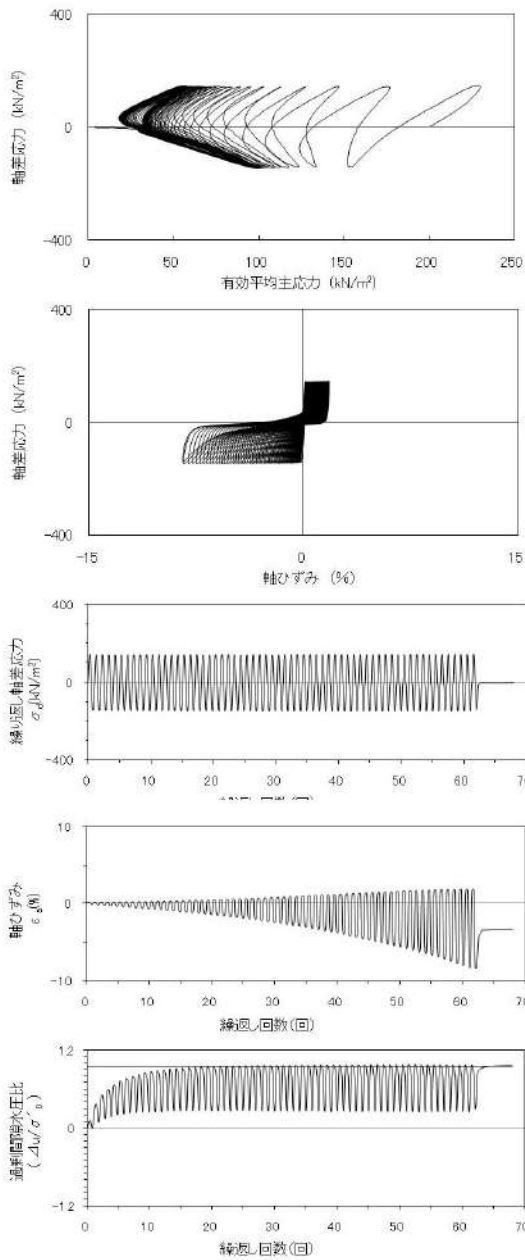
試験条件		
供試体		No.2-4
地表からの深度 (m)		2.95~3.55
有効上載圧 (kN/m ²)		65
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$		0.440
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-115 図 液状化強度試験結果
(SH-1(2) 試料(供試体 No. 2-4))



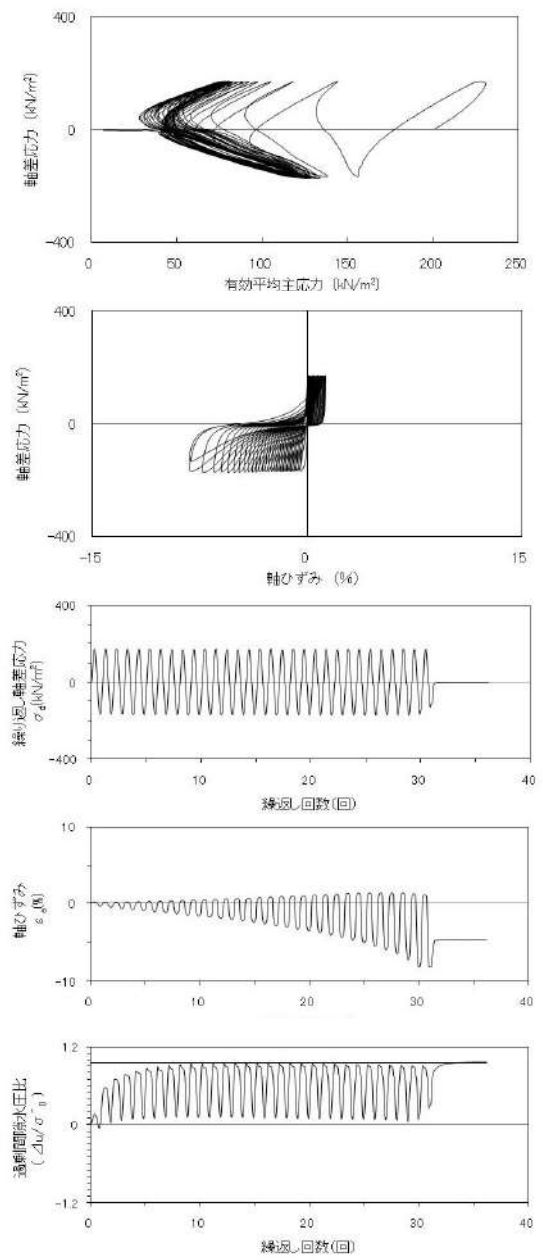
試験条件		
供試体		No.2-6
地表からの深度 (m)		2.95~3.55
有効上載圧 (kN/m ²)		65
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$		0.328
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-116 図 液状化強度試験結果
(SH-1(2) 試料(供試体 No. 2-6))



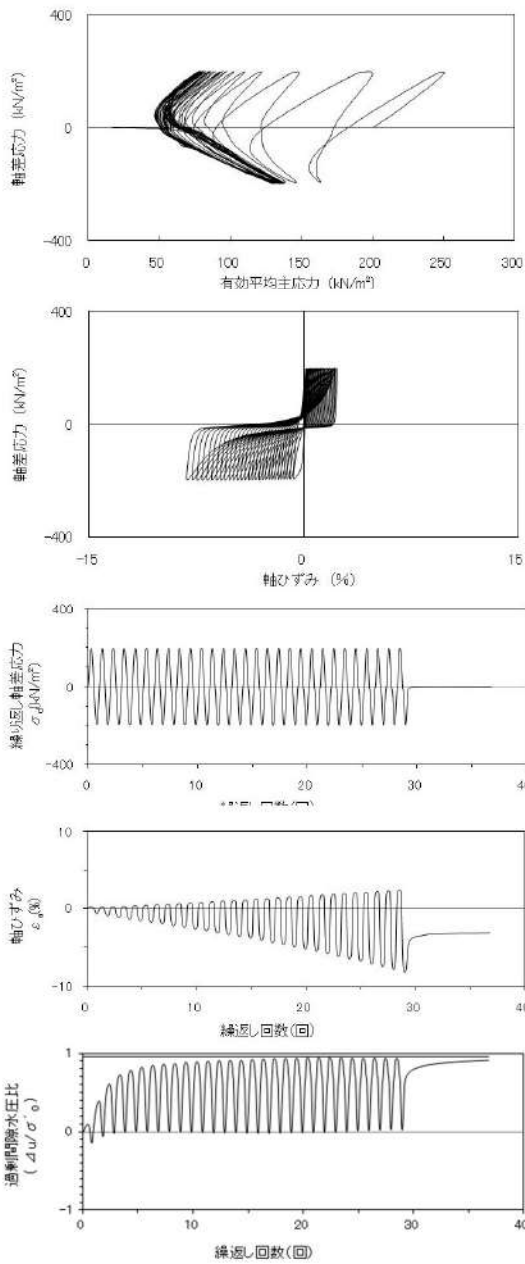
試験条件		
供試体		No.3-2
地表からの深度 (m)		4.40~5.00
有効上載圧 (kN/m ²)		82
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.358
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-117 図 液状化強度試験結果
(SH-1(3) 試料(供試体 No. 3-2))



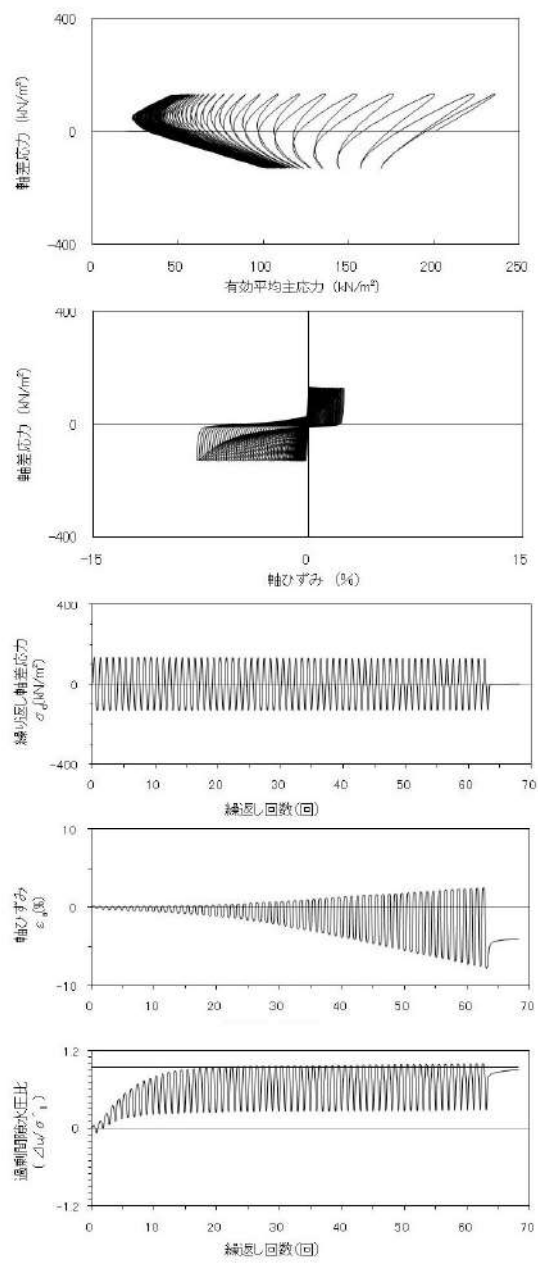
試験条件		
供試体		No.3-3
地表からの深度 (m)		4.40~5.00
有効上載圧 (kN/m ²)		82
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.423
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-118 図 液状化強度試験結果
(SH-1(3) 試料(供試体 No. 3-3))



試験条件		
供試体	No.3-4	
地表からの深度 (m)	4.40~5.00	
有効上載圧 (kN/m ²)	82	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.490	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-119 図 液状化強度試験結果
(SH-1 (3) 試料(供試体 No. 3-4))

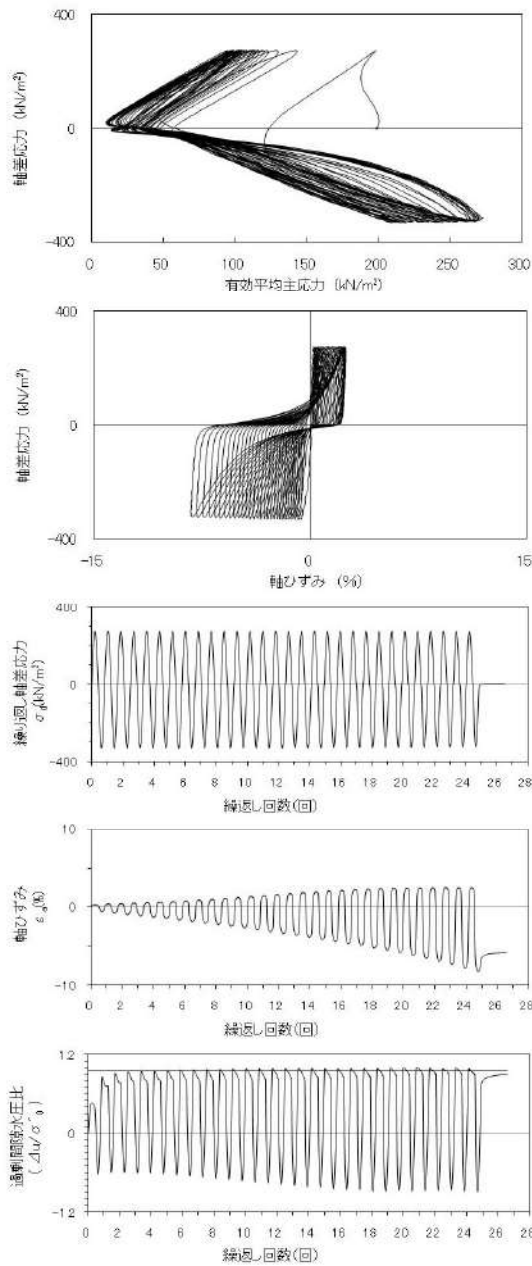


試験条件		
供試体	No.3-5	
地表からの深度 (m)	4.40~5.00	
有効上載圧 (kN/m ²)	82	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.328	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-120 図 液状化強度試験結果
(SH-1 (3) 試料(供試体 No. 3-5))

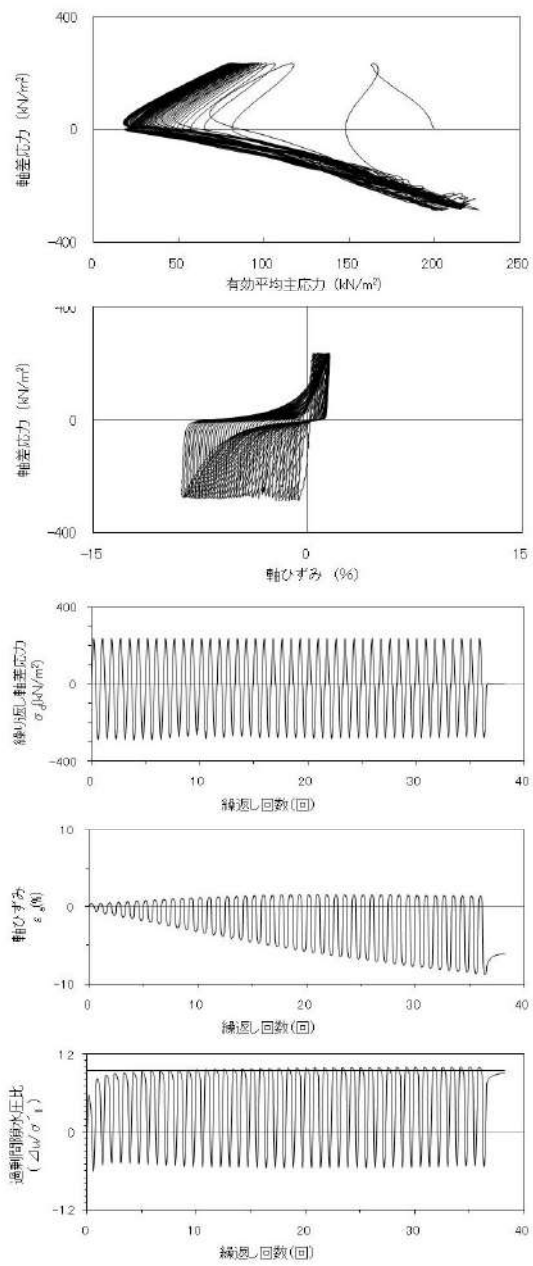
2. 液状化強度試験結果

(2) 3号埋戻土の試験データ



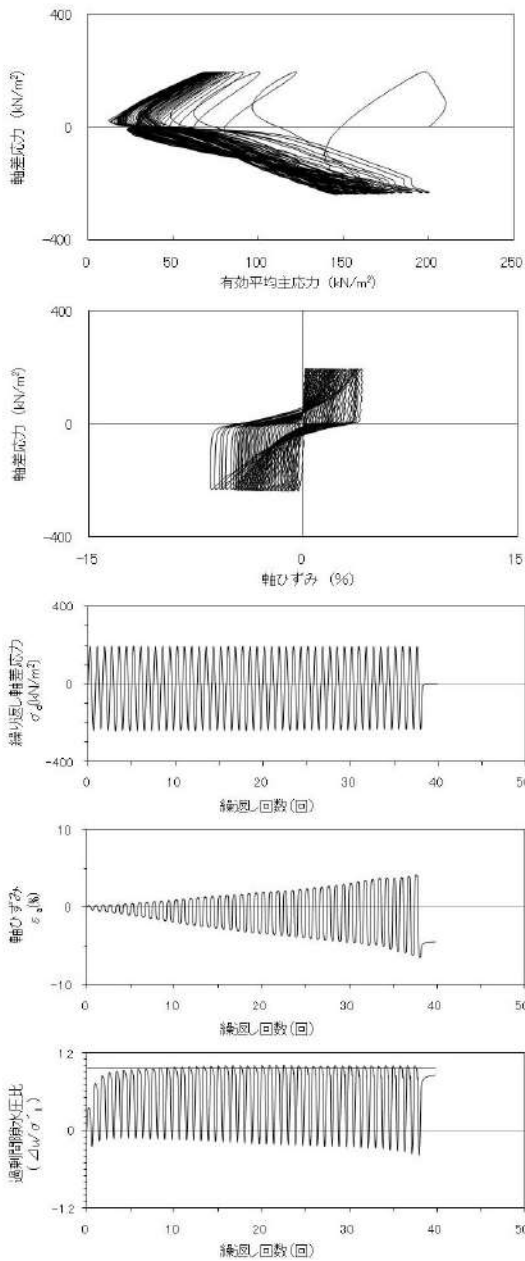
試験条件	
供試体	No.12
地表からの深度 (m)	10.05~11.30
有効上載圧 (kN/m ²)	201
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.757
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○

添付 1-121 図 液状化強度試験結果
(SW2-1 試料(供試体 No. 12))



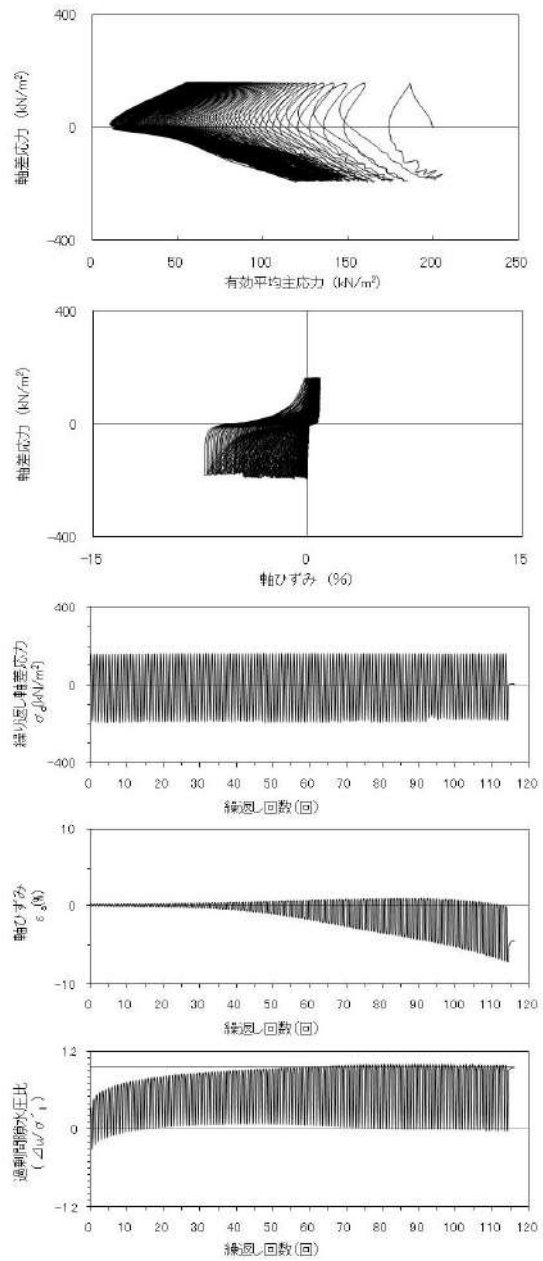
試験条件	
供試体	No.13
地表からの深度 (m)	10.05~11.30
有効上載圧 (kN/m ²)	201
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.651
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○

添付 1-122 図 液状化強度試験結果
(SW2-1 試料(供試体 No. 13))



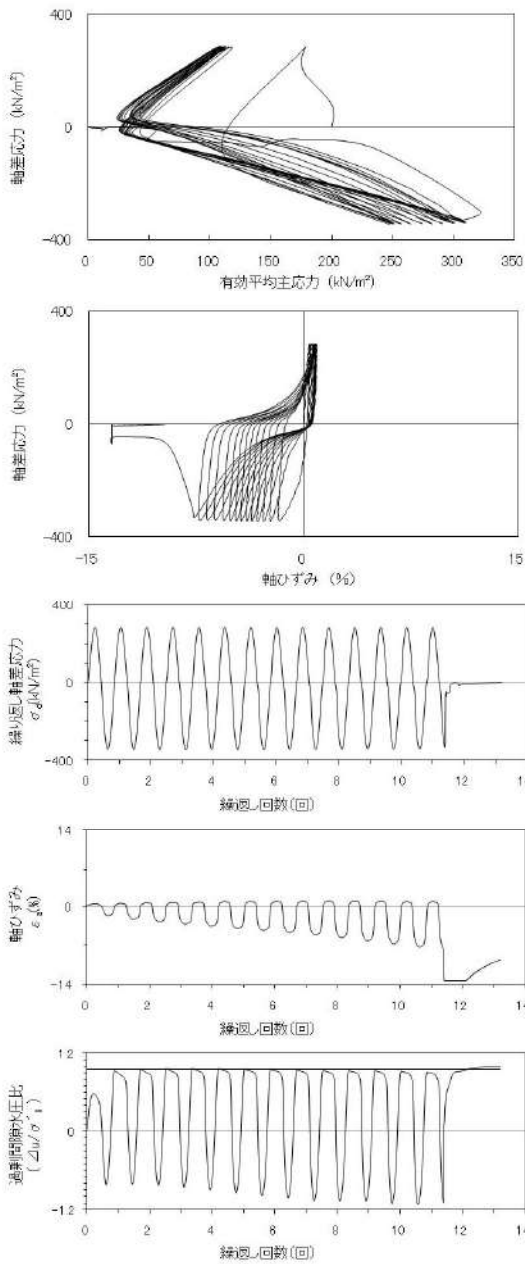
試験条件		
供試体	No.14	
地表からの深度 (m)	10.05~11.30	
有効上載圧 (kN/m ²)	201	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.542	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-123 図 液状化強度試験結果
(SW2-1 試料(供試体 No. 14))



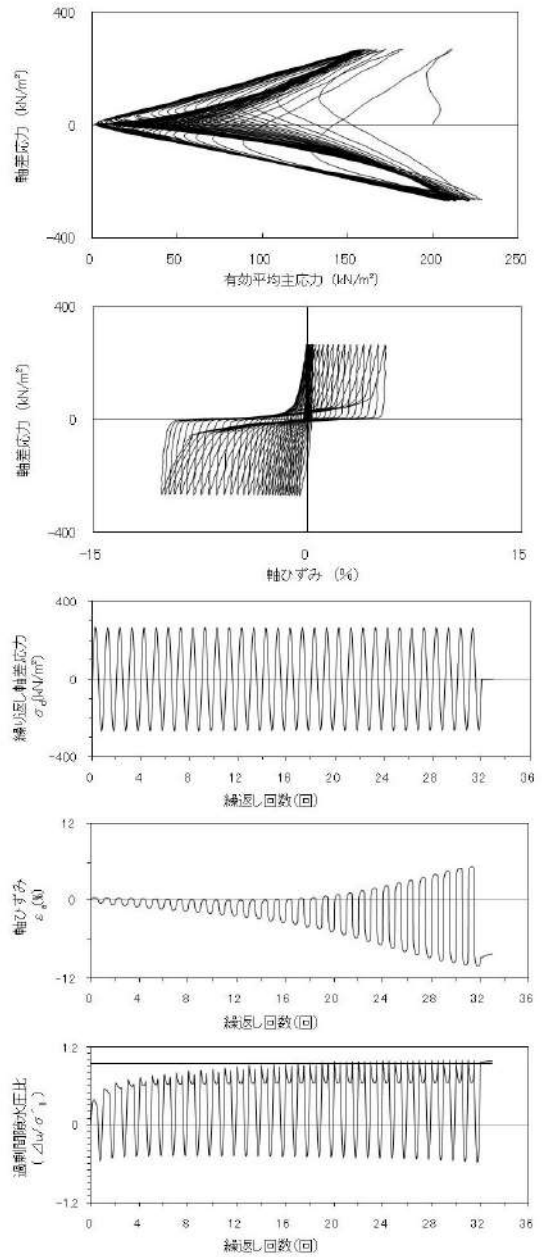
試験条件		
供試体	No.15	
地表からの深度 (m)	10.05~11.30	
有効上載圧 (kN/m ²)	201	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.435	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-124 図 液状化強度試験結果
(SW2-1 試料(供試体 No. 15))



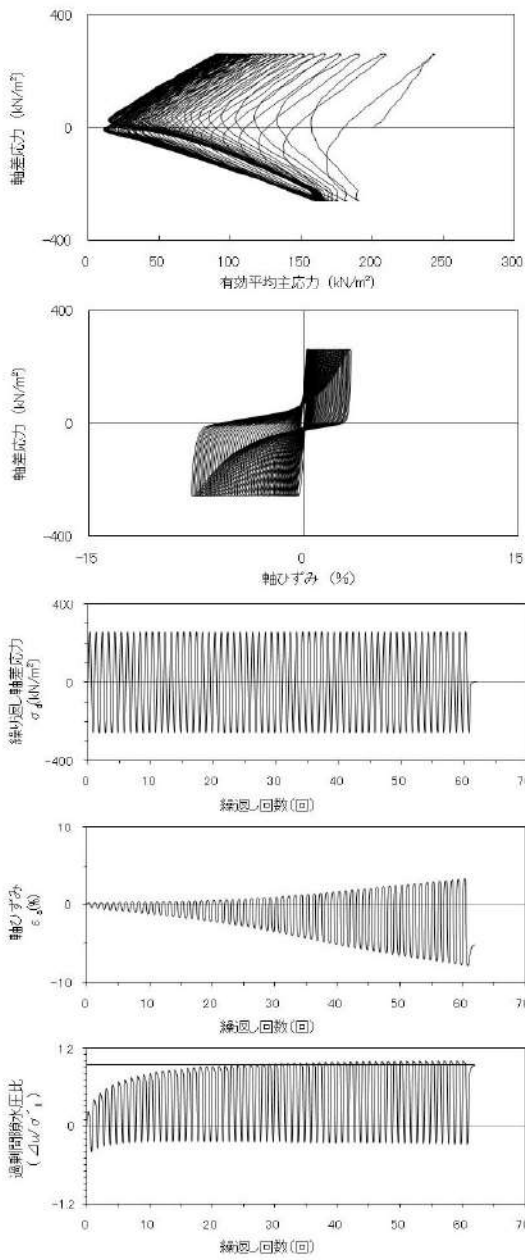
試験条件		
供試体	No.15	
地表からの深度 (m)	10.05~11.30	
有効上載圧 (kN/m ²)	201	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.435	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-125 図 液状化強度試験結果
(BF3-1 試料(供試体 No. 11))



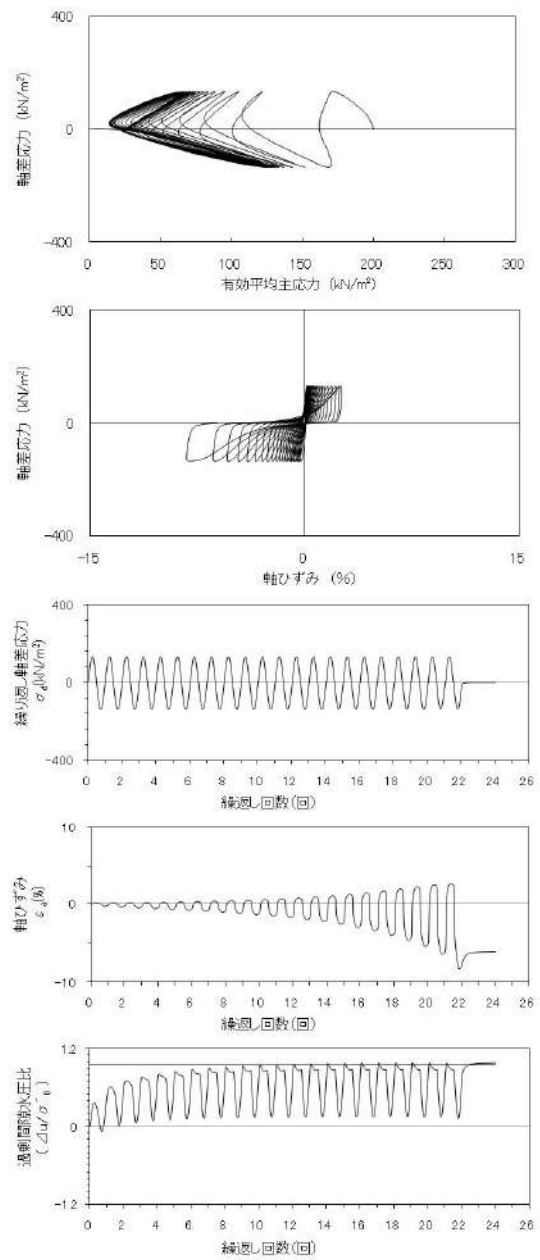
試験条件		
供試体	No.21	
地表からの深度 (m)	18.65~19.05	
有効上載圧 (kN/m ²)	367	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.670	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-126 図 液状化強度試験結果
(BF3-2 試料(供試体 No. 21))



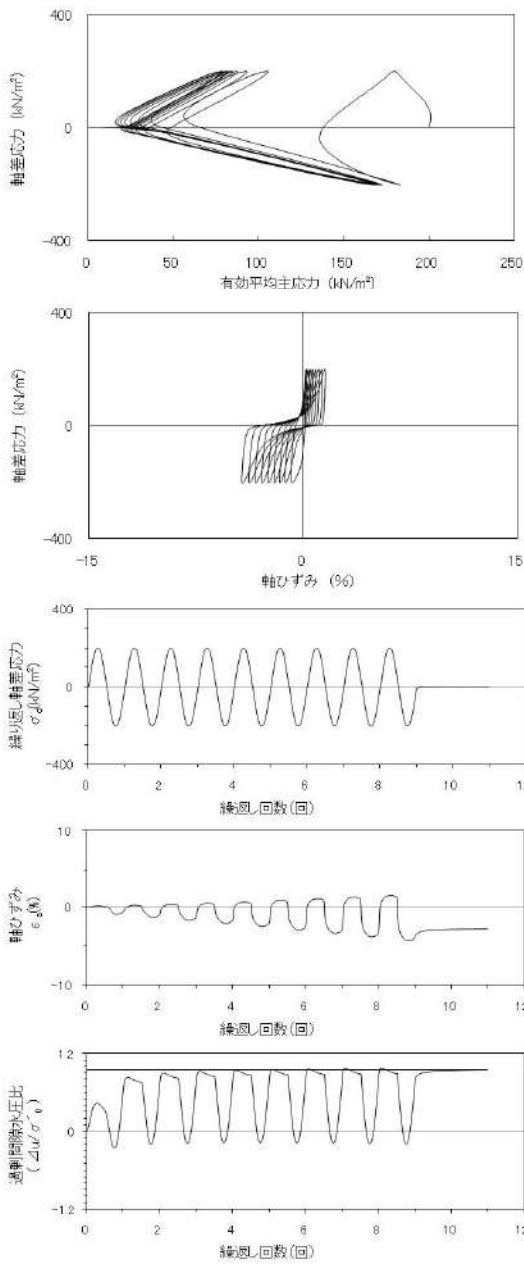
試験条件		
供試体	No.22	
地表からの深度 (m)	18.65~19.05	
有効上載圧 (kN/m ²)	367	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.651	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-127 図 液状化強度試験結果
(BF3-2 試料(供試体 No. 22))



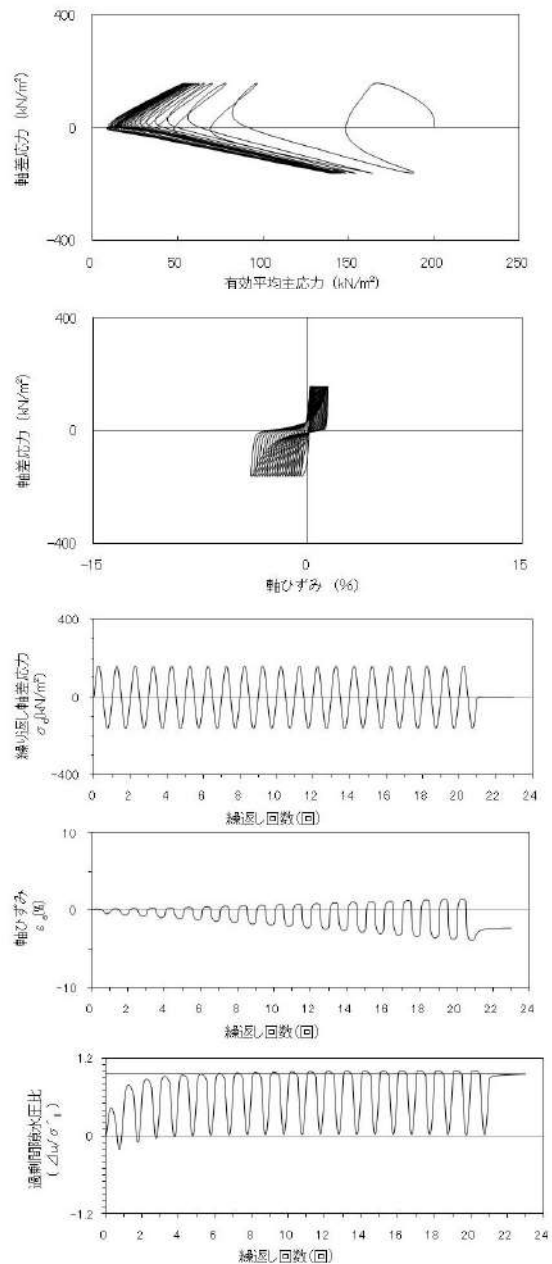
試験条件		
供試体	No.21	
地表からの深度 (m)	8.05~8.25	
有効上載圧 (kN/m ²)	163	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.336	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-128 図 液状化強度試験結果
(RE-7 試料(供試体 No. 21))



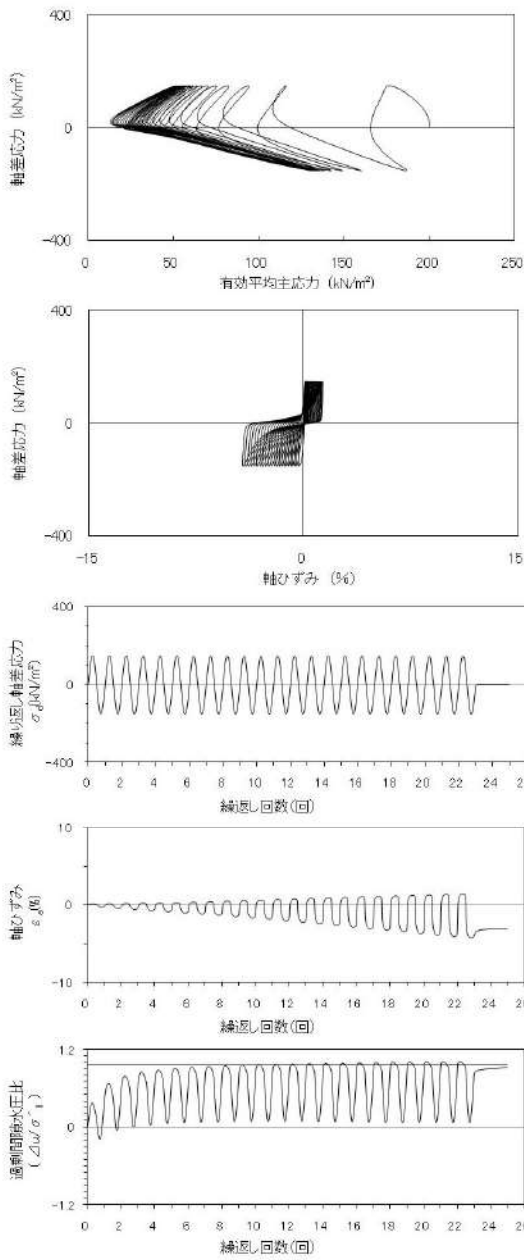
試験条件		
供試体		No.19'
地表からの深度 (m)		9.78~10.48
有効上載圧 (kN/m ²)		196
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.500
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-129 図 液状化強度試験結果
(RE-8 試料(供試体 No. 19'))



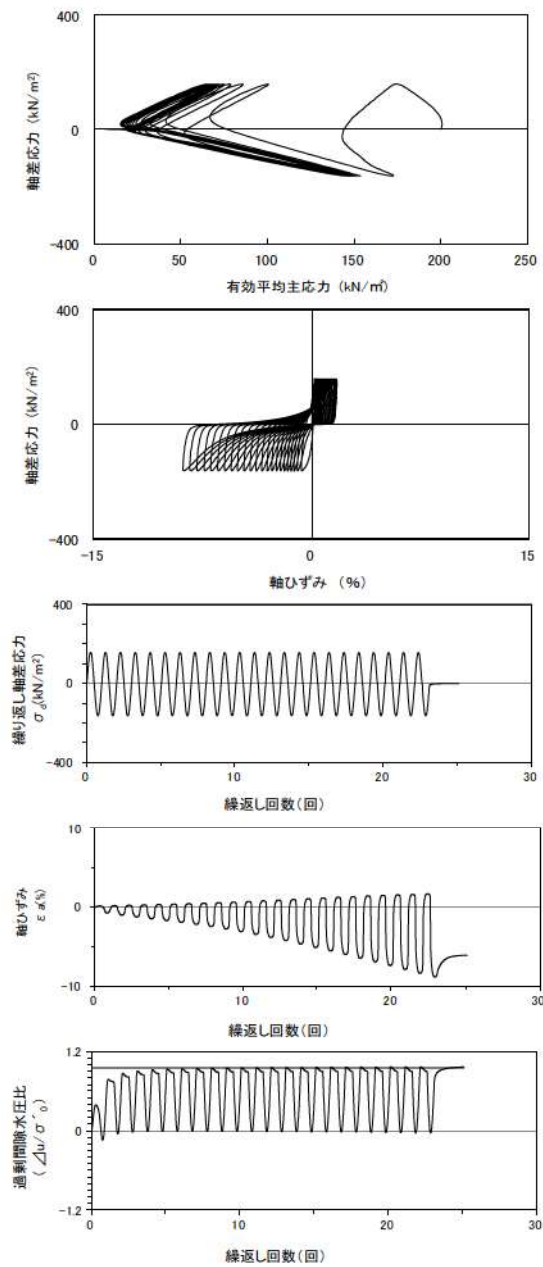
試験条件		
供試体		No. 20'
地表からの深度 (m)		9.78~10.48
有効上載圧 (kN/m ²)		196
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$		0.399
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-130 図 液状化強度試験結果
(RE-8 試料(供試体 No. 20'))



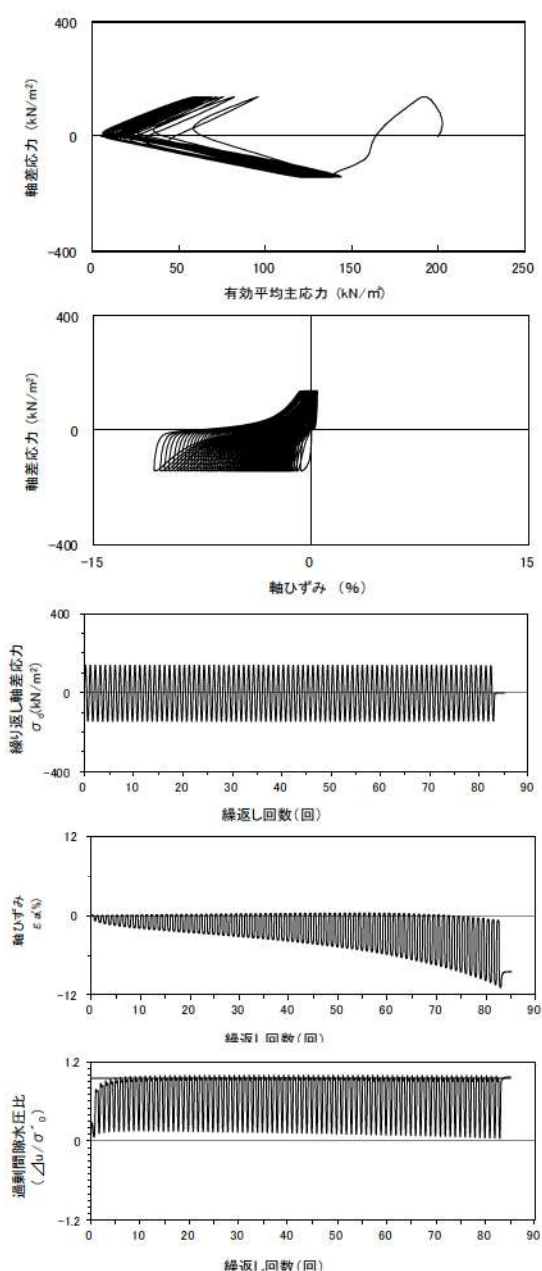
試験条件		
供試体		No. 21'
地表からの深度 (m)		9.78~10.48
有効上載圧 (kN/m ²)		196
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.376
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-131 図 液状化強度試験結果
(RE-8 試料(供試体 No. 21'))



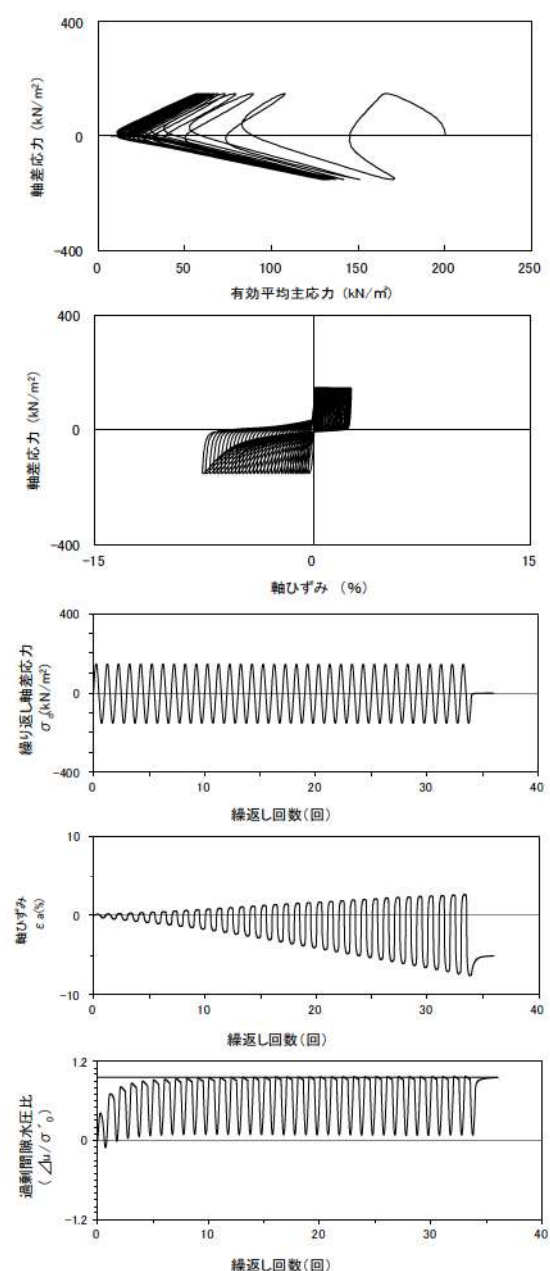
試験条件		
供試体		No. 3
地表からの深度 (m)		11.12~11.80
有効上載圧 (kN/m ²)		210
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		200
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.401
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-132 図 液状化強度試験結果
(RE-8'' (1) 試料(供試体 No. 3))



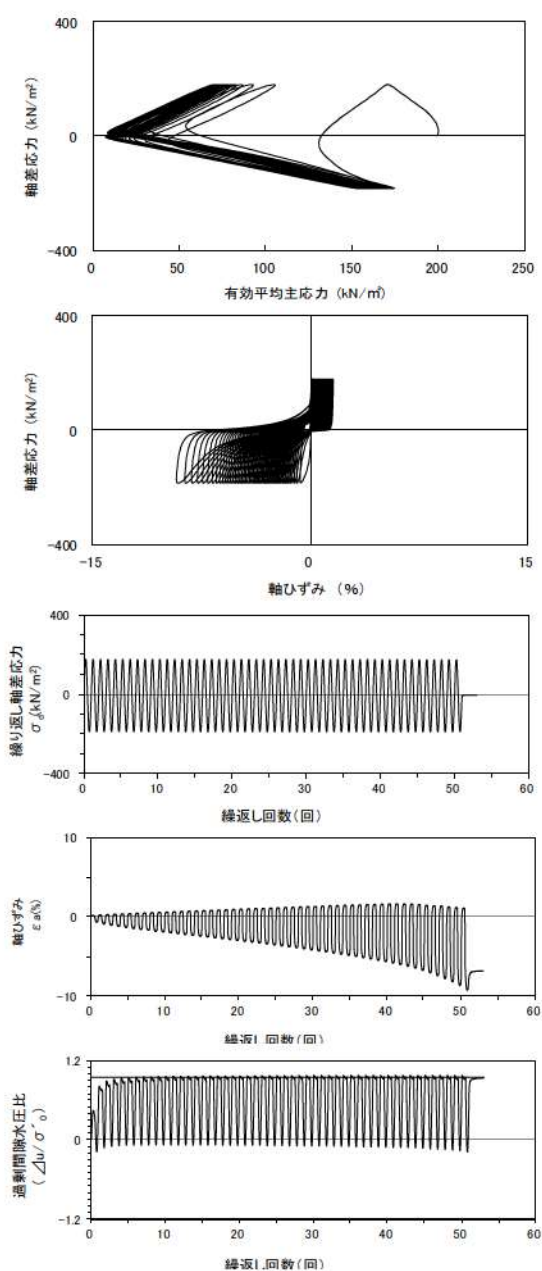
試験条件		
供試体	No. 4	
地表からの深度 (m)	11.12~11.80	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 σ_d/2σ'_0	0.351	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-133 図 液状化強度試験結果
(RE-8" (1) 試料(供試体 No. 4))



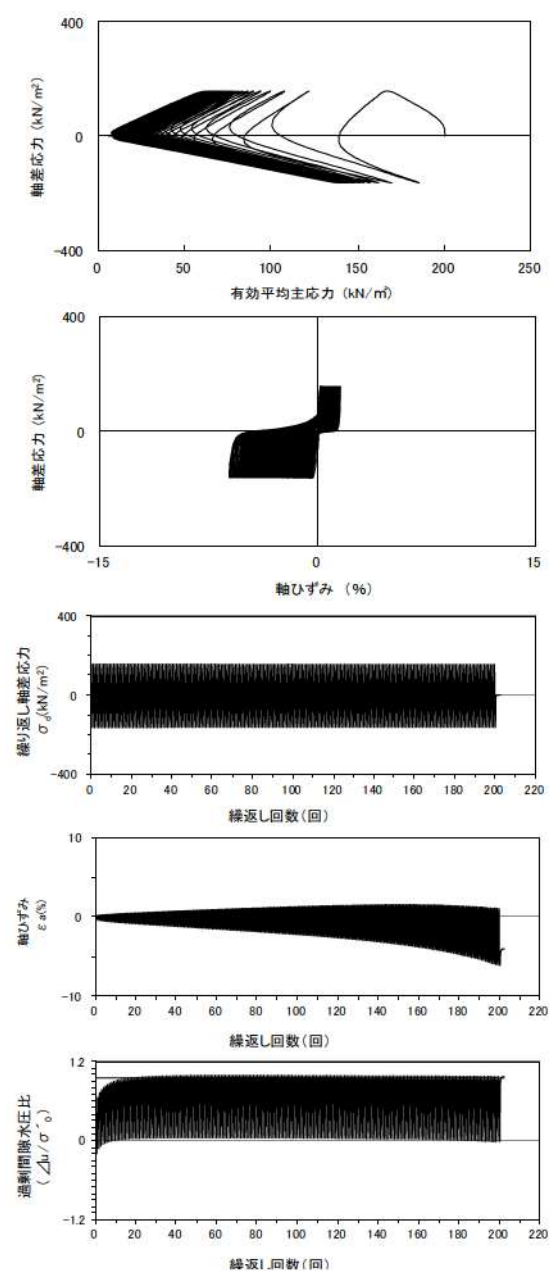
試験条件		
供試体	No. 1'	
地表からの深度 (m)	11.12~11.80	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 σ_d/2σ'_0	0.374	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-134 図 液状化強度試験結果
(RE-8" (1) 試料(供試体 No. 1'))



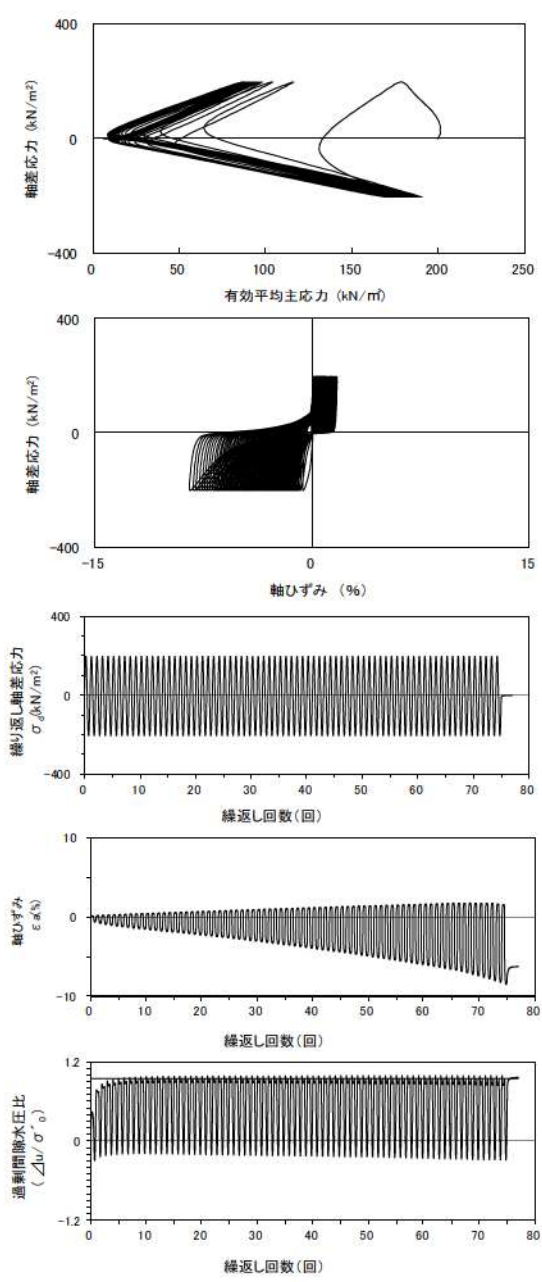
試験条件		
供試体	No. 3'	
地表からの深度 (m)	11.12~11.80	
有効上載圧 (kN/m ²)	210	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.454	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-135 図 液状化強度試験結果 (RE-8" (1) 試料(供試体 No. 3'))



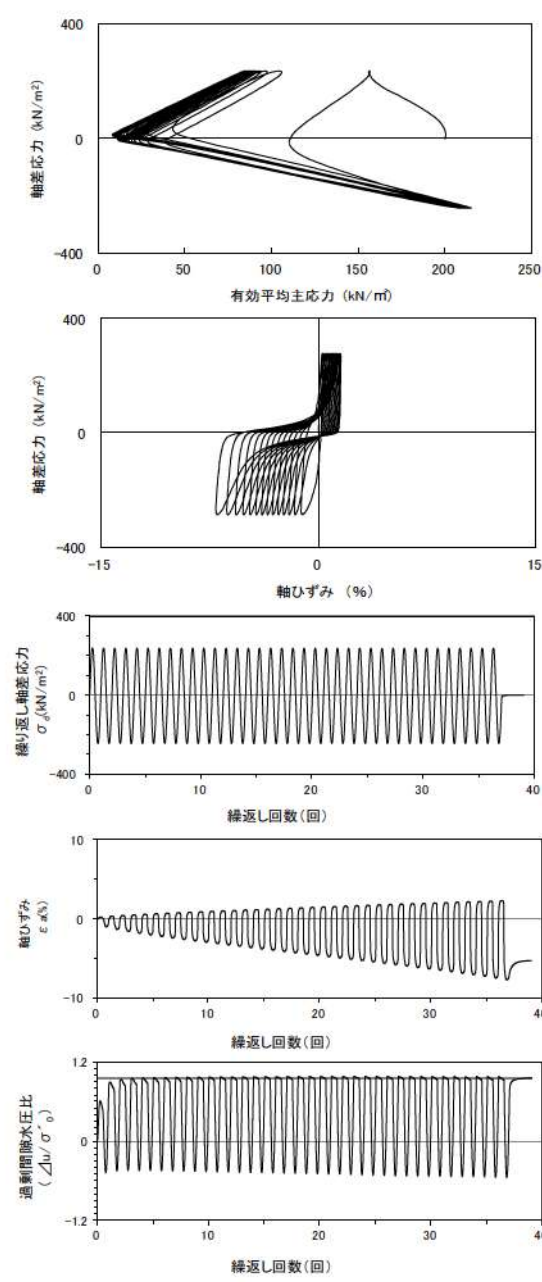
試験条件		
供試体	No. 5	
地表からの深度 (m)	12.25~13.45	
有効上載圧 (kN/m ²)	224	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.400	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-136 図 液状化強度試験結果 (RE-8" (2) 試料(供試体 No. 5))



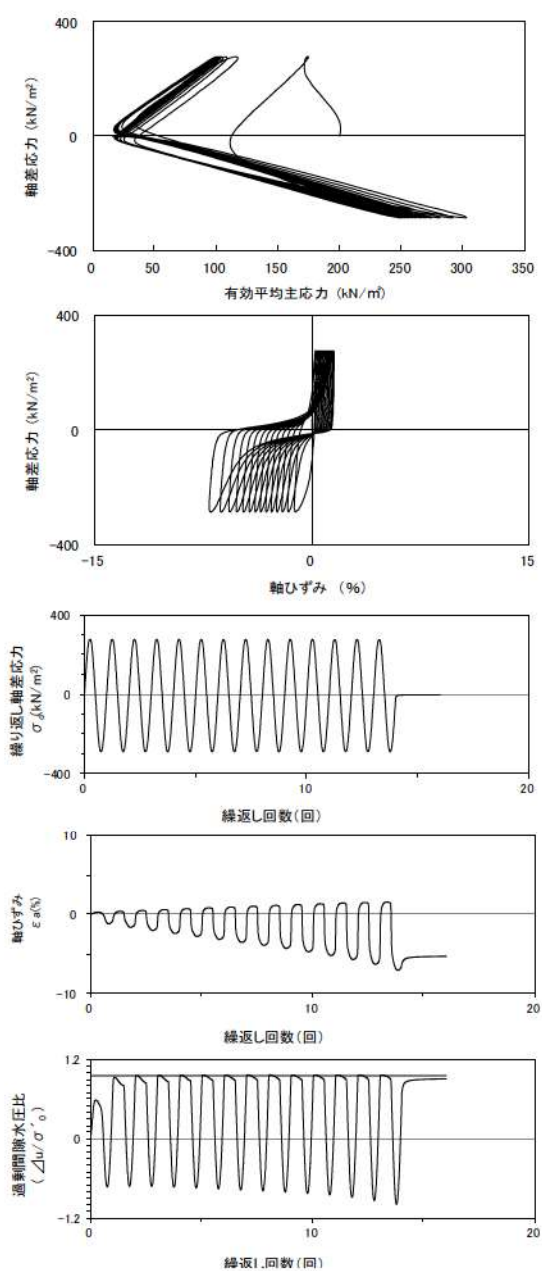
試験条件		
供試体	No. 6	
地表からの深度 (m)	12.25~13.45	
有効上載圧 (kN/m ²)	224	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.502	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-137 図 液状化強度試験結果
(RE-8” (2) 試料(供試体 No. 6))



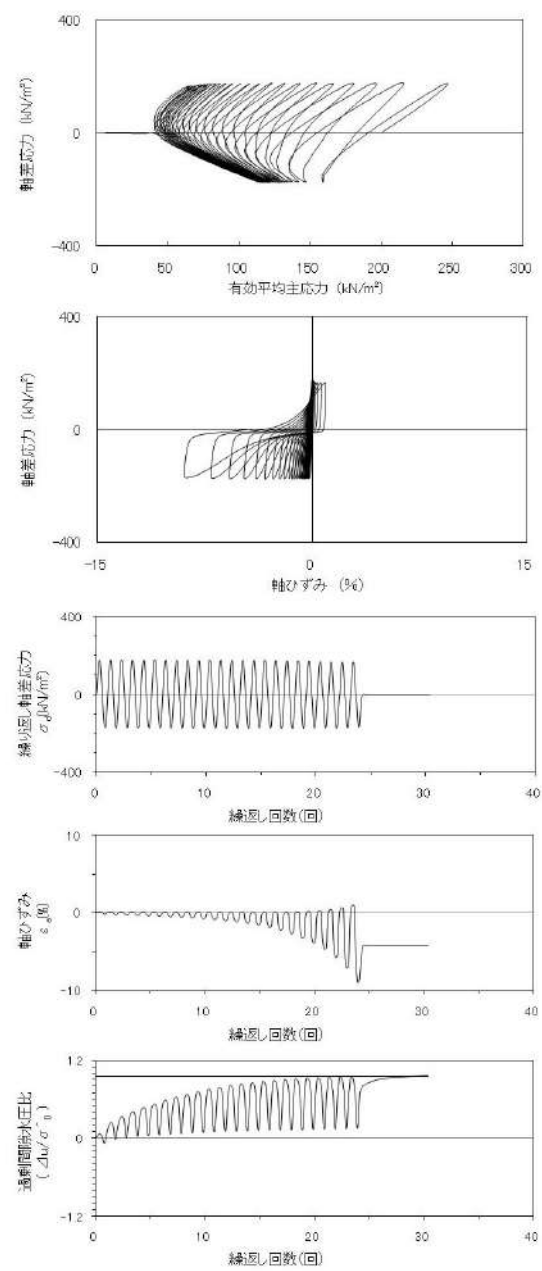
試験条件		
供試体	No. 4'	
地表からの深度 (m)	12.25~13.45	
有効上載圧 (kN/m ²)	224	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.602	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-138 図 液状化強度試験結果
(RE-8” (2) 試料(供試体 No. 4'))



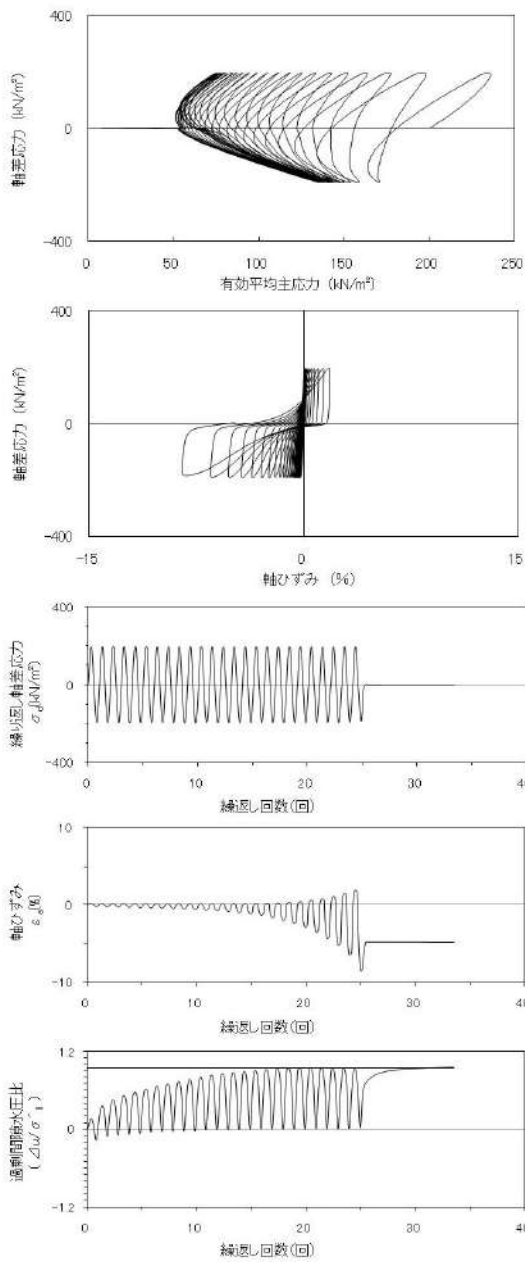
試験条件		
供試体	No. 5'	
地表からの深度 (m)	12.25~13.45	
有効上載圧 (kN/m ²)	224	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 σ_d/2σ'_o	0.706	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-139 図 液状化強度試験結果
(RE-8'' (2) 試料(供試体 No. 5'))



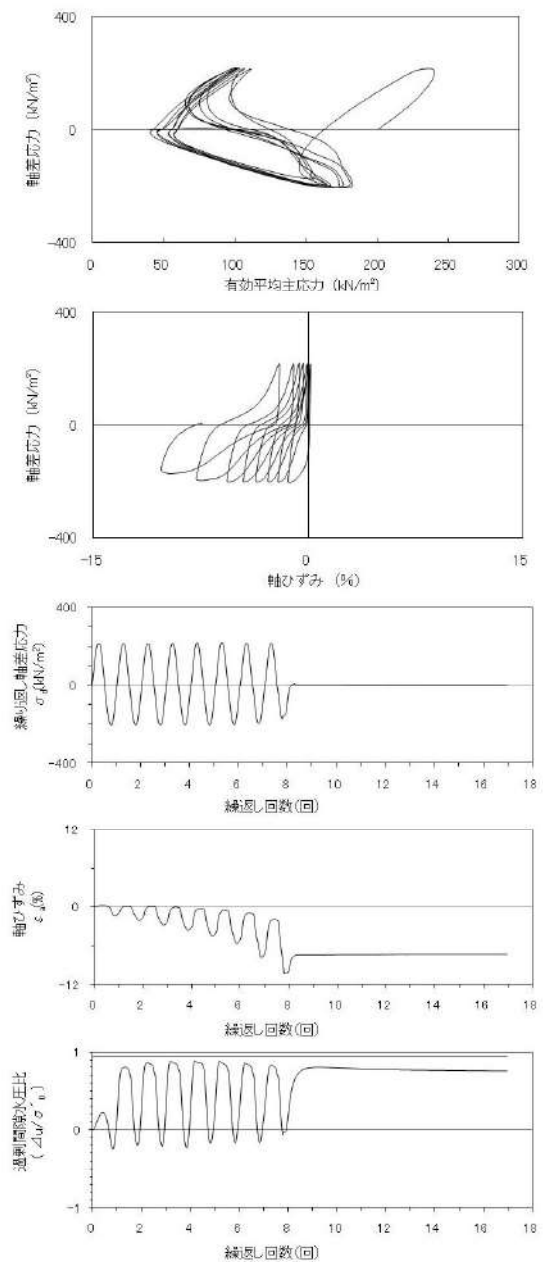
試験条件		
供試体	No.1-5	
地表からの深度 (m)	4.77~8.40	
有効上載圧 (kN/m ²)	132	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 σ_d/2σ'_o	0.438	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-140 図 液状化強度試験結果
(SH-2 試料(供試体 No. 1-5))



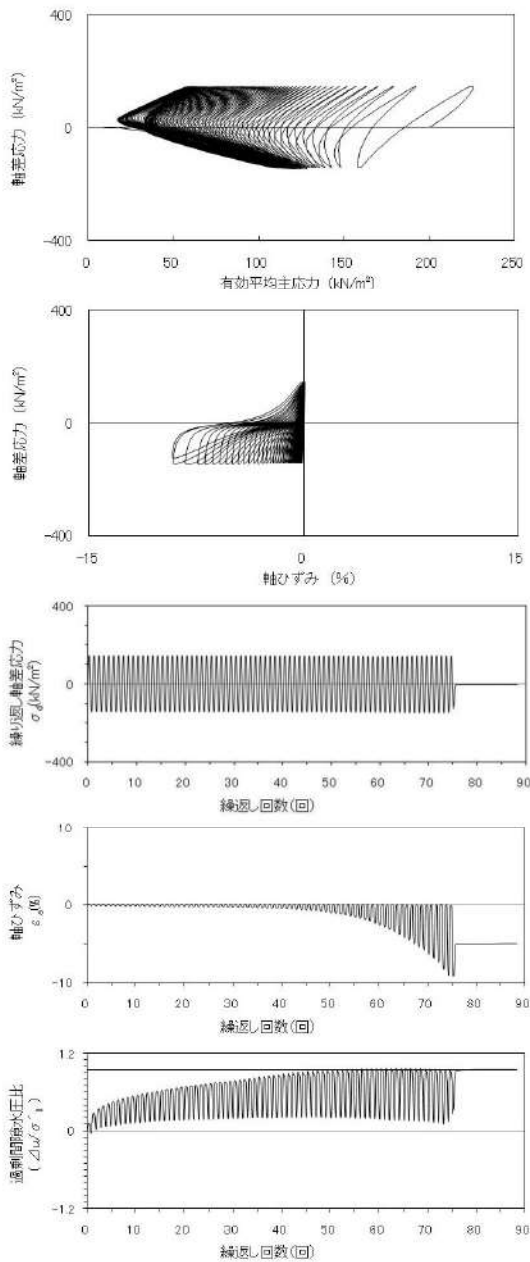
試験条件		
供試体	No.1-6	
地表からの深度 (m)	4.77~8.40	
有効上載圧 (kN/m ²)	132	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.485	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-141 図 液状化強度試験結果
(SH-2 試料(供試体 No. 1-6))



試験条件		
供試体	No.3-1	
地表からの深度 (m)	4.77~8.40	
有効上載圧 (kN/m ²)	132	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_o$	0.526	
試験結果	液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

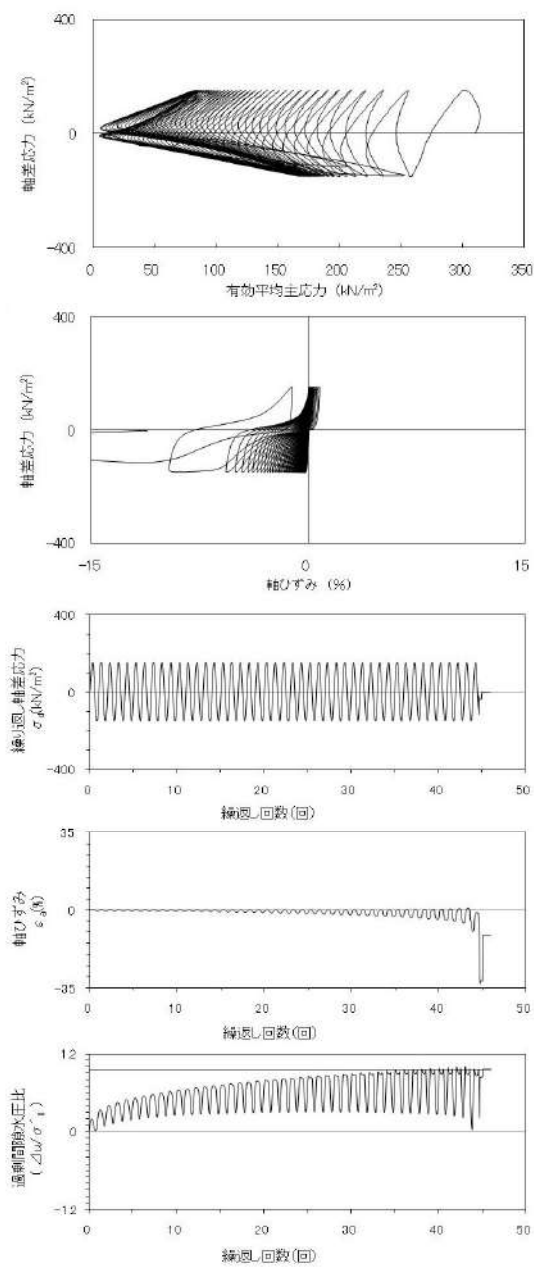
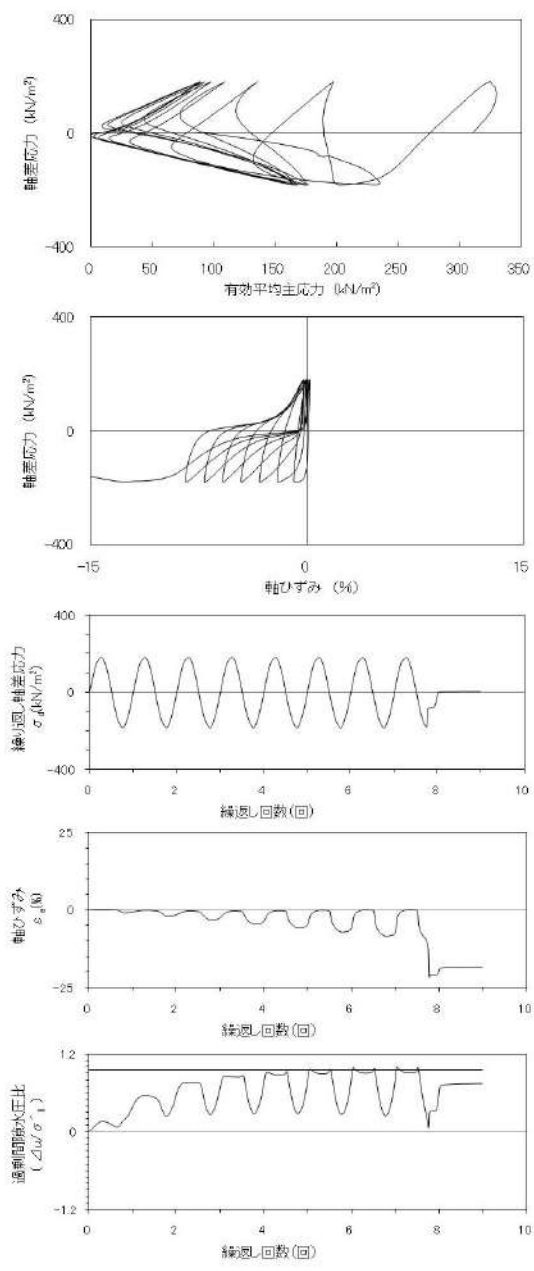
添付 1-142 図 液状化強度試験結果
(SH-2 試料(供試体 No. 3-1))



試験条件		
供試体	No.3-4	
地表からの深度 (m)	4.77~8.40	
有効上載圧 (kN/m ²)	132	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	200	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.359	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンシー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-143 図 液状化強度試験結果
(SH-2 試料(供試体 No. 3-4))

2. 液状化強度試験結果
(3) As1 層の試験データ

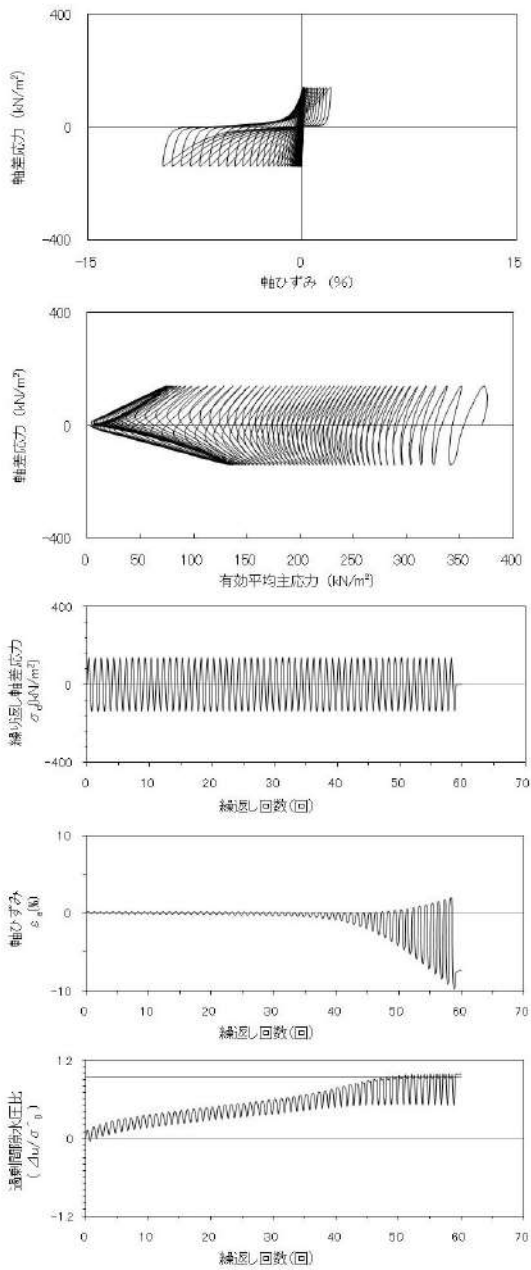


試験条件		
供試体		No.2
地表からの深度 (m)		21.90~22.80
有効上載圧 (kN/m ²)		311
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		310
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.292
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

試験条件		
供試体		No.4
地表からの深度 (m)		21.90~22.80
有効上載圧 (kN/m ²)		311
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		310
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.243
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

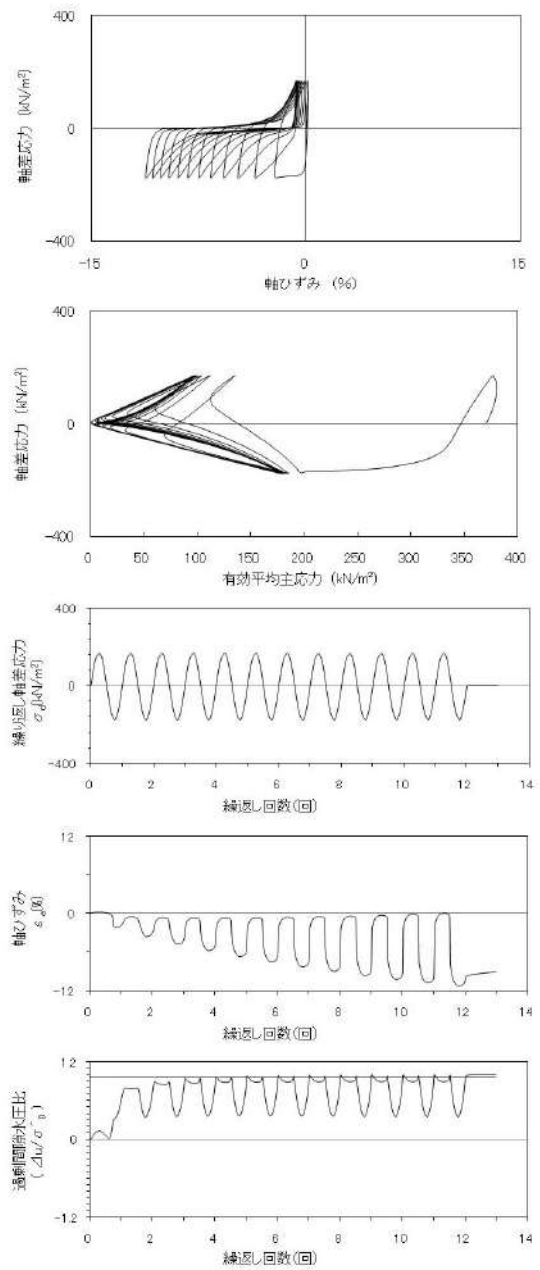
添付 1-144 図 液状化強度試験結果
(SW-4-1 試料(供試体 No. 2))

添付 1-145 図 液状化強度試験結果
(SW-4-1 試料(供試体 No. 4))



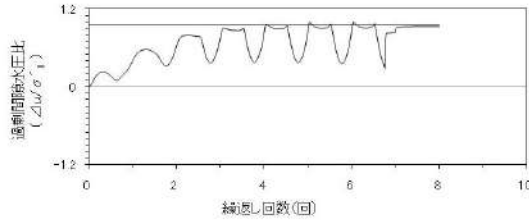
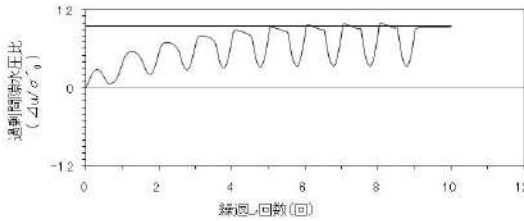
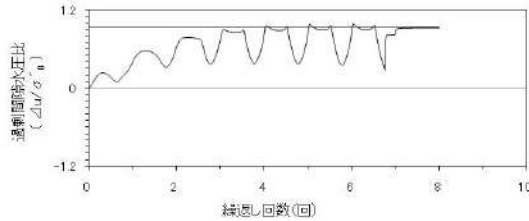
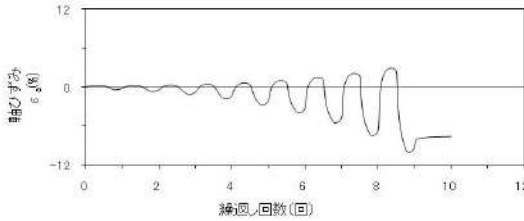
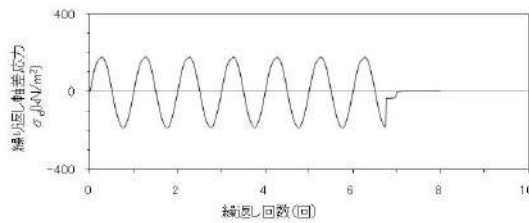
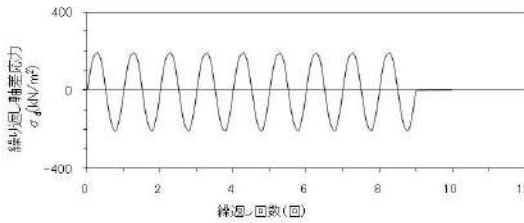
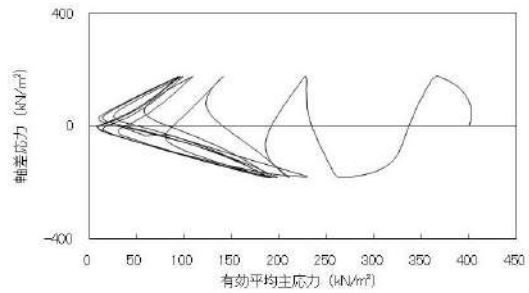
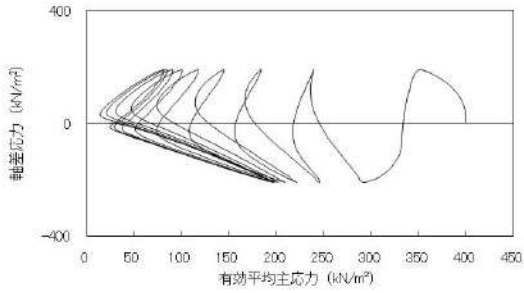
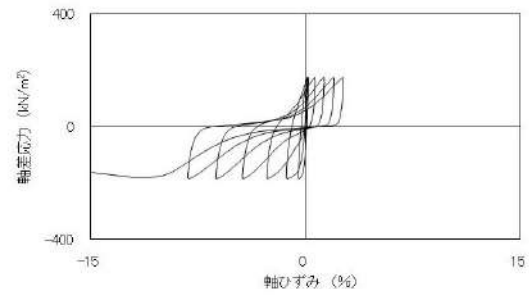
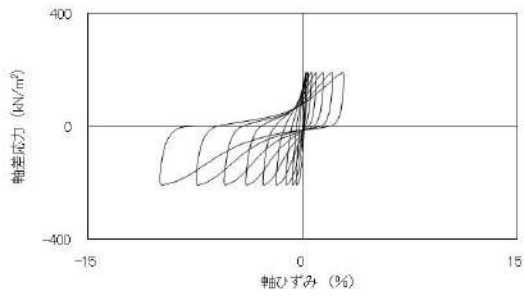
試験条件	
供試体	No.3
地表からの深度 (m)	27.56~28.65
有効上載圧 (kN/m^2)	373
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)	370
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.188
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-146 図 液状化強度試験結果
(SW-4-7 試料(供試体 No. 3))



試験条件	
供試体	No.4
地表からの深度 (m)	27.56~28.65
有効上載圧 (kN/m^2)	373
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)	370
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.233
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-147 図 液状化強度試験結果
(SW-4-7 試料(供試体 No. 4))

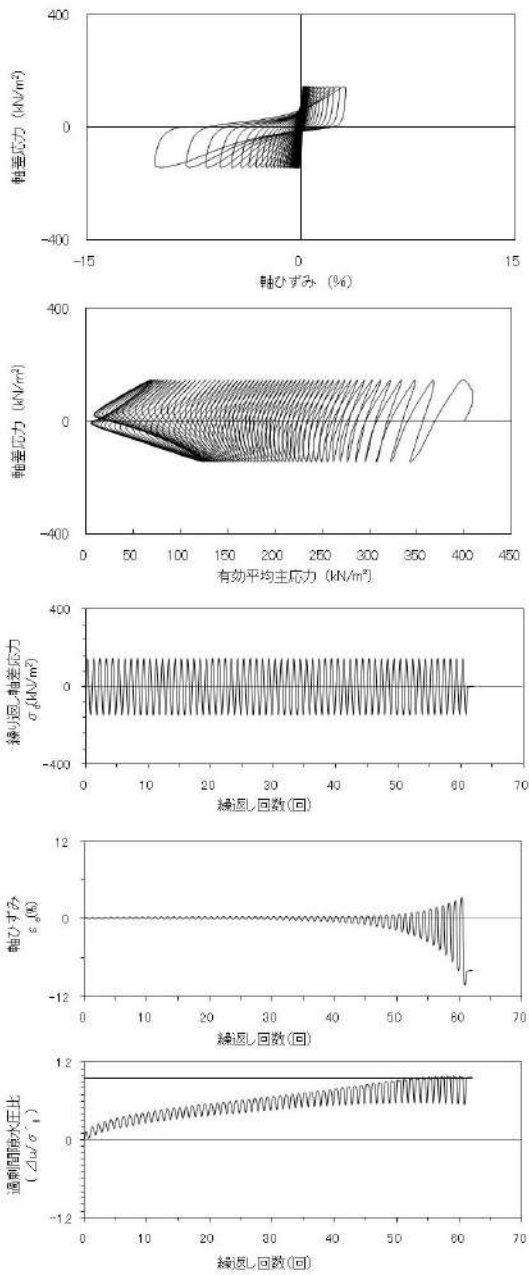


試験条件		
供試体		No.1
地表からの深度 (m)		30.65~31.65
有効上載圧 (kN/m ²)		400
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		400
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.250
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

試験条件		
供試体		No.2
地表からの深度 (m)		30.65~31.65
有効上載圧 (kN/m ²)		400
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		400
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.226
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

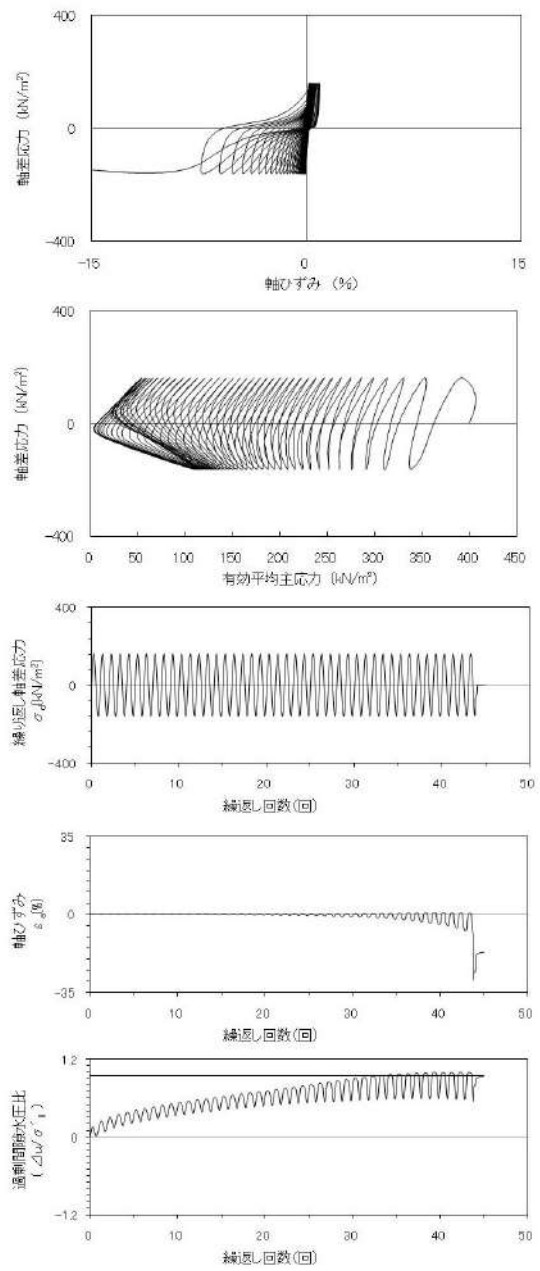
添付 1-148 図 液状化強度試験結果
(SW-4-10 試料(供試体 No. 1))

添付 1-149 図 液状化強度試験結果
(SW-4-10 試料(供試体 No. 2))



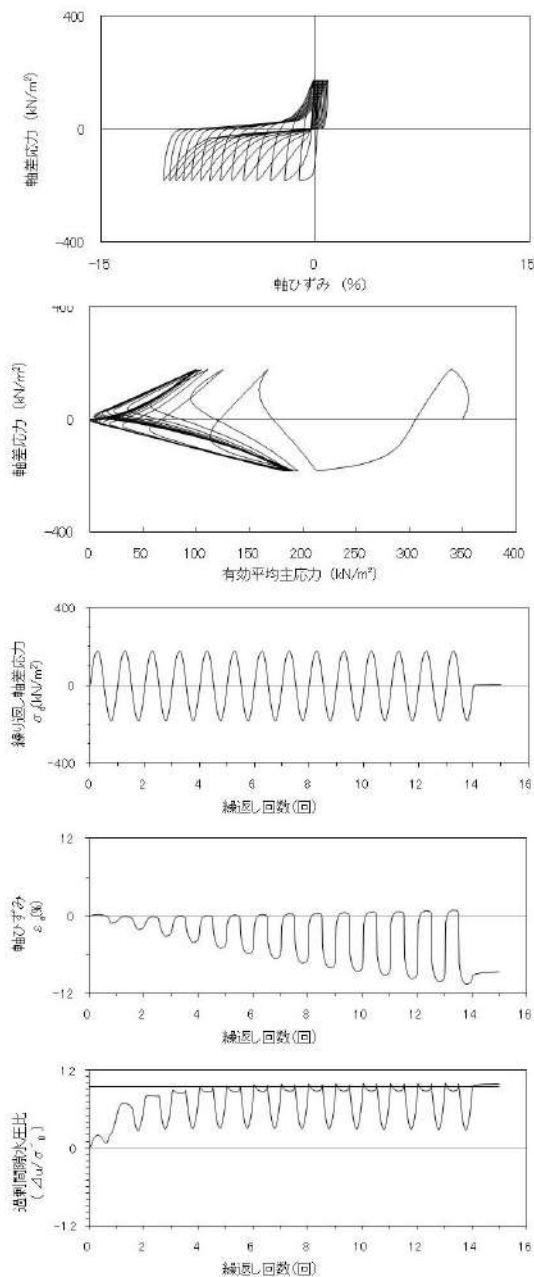
試験条件		
供試体		No.3
地表からの深度 (m)		30.65~31.65
有効上載圧 (kN/m ²)		400
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		400
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.182
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-150 図 液状化強度試験結果
(SW-4-10 試料(供試体 No. 3))



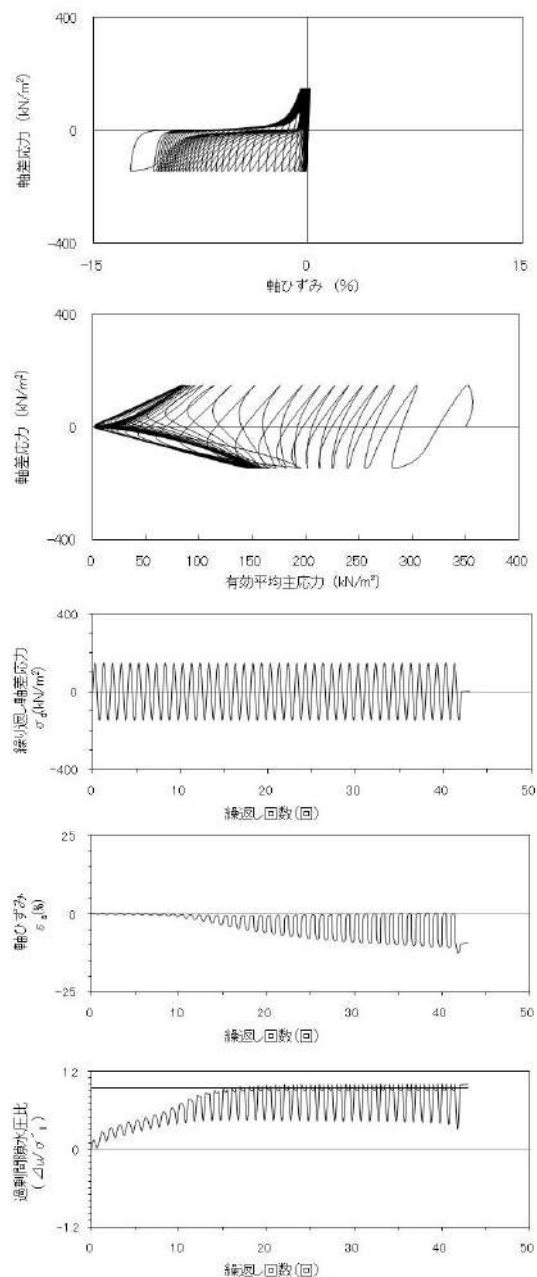
試験条件		
供試体		No.4
地表からの深度 (m)		30.65~31.65
有効上載圧 (kN/m ²)		400
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		400
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.202
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-151 図 液状化強度試験結果
(SW-4-10 試料(供試体 No. 4))



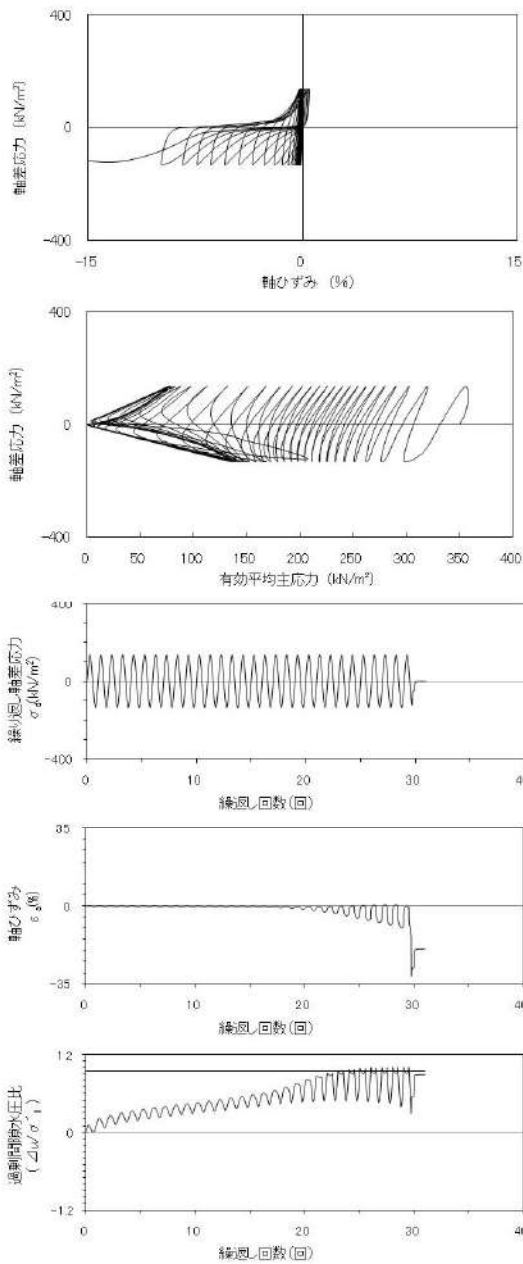
試験条件	
供試体	No.1
地表からの深度 (m)	25.70~26.70
有効上載圧 (kN/m ²)	354
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	350
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.257
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)	

添付 1-152 図 液状化強度試験結果
(SW-6-5 試料(供試体 No. 1))



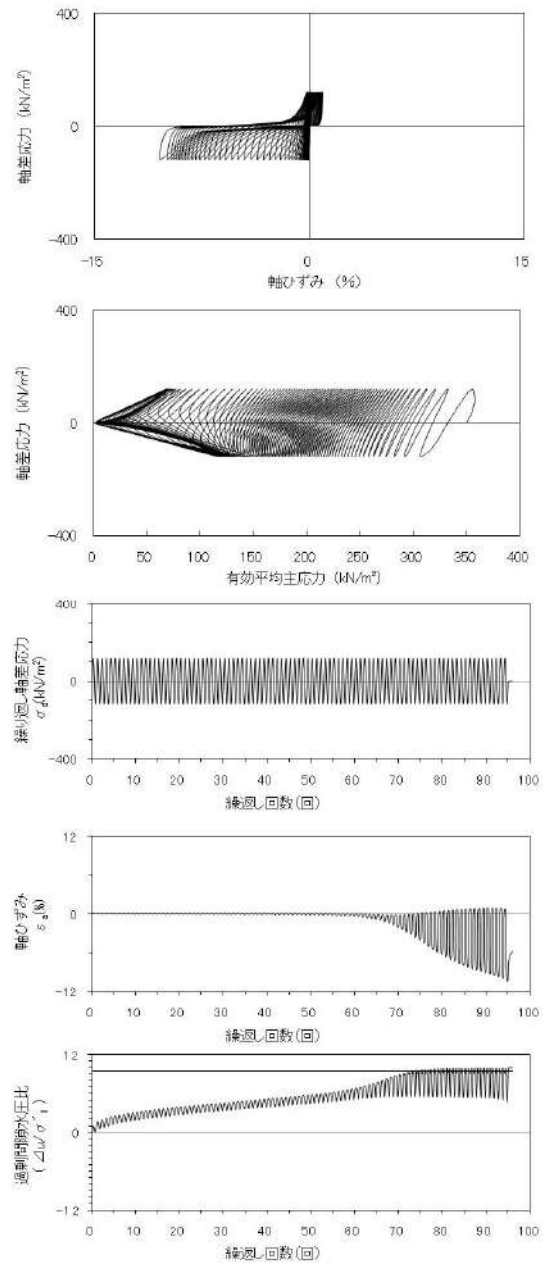
試験条件	
供試体	No.2
地表からの深度 (m)	25.70~26.70
有効上載圧 (kN/m ²)	354
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	350
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.213
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-153 図 液状化強度試験結果
(SW-6-5 試料(供試体 No. 2))



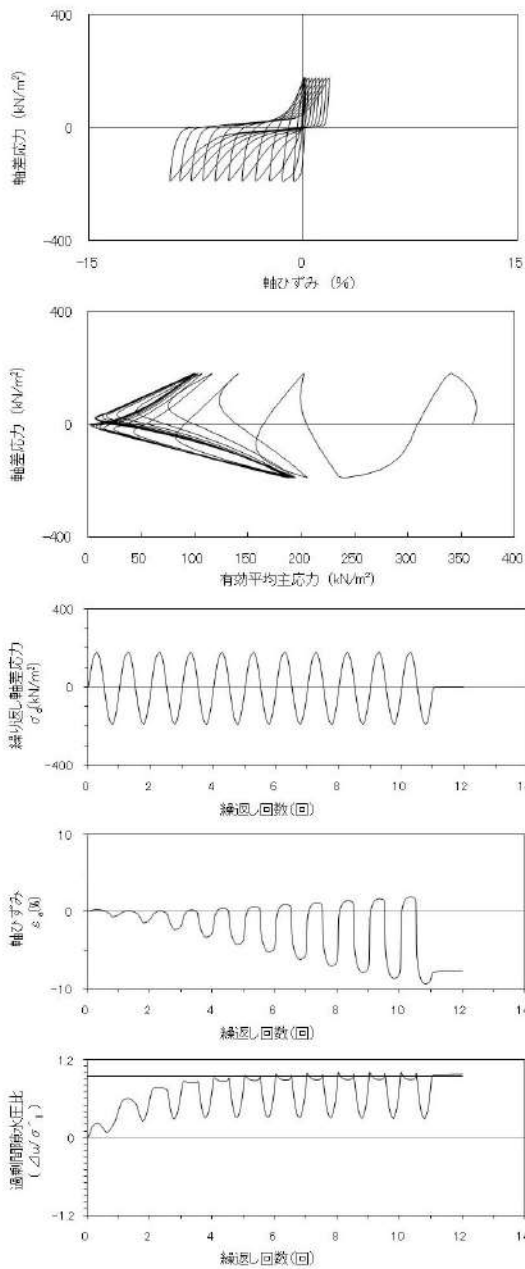
試験条件	
供試体	No.3
地表からの深度 (m)	25.70~26.70
有効上載圧 (kN/m ²)	354
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	350
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.192
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-154 図 液状化強度試験結果
(SW-6-5 試料(供試体 No. 3))



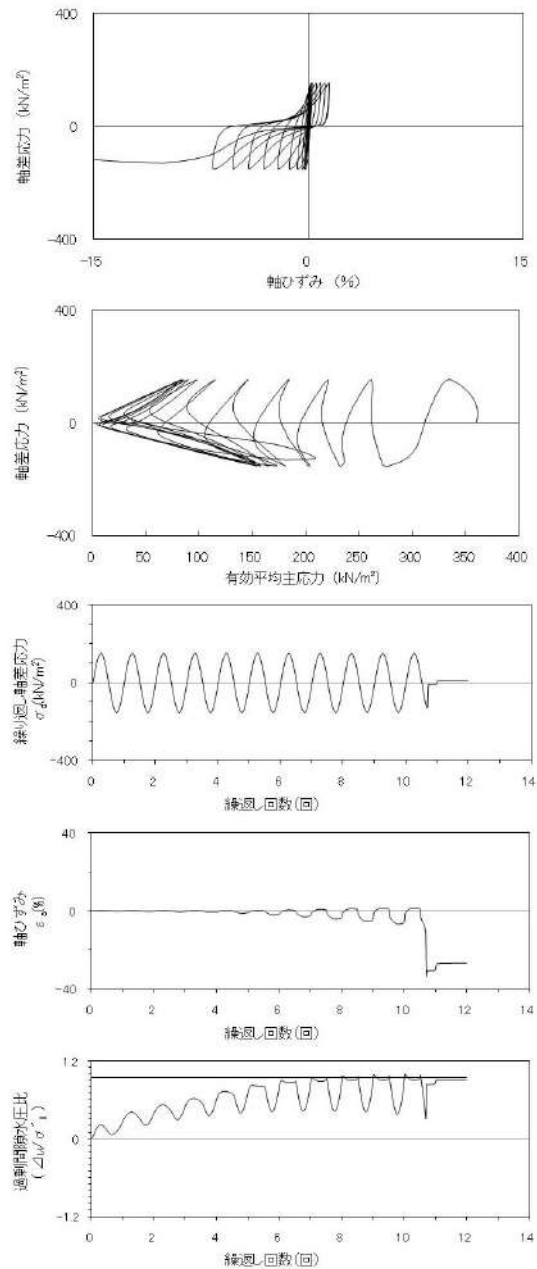
試験条件	
供試体	No.4
地表からの深度 (m)	25.70~26.70
有効上載圧 (kN/m ²)	354
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	350
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.171
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-155 図 液状化強度試験結果
(SW-6-5 試料(供試体 No. 4))



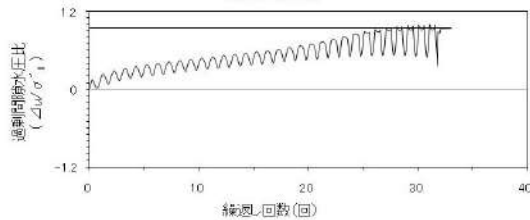
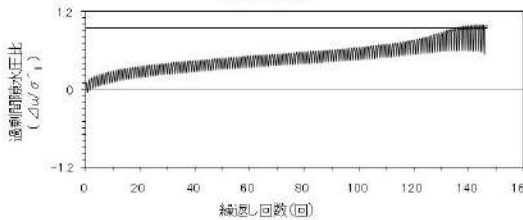
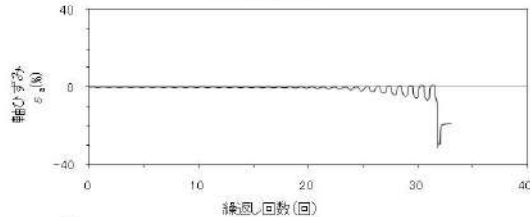
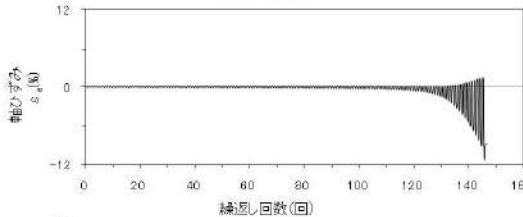
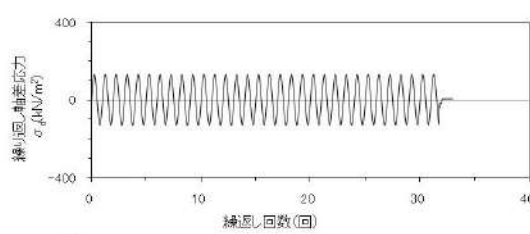
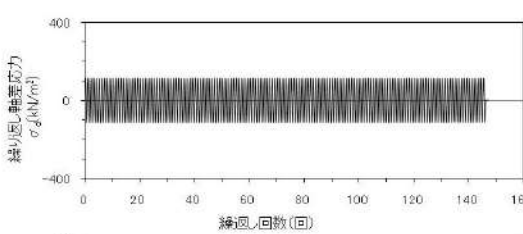
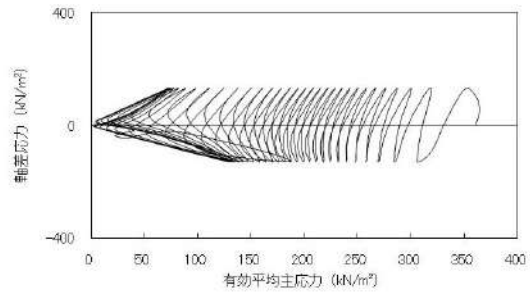
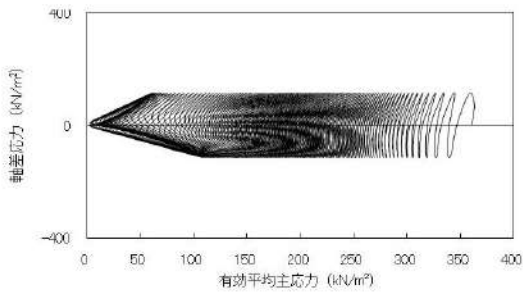
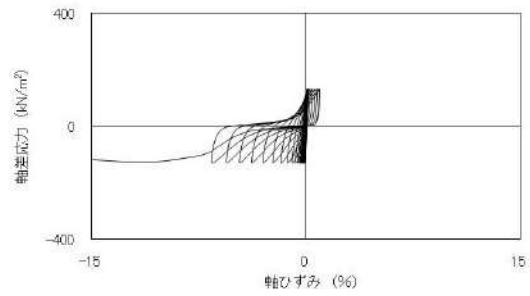
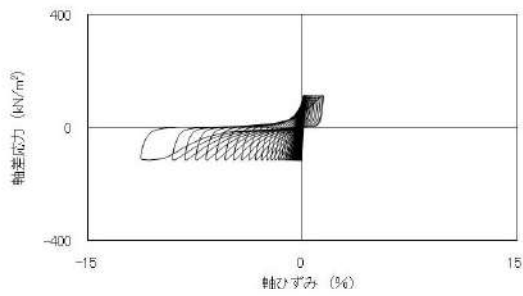
試験条件	
供試体	No.1
地表からの深度 (m)	26.70~27.70
有効上載圧 (kN/m ²)	363
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	360
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.256
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-156 図 液状化強度試験結果
(SW-6-6 試料(供試体 No. 1))



試験条件	
供試体	No.1
地表からの深度 (m)	26.70~27.70
有効上載圧 (kN/m ²)	363
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	360
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.256
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-157 図 液状化強度試験結果
(SW-6-6 試料(供試体 No. 2))



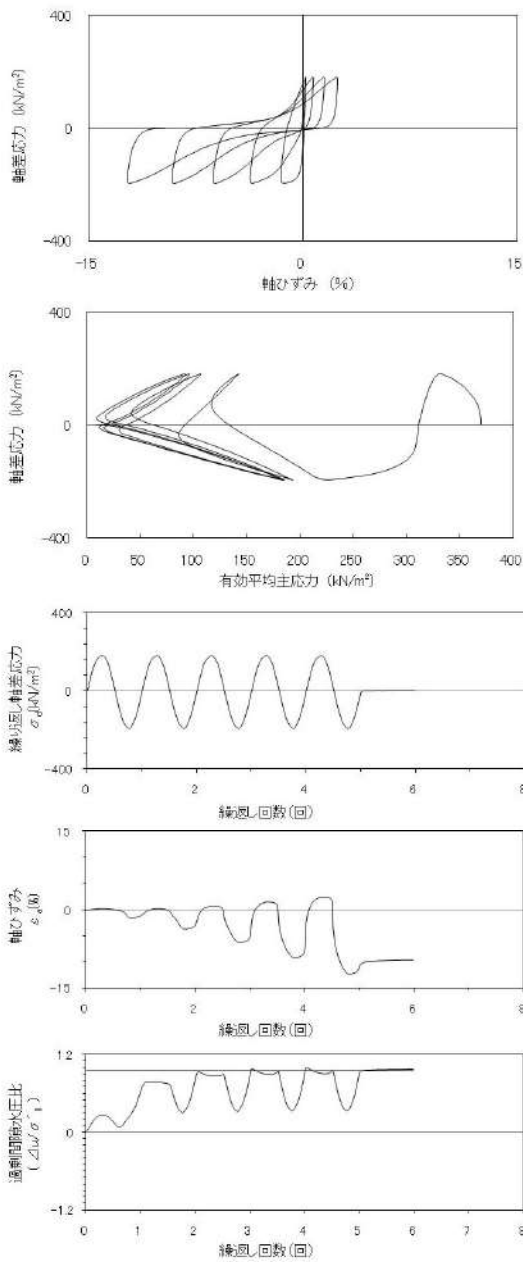
試験条件		
供試体		No.3
地表からの深度 (m)		26.70~27.70
有効上載圧 (kN/m ²)		363
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		360
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.160
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	○	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	×	

※有効応力がゼロまで低下していないが保守的に液状化に区分した。

添付 1-158 図 液状化強度試験結果
(SW-6-6 試料(供試体 No. 3))

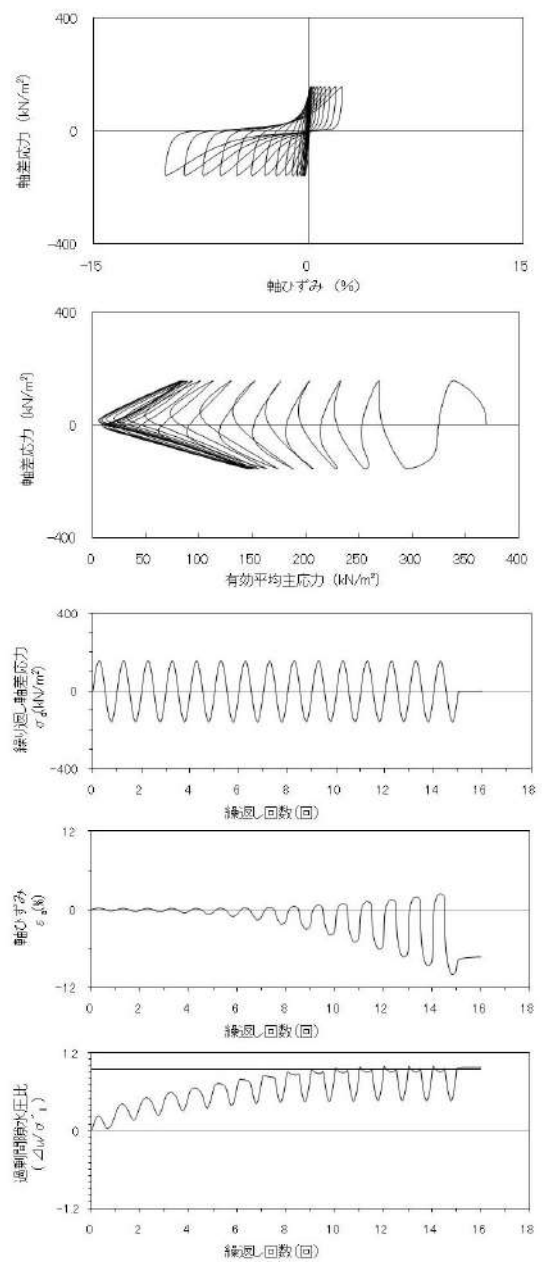
試験条件		
供試体		No.4
地表からの深度 (m)		26.70~27.70
有効上載圧 (kN/m ²)		363
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		360
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.182
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-159 図 液状化強度試験結果
(SW-6-6 試料(供試体 No. 4))



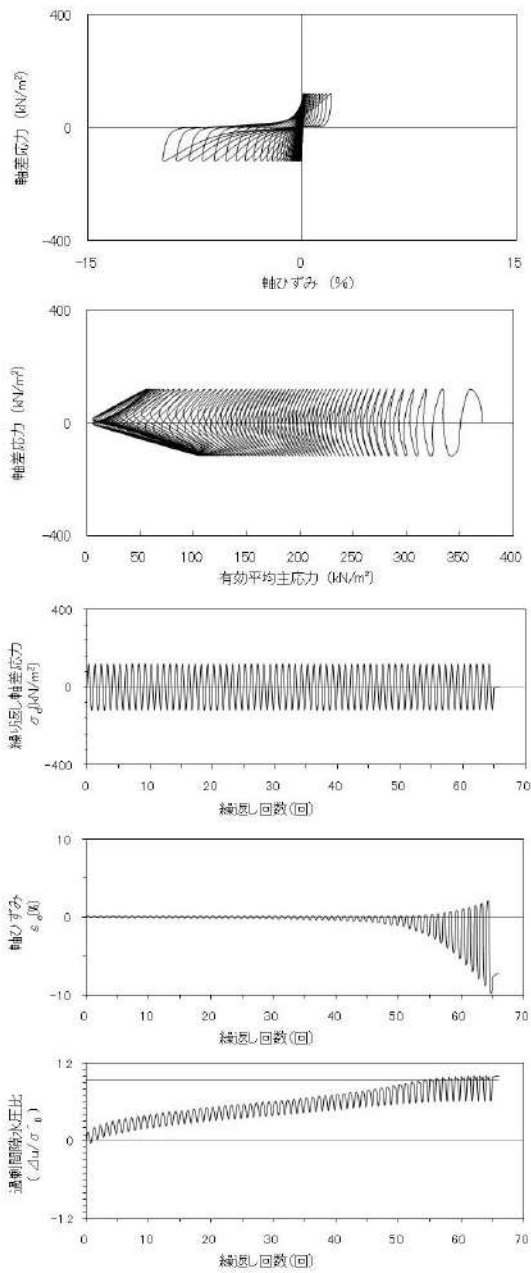
試験条件	
供試体	No.1
地表からの深度 (m)	27.70~28.70
有効上載圧 (kN/m ²)	372
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	370
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.255
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-160 図 液状化強度試験結果
(SW-6-7 試料(供試体 No. 1))



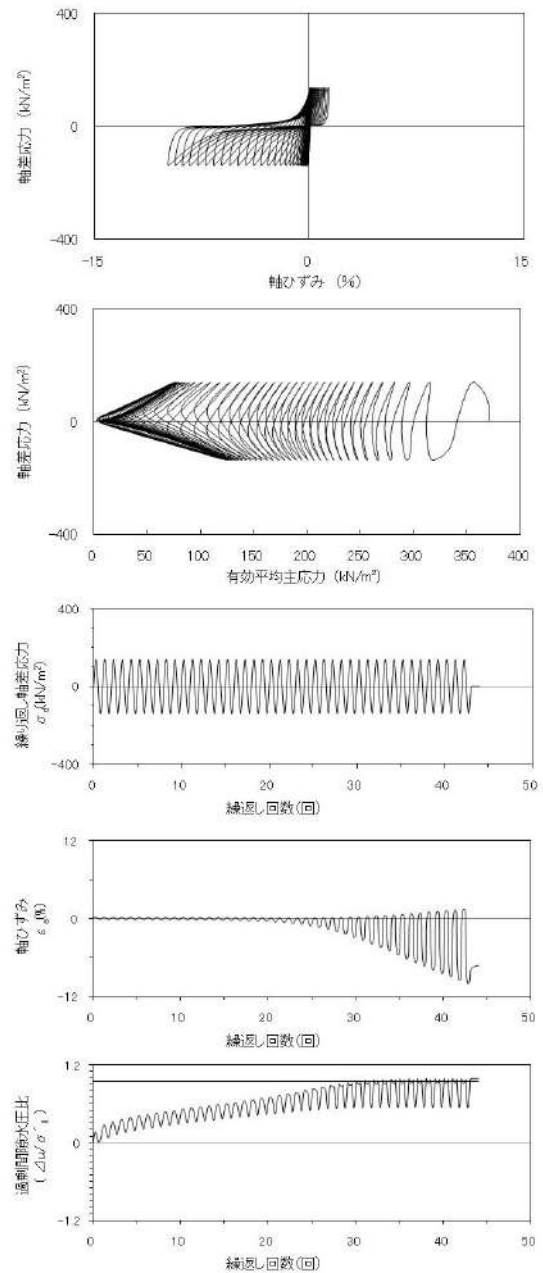
試験条件	
供試体	No.2
地表からの深度 (m)	27.70~28.70
有効上載圧 (kN/m ²)	372
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	370
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.212
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-161 図 液状化強度試験結果
(SW-6-7 試料(供試体 No. 2))



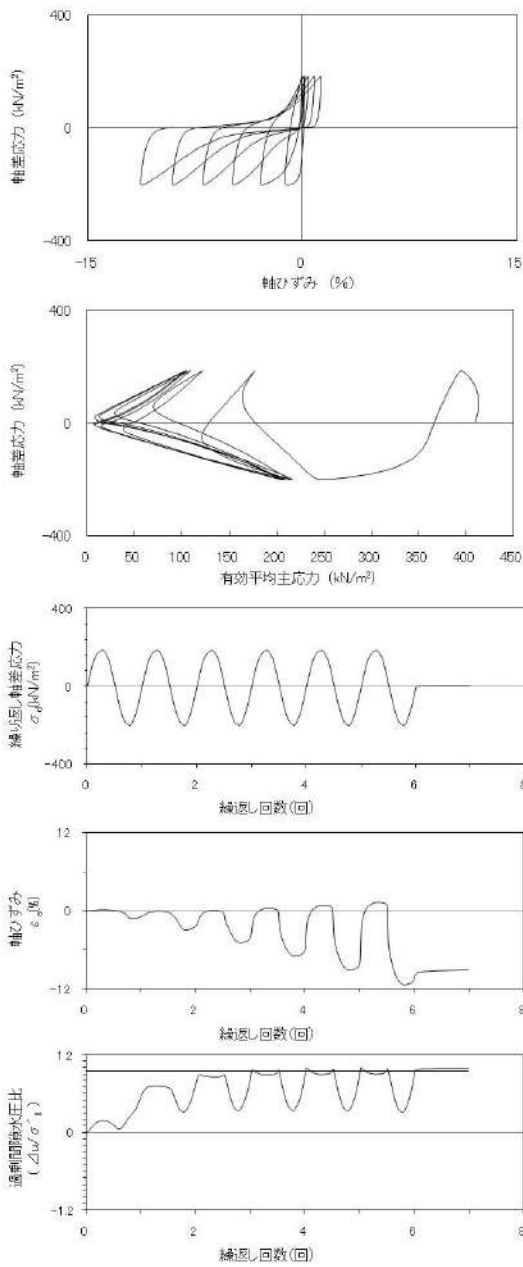
試験条件	
供試体	No.3
地表からの深度 (m)	27.70~28.70
有効上載圧 (kN/m ²)	372
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	370
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.160
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-162 図 液状化強度試験結果
(SW-6-7 試料(供試体 No. 3))



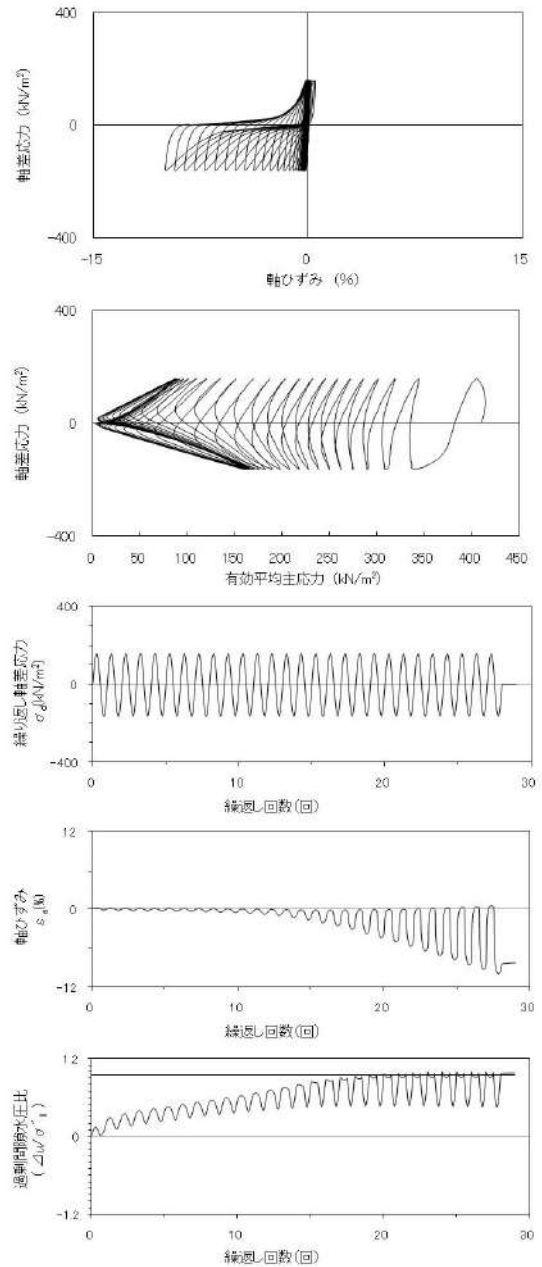
試験条件	
供試体	No.4
地表からの深度 (m)	27.70~28.70
有効上載圧 (kN/m ²)	372
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	370
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.187
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-163 図 液状化強度試験結果
(SW-6-7 試料(供試体 No. 4))



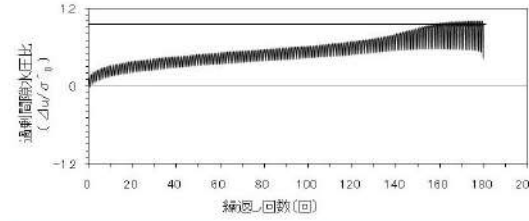
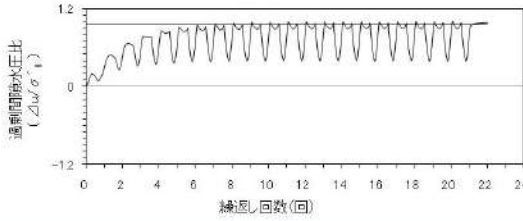
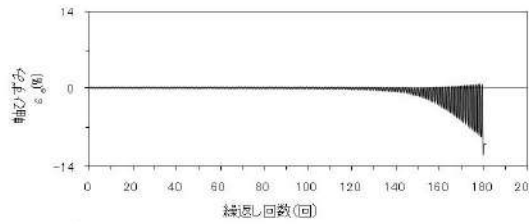
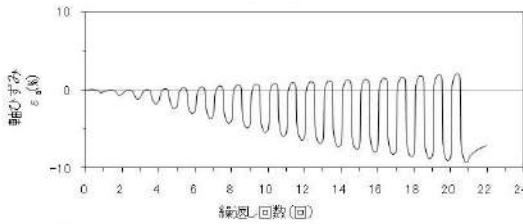
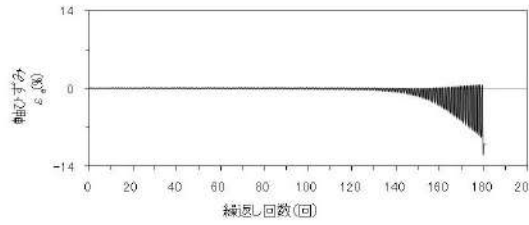
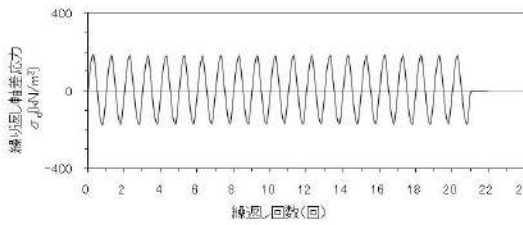
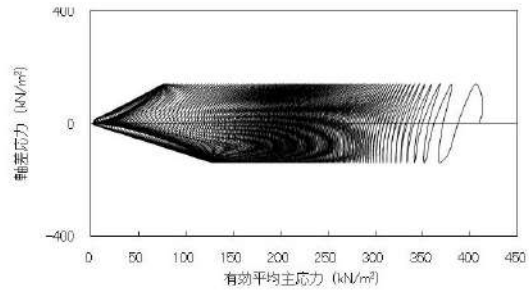
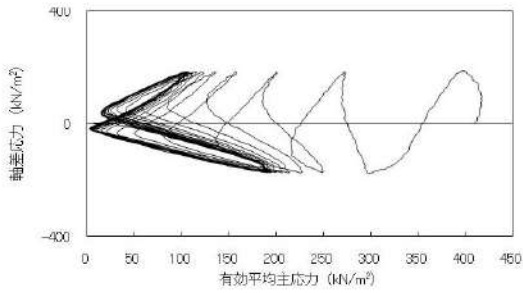
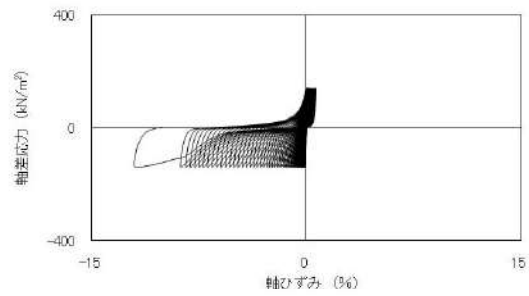
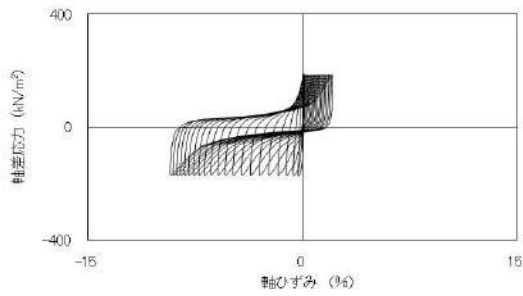
試験条件	
供試体	No.1
地表からの深度 (m)	32.00~33.00
有効上載圧 (kN/m ²)	412
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	410
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_c$	0.236
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-164 図 液状化強度試験結果
(SW-7-10 試料(供試体 No. 1))



試験条件	
供試体	No.2
地表からの深度 (m)	32.00~33.00
有効上載圧 (kN/m ²)	412
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	410
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_c$	0.196
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-165 図 液状化強度試験結果
(SW-7-10 試料(供試体 No. 2))



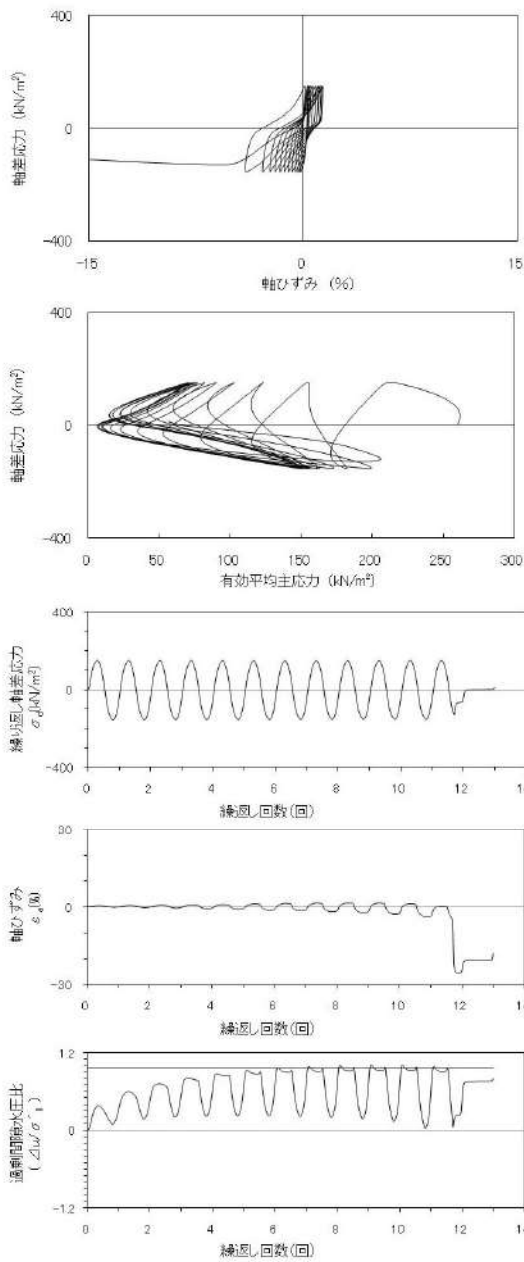
試験条件		
供試体		No.3
地表からの深度 (m)		32.00~33.00
有効上載圧 (kN/m²)		412
圧密応力 σ'_c (kN/m²)		410
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.218
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

試験条件		
供試体		No.4
地表からの深度 (m)		32.00~33.00
有効上載圧 (kN/m²)		412
圧密応力 σ'_c (kN/m²)		410
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.171
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	○	
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	×	

※有効応力がゼロまで低下していないが保守的に液状化に区分した。

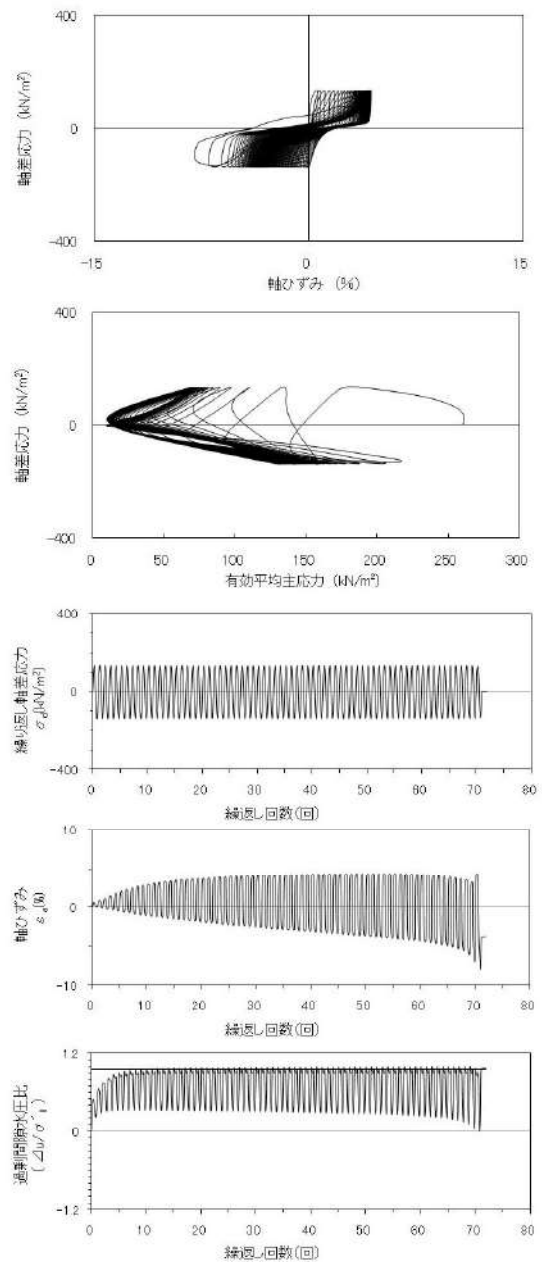
添付 1-166 図 液状化強度試験結果
(SW-7-10 試料(供試体 No. 3))

添付 1-167 図 液状化強度試験結果
(SW-7-10 試料(供試体 No. 4))



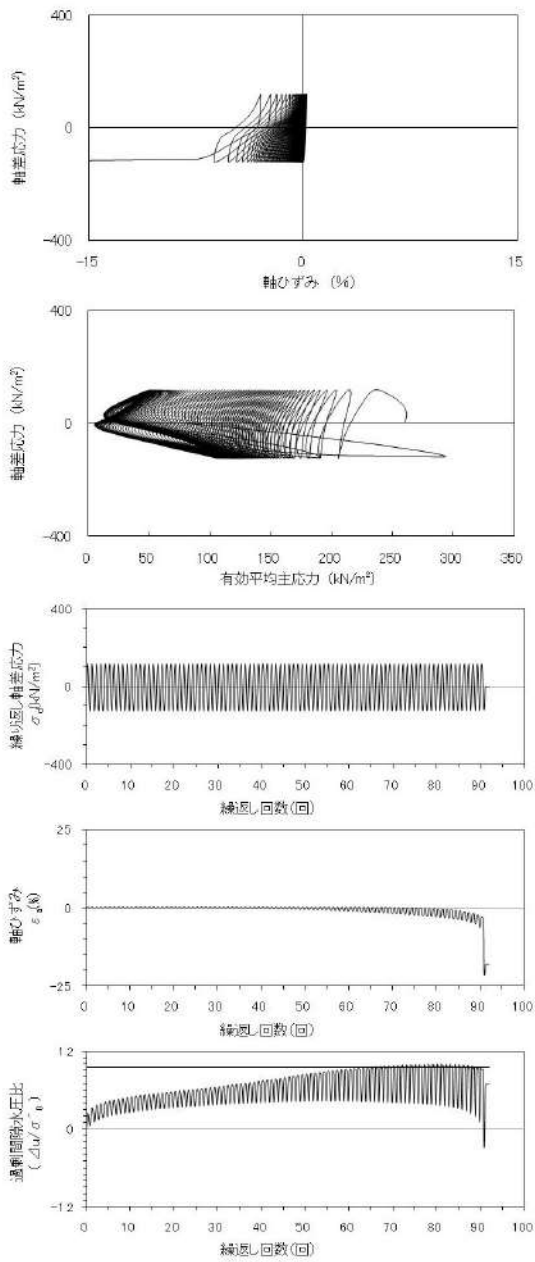
試験条件	
供試体	No.37
地表からの深度 (m)	22.15~22.55
有効上載圧 (kN/m ²)	259
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	260
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.295
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-168 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(2) 試料(供試体 No. 37))



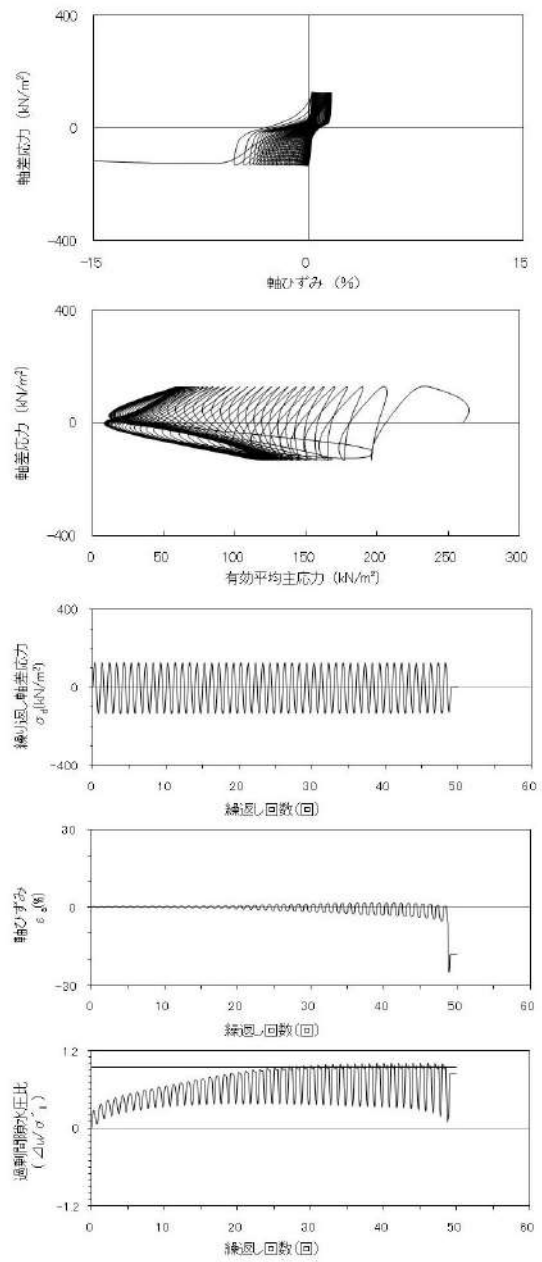
試験条件	
供試体	No.38
地表からの深度 (m)	22.15~22.55
有効上載圧 (kN/m ²)	259
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	260
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.264
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-169 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(2) 試料(供試体 No. 38))



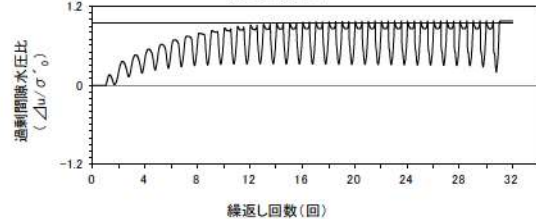
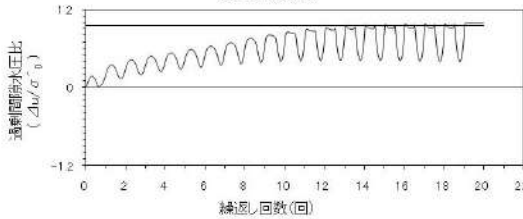
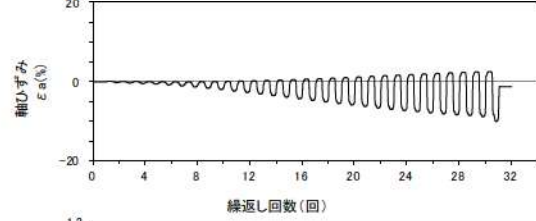
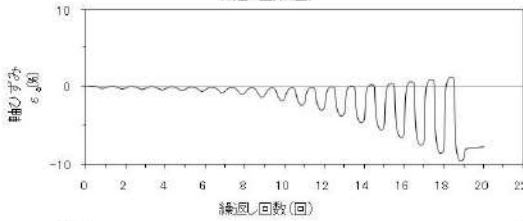
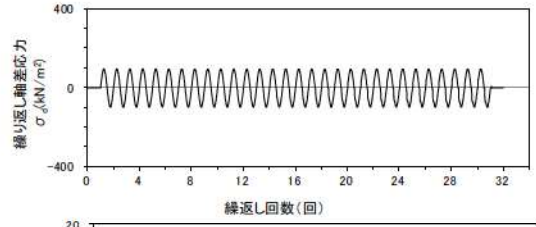
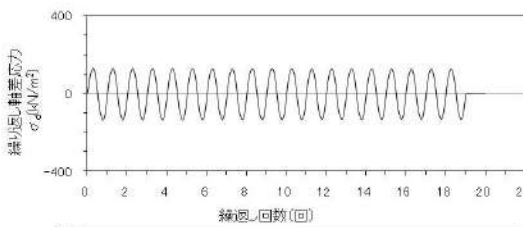
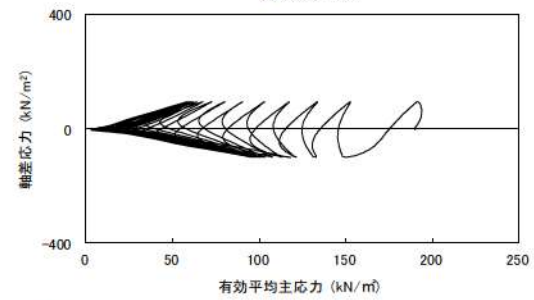
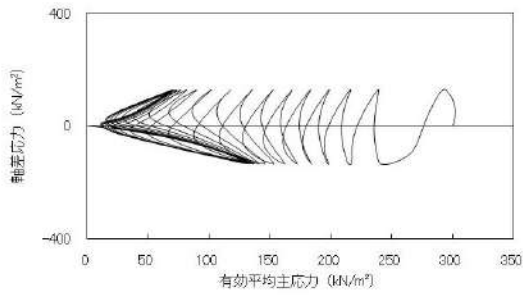
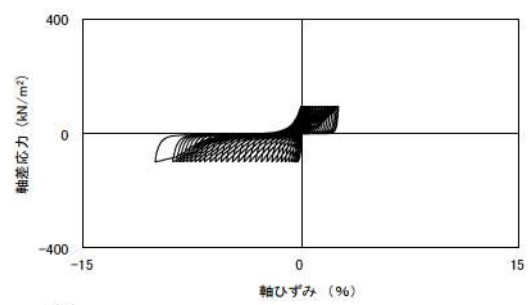
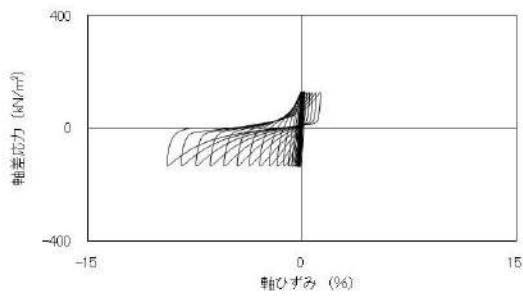
試験条件	
供試体	No.39
地表からの深度 (m)	22.15~22.55
有効上載圧 (kN/m ²)	259
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	260
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.232
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-170 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(2) 試料(供試体 No. 39))



試験条件	
供試体	No.40
地表からの深度 (m)	22.15~22.55
有効上載圧 (kN/m ²)	259
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	260
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.250
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-171 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(2) 試料(供試体 No. 40))

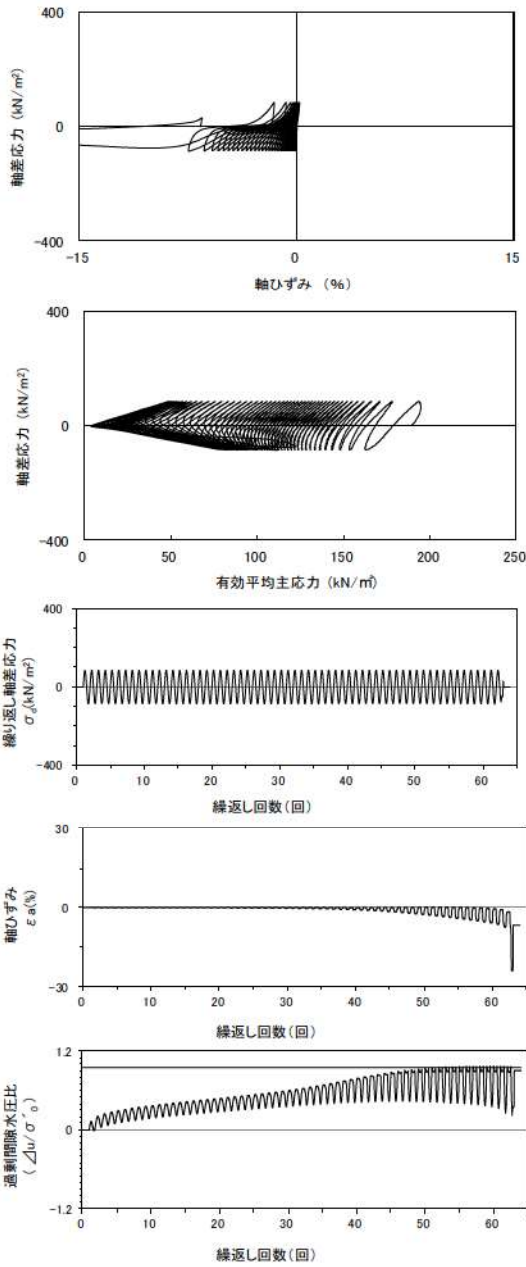


試験条件	
供試体	No.55
地表からの深度 (m)	26.63~26.73
有効上載圧 (kN/m ²)	298
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	300
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.220
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

試験条件	
供試体	No.1-7
地表からの深度 (m)	18.21~18.41
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.251
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

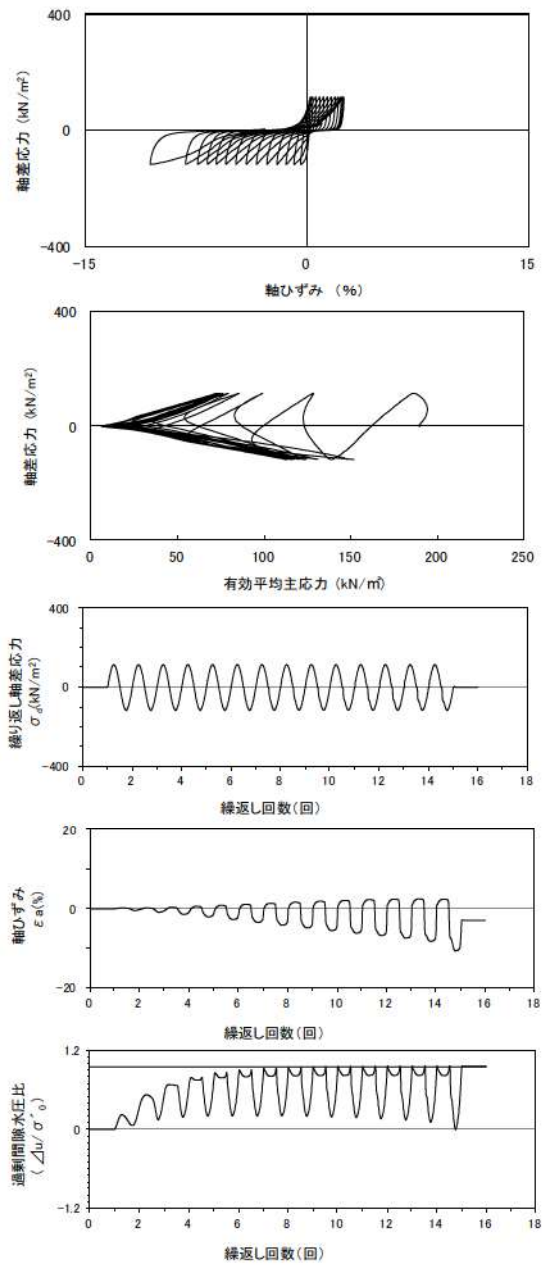
添付 1-172 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(4) 試料(供試体 No. 55))

添付 1-173 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(1) 三軸試料(供試体 No. 1-7))



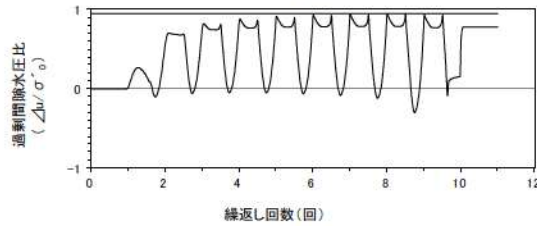
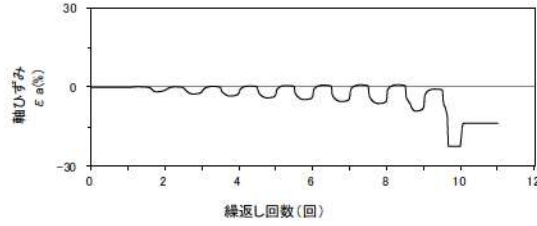
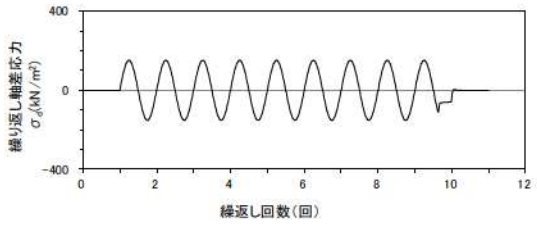
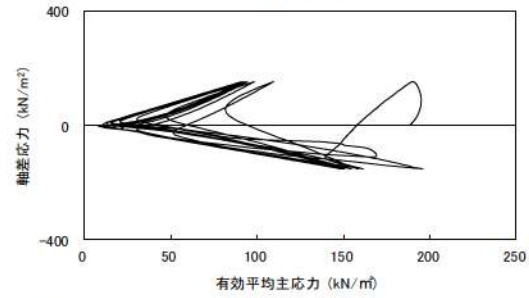
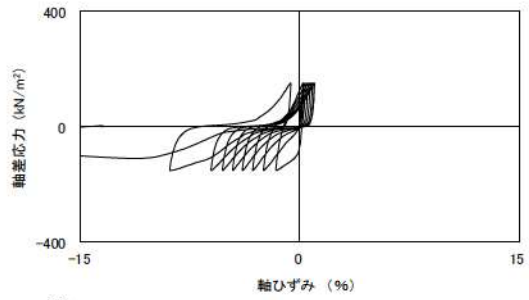
試験条件	
供試体	No.2-6
地表からの深度 (m)	18.21~18.41
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.216
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-174 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(1) 三軸試料(供試体 No. 2-6))



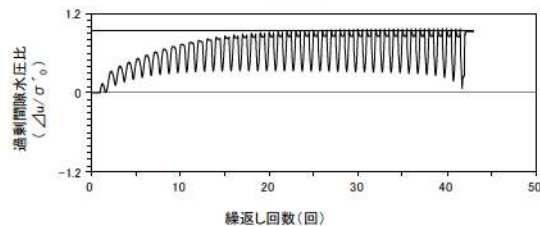
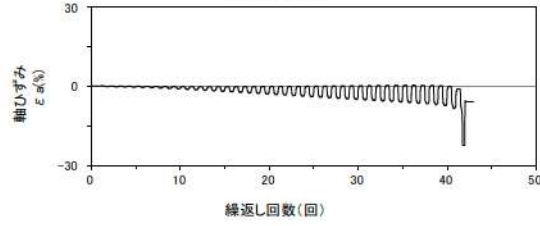
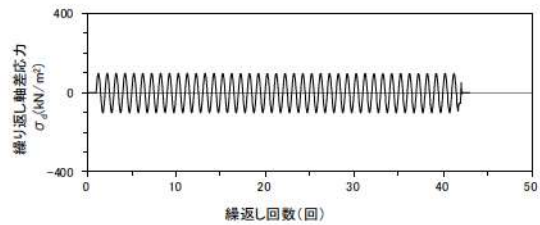
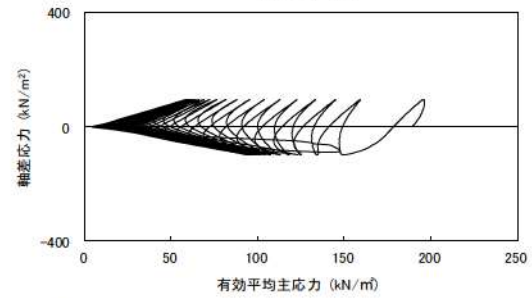
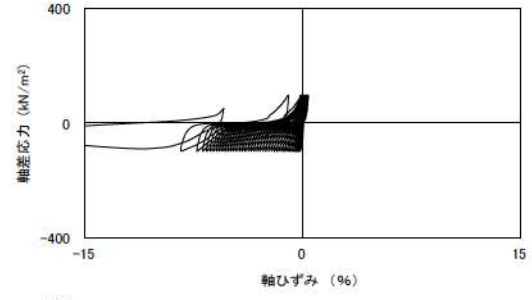
試験条件	
供試体	No.3-6
地表からの深度 (m)	18.21~18.41
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.298
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-175 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(1) 三軸試料(供試体 No. 3-6))



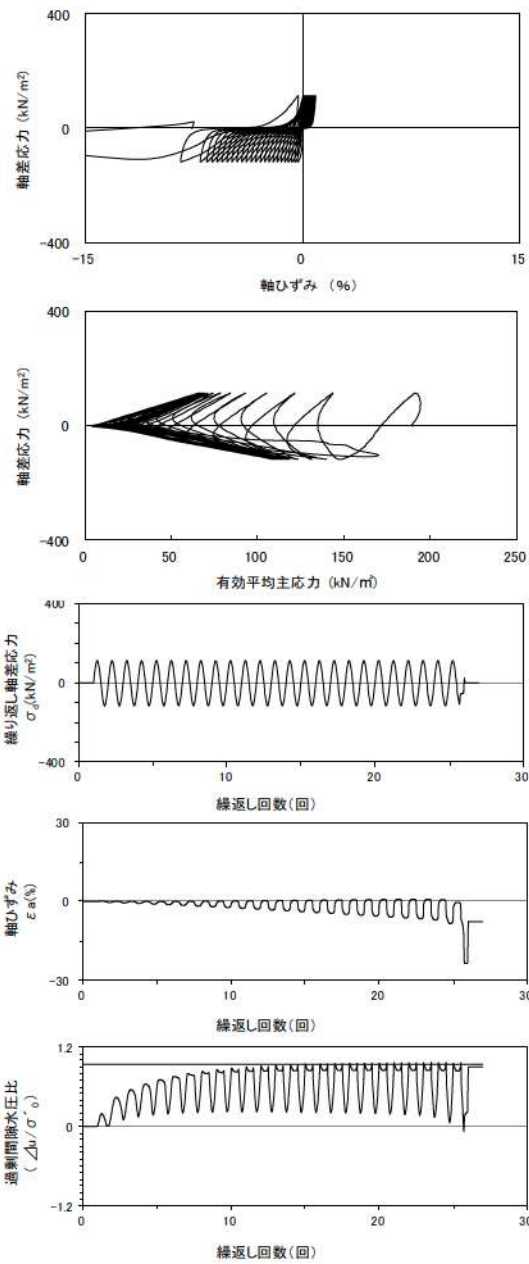
試験条件	
供試体	No.4-6
地表からの深度 (m)	18.21~18.41
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.391
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-176 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②)(1) 三軸試料(供試体 No. 4-6))



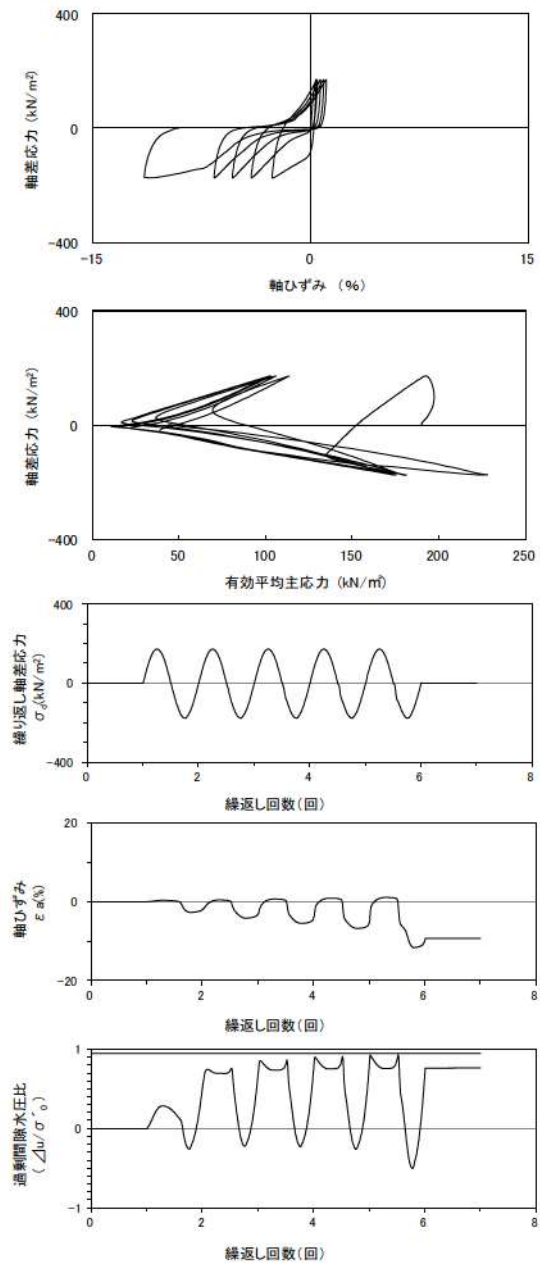
試験条件	
供試体	No.1-8
地表からの深度 (m)	18.36~18.56
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.253
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-177 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②)(2) 三軸試料(供試体 No. 1-8))



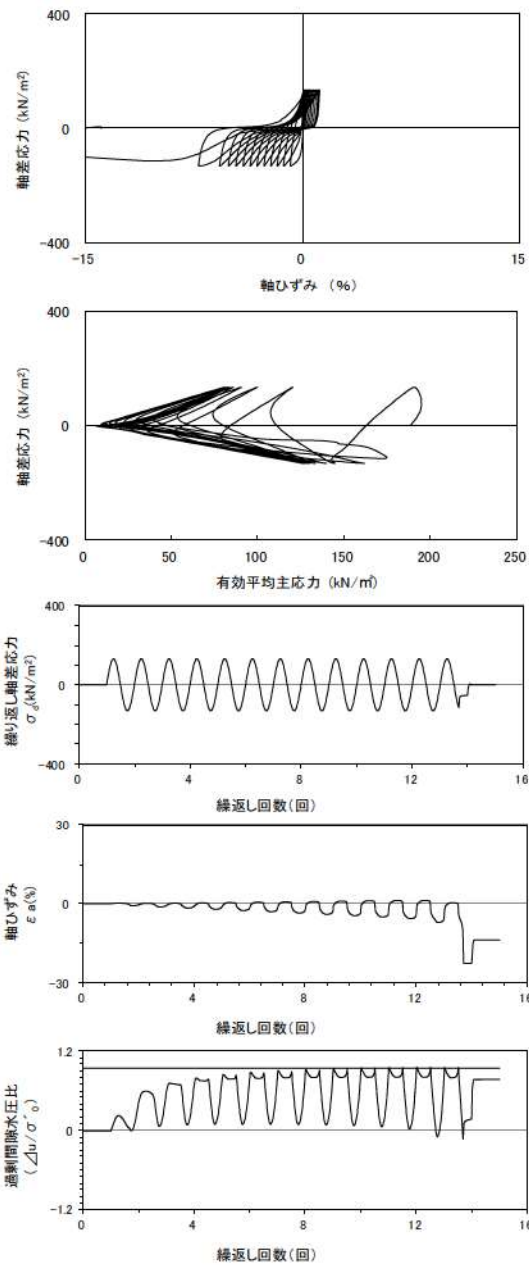
試験条件	
供試体	No.2-7
地表からの深度 (m)	18.36~18.56
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.301
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-178 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(2) 三軸試料(供試体 No. 2-7))



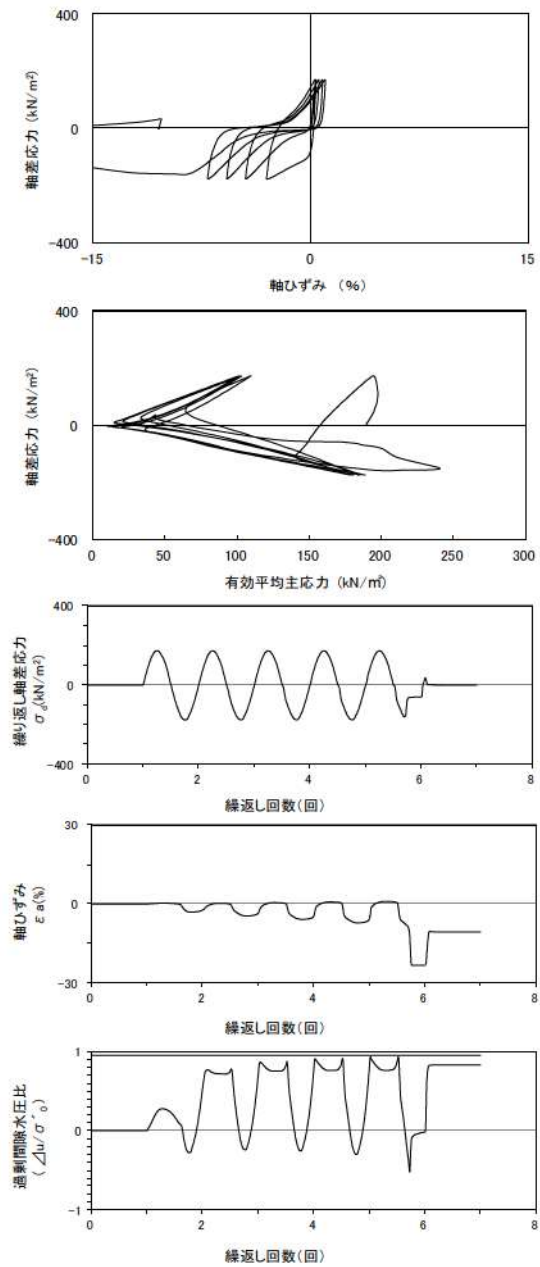
試験条件	
供試体	No.3-7
地表からの深度 (m)	18.36~18.56
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.447
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-179 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(2) 三軸試料(供試体 No. 3-7))



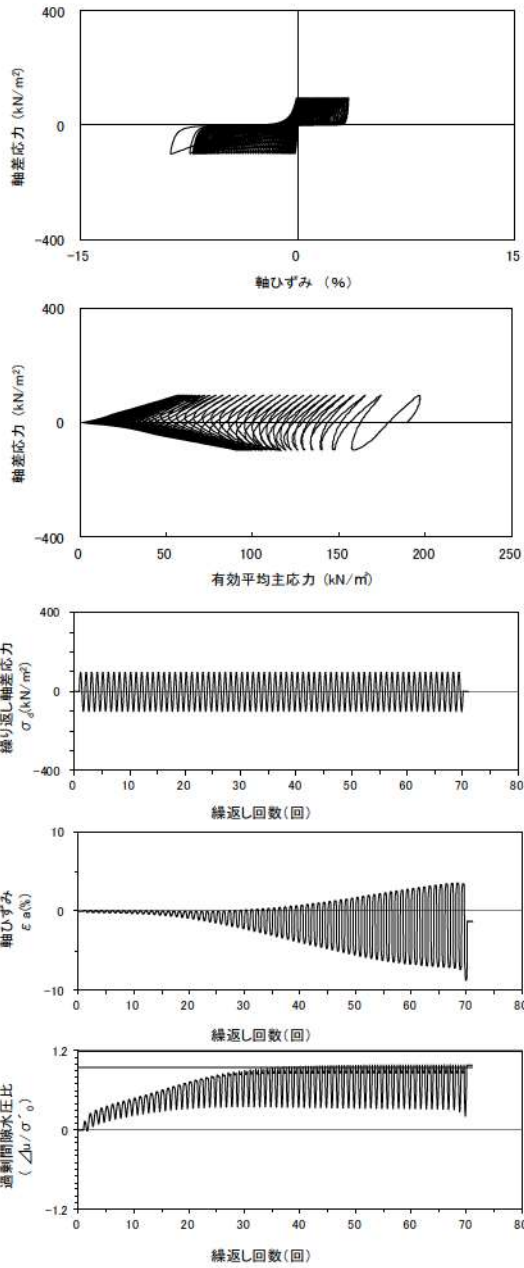
試験条件	
供試体	No.3-7
地表からの深度 (m)	18.36~18.56
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.447
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-180 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(2) 三軸試料(供試体 No. 4-7))



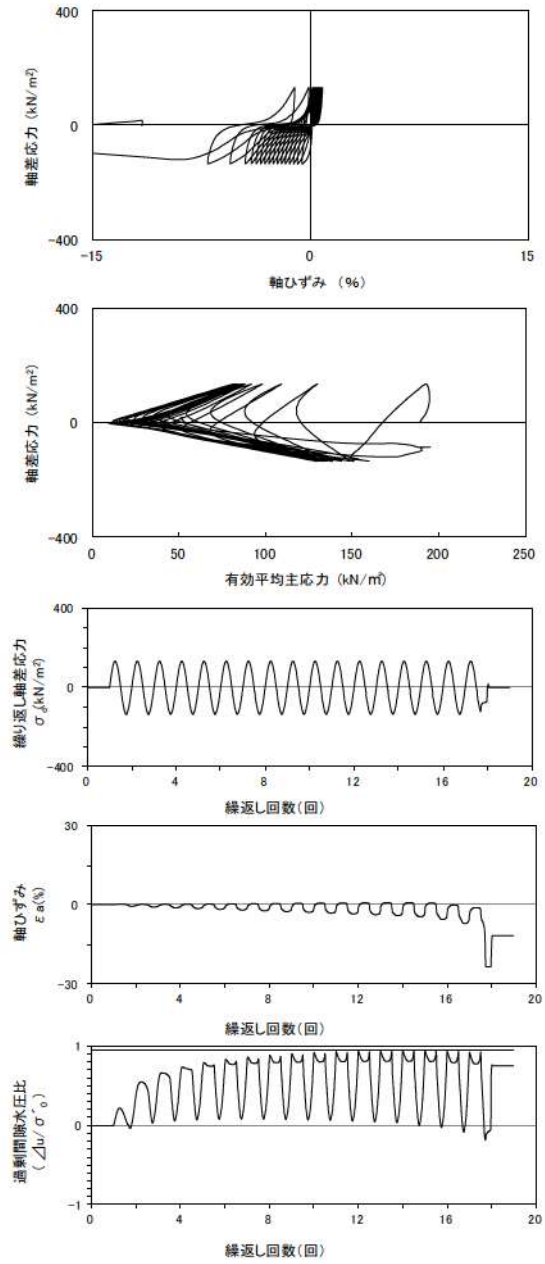
試験条件	
供試体	No.1-9
地表からの深度 (m)	18.51~18.71
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.455
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-181 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(3) 三軸試料(供試体 No. 1-9))



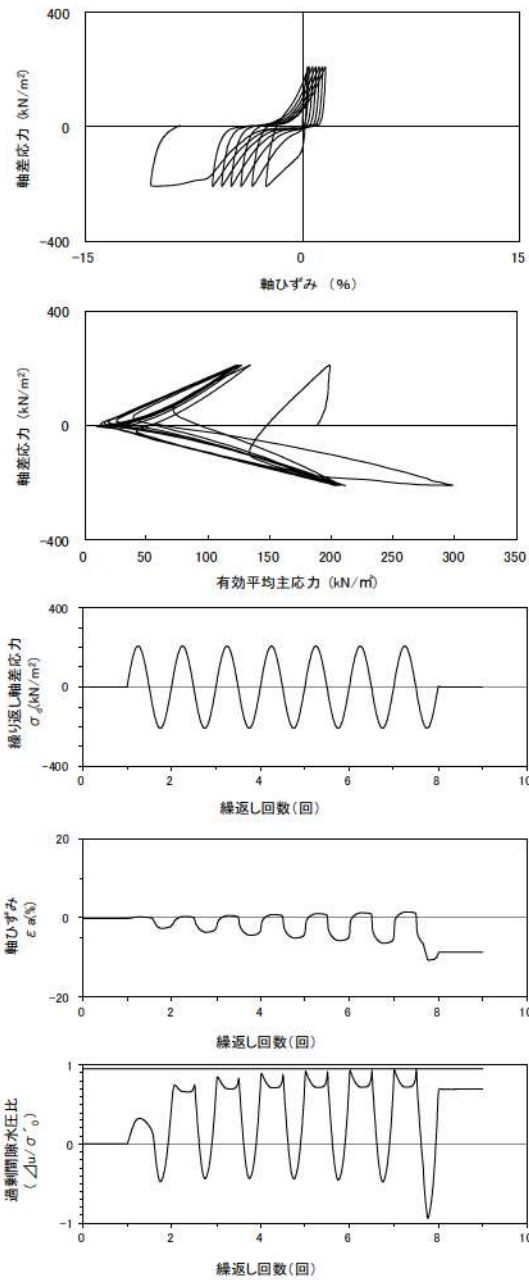
試験条件	
供試体	No.2-8
地表からの深度 (m)	18.51~18.71
有効上載圧 (kN/m^2)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$	0.254
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-182 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(3) 三軸試料(供試体 No. 2-8))



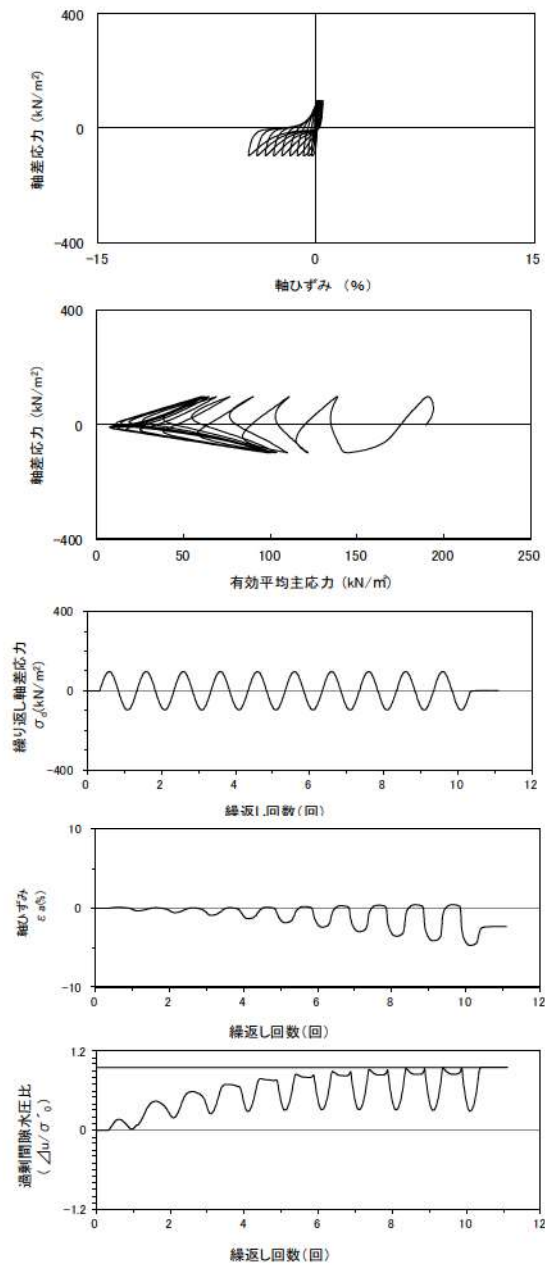
試験条件	
供試体	No.3-8
地表からの深度 (m)	18.51~18.71
有効上載圧 (kN/m^2)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m^2)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_v$	0.358
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-183 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(3) 三軸試料(供試体 No. 3-8))



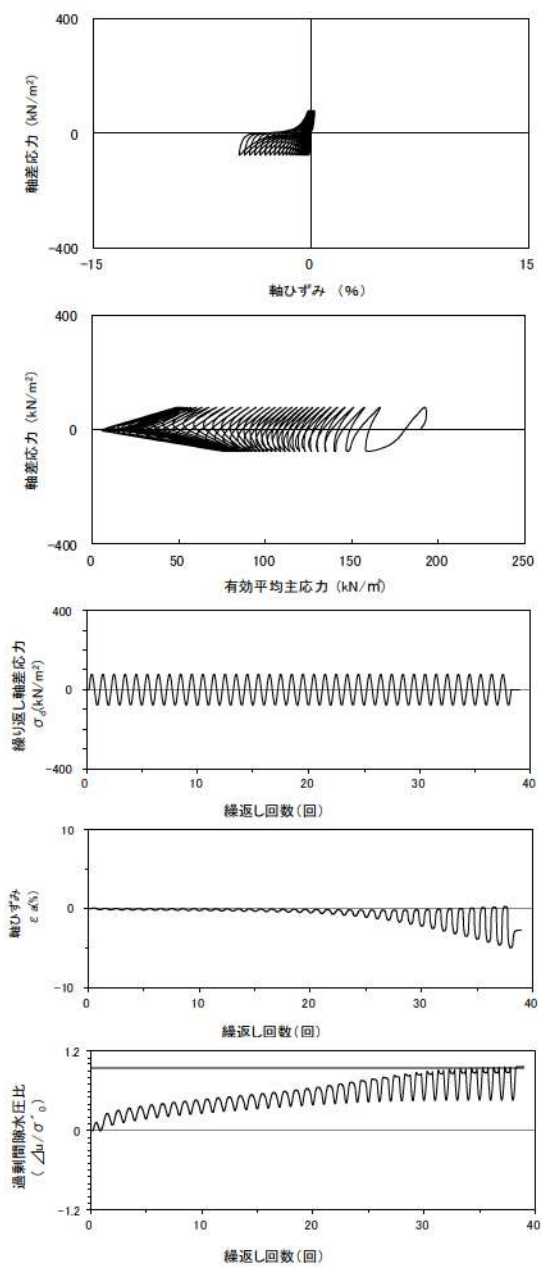
試験条件	
供試体	No.4-8
地表からの深度 (m)	18.51~18.71
有効上載圧 (kN/m ²)	185
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.549
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-184 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② (3) 三軸試料(供試体 No. 4-8))



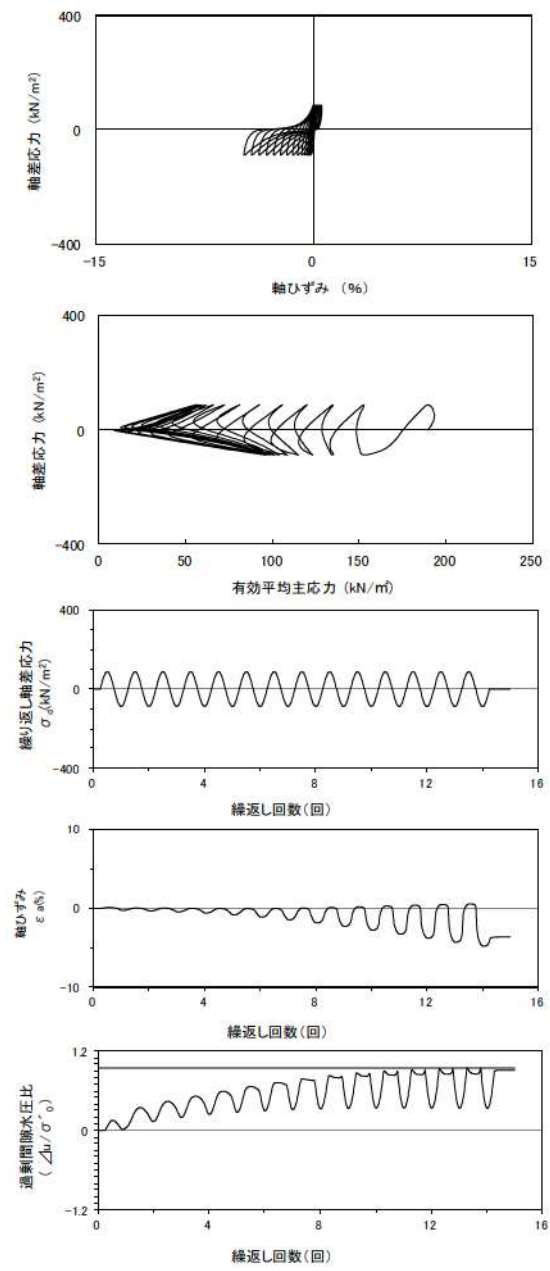
試験条件	
供試体	No.2-13
地表からの深度 (m)	19.95~20.21
有効上載圧 (kN/m ²)	200
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.254
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-185 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② A-1 三軸試料(供試体 No. 2-13))



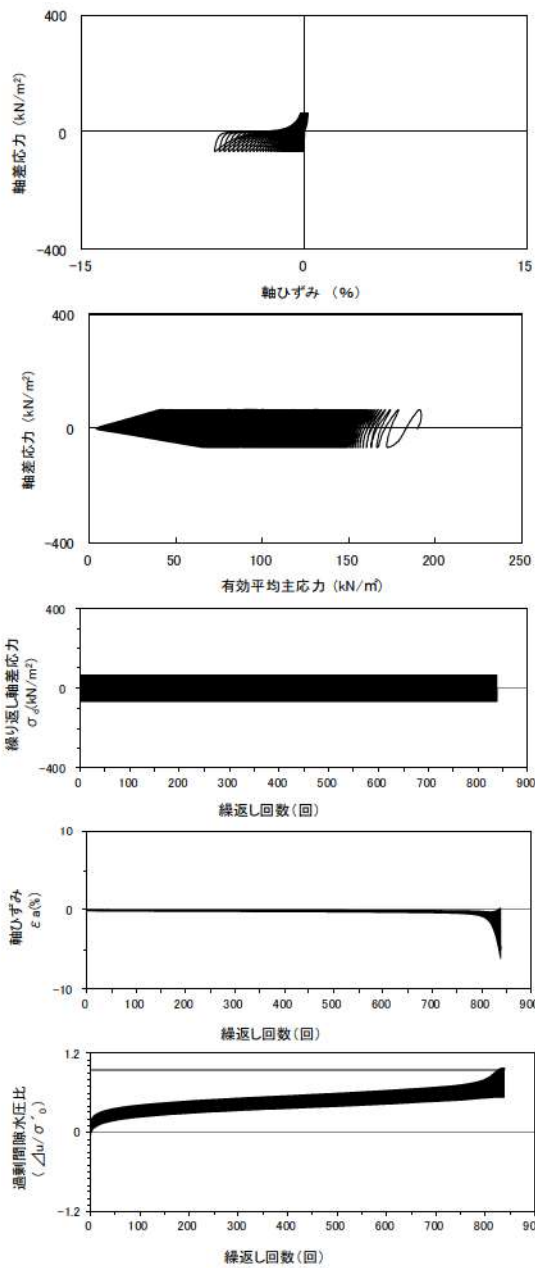
試験条件	
供試体	No.3-14
地表からの深度 (m)	19.95~20.21
有効上載圧 (kN/m ²)	200
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.203
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-186 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② A-1 三軸試料(供試体 No. 3-14))



試験条件	
供試体	No.1-15
地表からの深度 (m)	19.95~20.21
有効上載圧 (kN/m ²)	200
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.229
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

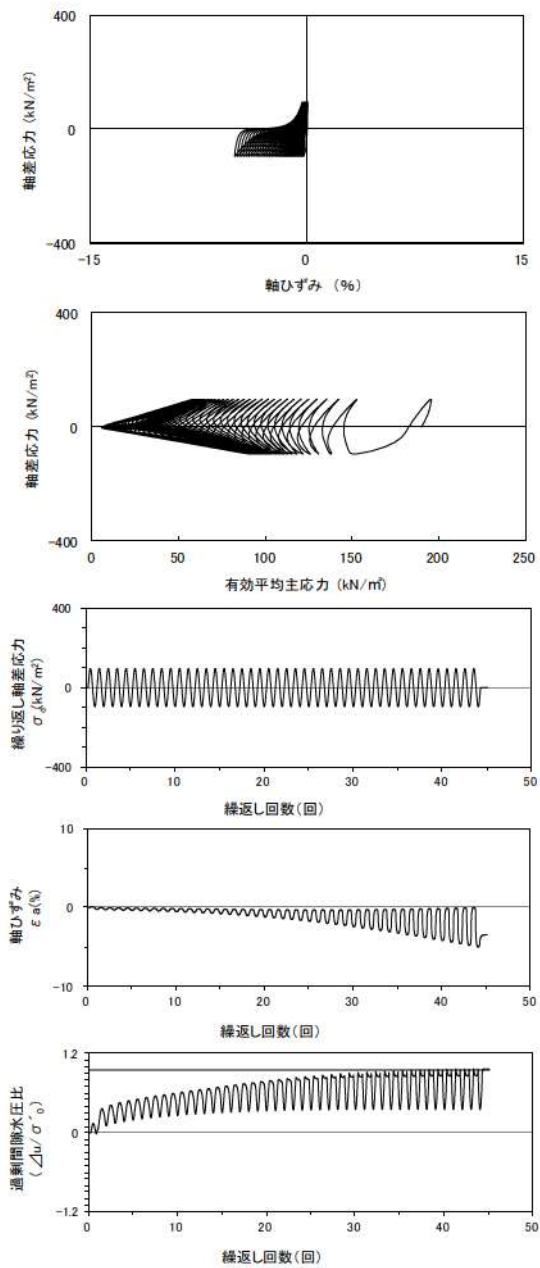
添付 1-187 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② A-1 三軸試料(供試体 No. 1-15))



試験条件		
供試体	No.4-14	
地表からの深度 (m)	19.95~20.21	
有効上載圧 (kN/m ²)	200	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.173	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンシー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

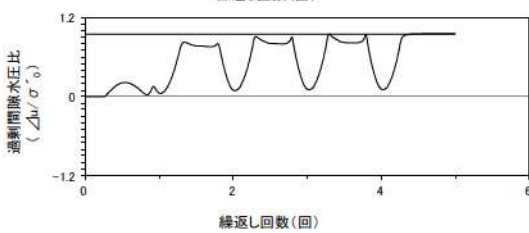
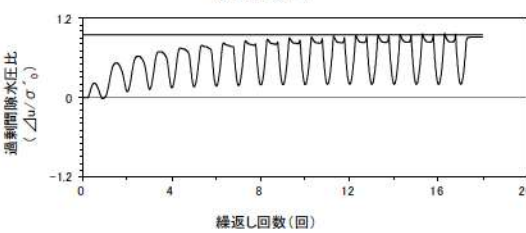
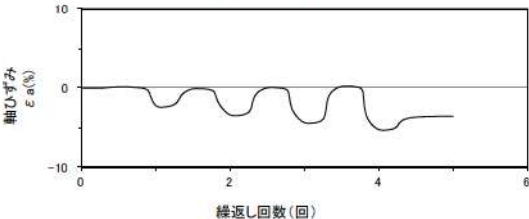
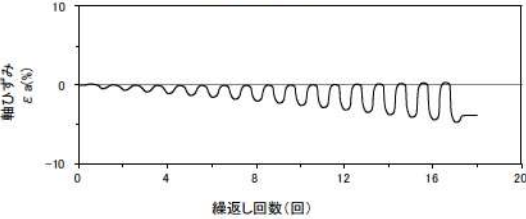
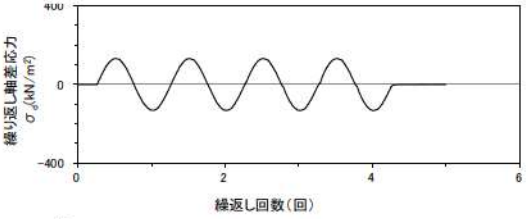
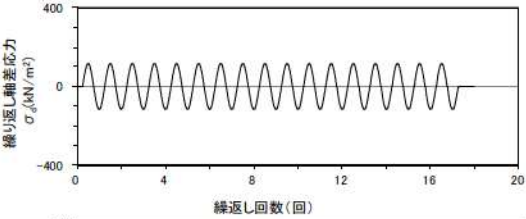
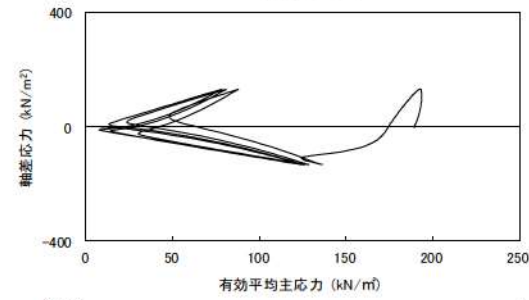
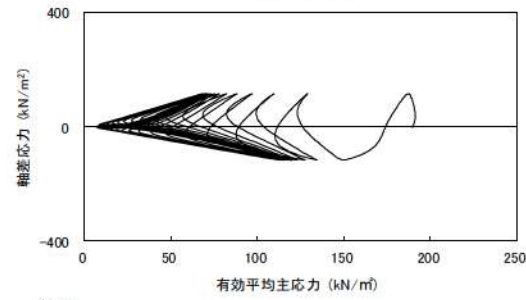
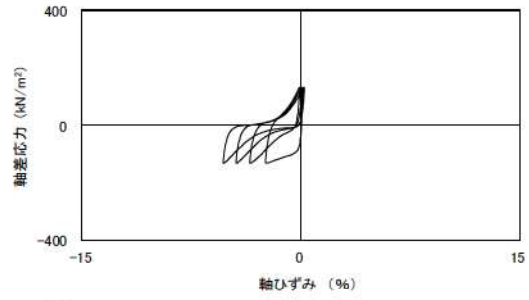
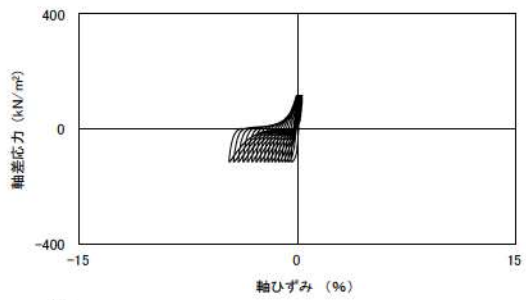
※繰返し回数 200 回で判定

添付 1-188 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② A-1 三軸試料(供試体 No. 4-14))



試験条件		
供試体	No.2-14	
地表からの深度 (m)	20.20~20.42	
有効上載圧 (kN/m ²)	200	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.251	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンシー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-189 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② A-2 三軸試料(供試体 No. 2-14))

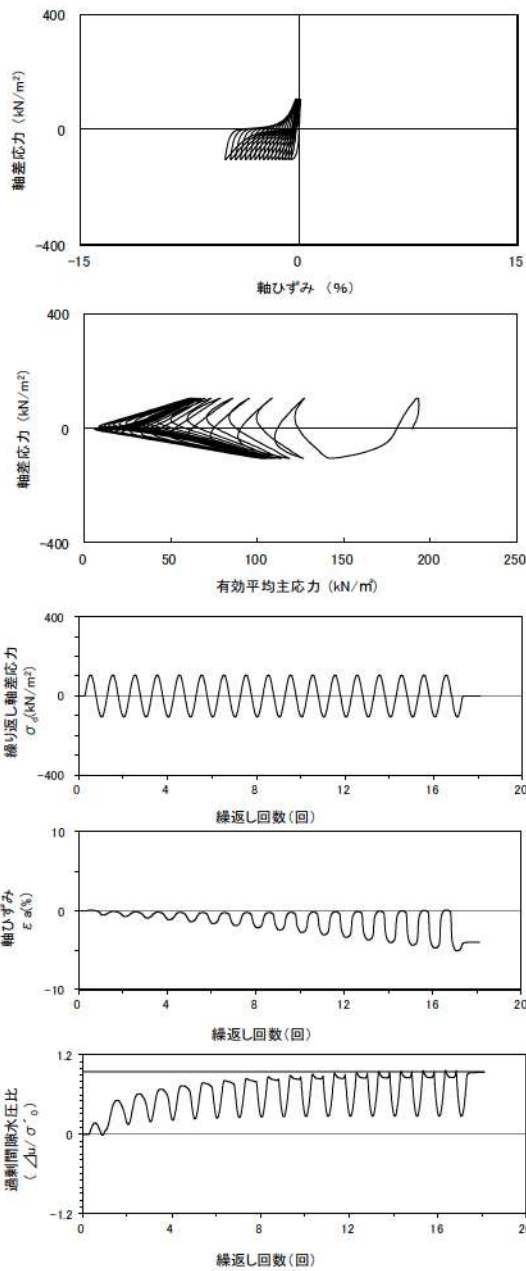


試験条件	
供試体	No.3-15
地表からの深度 (m)	20.20~20.42
有効上載圧 (kN/m ²)	200
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.304
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

試験条件	
供試体	No.4-15
地表からの深度 (m)	20.20~20.42
有効上載圧 (kN/m ²)	200
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.347
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

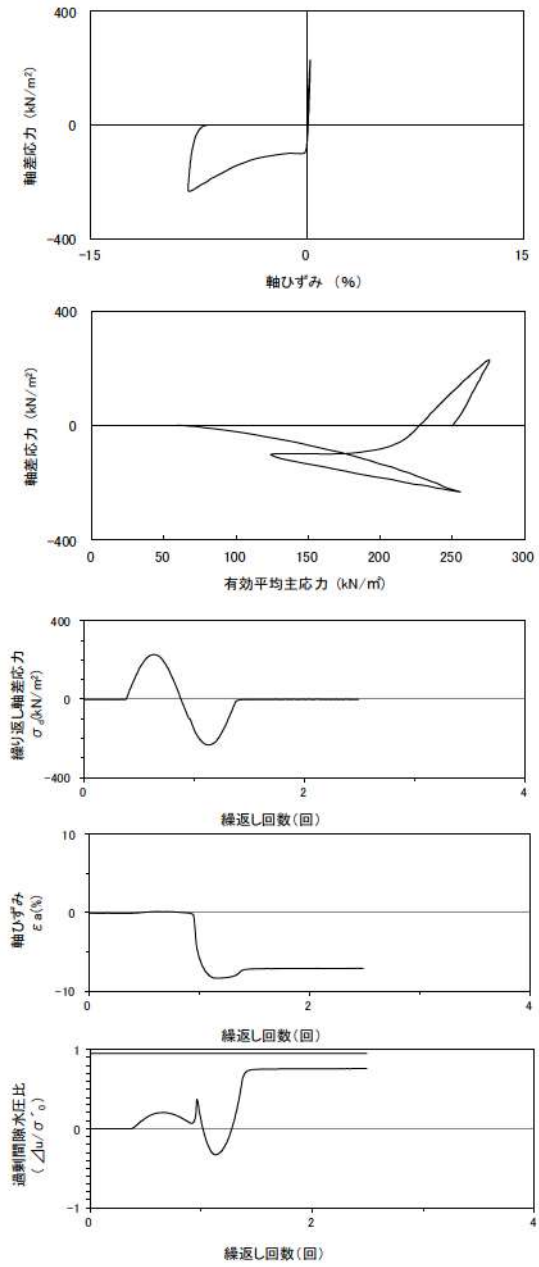
添付 1-190 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② A-2 三軸試料(供試体 No. 3-15))

添付 1-191 図 液状化強度試験結果
(FS-1-② A-2 三軸試料(供試体 No. 4-15))



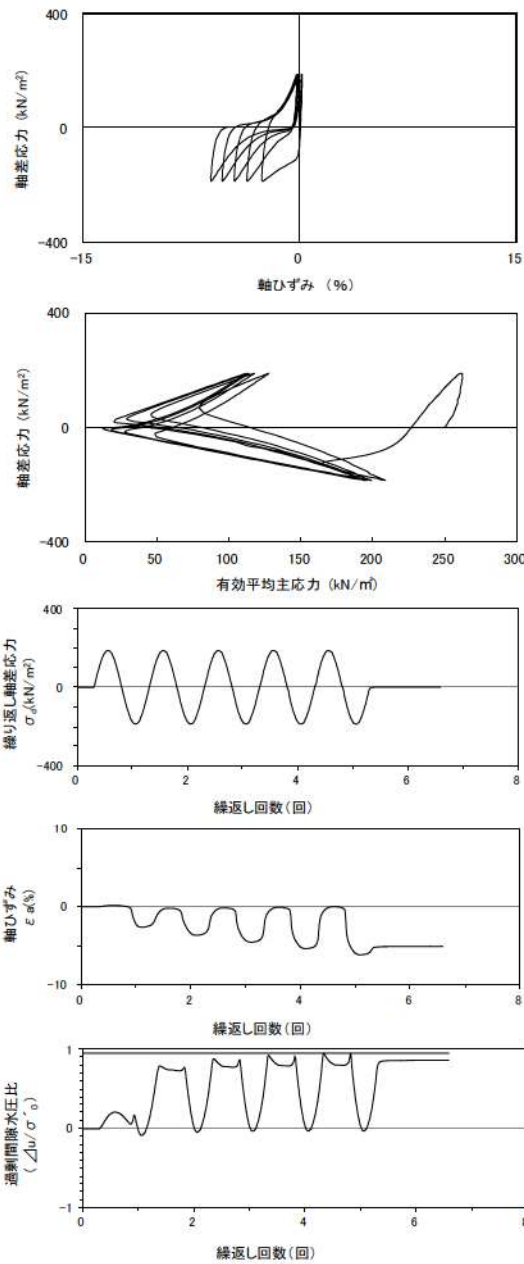
試験条件	
供試体	No.1-16
地表からの深度 (m)	20.20~20.42
有効上載圧 (kN/m ²)	200
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.277
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
	繰返し軟化

添付 1-192 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②) A-2 三軸試料(供試体 No. 1-16)



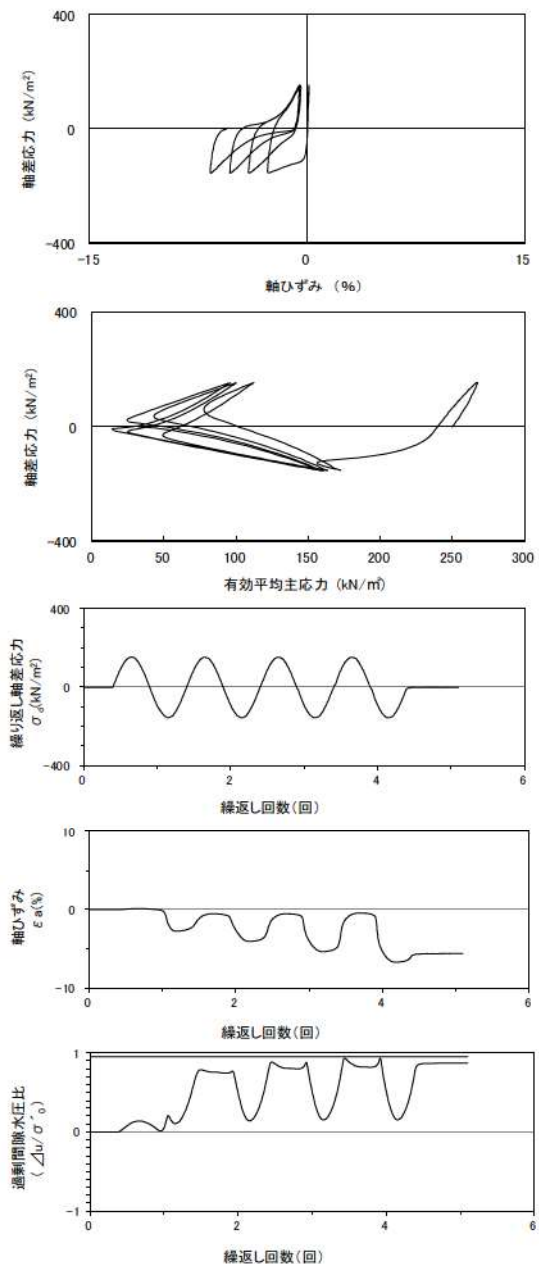
試験条件	
供試体	No.4-41
地表からの深度 (m)	26.85~27.11
有効上載圧 (kN/m ²)	260
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.462
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
	非液状化

添付 1-193 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④) A-2 三軸試料(供試体 No. 4-41)



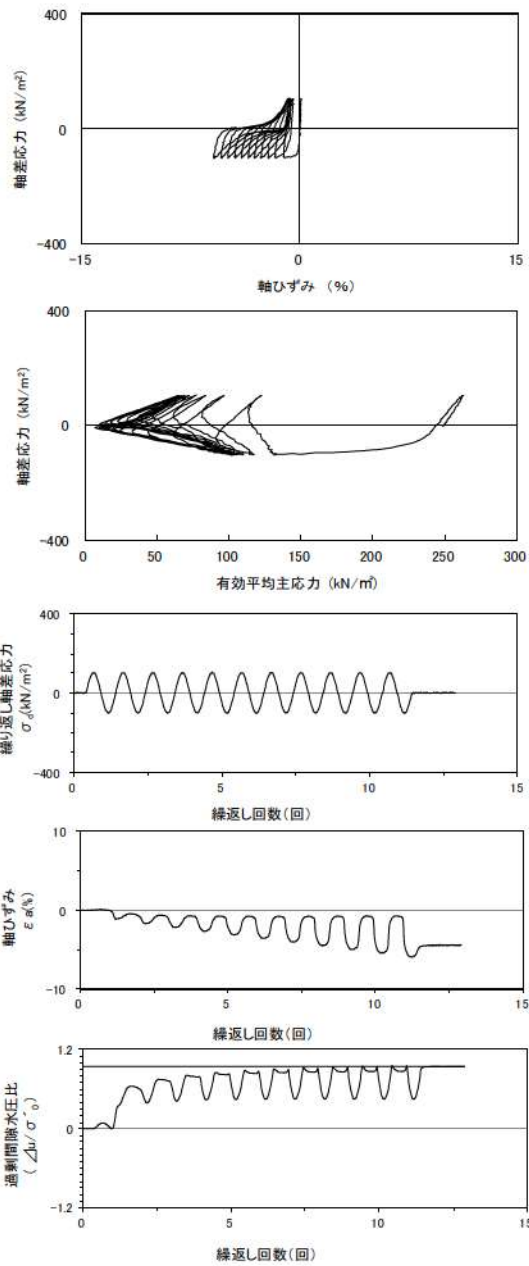
試験条件	
供試体	No.1-38
地表からの深度 (m)	26.85~27.11
有効上載圧 (kN/m ²)	260
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.375
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
	非液状化

添付 1-194 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④) A-2 三軸試料(供試体 No. 1-38))



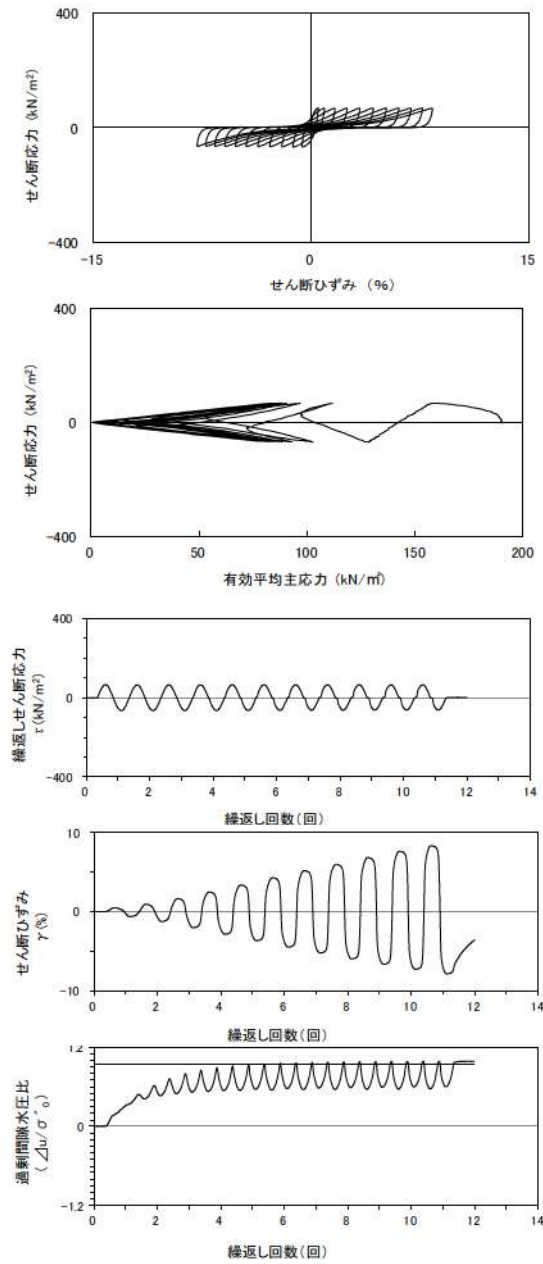
試験条件	
供試体	No.3-40
地表からの深度 (m)	26.85~27.11
有効上載圧 (kN/m ²)	260
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.308
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
	非液状化

添付 1-195 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④) A-2 三軸試料(供試体 No. 3-40))



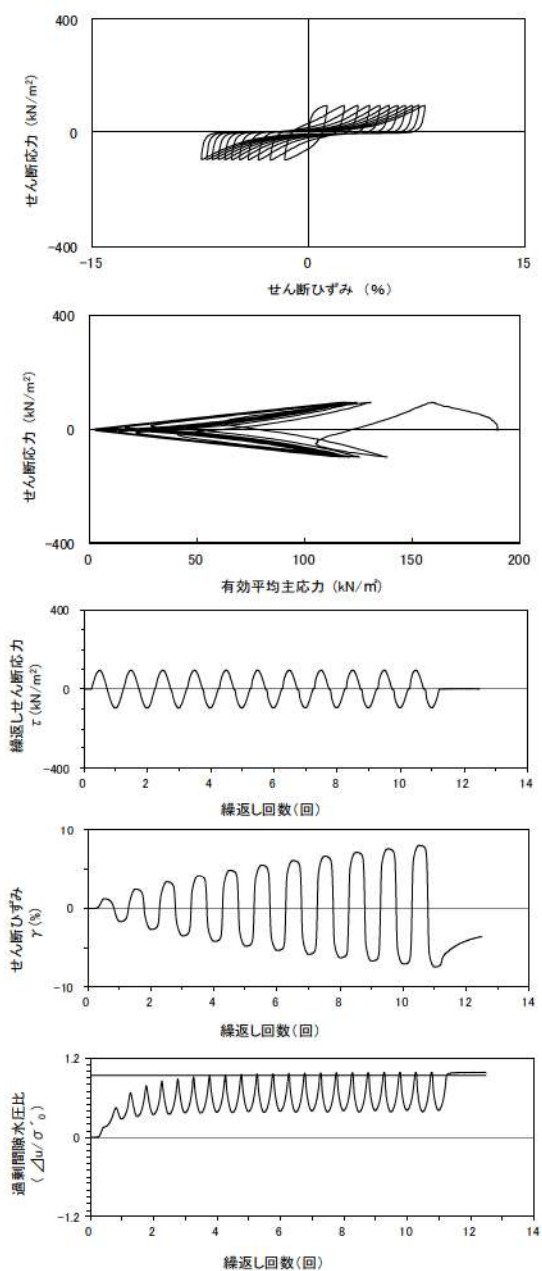
試験条件	
供試体	No.3-40
地表からの深度 (m)	26.85~27.11
有効上載圧 (kN/m ²)	260
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.308
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-196 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④) A-2 三軸試料(供試体 No. 2-40)



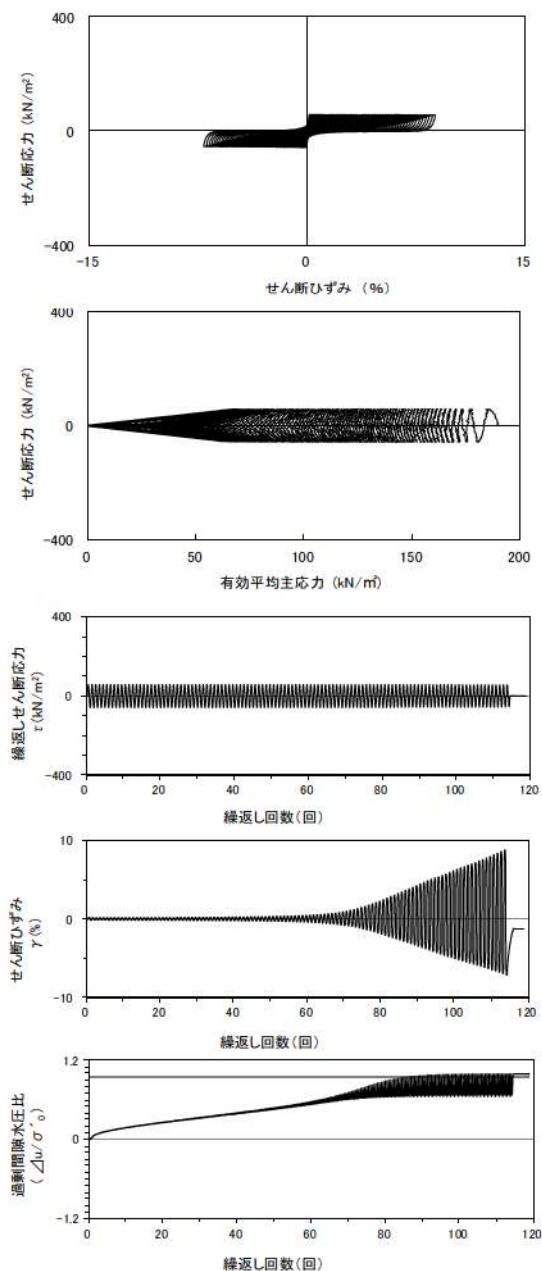
試験条件	
供試体	No.4-12
地表からの深度 (m)	18.70~19.26
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.354
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-197 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②) (1) 中空試料(供試体 No. 4-12)



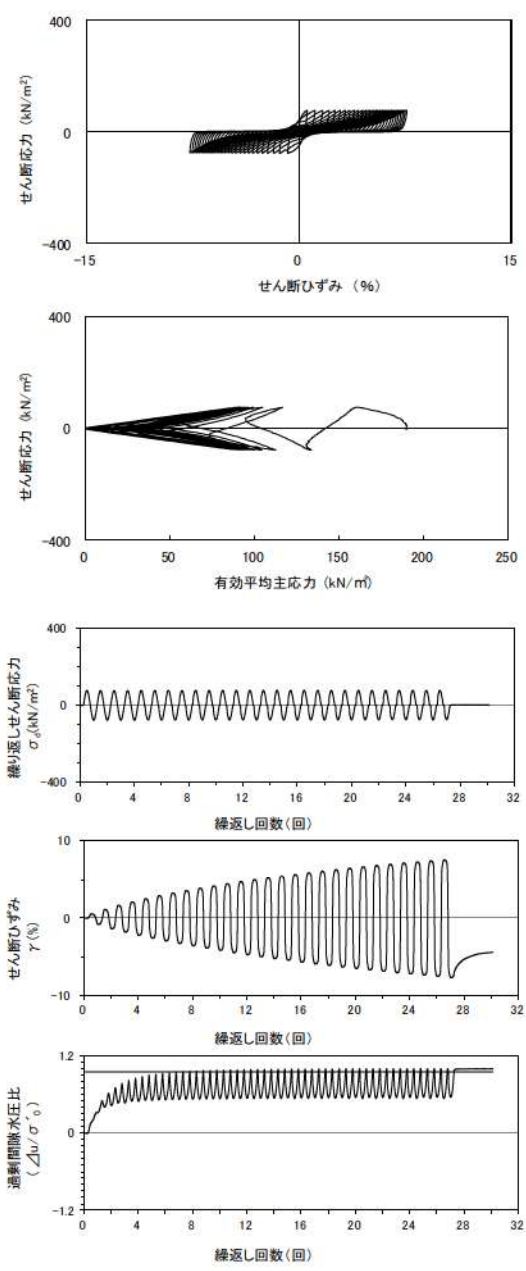
試験条件	
供試体	No.1-10
地表からの深度 (m)	18.70~19.26
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.505
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
液状化の判断	
繰返し軟化	

添付 1-198 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(1)中空試料(供試体 No. 1-10))



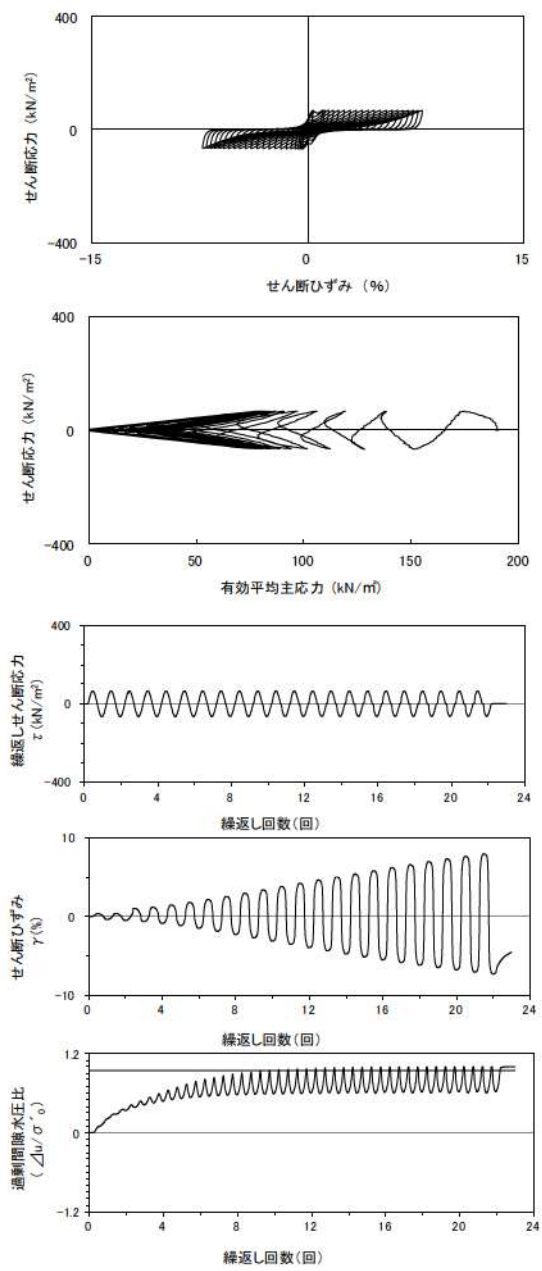
試験条件	
供試体	No.2-9
地表からの深度 (m)	18.70~19.26
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.302
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
液状化の判断	
繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)	

添付 1-199 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(1)中空試料(供試体 No. 2-9))



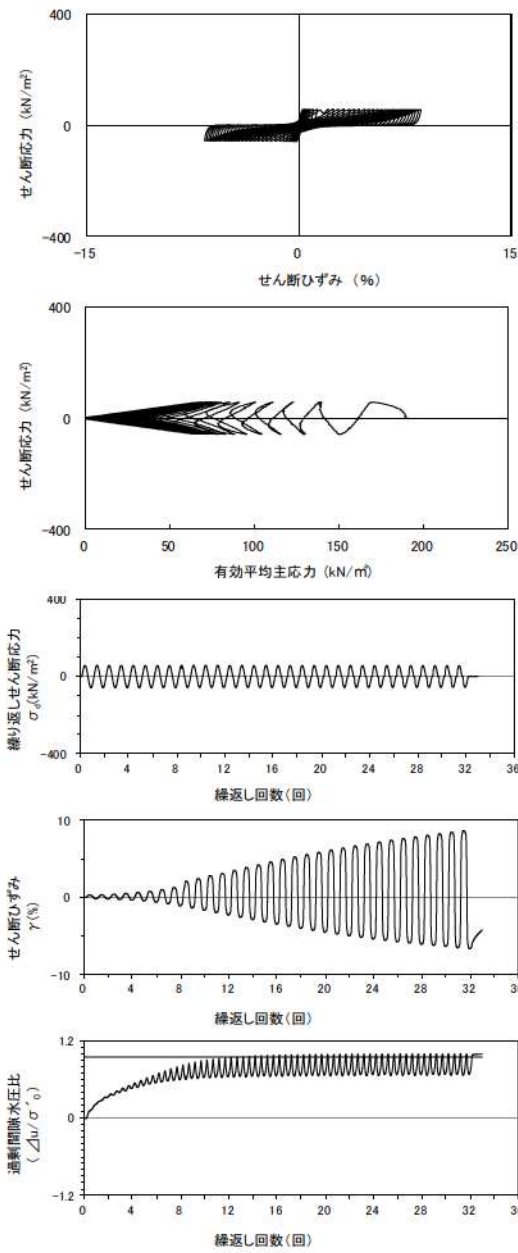
試験条件	
供試体	No.3-9
地表からの深度 (m)	18.70~19.26
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.404
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)	

添付 1-200 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(1) 中空試料(供試体 No. 3-9))



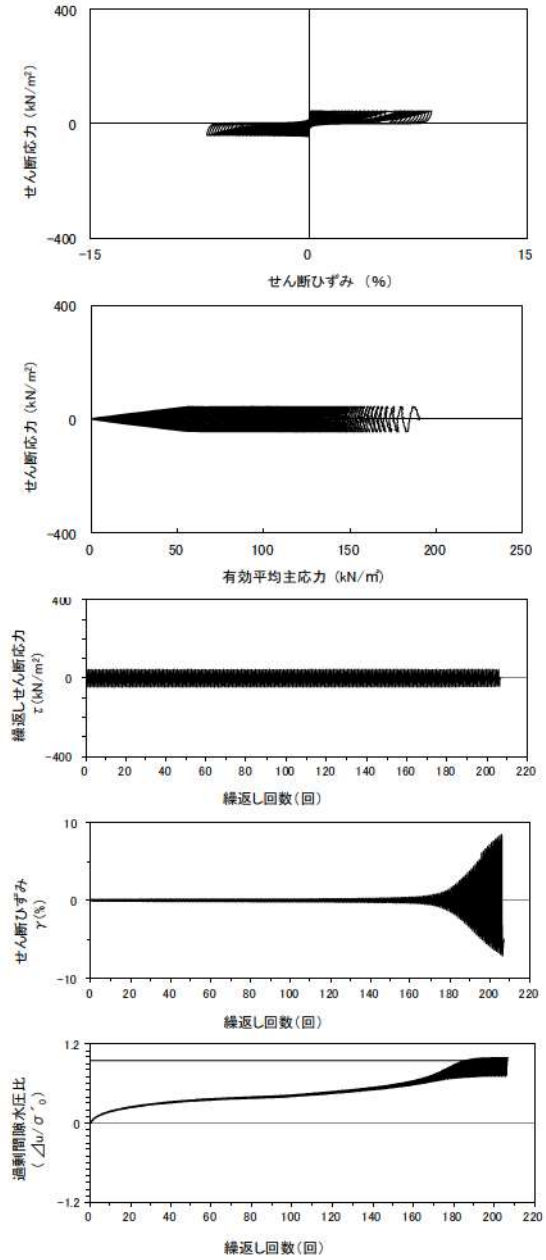
試験条件	
供試体	No.4-10
地表からの深度 (m)	18.81~19.01
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.352
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)	

添付 1-201 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(2) 中空試料(供試体 No. 4-10))



試験条件		
供試体	No.1~11	
地表からの深度 (m)	18.81~19.01	
有効上載圧 (kN/m ²)	188	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.304	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)
有効応力がゼロまで低下する。	○	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

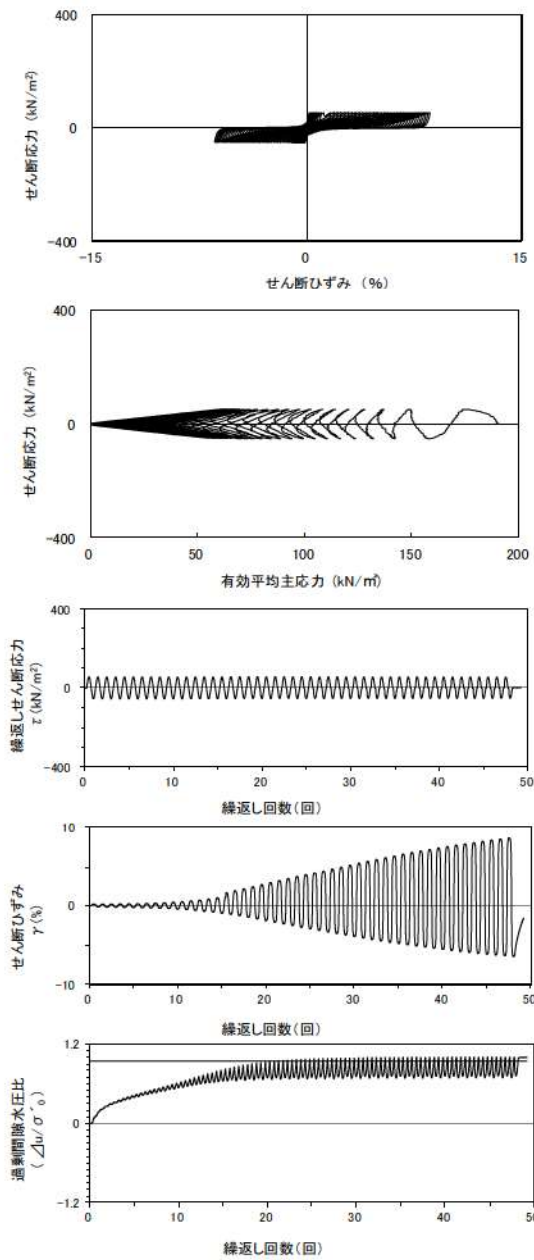
添付 1-202 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②) (2) 中空試料 (供試体 No. 1-11)



試験条件		
供試体	No.2-10	
地表からの深度 (m)	18.81~19.01	
有効上載圧 (kN/m ²)	188	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.231	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

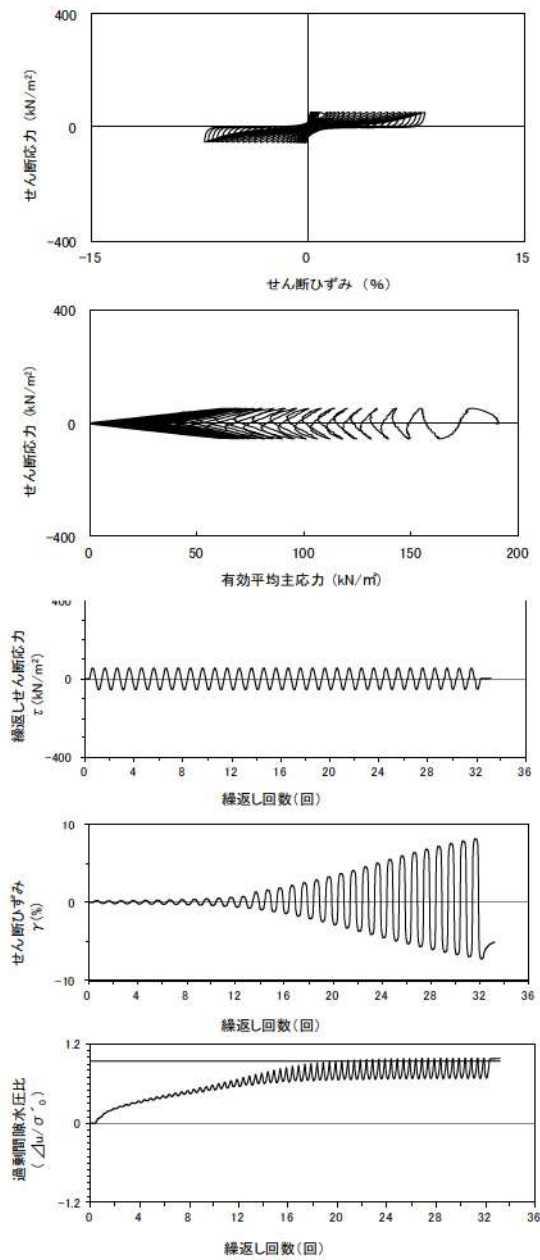
※繰返し回数 200 回で判定

添付 1-203 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②) (2) 中空試料 (供試体 No. 2-10)



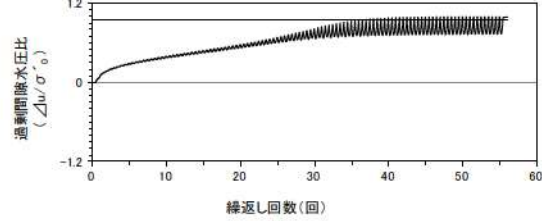
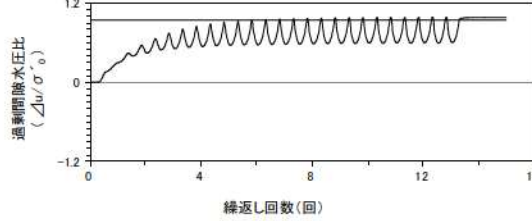
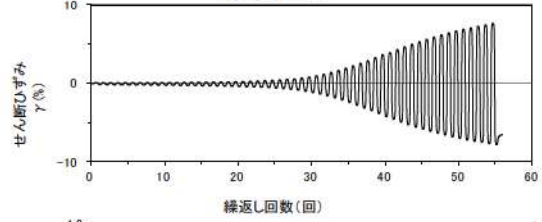
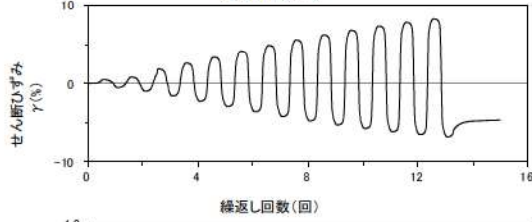
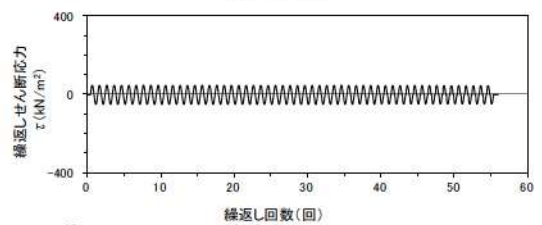
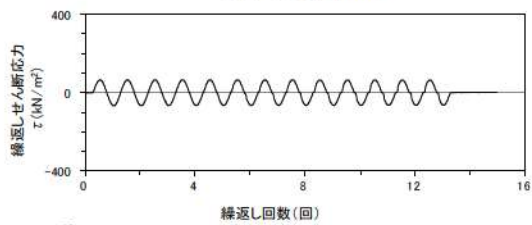
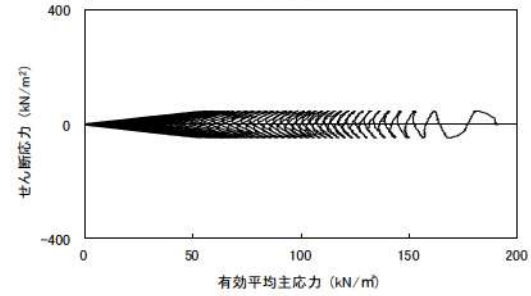
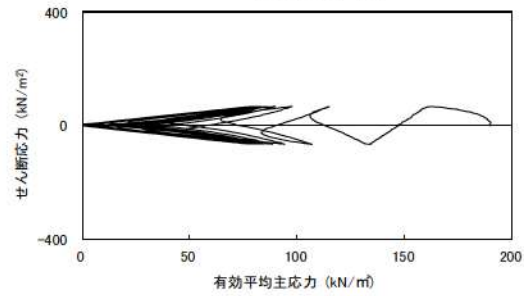
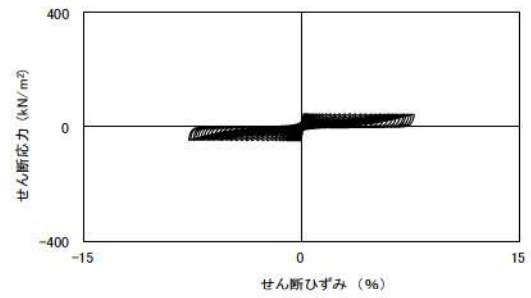
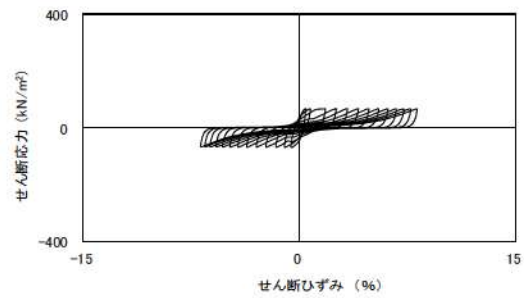
試験条件	
供試体	No.3-10
地表からの深度 (m)	18.81~19.01
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.277
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリックモビリティ)	

添付 1-204 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(2)中空試料(供試体 No. 3-10))



試験条件	
供試体	No.4-11
地表からの深度 (m)	18.96~19.20
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.281
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-205 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(3)中空試料(供試体 No. 4-11))

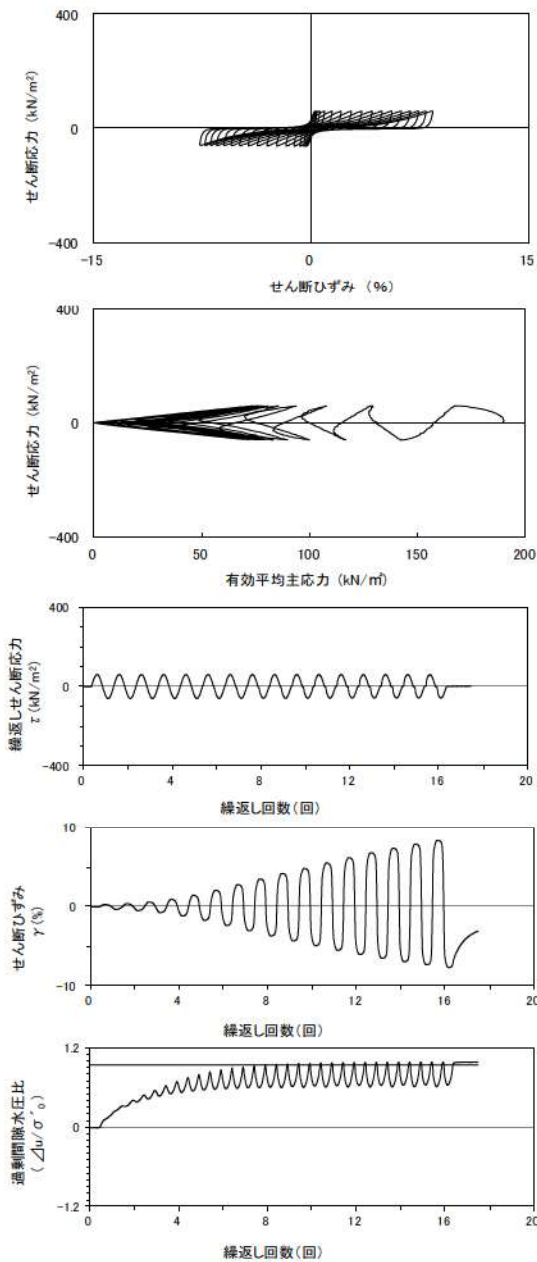


試験条件	
供試体	No.1-12
地表からの深度 (m)	18.96~19.20
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.352
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

試験条件	
供試体	No.3-11
地表からの深度 (m)	18.96~19.20
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.251
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

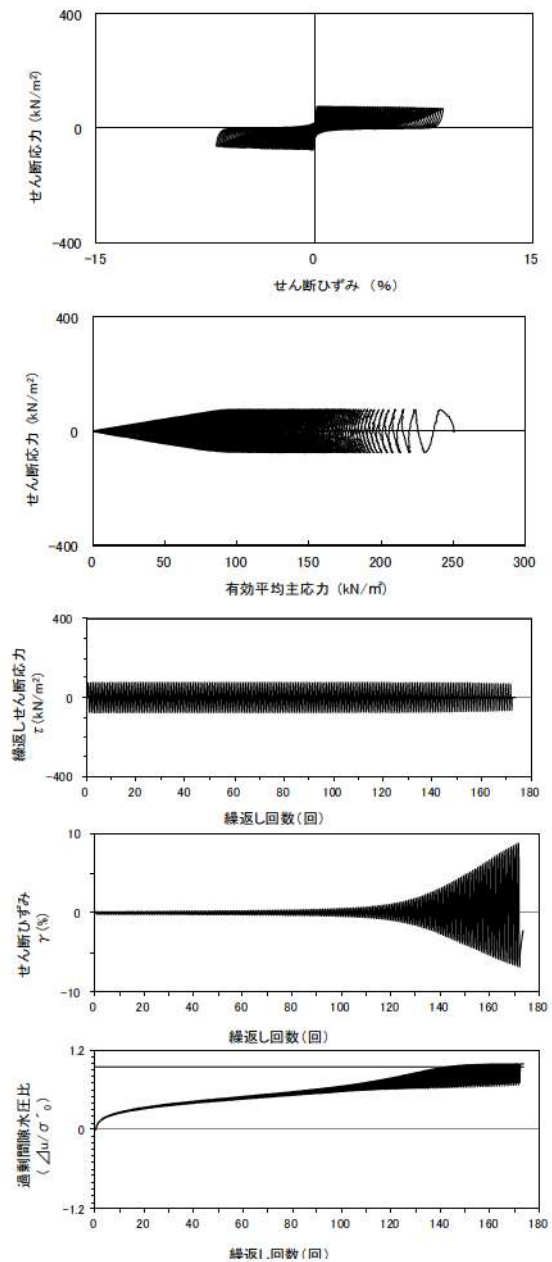
添付 1-206 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(3)中空試料(供試体 No. 1-12))

添付 1-207 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(3)中空試料(供試体 No. 3-11))



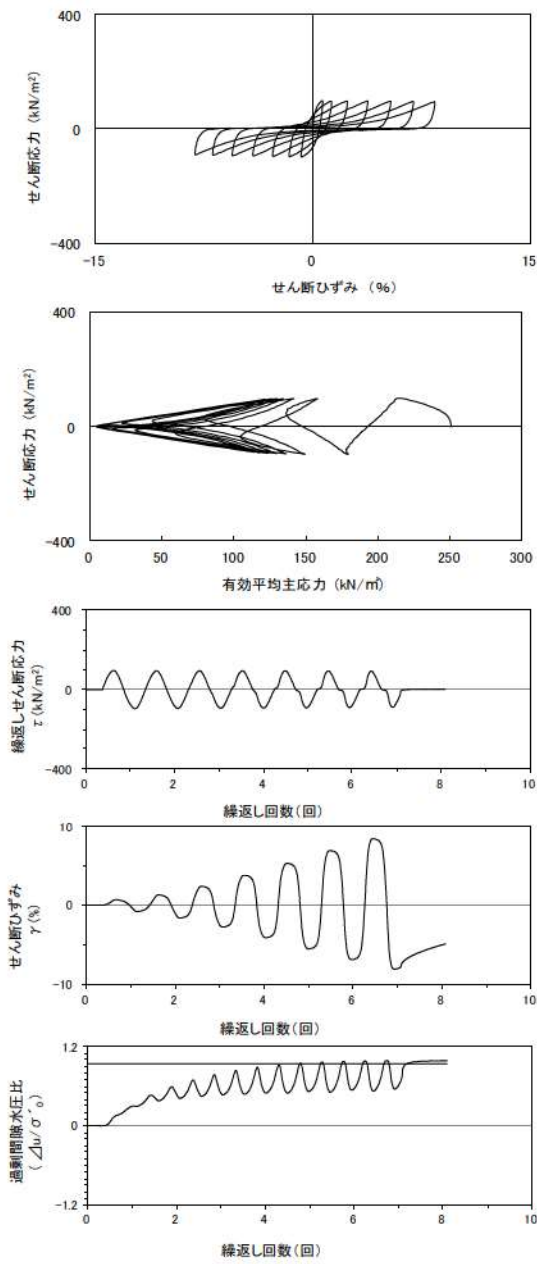
試験条件	
供試体	No.2-11
地表からの深度 (m)	18.96~19.20
有効上載圧 (kN/m ²)	188
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	190
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.316
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-208 図 液状化強度試験結果
(FS-1-②(3) 中空試料(供試体 No. 2-11))



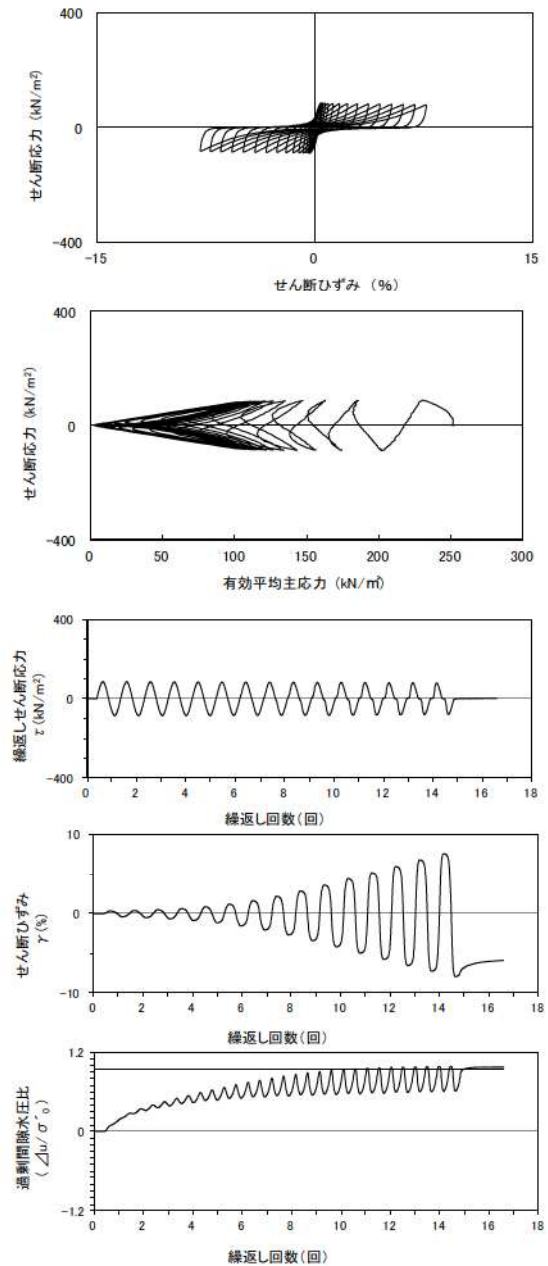
試験条件	
供試体	No.2-36
地表からの深度 (m)	26.06~26.36
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.301
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-209 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1) 中空試料(供試体 No. 2-36))



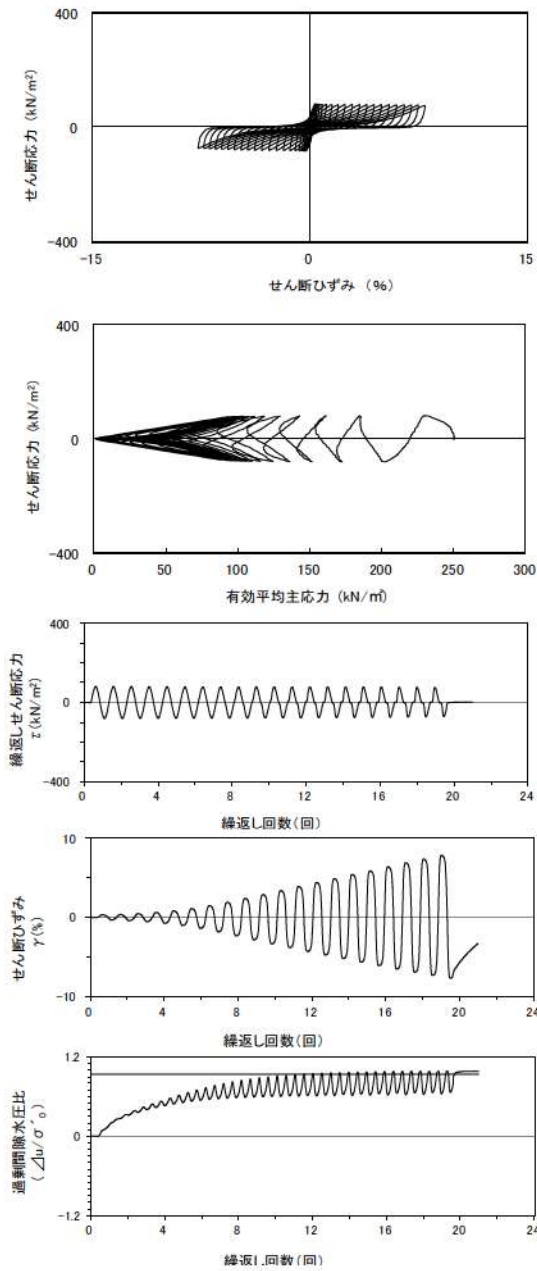
試験条件	
供試体	No.1-34
地表からの深度 (m)	26.06~26.36
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.390
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-210 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1)中空試料(供試体 No. 1-34))



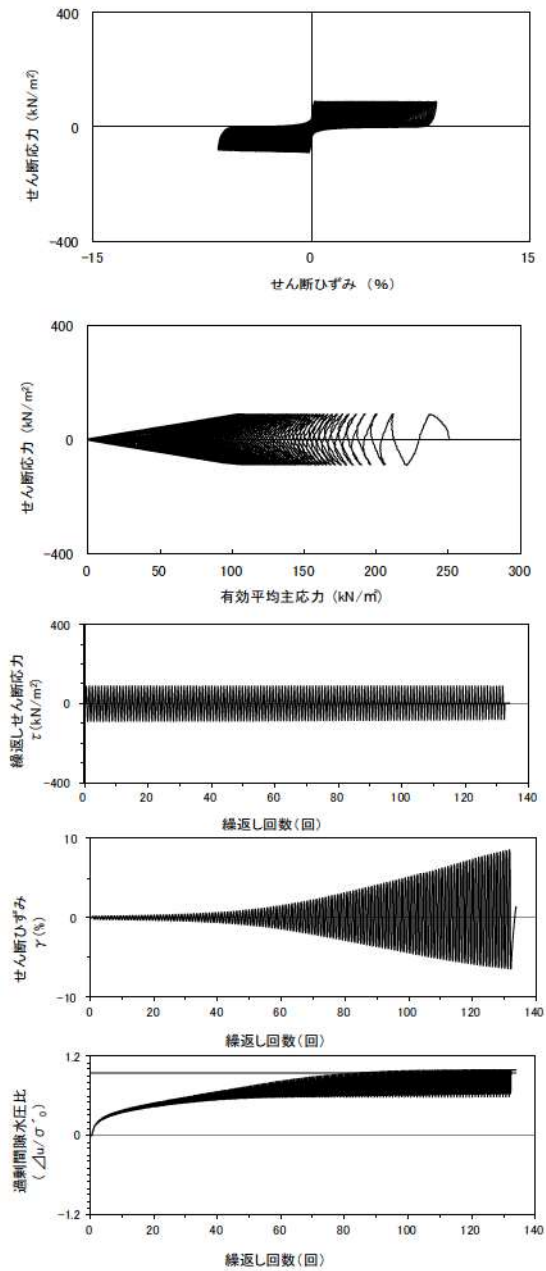
試験条件	
供試体	No.4-37
地表からの深度 (m)	26.06~26.36
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.346
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-211 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1)中空試料(供試体 No. 4-37))



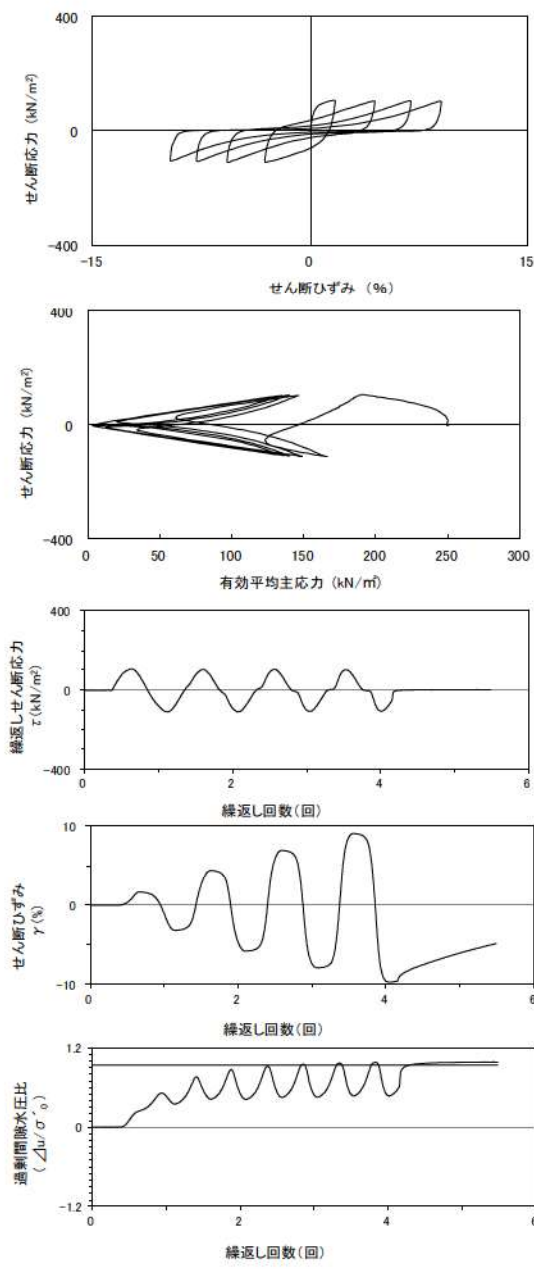
試験条件	
供試体	No.3-36
地表からの深度 (m)	26.06~26.36
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.323
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-212 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1) 中空試料(供試体 No. 3-36))



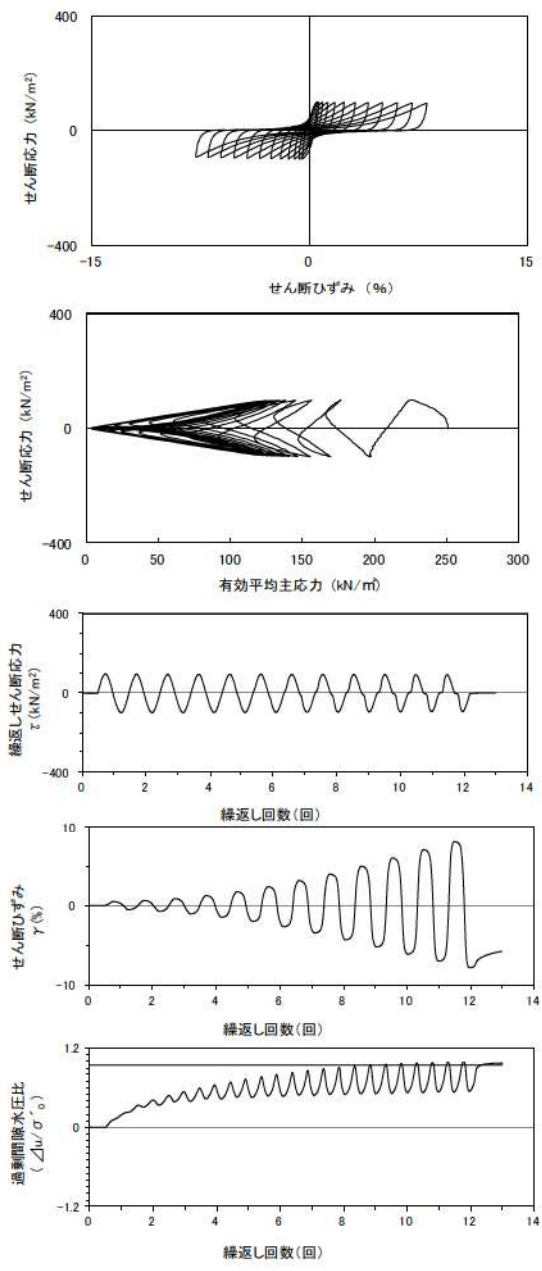
試験条件	
供試体	No.2-37
地表からの深度 (m)	26.21~26.51
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.354
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)	

添付 1-213 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(2) 中空試料(供試体 No. 2-37))



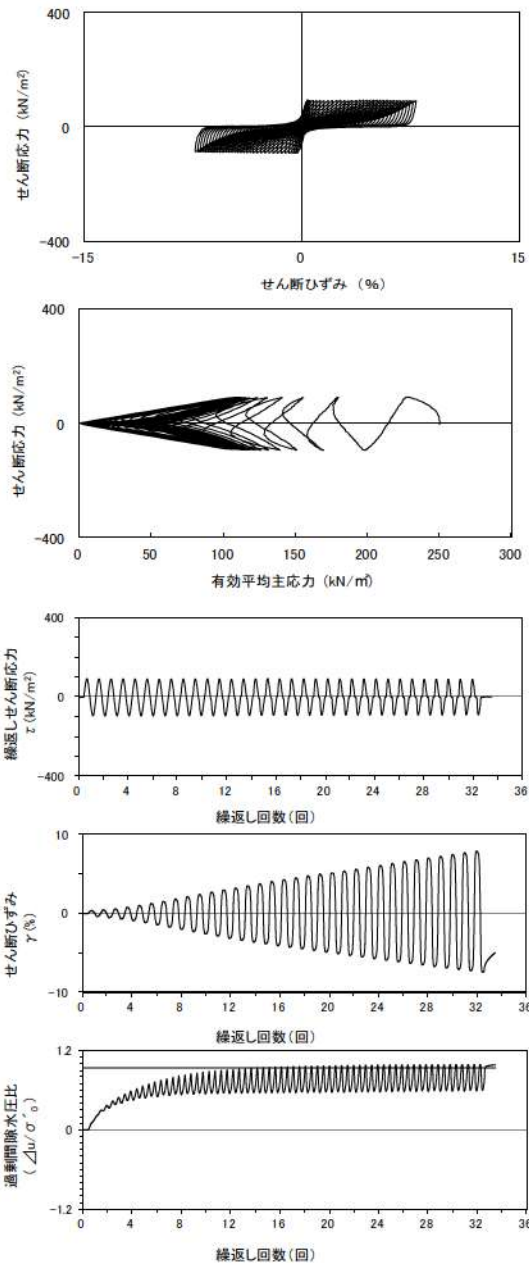
試験条件	
供試体	No.1-35
地表からの深度 (m)	26.21~26.51
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.428
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-214 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④) (2) 中空試料 (供試体 No. 1-35)



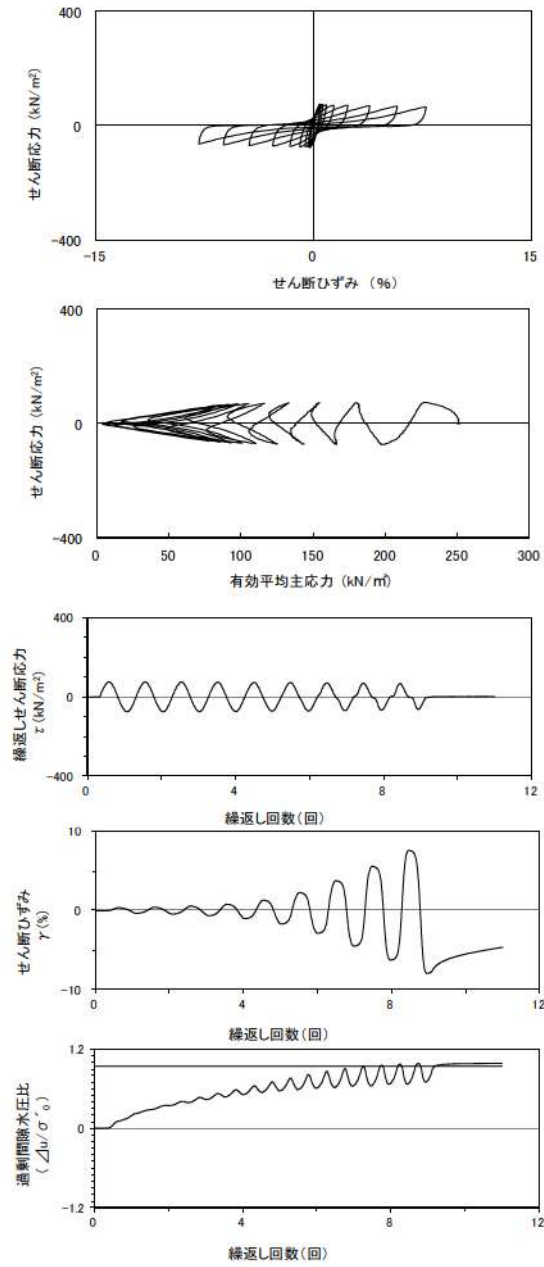
試験条件	
供試体	No.4-38
地表からの深度 (m)	26.21~26.51
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.392
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-215 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④) (2) 中空試料 (供試体 No. 4-38)



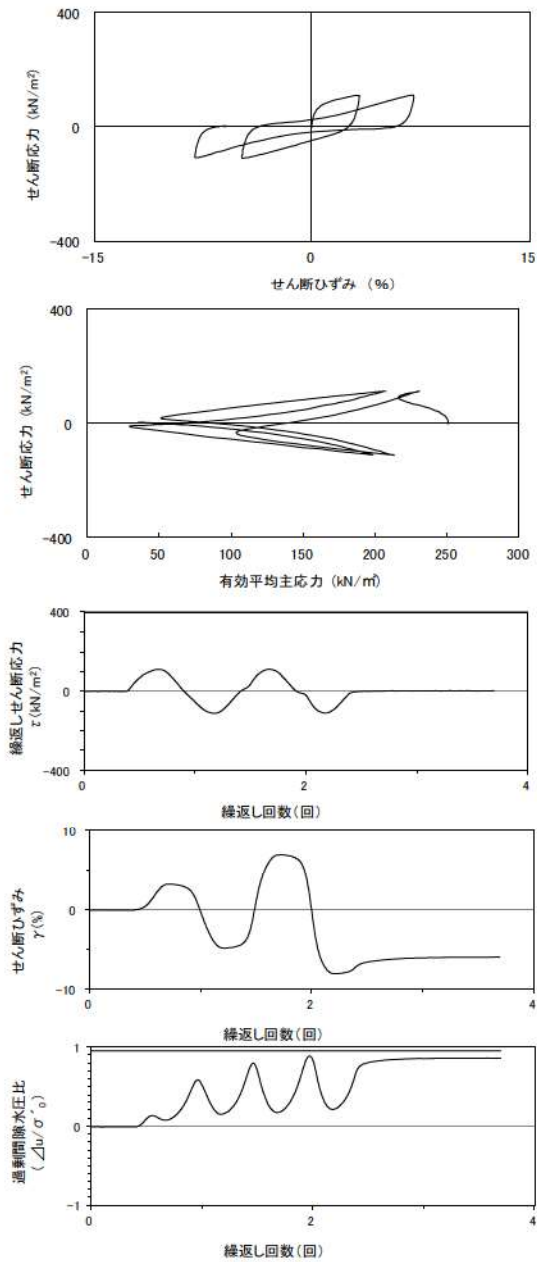
試験条件	
供試体	No.4-38
地表からの深度 (m)	26.21~26.51
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.392
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-216 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(2) 中空試料(供試体 No. 3-37))



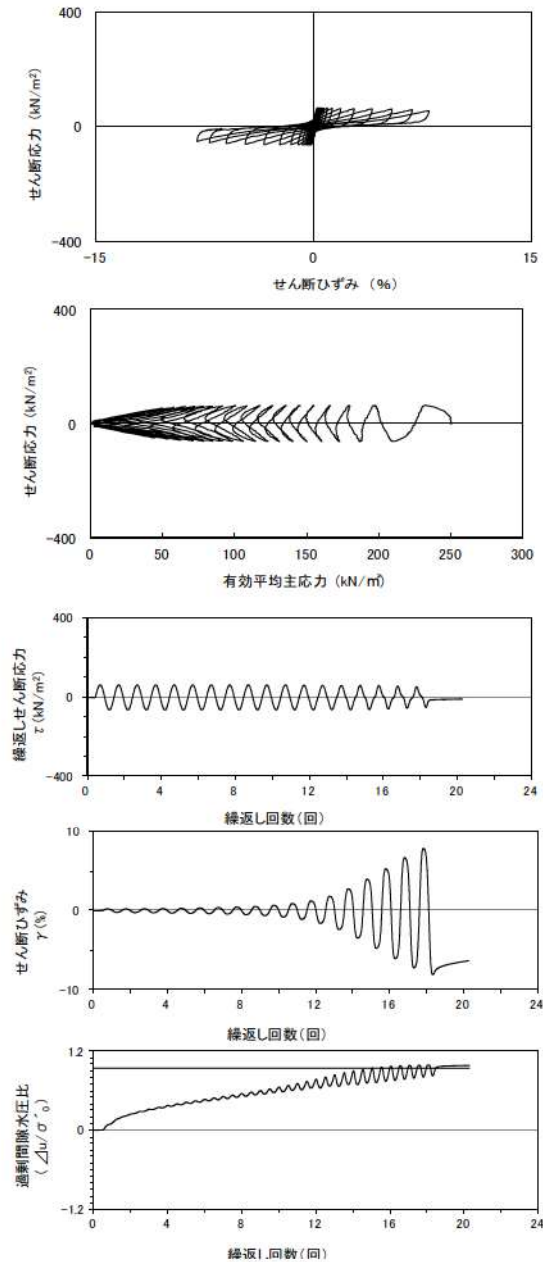
試験条件	
供試体	No.1-36
地表からの深度 (m)	26.44~26.68
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.296
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-217 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(3) 中空試料(供試体 No. 1-36))



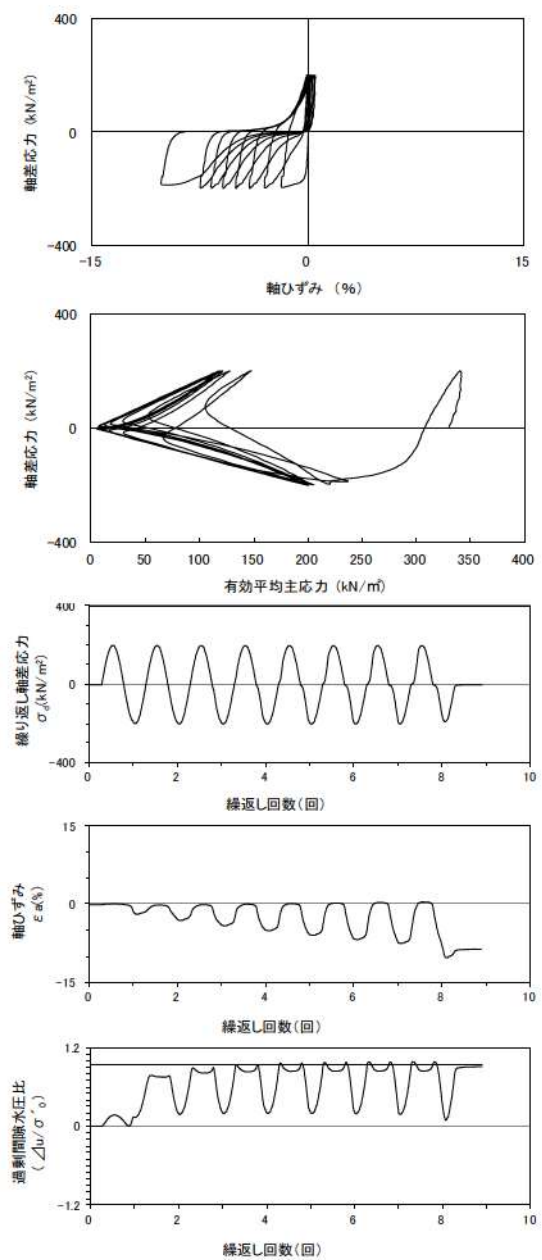
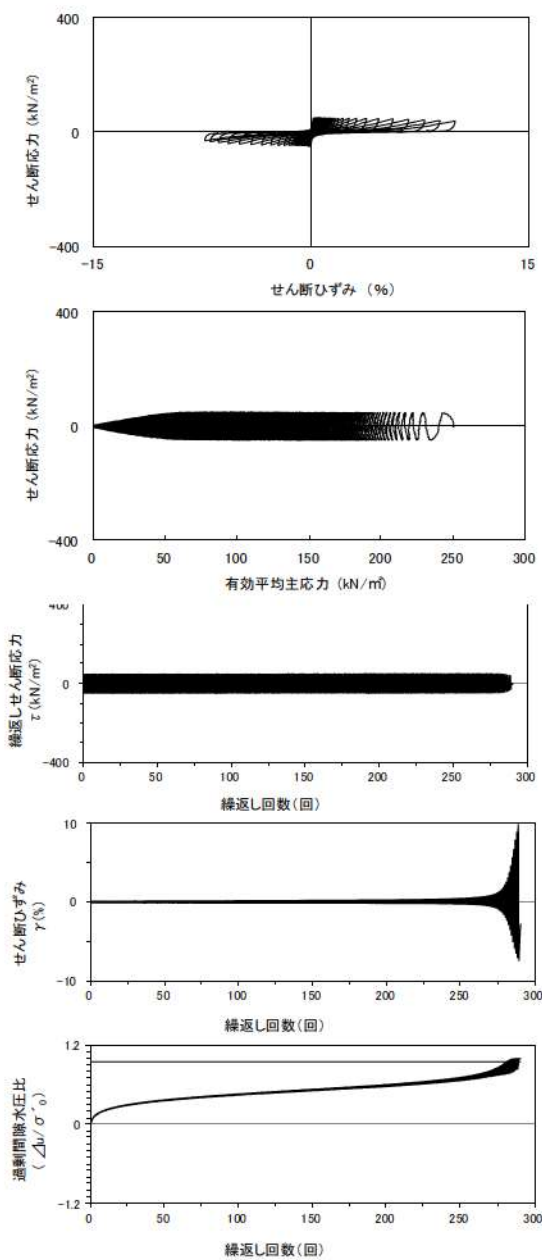
試験条件	
供試体	No.4-39
地表からの深度 (m)	26.44~26.68
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.445
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-218 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(3)中空試料(供試体 No. 4-39))



試験条件	
供試体	No.3-38
地表からの深度 (m)	26.44~26.68
有効上載圧 (kN/m ²)	255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.252
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-219 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(3)中空試料(供試体 No. 3-38))



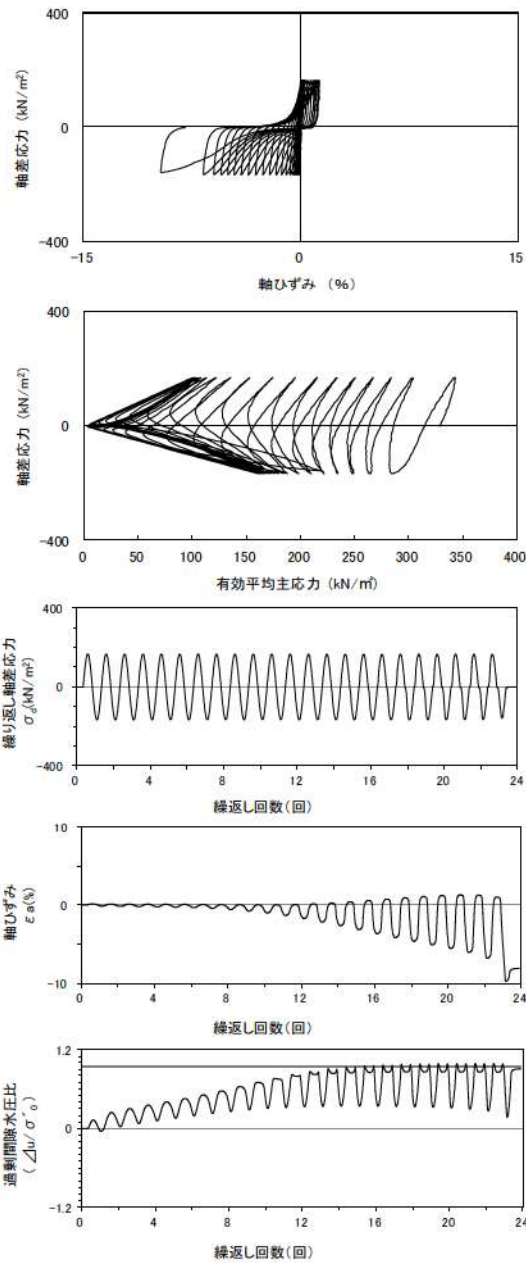
試験条件		
供試体	No.2-38	
地表からの深度 (m)	26.44~26.68	
有効上載圧 (kN/m ²)	255	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.191	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンシー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

※繰返し回数 200 回で判定

添付 1-220 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④)(3) 中空試料(供試体 No. 2-38))

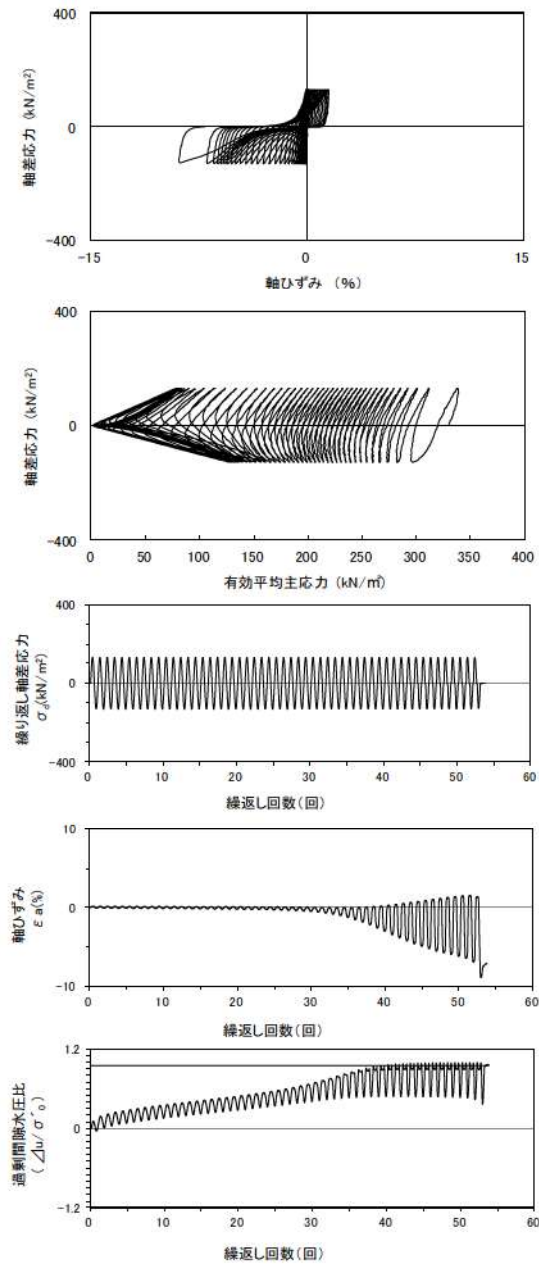
試験条件		
供試体	No.1-7	
地表からの深度 (m)	22.19~22.46	
有効上載圧 (kN/m ²)	326	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.301	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンシー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-221 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③)(1) 三軸試料(供試体 No. 1-7))



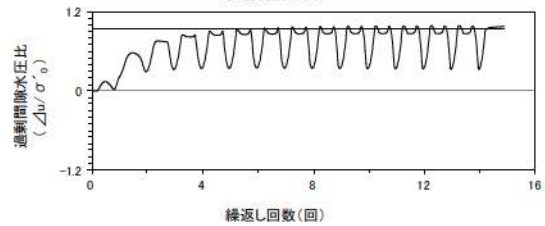
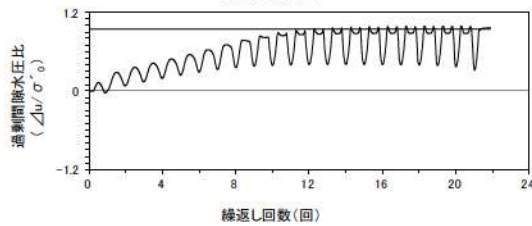
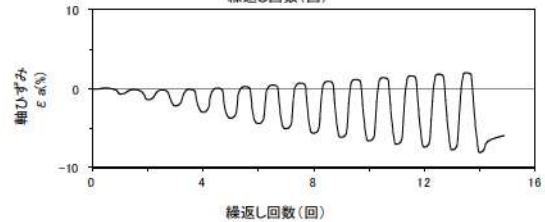
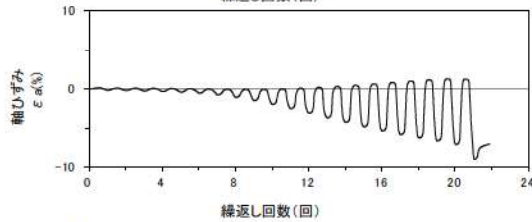
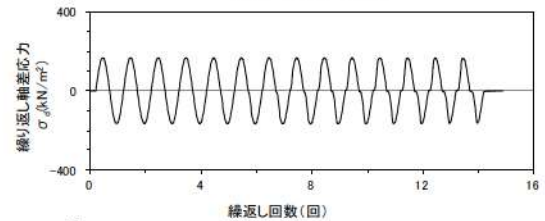
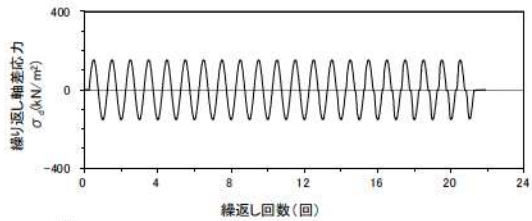
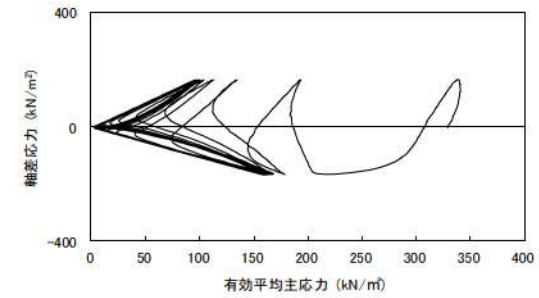
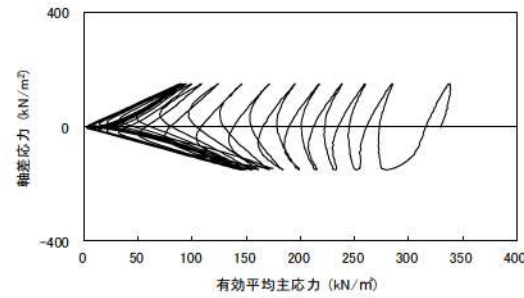
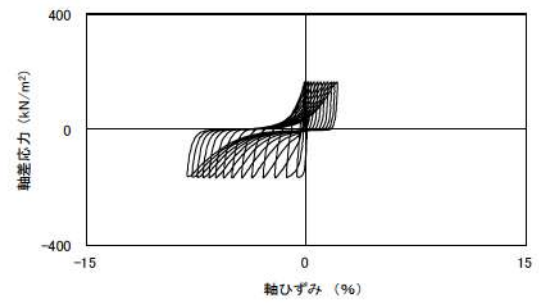
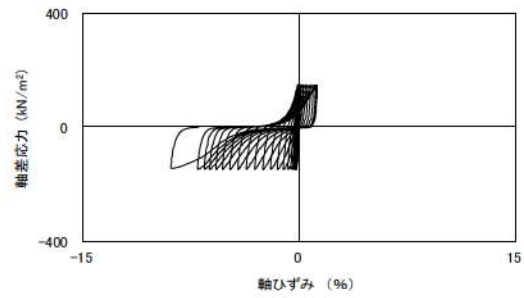
試験条件	
供試体	No.2-5
地表からの深度 (m)	22.19~22.46
有効上載圧 (kN/m ²)	326
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.252
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-222 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(1) 三軸試料(供試体 No. 2-5))



試験条件	
供試体	No.3-5
地表からの深度 (m)	22.19~22.46
有効上載圧 (kN/m ²)	326
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.197
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-223 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(1) 三軸試料(供試体 No. 3-5))

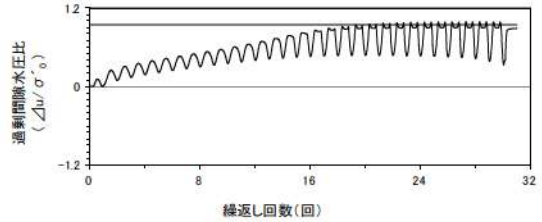
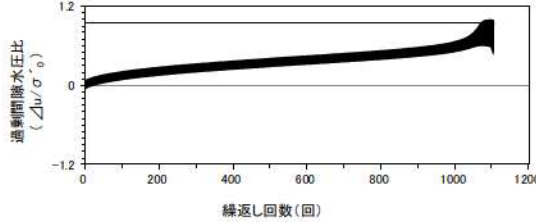
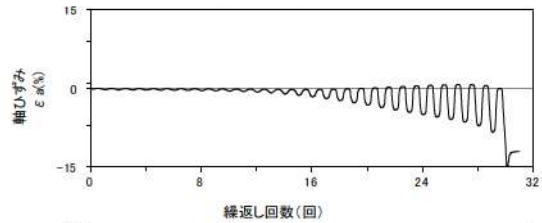
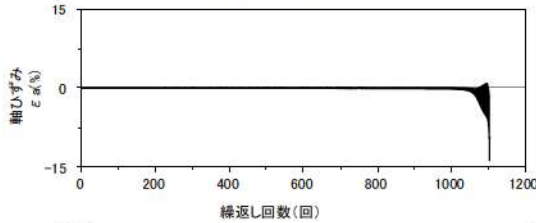
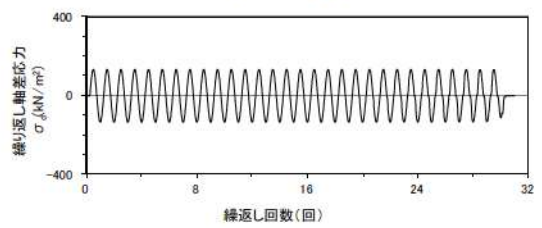
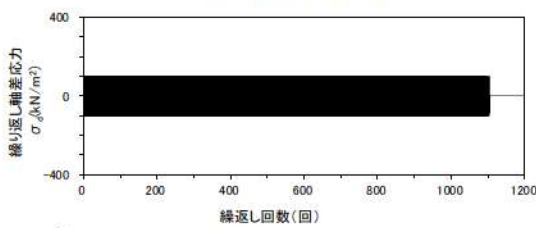
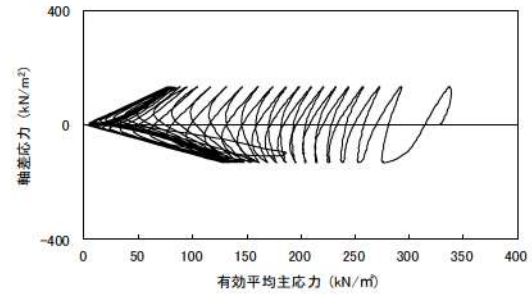
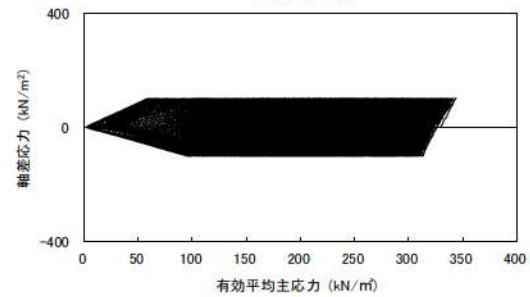
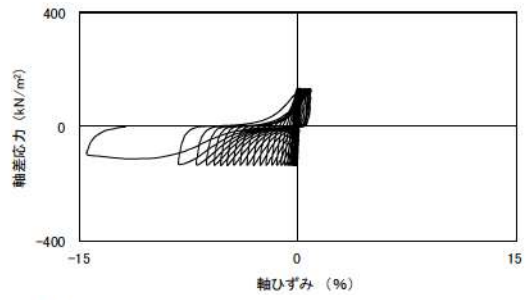
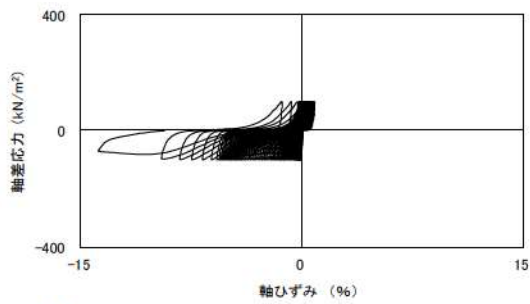


試験条件	
供試体	No.4-8
地表からの深度 (m)	22.19~22.46
有効上載圧 (kN/m ²)	326
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.227
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-224 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(1) 三軸試料(供試体 No. 4-8))

試験条件	
供試体	No.1-8
地表からの深度 (m)	22.39~22.70
有効上載圧 (kN/m ²)	326
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.251
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-225 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(2) 三軸試料(供試体 No. 1-8))



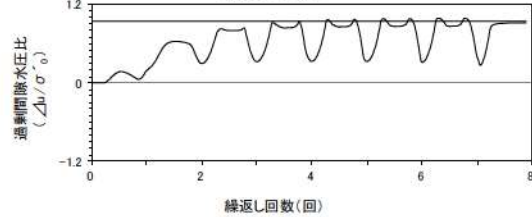
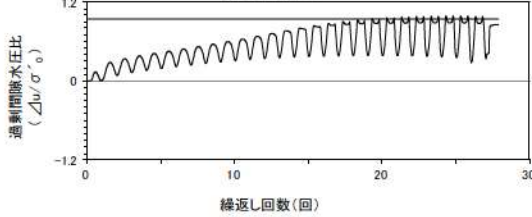
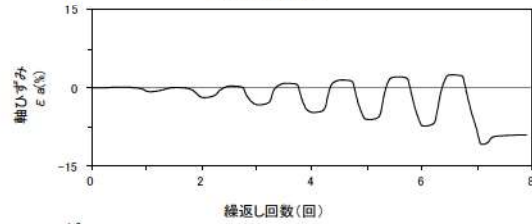
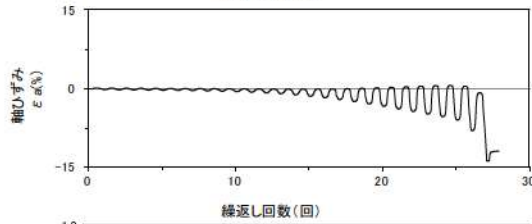
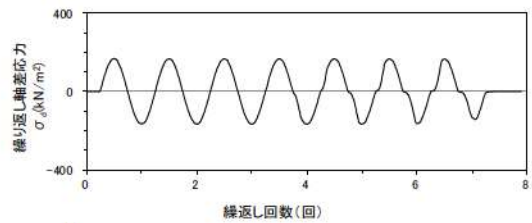
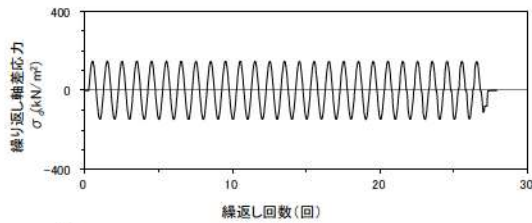
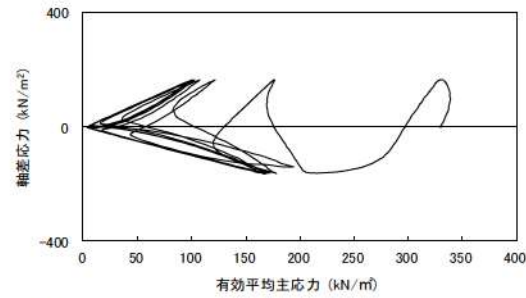
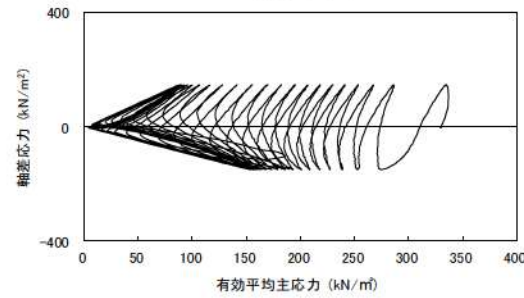
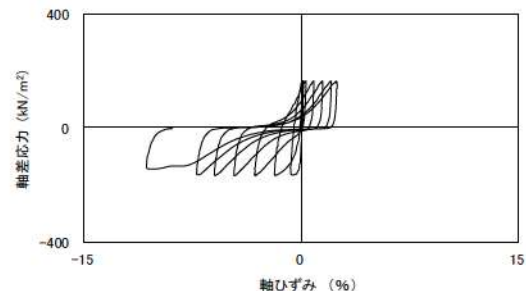
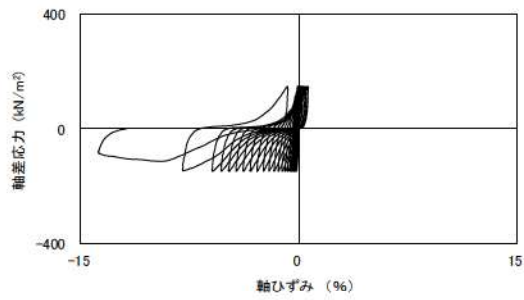
試験条件		
供試体	No.2-6	
地表からの深度 (m)	22.39~22.70	
有効上載圧 (kN/m ²)	326	
圧密応力 σ' _c (kN/m ²)	330	
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' ₀	0.153	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンシー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

※繰返し回数 200 回で判定

添付 1-226 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(2) 三軸試料(供試体 No. 2-6))

試験条件		
供試体	No.4-9	
地表からの深度 (m)	22.39~22.70	
有効上載圧 (kN/m ²)	326	
圧密応力 σ' _c (kN/m ²)	330	
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' ₀	0.202	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンシー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-227 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(2) 三軸試料(供試体 No. 4-9))

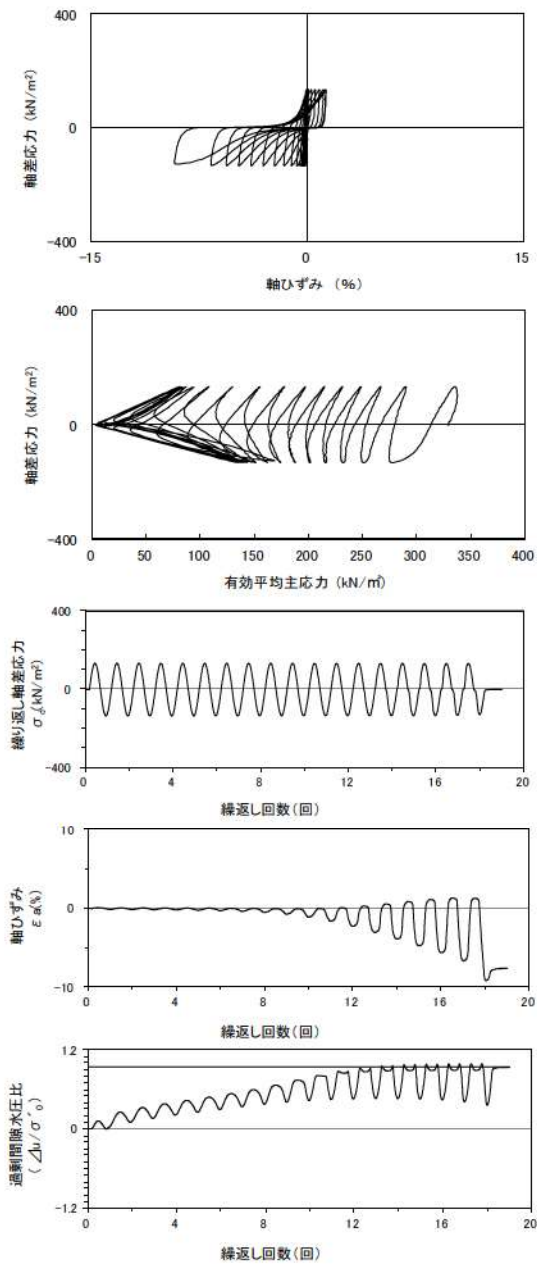


試験条件		液状化の判断	
供試体	No.3-6		
地表からの深度 (m)	22.39~22.70		
有効上載圧 (kN/m ²)	326		
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330		
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.223		
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化	
有効応力がゼロまで低下する。	×		
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×		
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○		

試験条件		液状化の判断	
供試体	No.1-9		
地表からの深度 (m)	22.59~22.90		
有効上載圧 (kN/m ²)	326		
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330		
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.250		
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化	
有効応力がゼロまで低下する。	×		
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×		
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○		

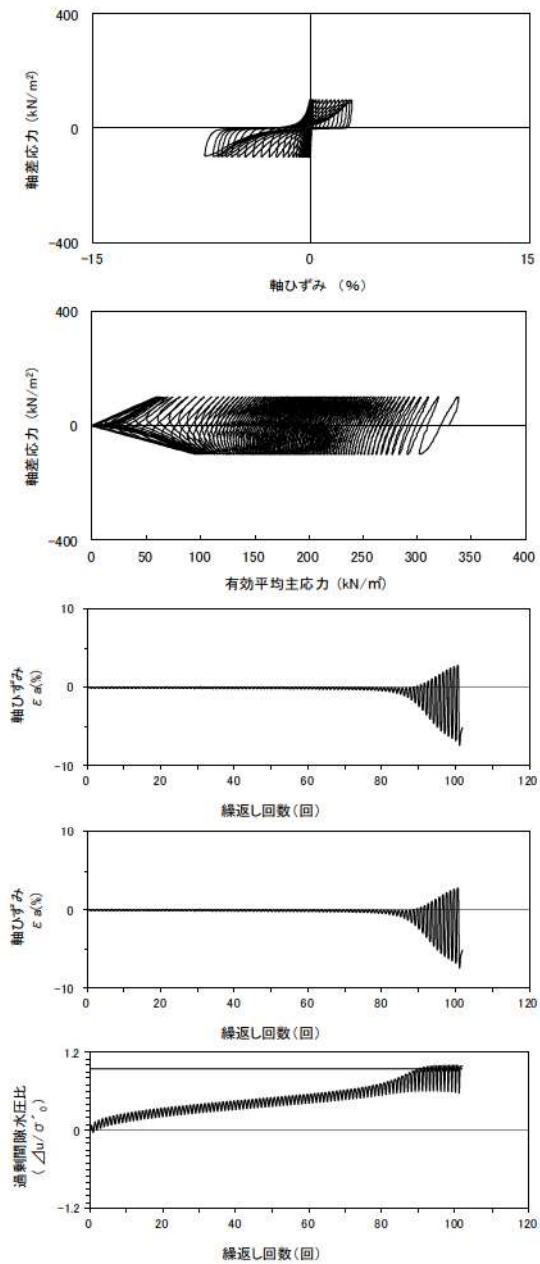
添付 1-228 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(2) 三軸試料(供試体 No. 3-6))

添付 1-229 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(3) 三軸試料(供試体 No. 1-9))



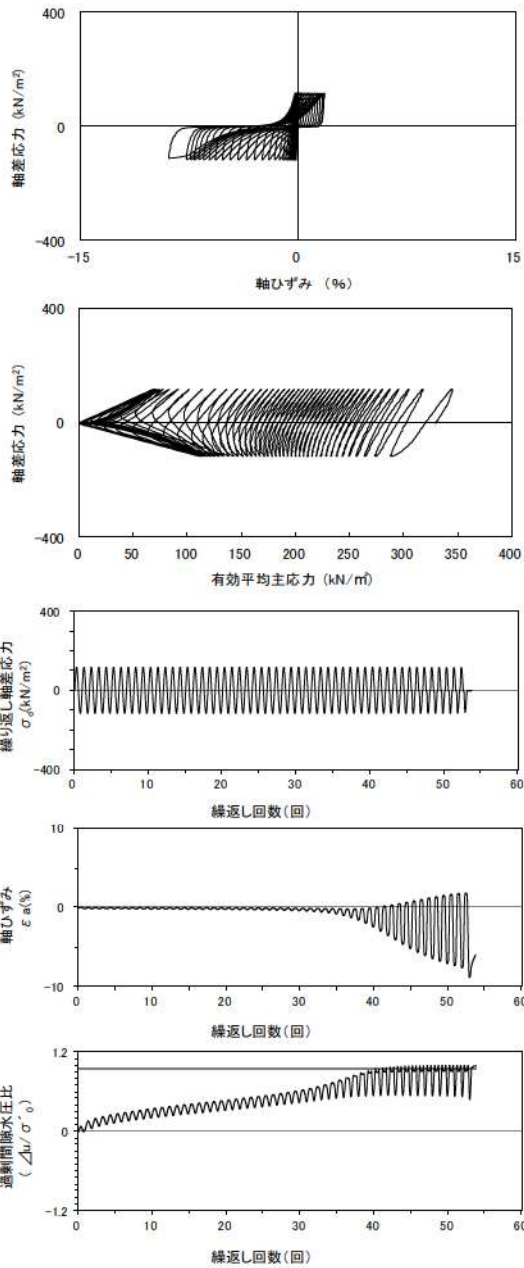
試験条件	
供試体	No.2-7
地表からの深度 (m)	22.59~22.90
有効上載圧 (kN/m ²)	326
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.202
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-230 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(3) 三軸試料(供試体 No. 2-7))



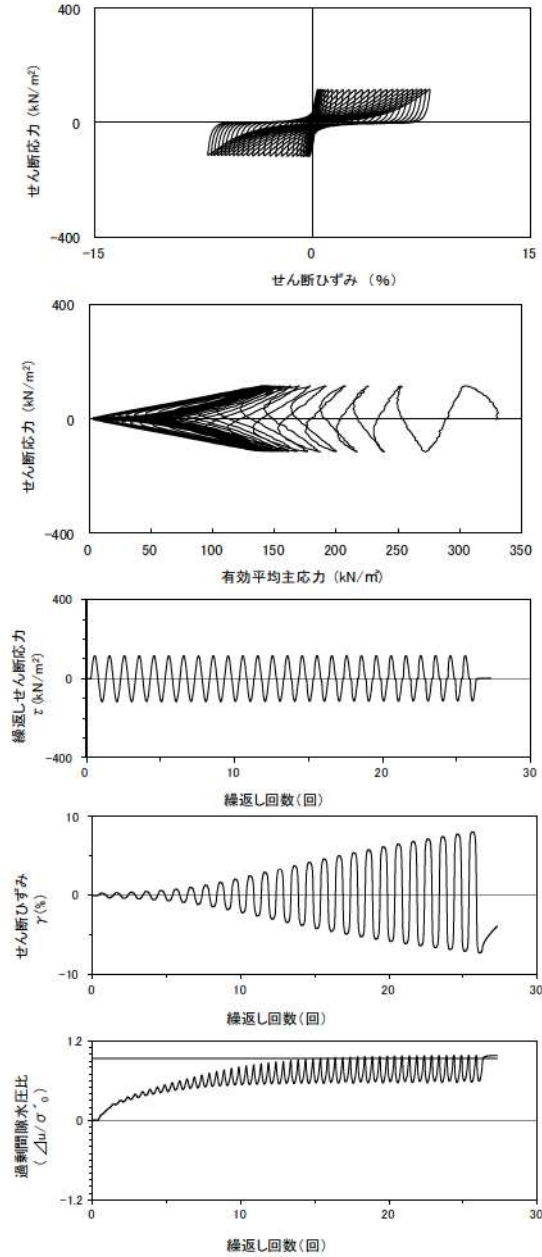
試験条件	
供試体	No.4-10
地表からの深度 (m)	22.59~22.90
有効上載圧 (kN/m ²)	326
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.152
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)	

添付 1-231 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(3) 三軸試料(供試体 No. 4-10))



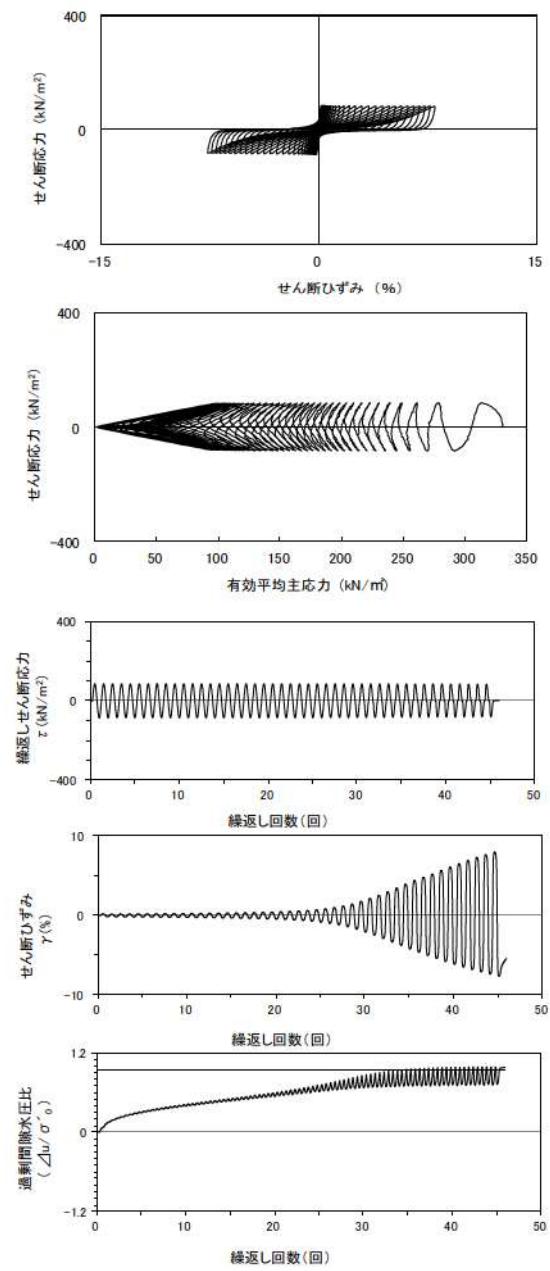
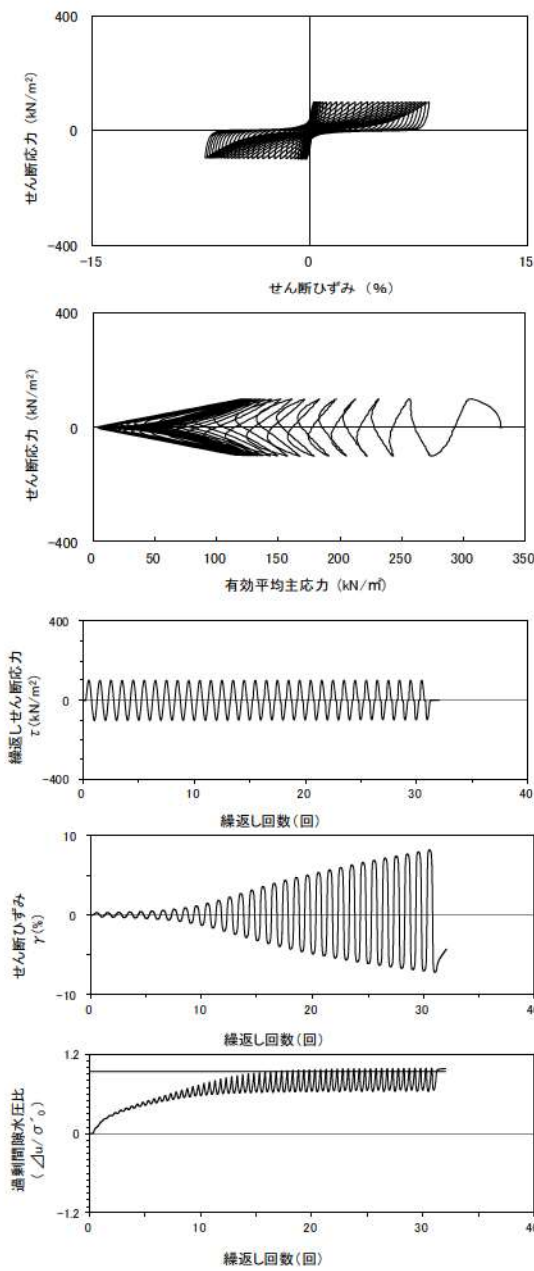
試験条件	
供試体	No.3-7
地表からの深度 (m)	22.59~22.90
有効上載圧 (kN/m ²)	326
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.177
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリックモビリティ)	

添付 1-232 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(3) 三軸試料(供試体 No. 3-7))



試験条件	
供試体	No.1-16
地表からの深度 (m)	24.42~24.95
有効上載圧 (kN/m ²)	345
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.351
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-233 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(1) 中空試料(供試体 No. 1-16))

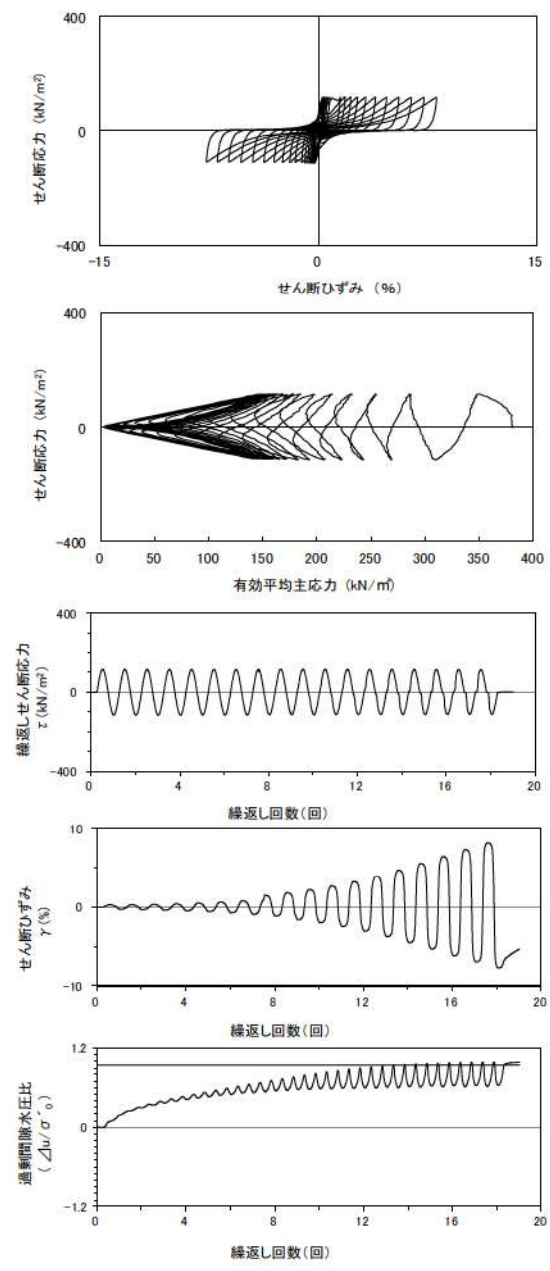
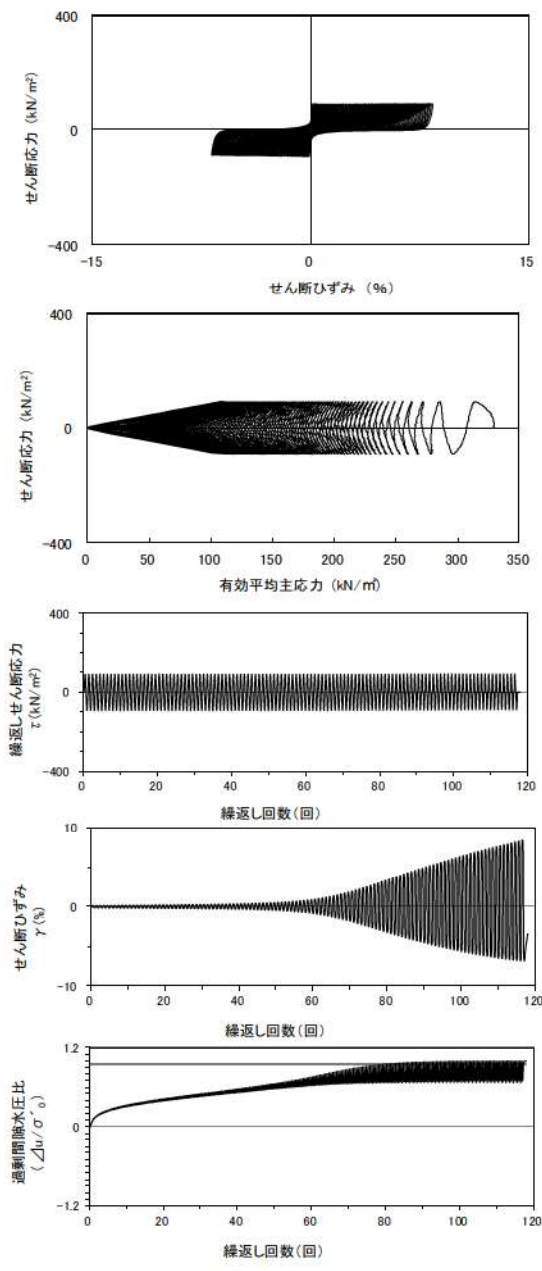


試験条件	
供試体	No.1-15
地表からの深度 (m)	24.42~24.95
有効上載圧 (kN/m ²)	345
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.301
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

試験条件	
供試体	No.4-16
地表からの深度 (m)	24.42~24.95
有効上載圧 (kN/m ²)	345
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.254
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-234 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(1) 中空試料(供試体 No. 1-15))

添付 1-235 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(1) 中空試料(供試体 No. 4-16))

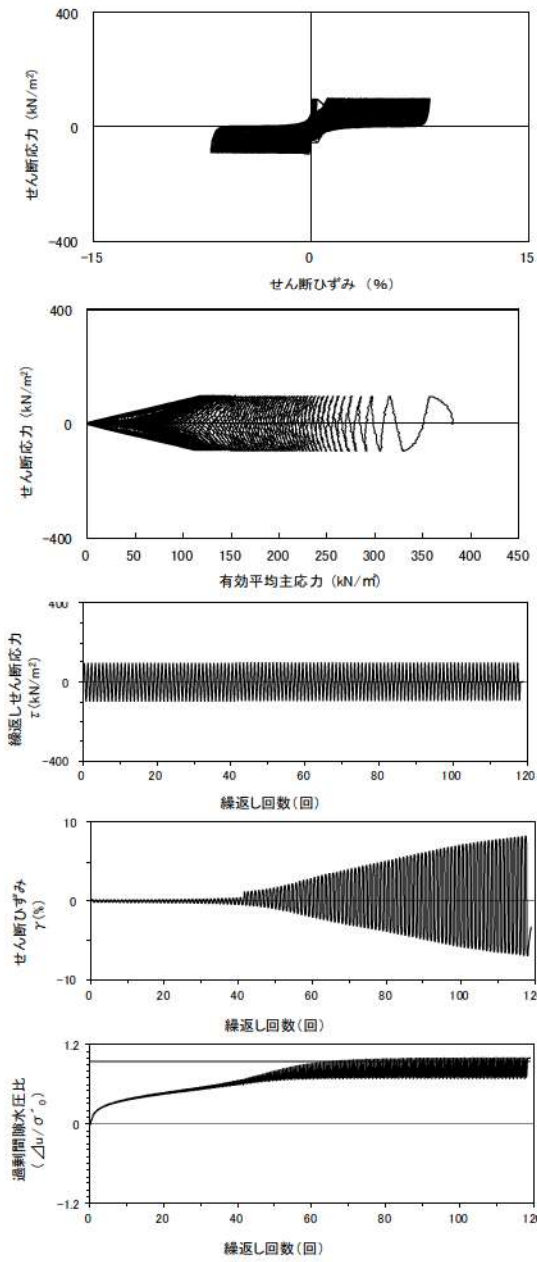


試験条件	
供試体	No.3-13
地表からの深度 (m)	24.42~24.95
有効上載圧 (kN/m ²)	345
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.277
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリックモビリティ)	

試験条件	
供試体	No.4-32
地表からの深度 (m)	27.98~28.23
有効上載圧 (kN/m ²)	379
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.300
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

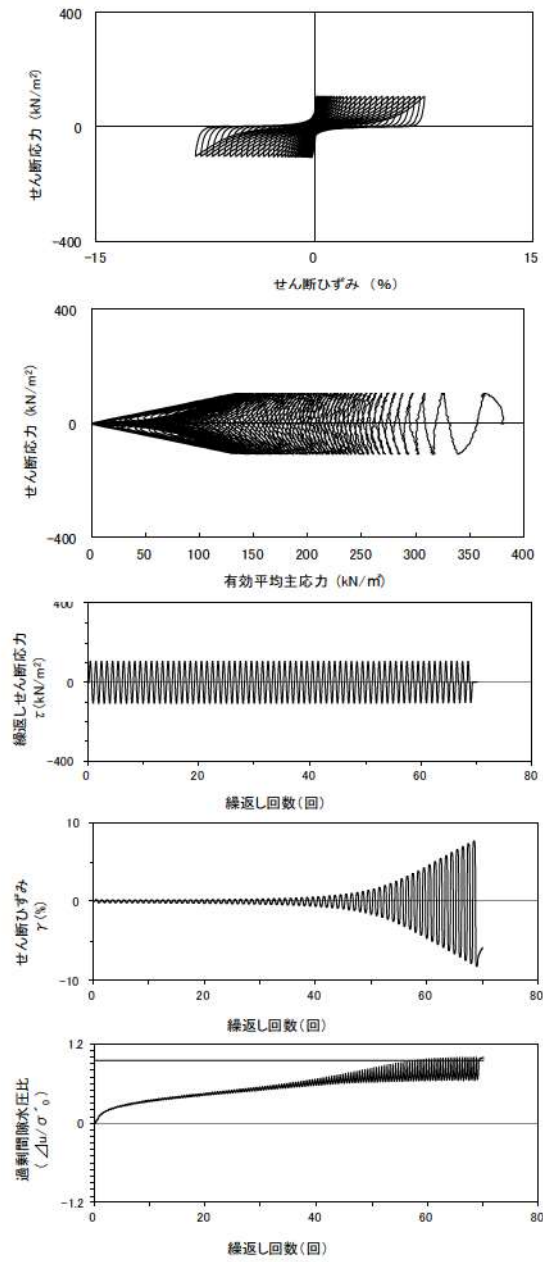
添付 1-236 図 液状化強度試験結果
(FS-2-③(1) 中空試料(供試体 No. 3-13))

添付 1-237 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤(1) 中空試料(供試体 No. 4-32))



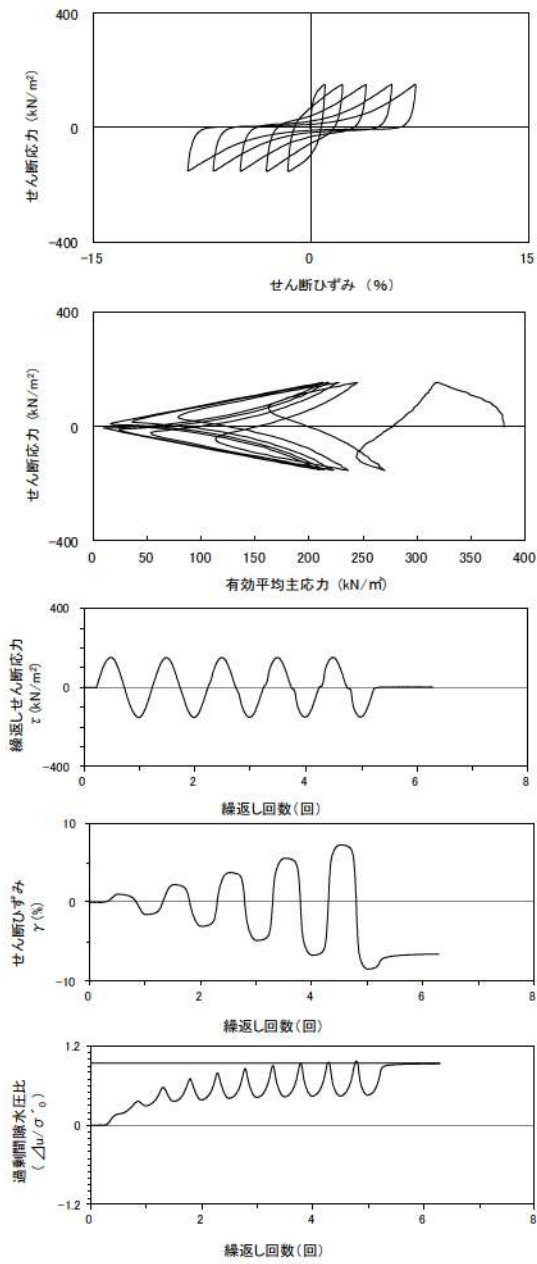
試験条件	
供試体	No.3-30
地表からの深度 (m)	27.98~28.23
有効上載圧 (kN/m ²)	379
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.251
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリックモビリティ)	

添付 1-238 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤(1) 中空試料(供試体 No. 3-30))



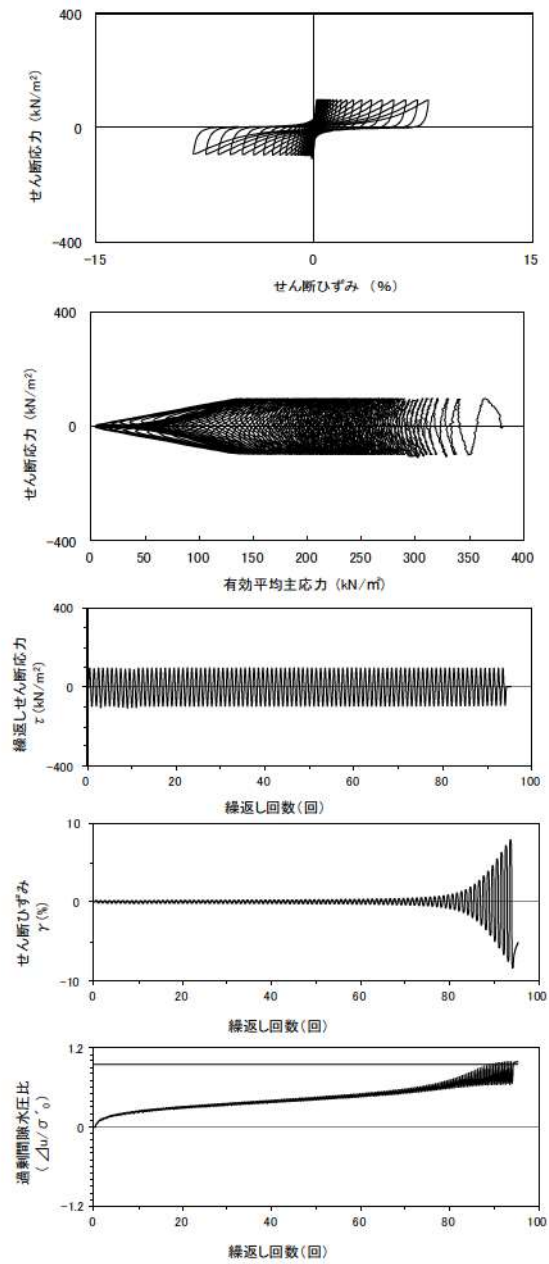
試験条件	
供試体	No.2-31
地表からの深度 (m)	27.98~28.23
有効上載圧 (kN/m ²)	379
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.278
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-239 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤(1) 中空試料(供試体 No. 2-31))



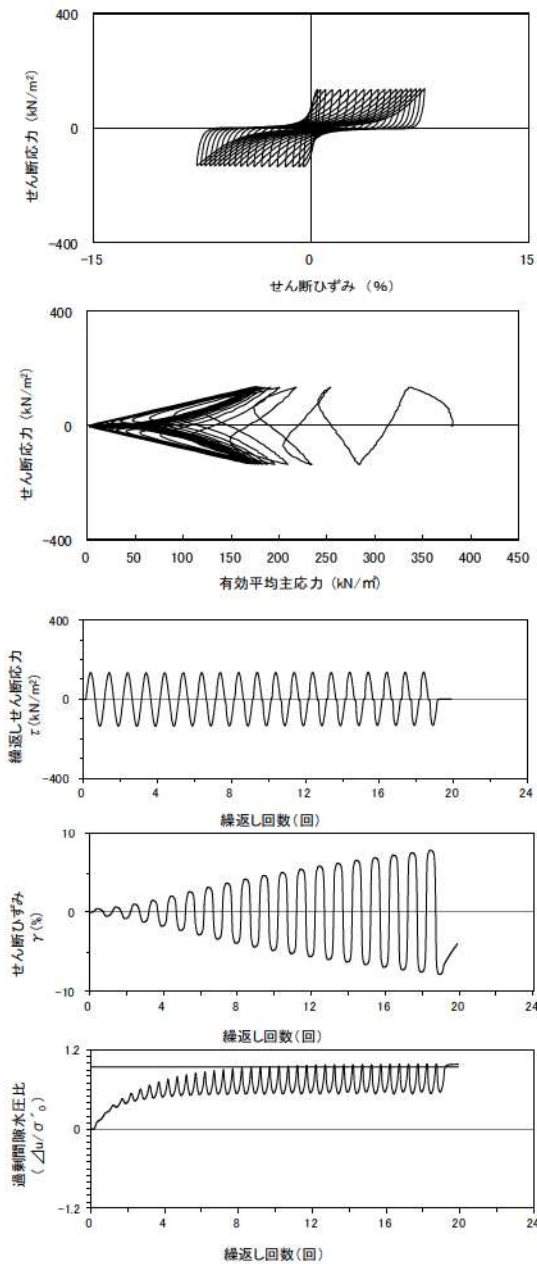
試験条件	
供試体	No.2-31
地表からの深度 (m)	27.98~28.23
有効上載圧 (kN/m ²)	379
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.278
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-240 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤(1) 中空試料(供試体 No. 1-32))



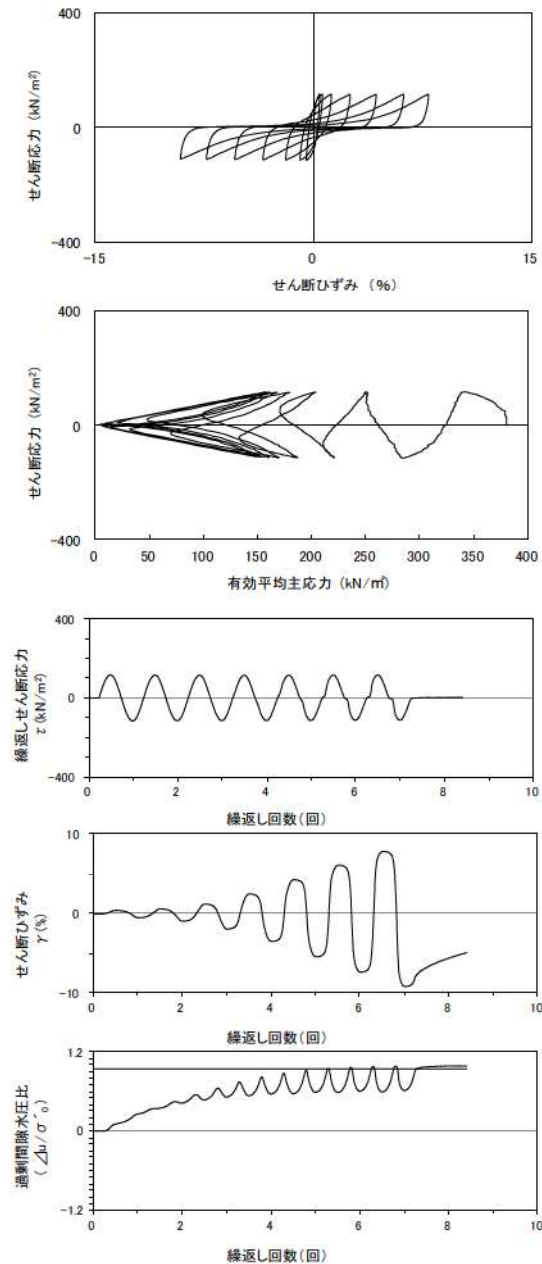
試験条件	
供試体	No.4-33
地表からの深度 (m)	28.13~28.48
有効上載圧 (kN/m ²)	379
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.257
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-241 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤(2) 中空試料(供試体 No. 4-33))



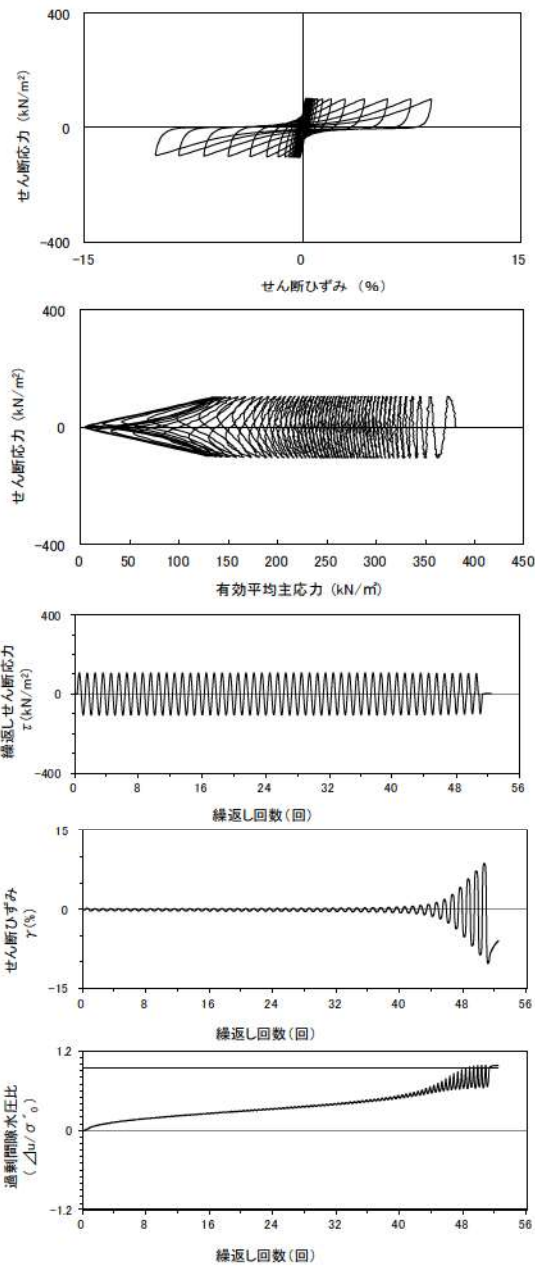
試験条件		
供試体	No.3-31	
地表からの深度 (m)	28.13~28.48	
有効上載圧 (kN/m ²)	379	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.354	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-242 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤)(2) 中空試料(供試体 No. 3-31)



試験条件		
供試体	No.1-33	
地表からの深度 (m)	28.13~28.48	
有効上載圧 (kN/m ²)	379	
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380	
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.303	
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-243 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤)(2) 中空試料(供試体 No. 1-33)

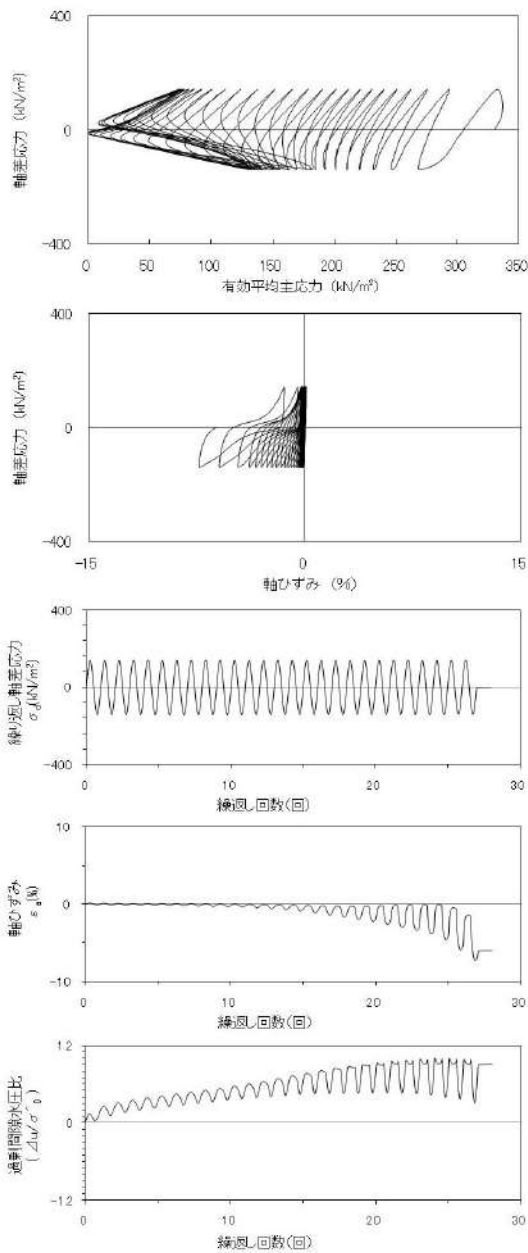


試験条件	
供試体	No.2-33
地表からの深度 (m)	28.13~28.48
有効上載圧 (kN/m ²)	379
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	380
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.274
試験結果	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	
液状化の判断	

添付 1-244 図 液状化強度試験結果
(FS-2-⑤(2)中空試料(供試体 No. 2-33))

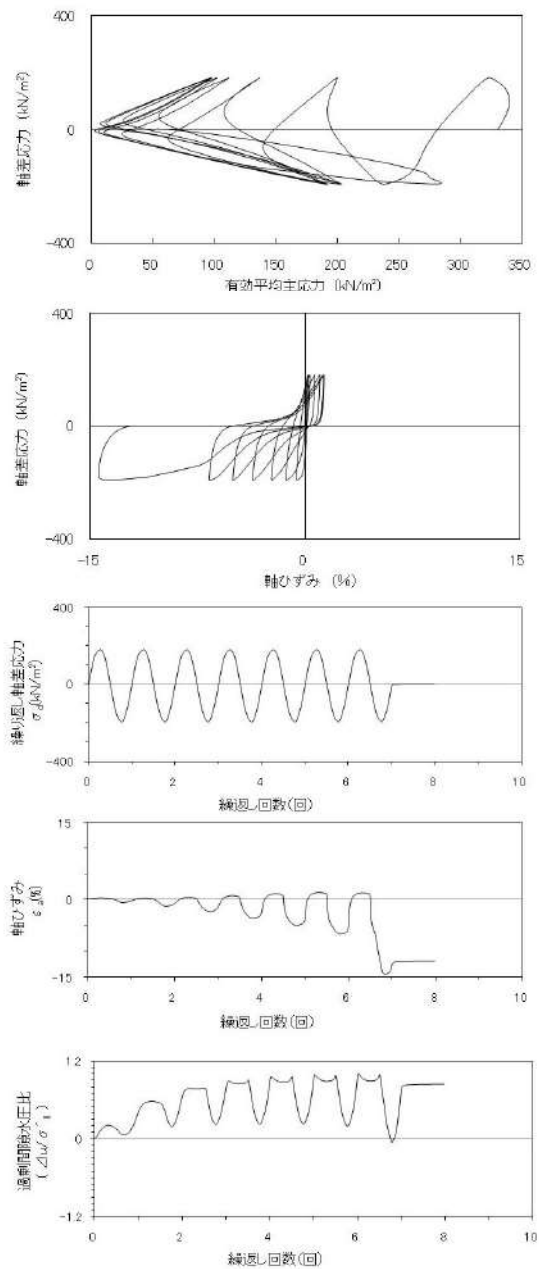
2. 液状化強度試験結果

(4) As2層の試験データ



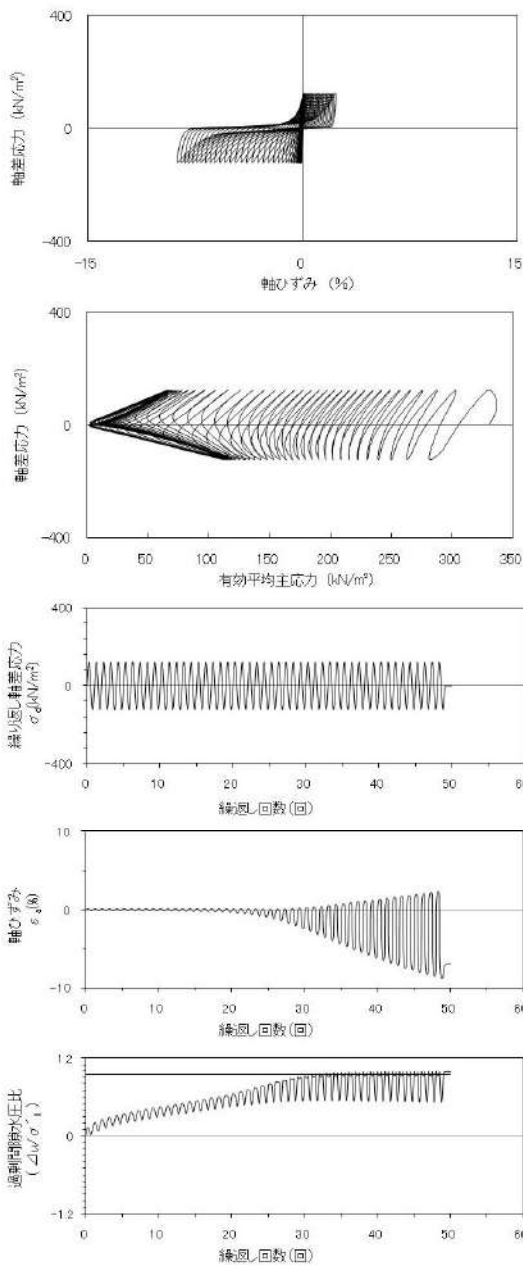
試験条件	
供試体	No.2
地表からの深度 (m)	23.40~24.40
有効上載圧 (kN/m ²)	334
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.214
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	○
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化 (サイクリック モビリティ)	

添付 1-245 図 液状化強度試験結果
(SW-6-2 試料(供試体 No. 2))



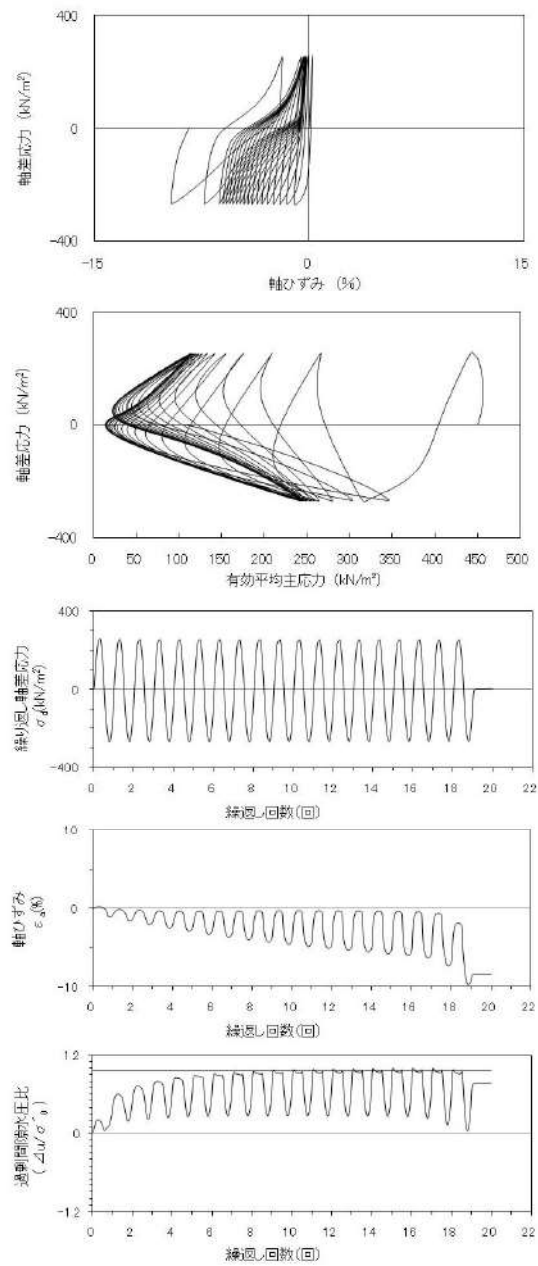
試験条件	
供試体	No.3
地表からの深度 (m)	23.40~24.40
有効上載圧 (kN/m ²)	334
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.285
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-246 図 液状化強度試験結果
(SW-6-2 試料(供試体 No. 3))



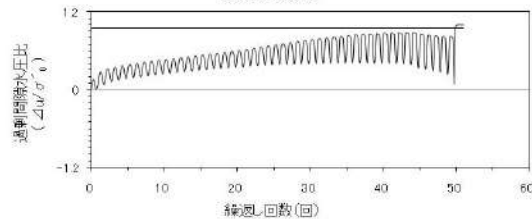
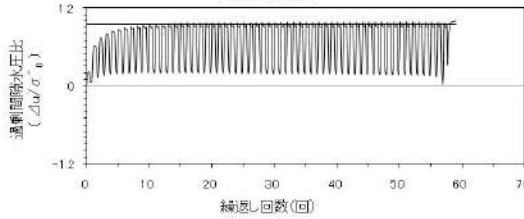
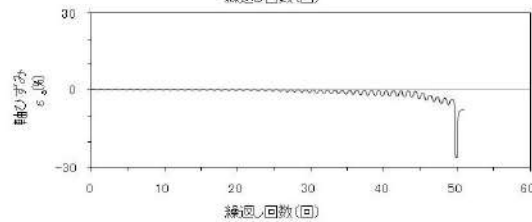
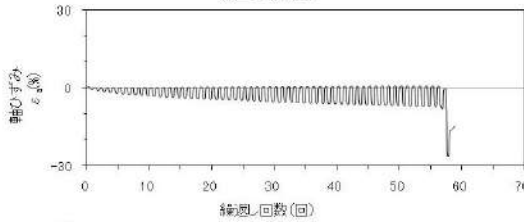
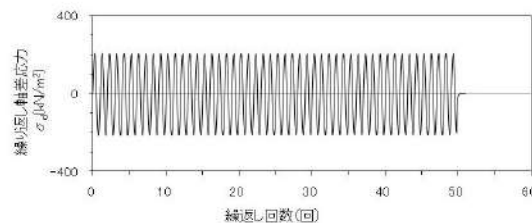
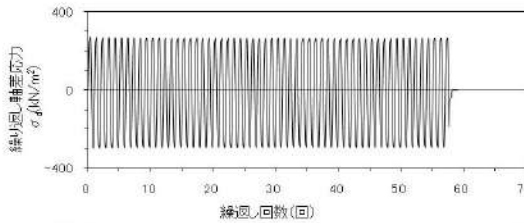
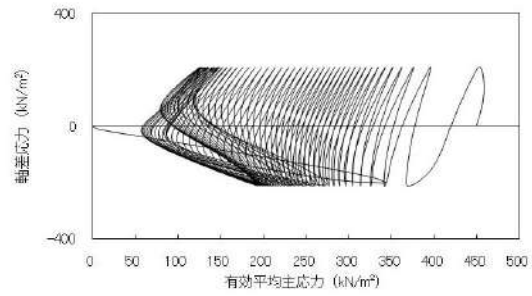
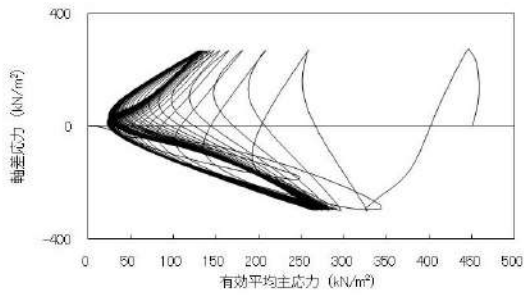
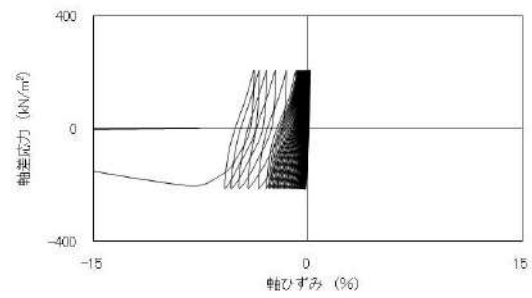
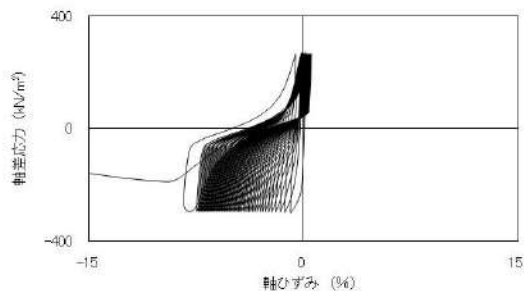
試験条件	
供試体	No.4
地表からの深度 (m)	23.40~24.40
有効上載圧 (kN/m ²)	334
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	330
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.186
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-247 図 液状化強度試験結果
(SW-6-2 試料(供試体 No. 4))



試験条件	
供試体	No.1
地表からの深度 (m)	36.00~37.00
有効上載圧 (kN/m ²)	448
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	450
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.294
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-248 図 液状化強度試験結果
(SW2-1(T5) 試料(供試体 No. 1))

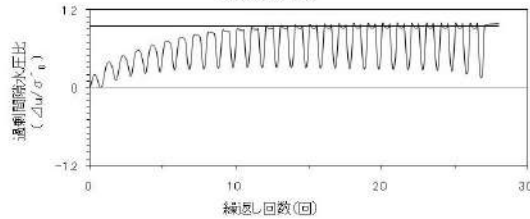
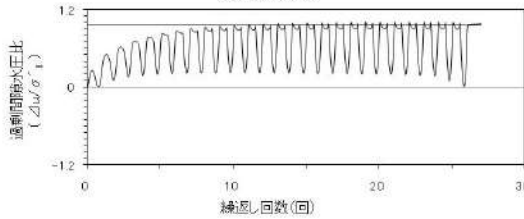
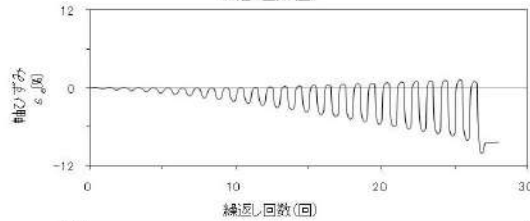
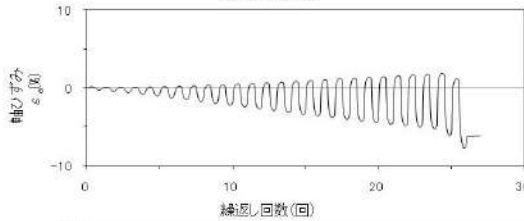
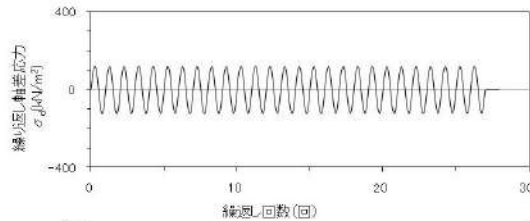
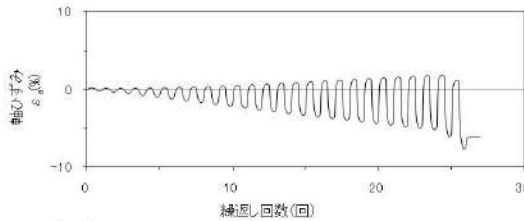
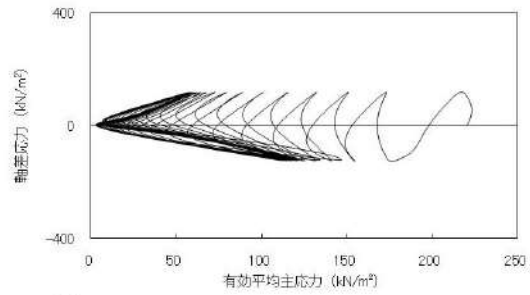
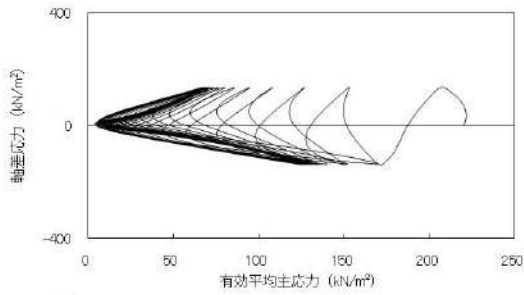
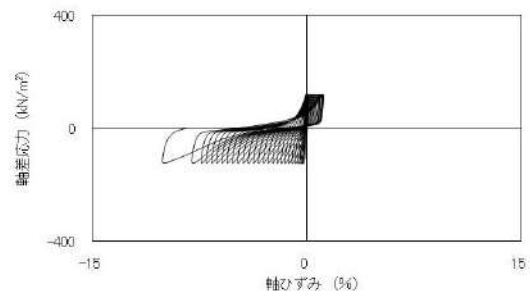
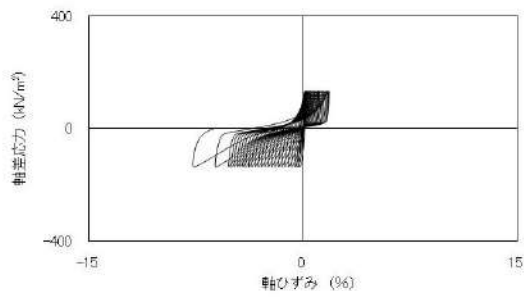


試験条件		
供試体		No.2
地表からの深度 (m)		36.00~37.00
有効上載圧 (kN/m ²)		448
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		450
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.318
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-249 図 液状化強度試験結果
(SW2-1(T5) 試料(供試体 No. 2))

試験条件		
供試体		No.3
地表からの深度 (m)		36.00~37.00
有効上載圧 (kN/m ²)		448
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		450
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.234
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-250 図 液状化強度試験結果
(SW2-1(T5) 試料(供試体 No. 3))

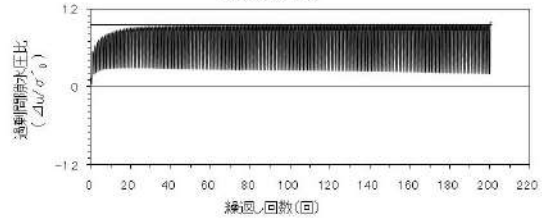
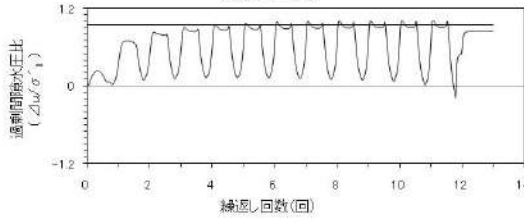
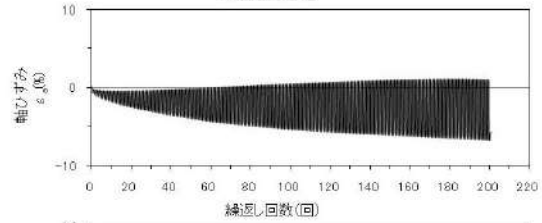
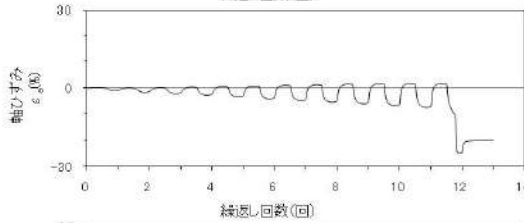
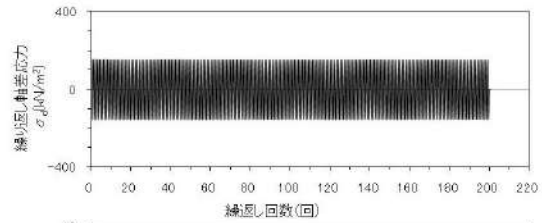
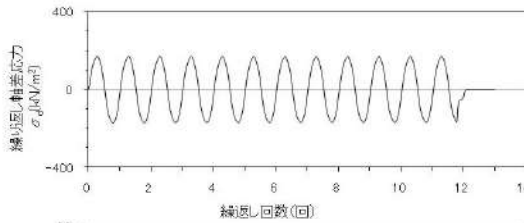
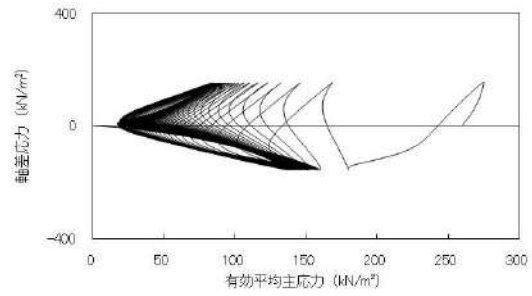
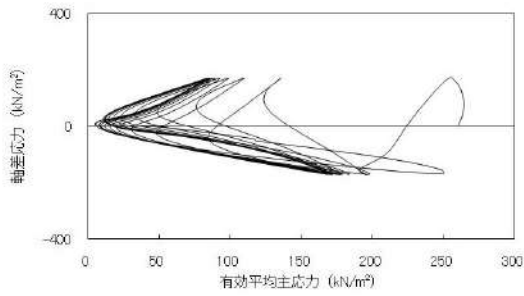
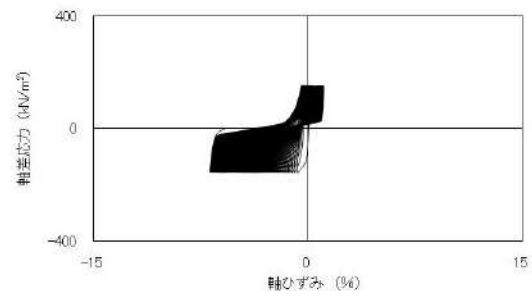
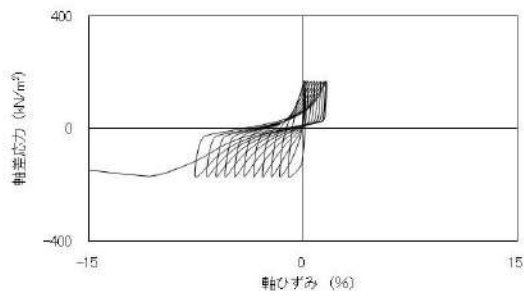


試験条件		
供試体		No.20
地表からの深度 (m)		18.15~18.35
有効上載圧 (kN/m ²)		223
圧密応力 σ' _c (kN/m ²)		220
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' ₀		0.309
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

試験条件		
供試体		No.21
地表からの深度 (m)		18.15~18.35
有効上載圧 (kN/m ²)		223
圧密応力 σ' _c (kN/m ²)		220
繰返し応力振幅比 σ _d /2σ' ₀		0.277
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

添付 1-251 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(1) 試料(供試体 No. 20))

添付 1-252 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(1) 試料(供試体 No. 21))

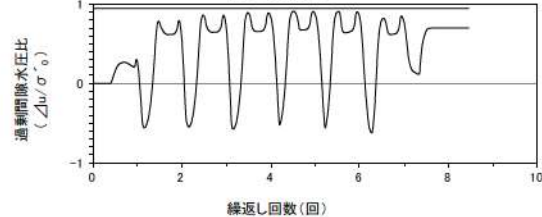
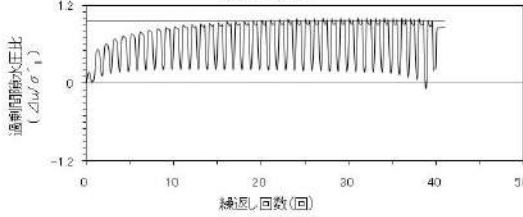
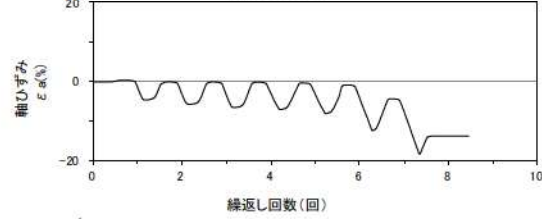
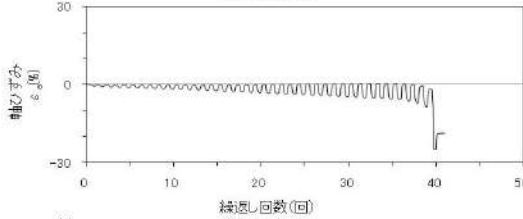
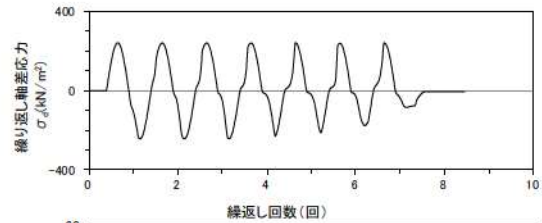
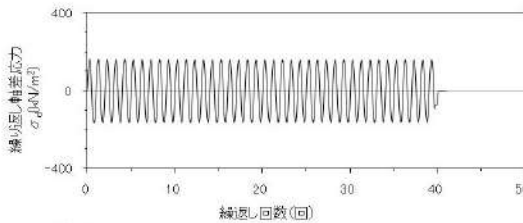
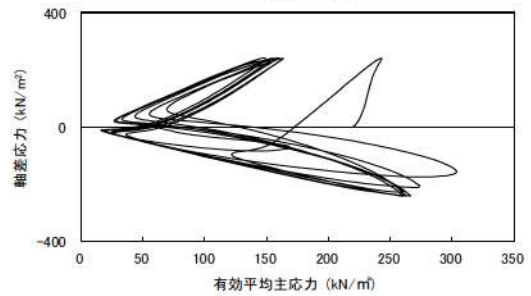
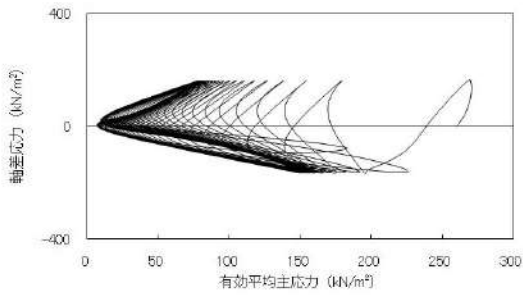
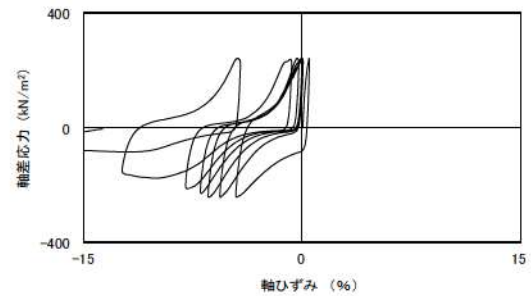
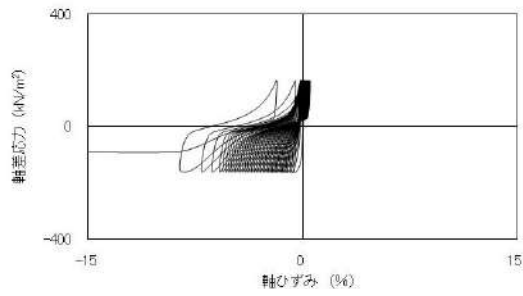


試験条件		液状化の判断	
供試体	No.42		
地表からの深度 (m)	23.05~24.03		
有効上載圧 (kN/m ²)	255		
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	260		
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.332		
試験結果		液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化	
有効応力がゼロまで低下する。	×		
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×		
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○		

試験条件		液状化の判断	
供試体	No.43		
地表からの深度 (m)	23.05~24.03		
有効上載圧 (kN/m ²)	255		
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	260		
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.297		
試験結果		液状化の判断	
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化	
有効応力がゼロまで低下する。	×		
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×		
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○		

添付 1-253 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(3) 試料(供試体 No. 42))

添付 1-254 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(3) 試料(供試体 No. 43))

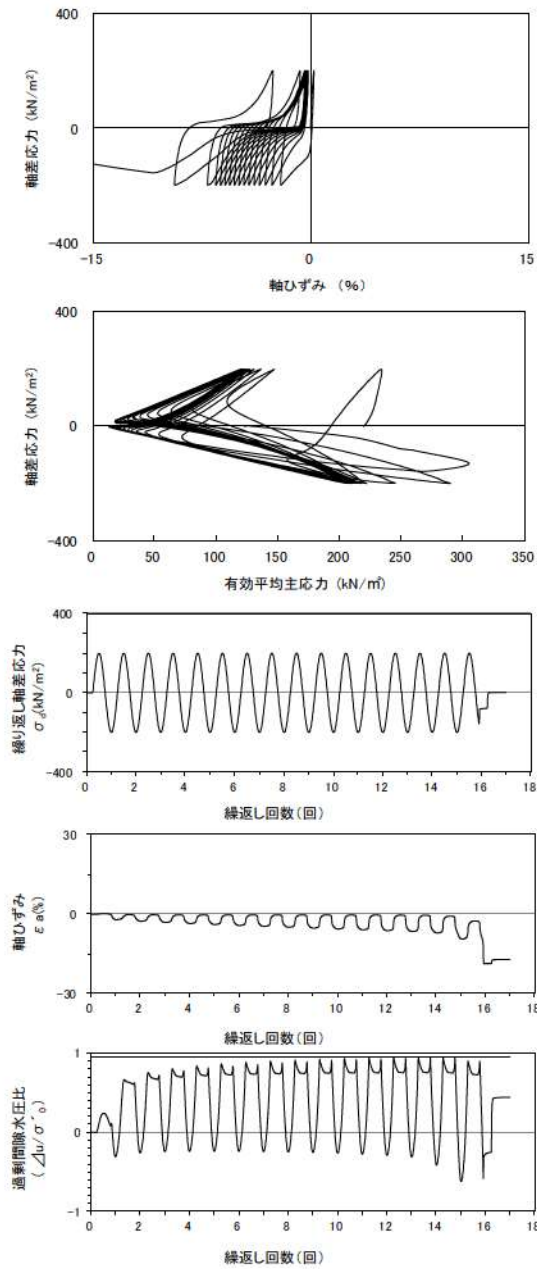


試験条件		
供試体		No.44
地表からの深度 (m)		23.05~24.03
有効上載圧 (kN/m ²)		255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		260
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.316
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

試験条件		
供試体		No.44
地表からの深度 (m)		23.05~24.03
有効上載圧 (kN/m ²)		255
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)		260
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$		0.316
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する。	×	
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×	
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○	

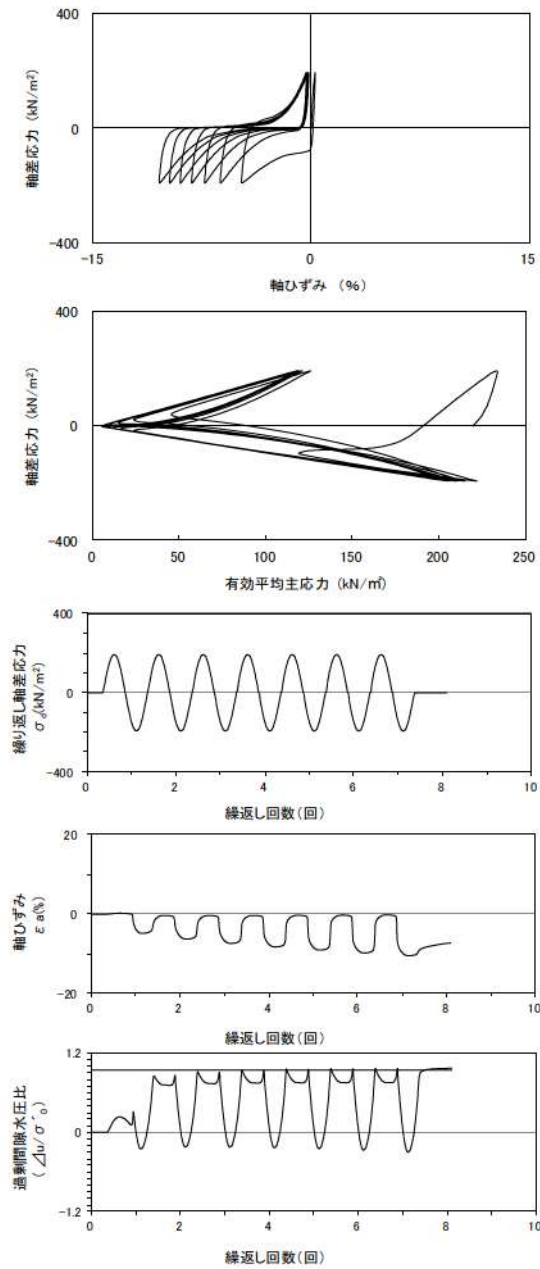
添付 1-255 図 液状化強度試験結果
(SW2-4(3) 試料(供試体 No. 44))

添付 1-256 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③(1) 三軸試料(供試体 No. 1-18))



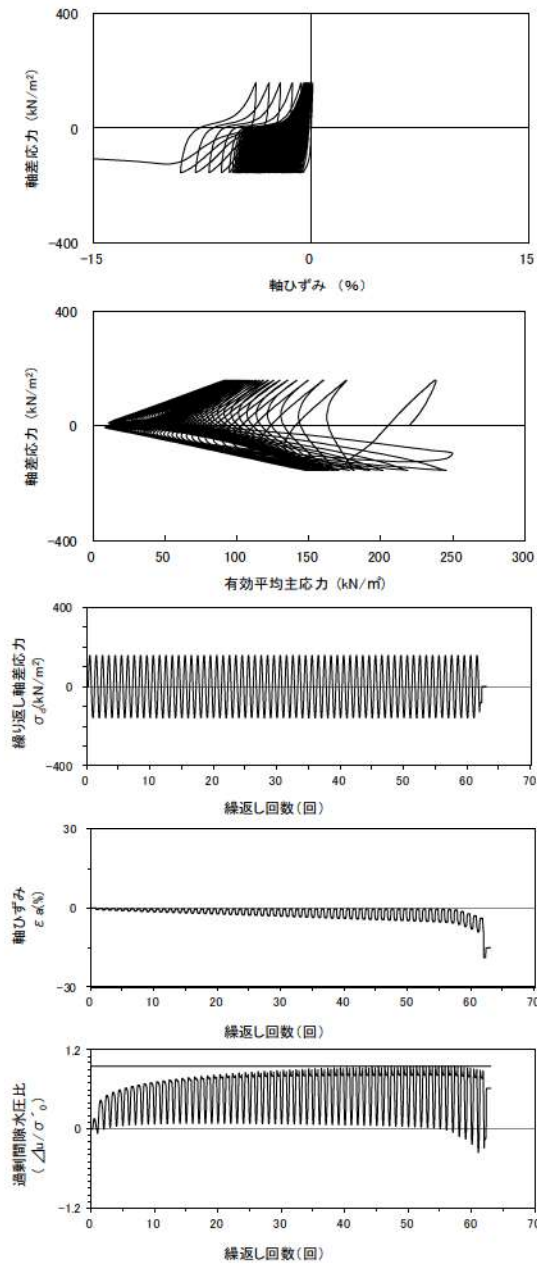
試験条件	
供試体	No.3-17
地表からの深度 (m)	21.99~22.44
有効上載圧 (kN/m ²)	221
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.453
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-257 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③(1) 三軸試料(供試体 No. 3-17))



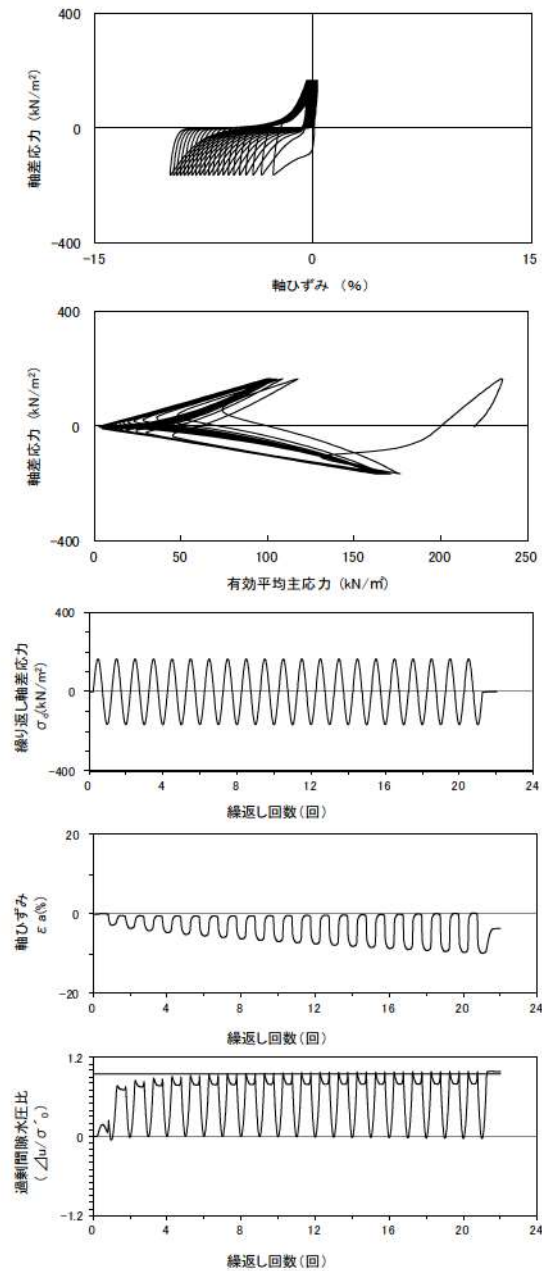
試験条件	
供試体	No.1-19
地表からの深度 (m)	22.47~22.70
有効上載圧 (kN/m ²)	221
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.437
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-258 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③(2) 三軸試料(供試体 No. 1-19))



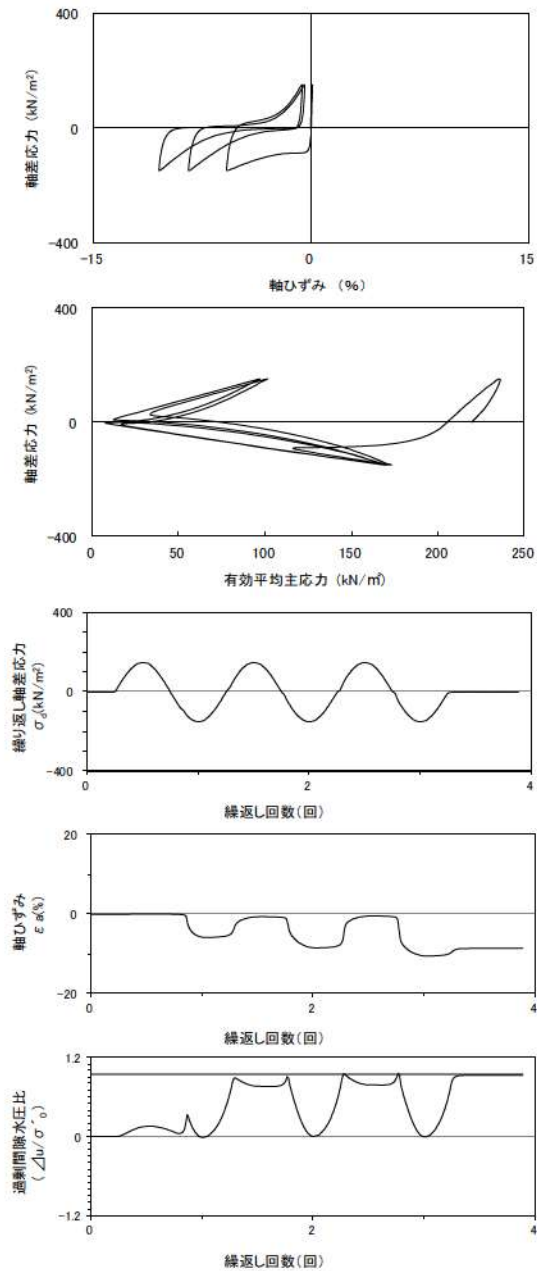
試験条件	
供試体	No.2-18
地表からの深度 (m)	22.47~22.70
有効上載圧 (kN/m ²)	221
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.356
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-259 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③(2) 三軸試料(供試体 No. 2-18))



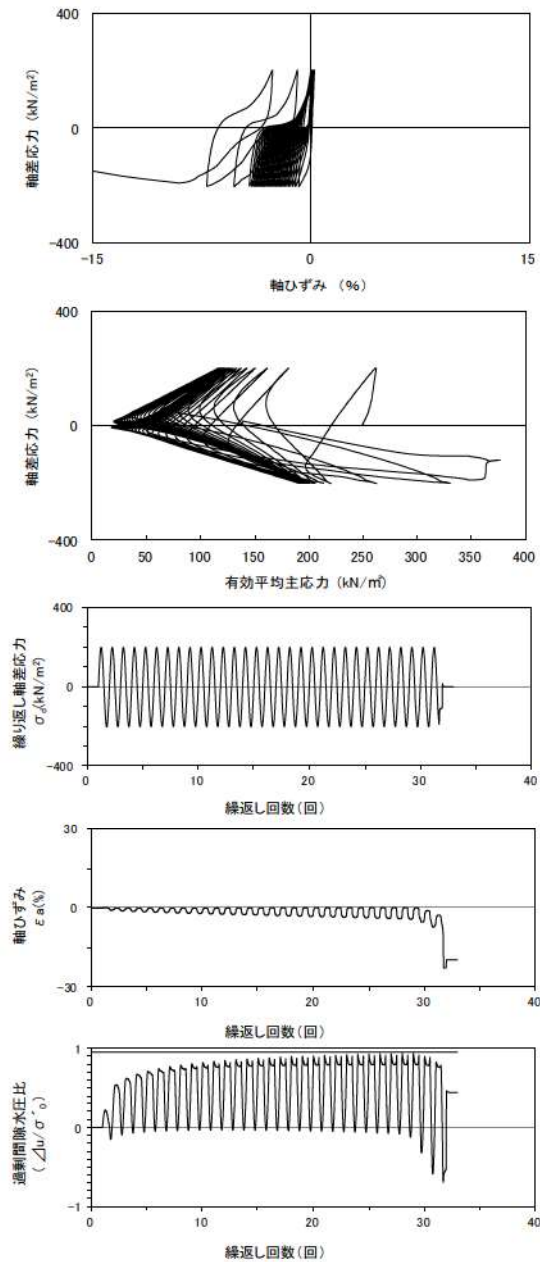
試験条件	
供試体	No.1-20
地表からの深度 (m)	22.62~22.85
有効上載圧 (kN/m ²)	221
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.376
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-260 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③(3) 三軸試料(供試体 No. 1-20))



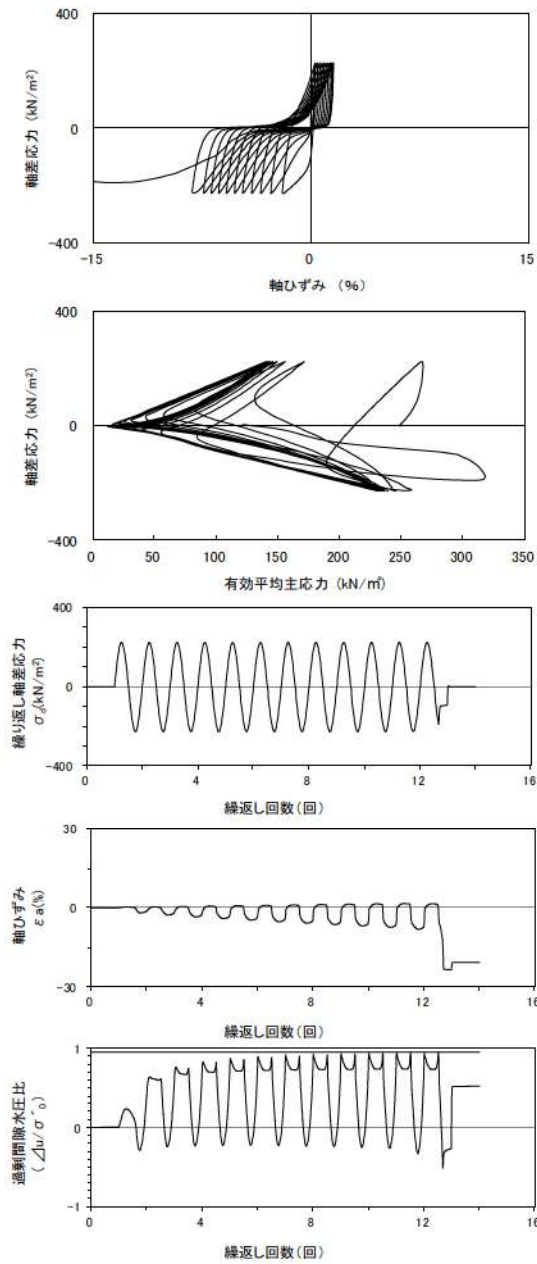
試験条件	
供試体	No.1-20
地表からの深度 (m)	22.62~22.85
有効上載圧 (kN/m ²)	221
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.376
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-261 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③(3) 三軸試料(供試体 No. 2-19))



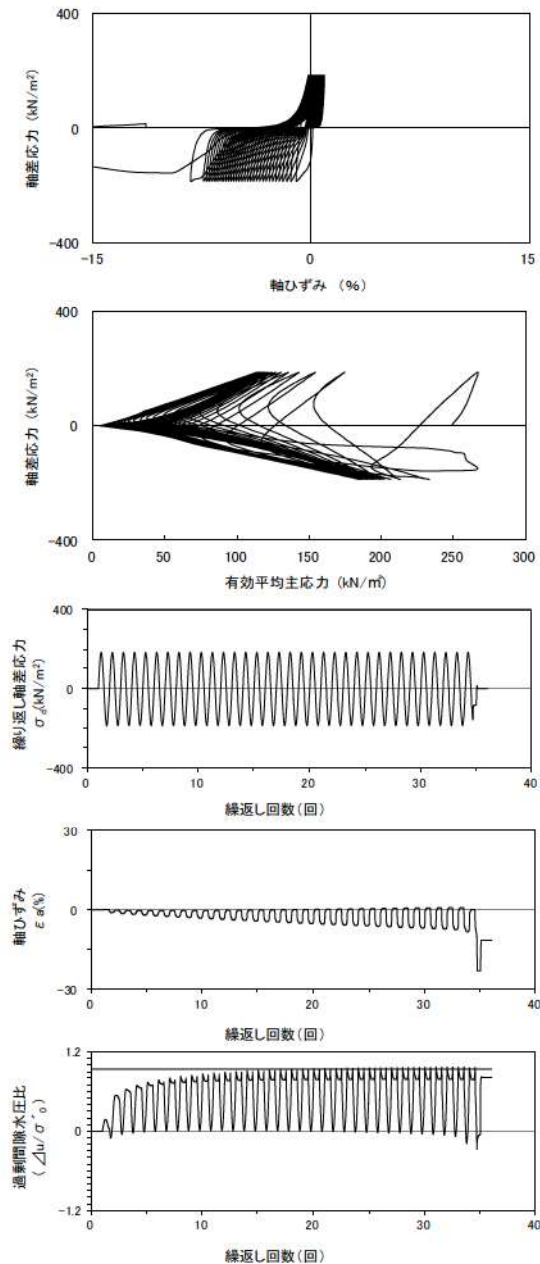
試験条件	
供試体	No.1-20
地表からの深度 (m)	22.62~22.85
有効上載圧 (kN/m ²)	221
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.376
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-262 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1) 三軸試料(供試体 No. 1-30))



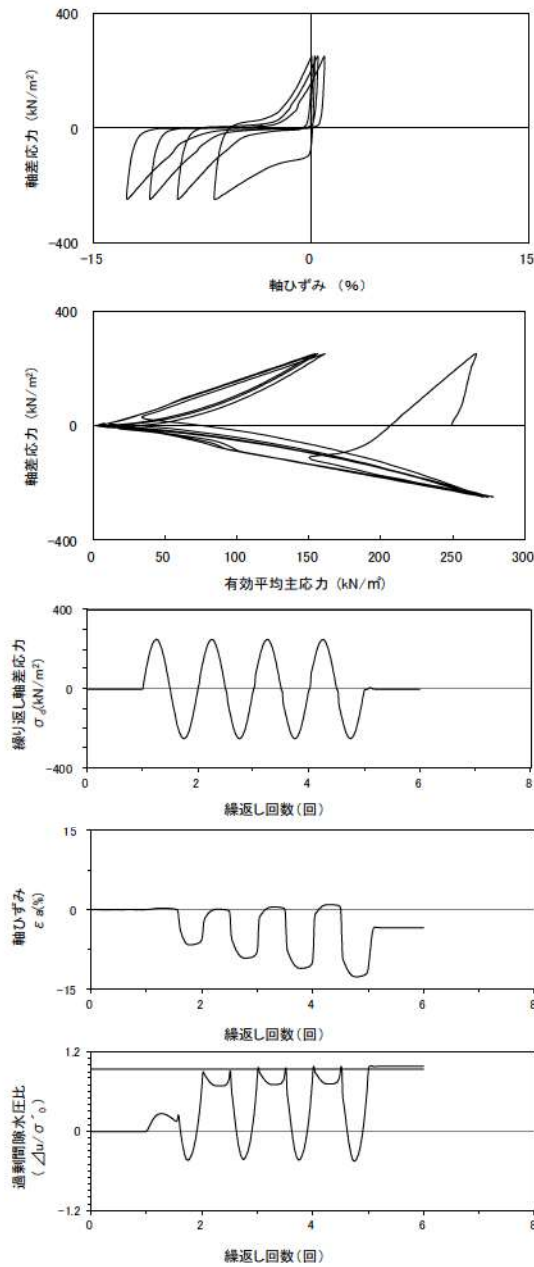
試験条件	
供試体	No.2-32
地表からの深度 (m)	25.12~25.49
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.454
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-263 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1) 三軸試料(供試体 No. 2-32))



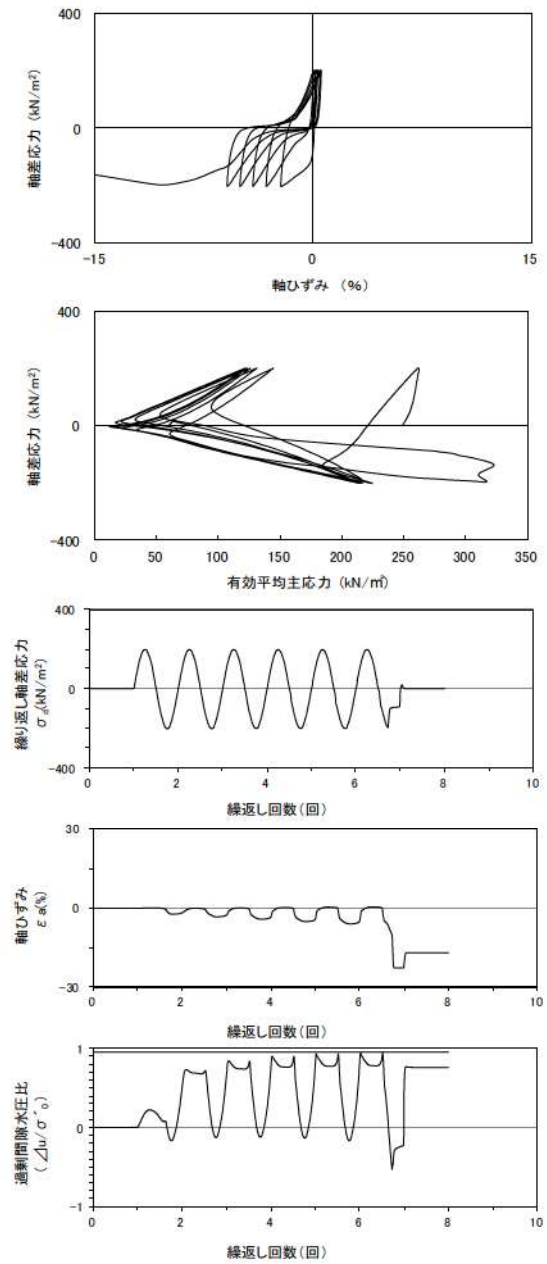
試験条件	
供試体	No.3-31
地表からの深度 (m)	25.12~25.49
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.376
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-264 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1) 三軸試料(供試体 No. 3-31))



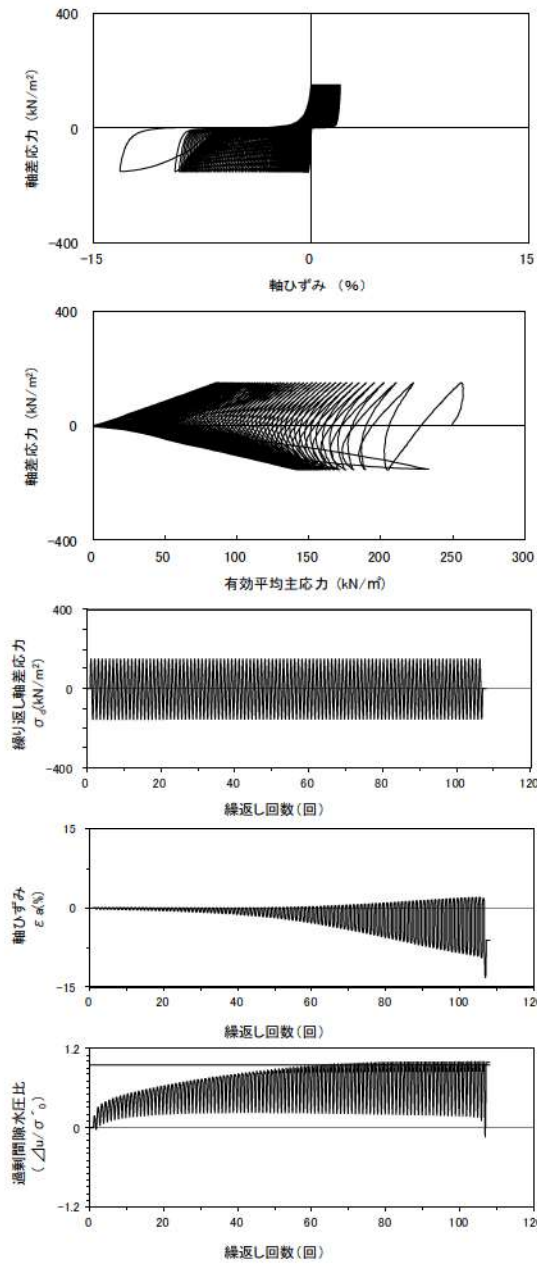
試験条件	
供試体	No.4-32
地表からの深度 (m)	25.12~25.49
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.502
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-265 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(1) 三軸試料(供試体 No. 4-32))



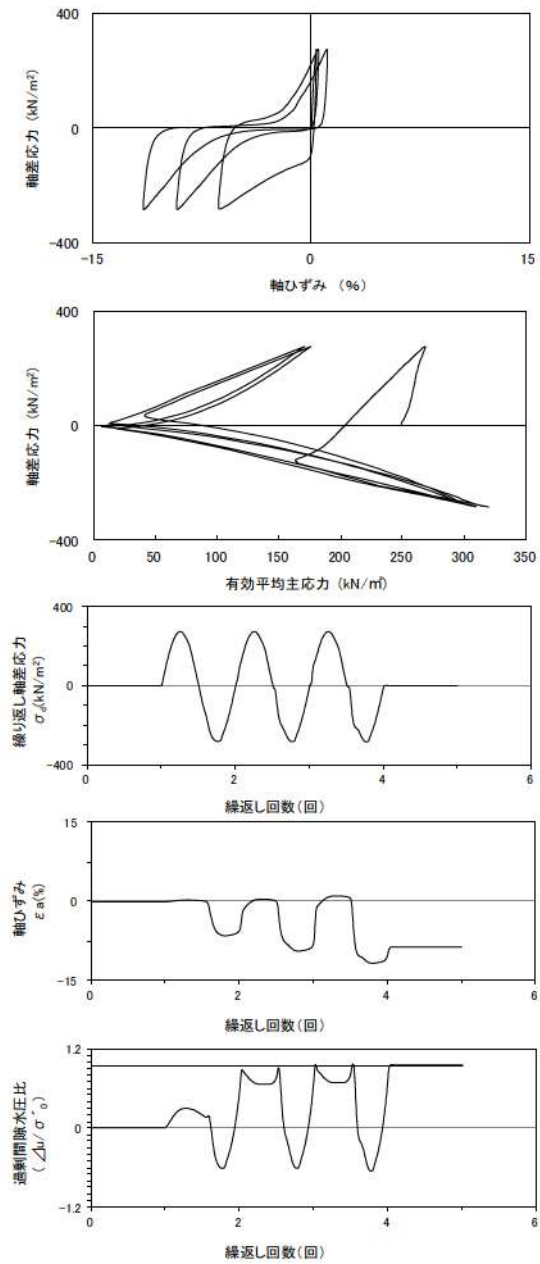
試験条件	
供試体	No.1-31
地表からの深度 (m)	25.27~25.64
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.409
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-266 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(2) 三軸試料(供試体 No. 1-31))



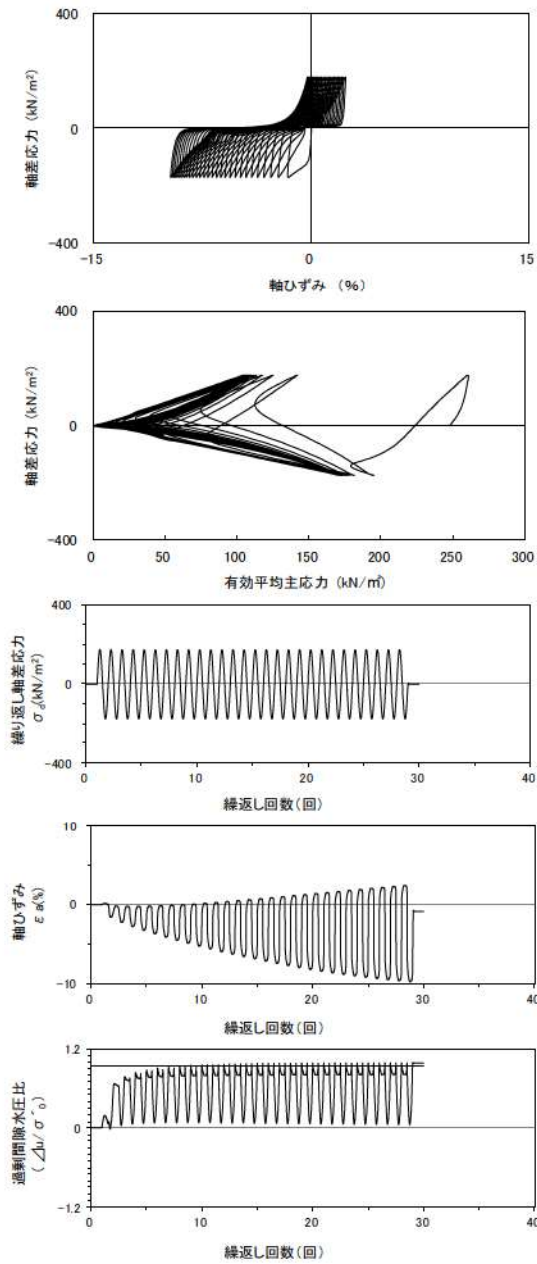
試験条件	
供試体	No.2-33
地表からの深度 (m)	25.27~25.64
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.306
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-267 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(2) 三軸試料(供試体 No. 2-33))



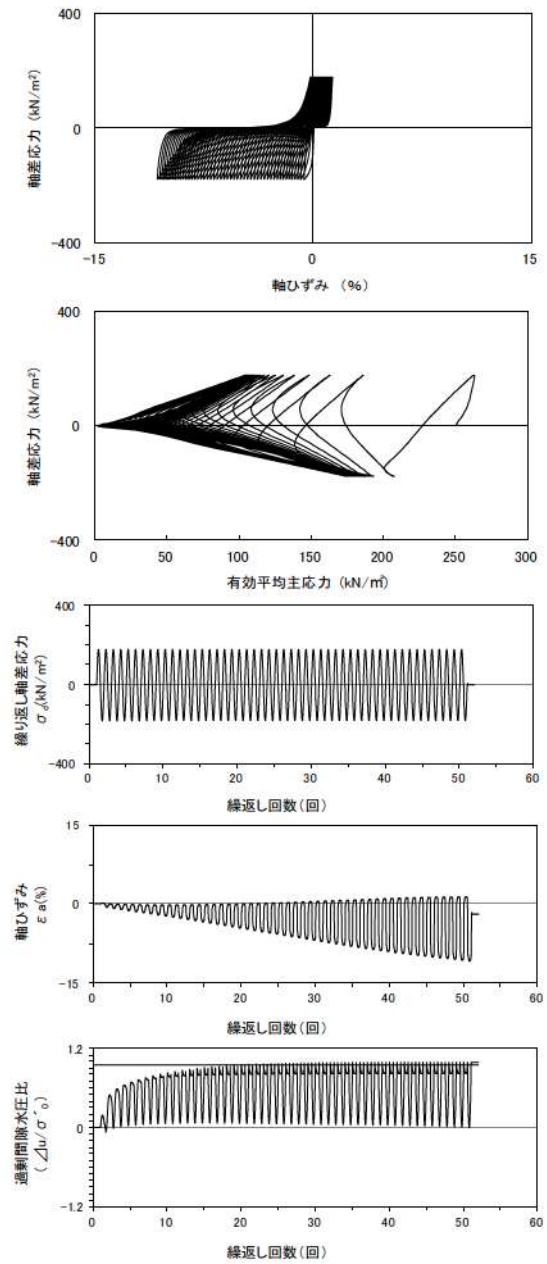
試験条件	
供試体	No.2-33
地表からの深度 (m)	25.27~25.64
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.306
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-268 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(2) 三軸試料(供試体 No. 3-32))



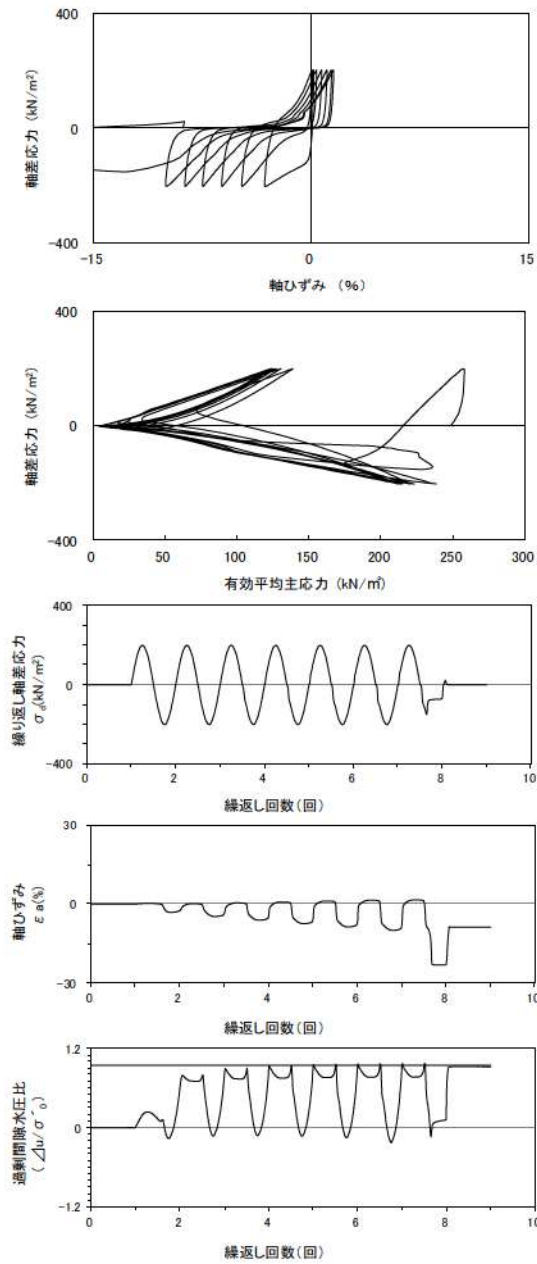
試験条件	
供試体	No.4-33
地表からの深度 (m)	25.27~25.64
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.351
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-269 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(2) 三軸試料(供試体 No. 4-33))



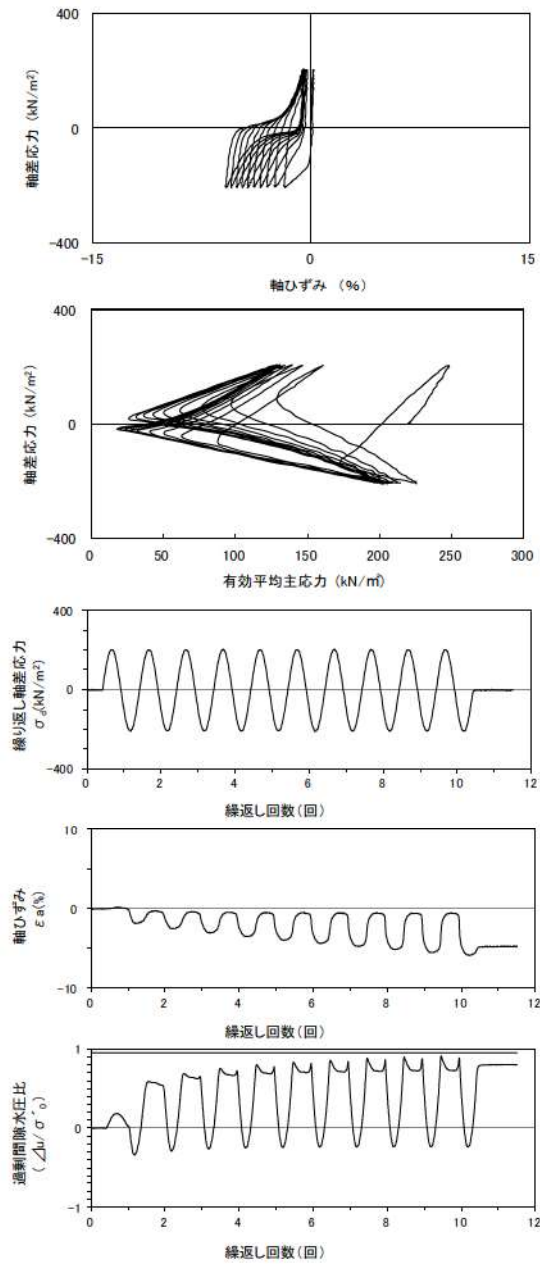
試験条件	
供試体	No.1-32
地表からの深度 (m)	25.42~25.79
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.353
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンス特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-270 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④(3) 三軸試料(供試体 No. 1-32))



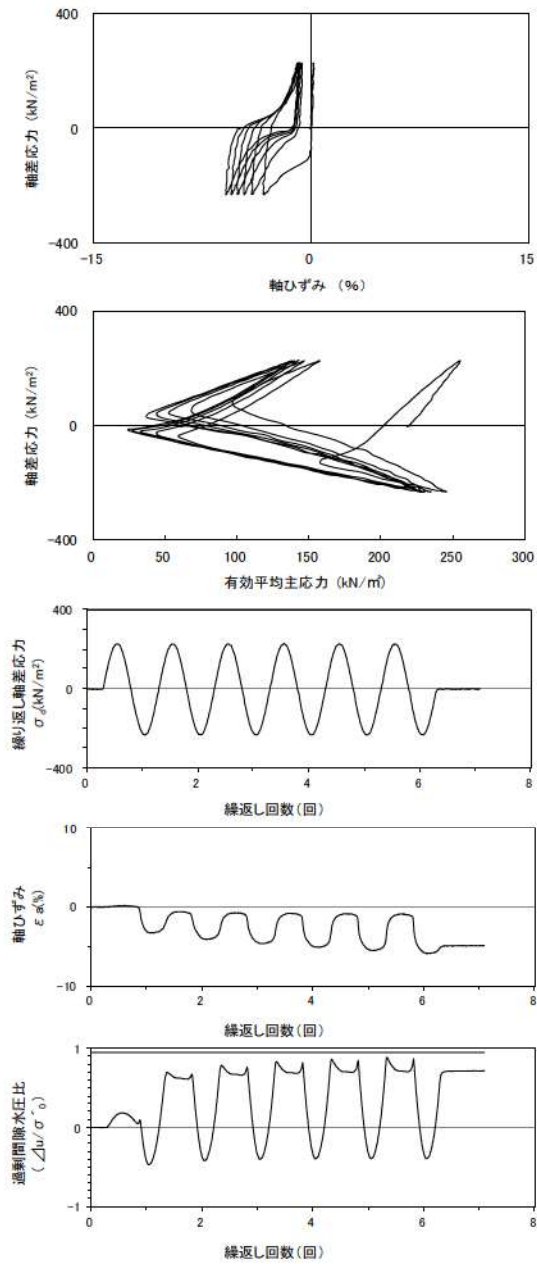
試験条件	
供試体	No.3-33
地表からの深度 (m)	25.42~25.79
有効上載圧 (kN/m ²)	247
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.402
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-271 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④ (3) 三軸試料(供試体 No. 3-33))



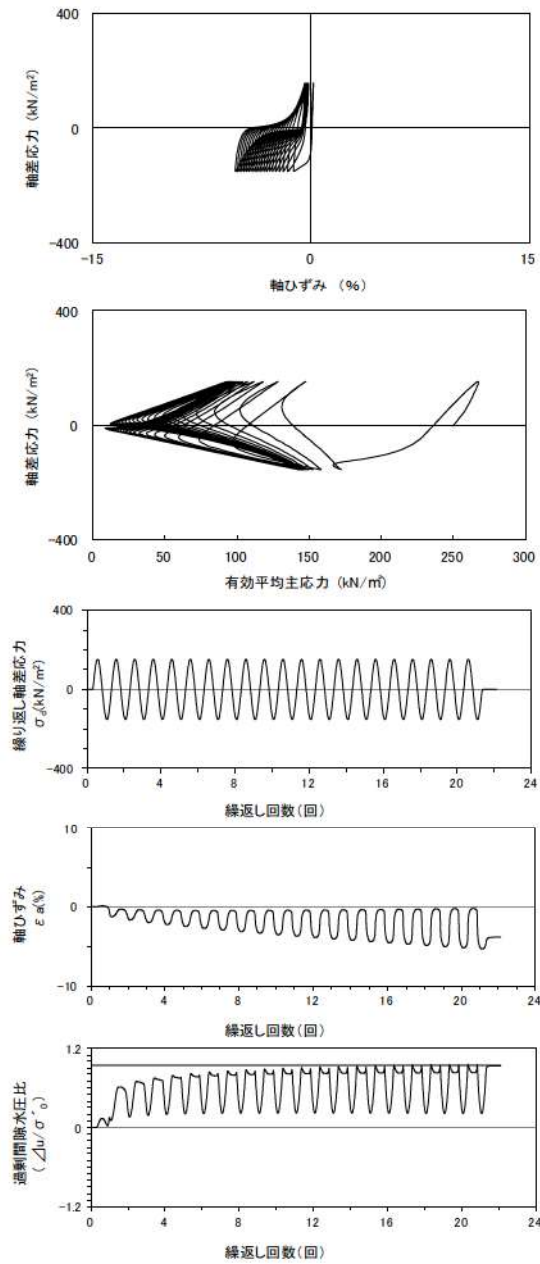
試験条件	
供試体	No.2-17
地表からの深度 (m)	22.06~22.55
有効上載圧 (kN/m ²)	215
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.467
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-272 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③ A-1 三軸試料(供試体 No. 2-17))



試験条件	
供試体	No.1-17
地表からの深度 (m)	22.06~22.55
有効上載圧 (kN/m ²)	215
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	220
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.522
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	×
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
非液状化	

添付 1-273 図 液状化強度試験結果
(FS-1-③ A-1 三軸試料(供試体 No. 1-17))



試験条件	
供試体	No.3-28
地表からの深度 (m)	24.34~24.95
有効上載圧 (kN/m ²)	238
圧密応力 σ'_c (kN/m ²)	250
繰返し応力振幅比 $\sigma_d/2\sigma'_0$	0.307
試験結果	液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する。 (過剰間隙水圧比95%を超える。)	○
有効応力がゼロまで低下する。	×
液体状となり流動する。 (ひずみが急増する。)	×
正のダイレイタンスー特性により せん断抵抗が作用する。 (有効応力が回復する。)	○
繰返し軟化	

添付 1-274 図 液状化強度試験結果
(FS-1-④ A-1 三軸試料(供試体 No. 3-28))